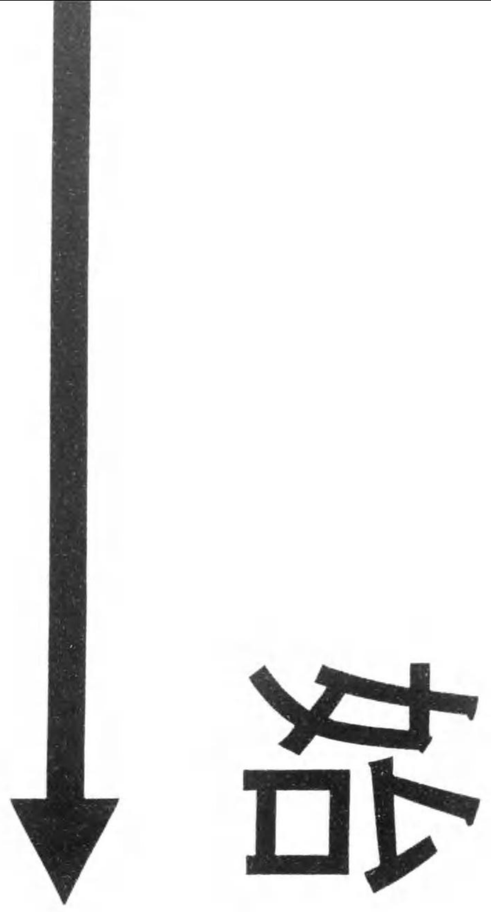
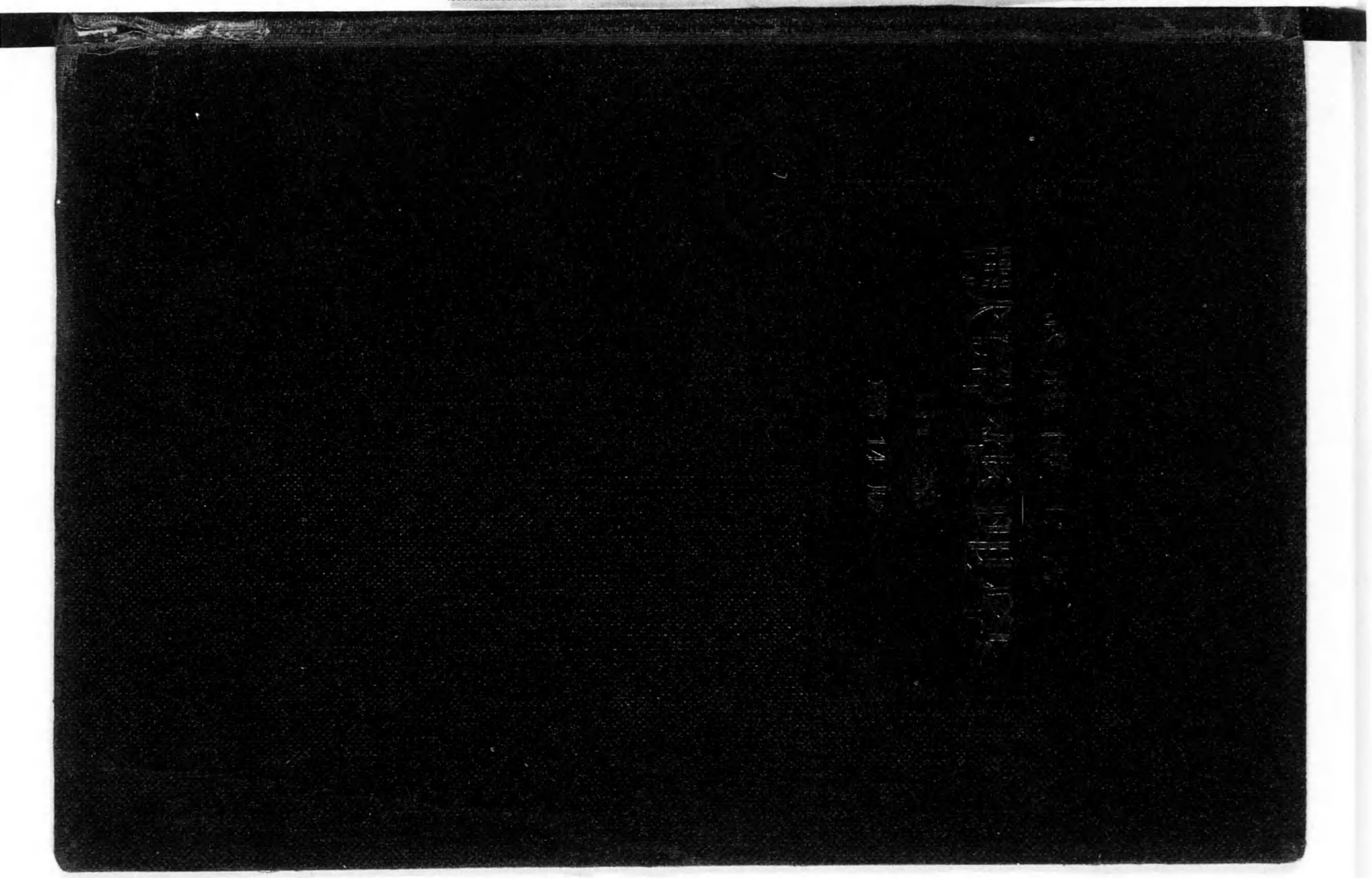

谷

m
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
16
m
30 1 2 3 4



武藤博士著

獸醫藥理學

中卷

第14版

50
397

獸醫藥理學

獸醫學博士·醫學博士
武藤喜一郎著

中　卷

插圖 41 個

增訂 14 版

東京
克誠堂發行

昭和 7 年

60-397

目　次

頁

第 22　きにーん屬……1

1) 鹽酸きにーれ……7
2) 硫酸きにーれ……7
3) 重硫酸きにーれ……7
4) 枸櫞酸きにーれ……8
5) きのびりん……8
6) ふちーる炭酸きにーれ又おいきにん……8
7) たんにん酸きにーれ……9
8) ありすとひん……9
9) きな皮……9
10) きな越幾斯……11
11) きな丁幾……11
12) なぶとひん又れみじん……11

第 23　あんちびりん屬……12

1) あんちびりん……17
2) さりちーる酸あんちびりん又さりびりん……18
3) ぢめちーるあみどあんちびりん又びらみどん……18
4) こむぶらーる……19
5) あせとあにりーど又あんちふゑぶりん……19
6) ふゑなせちん……20
7) らくちーるふゑれちぢん又らくとふゑにん……21
8) のばるぎん……21

第 24　さりちーる酸屬……21

1) 安息香酸……24
2) 安息香酸なとりうむ……25
3) さりちーる酸……25
4) さりちーる酸なとりうむ……27

5) さりちーる酸ふぁにーる又さろーる …… 27
6) あせちーるさりちーる酸又あすぴりん …… 28
7) ぢぶろざーる …… 29
8) とりばふらびん …… 29

第 25 石炭酸屬 …… 29

1) 石炭酸又かるぼーる …… 34
2) くれおそーと …… 35
3) くれおそーと丸 …… 36
4) ぐあやこーる …… 36
5) 炭酸くれおそーと又くれおそたーる …… 36
6) 炭酸ぐあやこーる又づをたーる …… 37
7) ちおこーる …… 37
8) しろりん …… 37
9) ふぁごーる又ぶのいみん …… 38
10) 大風子油 …… 38
11) 粗製くれぞーる …… 38
12) りぞーる …… 38
13) くれおりん …… 38
14) ちもーる …… 41
15) 薄荷腦又めんとーる …… 41
16) べんつぉーる …… 42
17) なふたりん …… 42
18) なふとーる又べたなふとーる …… 43
19) れぞるちん …… 44
20) びろがろーる又焦性沒食子酸 …… 44
21) べるーばるさむ …… 45
22) 流動蘇合香 …… 46
23) とるーばるさむ …… 46
24) 木たーる …… 47
25) びちろーる …… 48

26) ぐりてーる …… 48
27) つめのーる及びつめのーるあむもにうむ …… 48

第 26 樟腦屬 …… 49

1) 精製樟腦又片腦又反腦 …… 51
2) 樟腦精又かむふる丁幾 …… 53
3) 樟腦油 …… 53
4) ぶろーむ樟腦又臭素かむふる …… 54
5) 麝香 …… 54
6) 海狸香 …… 54
附 水溶性樟腦製劑 …… 54

第 27 びくろこきしん屬 …… 55

商陸 …… 55

第 28 ぢきたりん屬 …… 56

1) ぢきたりす葉 …… 59
2) ぢきたりす丁幾 …… 65
3) ぢがーれん …… 66
ぢきたみん …… 66
ばんきたーる …… 66
ぢきぶらつーむ …… 66
ぢきふぁりん …… 66
4) ぢきたりん又眞正ぢきたりん …… 66
5) ぢきときしん …… 66
6) すとろふぁんつす子 …… 67
7) すとろふぁんつす丁幾 …… 68
8) すとろふぁんちん …… 68
9) たんにん酸すとろふぁんちん …… 69
10) 海葱 …… 69
海葱丁幾 …… 69

第 29 ざぼこきしん屬 …… 70

1) きらや皮……72
2) せれが根及ビ遠志根……73
3) せれが舎利別及ビ遠志舎利別……74
第 30 えるごときしん屬……74
1) 麥角……76
えるごときしん……77
ころぬちん……77
えるごちん酸……77
ひすたみん……77
ちらみん……77
ゑるごたみん……77
2) せかころにん……79
3) 麥角越幾斯……79
4) 麥角流動越幾斯……79
5) るたみん……80
第 31 かんなびのん屬……80
1) 印度大麻草……81
2) 印度大麻越幾斯……81
3) 印度大麻丁幾……81
第 32 あがりちん酸屬……81
1) あがりちん酸……83
2) 樟腦酸……83
第 2 編 局所ノ榮養變調ヲ喚起ス可キ有機化合體……84
第 1 粘漿劑……84
1) 澱粉……85
2) されっぷ根……86
3) あらびあごむ……86
あらびあごむ漿……86

ごむ散……86
4) あるてあ根又蜀葵根……87
あるてあ舎利別……88
5) とらがんと……88
6) いすらんど苔……88
7) からーげん……88
第 2 矯味藥……88
1) さっかりん……89
2) 白糖……89
3) 單舎利別……90
4) 葡萄糖……90
5) 乳糖……91
6) 蜂蜜……91
精製蜂蜜……91
7) 甘草……91
8) 甘草羔……92
第 3 茶劑……93
1) かみろれ花……93
2) 薄荷葉……94
3) さるふぃあ葉……94
接骨木花……94
菩提樹花……94
第 4 嗅劑……95
第 5 汚臭神經劑……95
1) 阿魏……95
2) 阿魏丁幾……96
3) 纈草根……96
4) 纈草丁幾……97
第 6 健胃劑……97

(甲) 芳香性健胃劑……98

1) 橙皮……98
2) 橙皮油……99
3) 橙花油……99
4) 橙皮丁幾……99
5) 橙皮舍利別……99
6) 枸櫞皮……99
7) 枸櫞油又檸檬油（レモンユ）……99
8) 枸櫞精……100
9) 桂皮又桂枝……100
10) 桂皮油又桂枝油……100
11) 桂皮水……100
12) 桂皮精……101
13) 茴香又小茴香（ウキキヤウ）……101
14) 茴香油……101
15) 茴香水……101
16) 茴香精……102
17) あにーす實……102
18) あにーす油……102
19) 丁香又丁子……103
20) 丁香油又丁子油……103
21) みるら又沒藥……103
22) みるら丁幾又沒藥丁幾……103
肉豆蔻（ニクヅク）……104
肉豆蔻子衣油（ニクヅクユ）……104
菖蒲根……104
菖蒲丁幾……104

(乙) 苛味性健胃劑……104

1) 小豆蔻……104
2) 生薑……104

3) 莪遂……104
4) 高良薑根……104
5) あんげりか根……104
6) びむびれら根……104
7) 生薑丁幾……104
8) 生薑舍利別……104
9) 芳香丁幾……104
10) 芳香精……104
11) 複方あんげりか精……104
12) びむびれら丁幾……104

(丙) 苦味性健胃劑……105

1) 龍膽及ビげんちあな根……105
2) 龍膽越幾斯及ビげんちあな越幾斯……108
3) 龍膽丁幾及ビげんちあな丁幾……108
4) 苦味丁幾……108
5) ころむぼ根……109
6) ころむぼ越幾斯……109
7) 黄蓮……109
8) 黄蓮越幾斯……111
9) くわっしあ木……111
10) くわっしあ丁幾……112
11) かすかりら皮……112
12) かすかりら越幾斯……112
13) かすかりら丁幾……113
14) こんちゅらんご皮……113
15) こんちゅらんご流動越幾斯……113
16) こんちゅらんご酒……114
17) たんにん酸なれきしん……114
18) 睡菜葉……114
19) 苦艾……114

20) 苦艾越幾斯……114
21) 苦艾丁幾……114
22) つゑんたりうむ草……114

第 7 泌尿器ノ消毒藥及ビ刺戟藥……114

1) 杜松實……116
2) 杜松實油……117
杜松實羔……117
杜松實精……117
3) こばいばばるさむ……117
こばいばばるさむ膠嚢……117
4) 蓽澄茄(ヒツチヨウカ)又くべば子……117
蓽澄茄越幾斯……118
5) 白檀油(さんたり油)……118
ごのろーる又さんたろーる……119
ごのさん……119
さんちーる……119
附 1) うわうるし葉……119
附 2) うろとろびん又へきさめちーれんてとらみん……120
附 3) さりふぉるみん……121
附 4) ぼろべるちん……121
附 5) ちすとぷりん……121
附 6) へるみとーる又新うろとろびん……121
附 7) ひっぽーる……122

第 8 膏藥劑……122

1) 單軟膏……123
2) ばらふぃん軟膏……123
3) ぐりせりん軟膏……124
4) へぷら軟膏……124
5) 豚脂又家猪脂……124
6) 無水らのりん……124

7) 含水らのりん……125
8) わぜりん……125
9) わそげーん及ビわそーる……126
10) おれーふ油……126
11) ぐりせりん……126
12) 亞麻仁……127
13) 亞麻仁粉……127
14) 亞麻仁油……127
15) 扁桃油……128

第 9 皮膚刺戟劑……129

(甲) てれびん油屬……131

1) てれびんちーな……133
2) てれびん油……133
3) 精製てれびん油……134
4) ころふぉにうむ……134
5) てれびん軟膏……135
6) ばちり軟膏又基礎軟膏又王軟膏……135
附 1) 抱水てるびん又含水てるびん又水化てるびん……135
附 2) さびな油……135

(乙) かんたりぢん屬……136

1) かんたりす又豆斑猫又葛上亭長……137
2) かんたりす丁幾……139
3) 蕃椒丁幾……139
4) 强發泡膏……139
5) 弱發泡膏……139
引赤紙……139
發泡ころぢうむ……139
6) くりさろびん又精製ごあ末……139
7) するふぁいひちおーる酸あむもにうむ又いひちおーる……140
いひたるびん……141

いひとふぉるむ……142
いひたるがん……142
ちおーる……142
ちげのーる……142
つめのーる……142
なふたらん……143

(丙) 芥子油屬……142

1) 芥子……143
2) 揮發芥子油又芥子油……144
芥子精……144
芥子紙……144
胡椒……144
蕃椒……144

第 10 植物性下劑……144

軟下劑……145
緩下劑……145
峻下劑……145

(甲) 巴豆油及ビ蓖麻子油屬……147

1) 巴豆油……147
2) 蓖麻子油又りちね油又かすとる油……149

(乙) こんづぉるづりん及ビえらてりん屬……151

1) やらっぱ根……152
2) やらっぱ脂……153
3) やらっぱ石鹸……153
英方えらてりうむ又白色えらてりうむ……153
ころしんと實……153
ころしんと越幾斯……154
ころしんと丁幾……154
ぼどふぃるむ脂……154

(丙) くりそふぁん酸及ビかたるちん酸屬……154

1) せんな葉……155
せんな舍利別……158
複方せんな浸……158
複方せんな舐劑……158
2) 大黃……158
3) 大黃丁幾……160
4) 大黃越幾斯……160
5) 大黃舍利別……161
6) 小兒散又苦土大黃散……161
複方大黃丸……161
複方大黃浸……161
7) 蘆薈……161
8) 蘆薈丁幾……164
9) 蘆薈越幾斯……164
蘆薈丸……164
蘆薈やらっぱ丸……164
蘆薈鐵丸……164
10) かすから さぐらだ……164
11) かすから さぐらだ流動越幾斯……165
12) ふらんぐら皮……165
13) ふらんぐら流動越幾斯……165
14) 籐黃又ぐっちーごむ……165
15) ぶるげん又ふぁのーるふたれいん……166
16) ぶるがちん又ぶるがとーる……166
附) まんな及ビたまりんど……166
17) まんな……168
18) まんな舍利別……168
19) たまりんど……168
20) 精製たまりんど……169

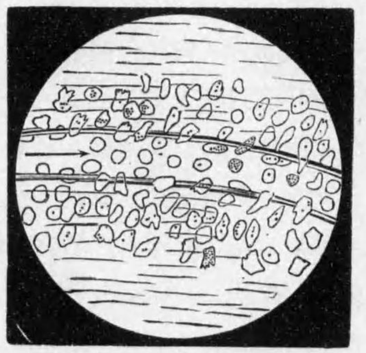
第22 きにーん屬 Gruppe des Chinins.

Chinin ハ China 皮中ノ主要成分ニシテ，原形質ニ對シ劇シキ毒物ナレバ，神經，筋肉，其他ノ組織ヲ成セル細胞ヲ最初ニ興奮セシメ．後ニハ麻痺ニ陷ラシメ，作用充分ナル時ハ其細胞ヲ死ニ至ラシム，而シテ其際ニ死滅現象 Absterbungserscheinung トシテ一旦ハ細胞ノ機能著ク亢進スレドモ次テ逐次減少シテ全ク消滅スルモノナリ．

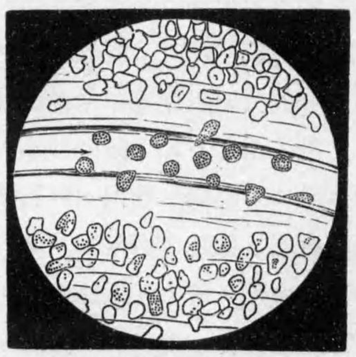
Chinin ノ特殊ナル性質ハ下等動物ノ細胞ノ原形質 (Protoplasma) ニ向テ劇毒ナルニアリ，故ニ滴蟲(Amöba)ヲ2萬倍ノ Chinin 溶液中ニ入ルヽ時ハ忽チ其活潑ナリシ運動ヲ止メ，白血球モ亦其

第 1 圖

Binz 氏實驗



(甲)蛙ノ腹膜ヲ露出シ，顯微鏡下ニテ白血球ガ血管外ニ游走シテ所謂化膿ノ狀ヲ呈スルヲ示ス．



(乙) 化膿狀態ノ際ニ Chinin ヲ與ヘテ，白血球ノ血管外游走大ニ減ジ，先キニ游走セルモノハ血管ノ周圍ヨリ游走シテ遠ク去レル狀ヲ示ス．

5 萬倍溶液ニ於テ　あめーば樣運動ヲ失フ．又 Chinin ヲ蛙ニ與フレバ，白血球ガ血管外ニ游出スル作用ヲ失フ事ハ善ク人ノ知ル所ナリ．

Malaria ニ罹リタル人ニ之ヲ與フレバ，血液中ニ寄生スルまらりあ　ぷらすもぢうむ (Malaria Plasmodium) ヲ毒殺シテ恢復ノ效ヲ奏ス．此效力ハ未ダ人體ヲ害セザル少量ヲ以テ充分ニ認メ得ラルヽニヨリ，Chinin ハ Malaria ニ對スル聖藥トシテ貴重セラル．此如ク下等動物ニ向テハ猛毒ノ作用アレドモ，之ニ反シテ下等植物タル腐敗 (Fäulniss) 及ビ醱酵 (Gährung) ノ原因ヲナス細菌ニハ比較的毒力弱シ例ヘバ 2–8/1000 ノ溶液ヲ用ユルニ依テ始メテ細菌ノ發育ヲ制止スルガ如シ．

局所作用　Chinin ハ細胞毒ニシテ之ヲ死滅セシメントスルガ爲ニ，局所刺戟ノ作用アリテ炎症ヲ生ゼシム，故ニ皮下注射ニ依テ膿瘍ヲ生ジ，又大量ヲ內用セシムレバ嘔吐，下痢等ヲ來ス事アリ．尙ホ Chinin ハ顯著ナル知覺神經ノ末梢麻痺作用ヲ有スレドモ應用局所ニ於ケル破壞作用ガ强クシテ到底 Cocain ノ如ク局所麻醉藥トナシ難シ．

吸收作用　橫紋筋ハ初メ Chinin ノ爲メニ强ク刺戟セラレテ興奮シ，作業總量(疲勞減少)及ビ絕對的力量ヲ增加スレドモ，後ニ至レバ却テ疲勞シ易キ狀態ニ陷リ，甚シキハ終ニ死滅スルニ至ル．心臟ノ筋肉モ亦初メ刺戟セラレテ興奮シ，脈搏ノ增加及ビ血壓ノ昇騰ヲ認ムレドモ，後ニ至レバ却テ麻痺シ，脈搏ノ減少及ビ血壓ノ著シキ低降ヲ見ルニ至ル，此故ニ Chinin ノ少量ヲ發熱セル動物ニ與フレバ，心臟ノ收縮力ヲ增加シ脈搏ヲ正整ナラシムル外ニ，尙ホ解熱作用ヲ呈スル所ノ良效ヲ奏ス．

滑平筋モ亦 Chinin ノ爲ニ刺戟セラルヽヲ以テ，脾臟及ビ子宮ノ收縮ト腸ノ蠕動亢進トヲ認ム，是等ノ作用ハ Atropin ヲ用キテ，ソレニ終末セル副交感神經末梢ヲ麻痺シタル後ニテモ現ハルヽニヨリ，筋實質ニ於ケル作用ナル事ハ明瞭ナリ．

Chinin ノ末梢神經ニ對スル作用トシテハ知覺神經ノ末梢麻痺ノ外ニ尙ホ(甲)迷走神經ノ心臟制止絲及ビ(乙)唾液分泌神經ノ2種ノ神經ガ少シク麻痺セラルヽノミナリ．故ニ甲ノ作用ハ脈搏ヲ增加セシメ，乙ノ作用ハ唾液分泌ヲ減少ス，故ニ是等ノ2點ニ於テハ稍〻 Atropin ノ作用ニ類似ス．

中心神經系ニ對スル作用トシテハ著ク知覺感受性ヲ減却スルコト，恰モ Morphin ニ似タルヲ以テ，屢〻神經痛ノ治療ニ應用セラル．左リナガラ人ニ於テ稍〻多量ナル Chinin タトヘバ 1.5 g 乃至其以上ヲ用ユルトキハ所謂 Chinin 酩酊 (Chininrausch) ニ陷ル．Chinin 酩酊ハ Alkohol 酩酊ト異ナリ，腦ニ於ケル輕度ノ一般麻痺作用ト腦ノ或部分ノ刺戟作用トノ併發ニヨリテ起レル現象ニシテ，頭痛，眩暈 (Shwindel)，耳鳴 (Ohrensauren)，重聽，視力減衰，等アリ．是等ノ變狀ハ藥用ヲ中止スルノ後ニハ恢復スルカ，又ハ然ラズシテ久シク重聽，弱視，等ヲ殘スコトアリ，甚シキ場合ニハ全ク聾 (Taubheit) 及ビ盲目 (Blindheit) トナル事アリ．著キ大量タトヘバ 4.0 g 乃至其以上ヲ以テ中毒スルトキハ昏睡 (Coma) ニ陷リ呼吸中樞，脈管神經中樞，脊髓及ビ心臟，等ノ麻痺ヲ來シ虛脫 (Collaps) ニ陷リテ斃ル．

健康ナル動物ニ Chinin ノ微量ヲ與フレバ體溫少ク昇騰シ，中毒ヲ來サヾル限リニ，稍〻多量ヲ與フル時ハ體溫少ク低降ス，然ルニ熱性病アルモノ若クハ人工的ニ熱ヲ發セシメタルモノニ藥用量ヲ與フレバ體溫ノ低降著シ．

Chinin ガ Antipyrin 及ビ Salicyl 酸ノ如キ他ノ解熱藥ヨリ區別セラル可キハ次ノ2點ニアリ．

1) 體溫放散ハ Chinin ニ於テ弱ク Antipyrin 及ビ Salicyl

酸ニ於テ強シ，故ニ單ニ解熱藥トシテノ　Chinin　ノ效力ハ後 2 者ニ及バザルヲ常トス.

2) 體溫發生(物質交換卽チ新陳代謝)ハ　Chinin　ヲ用ヰタルトキ著ク衰フト雖ドモ，Antipyrin 及ビ Salicyl 酸ヲ用ユレバ却テ亢進ス.

Chinin ノ Malaria Plasmodium ニ對スル毒力ハ極テ劇烈ナルモノニシテ，就中共血漿中ヲ游走スル時，卽チ此ノ原蟲ノ　めろつおいと (Merozoit)　ノ時期竝ニ赤血球內ニ侵入シ赤血球內ニテ盛ニ Amöba 運動ヲナスノ時，卽チ　しつおんと(Schizont) ノ初期ニ於テハ　Chinin ニ侵サレ易キモ，其末期ニ至リ赤血球內ニテ生長膨大シ核分裂ヲ始ムル時ヨリ，核ト共ニ細胞體ノ原形質モ亦分裂シテ數多ノ幼細胞（娘細胞）トナル時マデハ Chinin ニ侵サレ難シ．然レドモソレ等ノ多數ノ娘細胞ガ血球ヲ破壞シテ血漿中ニ出デントスル時，竝ニ血漿中ニ出デテ盛ニ游走スル所ノ Merozoit ノ時期ニハ再ビ　Chinin　ニ侵サレ易キガ如ク，畢竟此單細胞ヨリナレル原蟲ガ盛ニ Amöba　運動ヲ營ムノ時期ニ於テノミ　Chinin　ニ侵サレ易キ者トス．而シテ血球ヲ破リ血漿中ニ出デ　Merozoit　トナリタル時ニ一種ノ毒物ヲ血漿中ニ分離散布シ，寄生主タル動物ノ體溫ヲ昇騰セシムモノナレバ，Malaria ノ發作タル體溫昇騰ノ　3-5 時間以前ニ，Chinin　ヲ內用セシメ胃腸ヨリ吸收セシムレバ，Merozoit ガ血漿中ヲ游走シテ毒物ガ流布スル時期マデニ，Chinin ハ充分ニ血液中ニ到達シ恰モ活動セル原蟲ニ遭遇スルニ因リ，最善ク此原蟲ヲ毒殺スルノ目的ニ叶フモノナリ．之ヲ要スルニ　Chinin　ハ原蟲タル細胞ガ最盛ニ活動シテ新陳代謝ノ最盛ナル時ニソレヲ侵シ易ク，一旦之ヲ侵セバ忽チニシテ其新陳代謝ヲ衰ヘシメ，次デ死滅セシムルモノナリ.

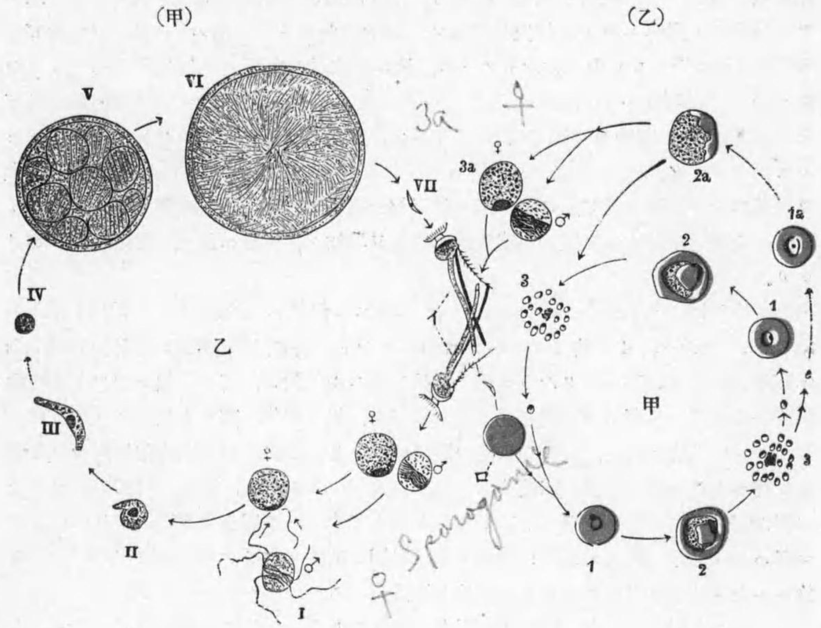
Chinine ハ傳染性貧血症ノ發作間ニモ試用ス可キ價値充分ナルベシ，著者ノ實驗ニ據レバ傳染性貧血症ノ患馬ニ向テ，每日 5 瓦ノ鹽酸 Chinine ヲ丸劑若クハ散劑トシテ與ヘ，1 週間藥用シタル後ニハ 1 週間休藥シツヽ，隔週ノ投藥ヲ 4 ケ月間連續セシメタルニ，全ク發作ヲ消失セシモノ多數アリ.

Chinin ノ適當量ヲ用ヰテ現ルヽ所ノ初期ニ於ケル脈搏ノ增加ニハ迷走神經ノ心臟制止絲ノ末梢ガ　Chinin　ノ爲ニ少ク麻痺セラルヽ爲ニ，延髓ニ於ケル中樞ヨリ來レル制止作用ヲ心臟ニ傳ヘザル事モ與レルモノナリ．故ニ高熱ヲ有シ心搏動ガ衰ヘタル患畜ニ向テ　Chinin　ノ適切ナル用量ヲ處方シ，以テ其初期ノ作用ノミヲ致サシムレバ，體溫ヲ低降シテ解熱ノ效ヲ現ハスノミナラズ心鼓動ヲモ迅速ナラシムル效力ヲ同時ニ要求スル事ヲ得可キナリ，然レドモ大量ヲ持續シテ用ユレバ終ニ末期ノ作用ヲ來シテ，却テ心臟ノ筋質ヲ麻痺セシムルニ至ル事ヲ忘ル可カラズ.

第　2　圖

3 日熱原蟲ノ人體內外ニ於ケル發育順序

(Lüke 氏ニ據ル)



(甲)すぽろごにー Sporogonie　　(乙) しつおごにー Schizogonie
蚊體內發育.　　人體內發育.

(イ)あのふぇれす Anopheles 蚊ノ刺嘴．(ロ)赤血球．(1) Schizont ノ初期．(2) Schizont ノ末期．(3) Merozoit (Schizont ノ分裂ニ由リテ生ズ)．(1a)がめーと Gamet ノ初期 (Schizont ノ初期ト同形)．(2a) Gamet ノ成熟ニ近キモノ．(3a♀)まくろがめーと Macrogamet(雌性生殖體)．(3a♂)みくろがめーと Microgamet (雄性生殖體.)　(1) 雄性生殖體ヨリ多數ノ Microgamet (精蟲ニ相當)ガ游走シテ雌性生殖體ニ入ル狀ヲ示ス．(II III IV) おおをきねーと Ookinet.(V)おおちすてー Oocyste (VI)すぽろぶらすと Sporoblast (VII)すぽろつおいと Sporozoit．Sporozoit (VII)ハ Anopheles 蚊ノ刺嘴(イ)ヲ通ジテ人體血中ニ入リ，更ニ赤血球(ロ)ニ穿入シテ，Schizont トナリ，Schzogonie ヲ營ム．Merozoit (3) ノ一部ハ，Gamet (1a 2a 等) ニ變ズ．Gamet (2a)ハ，體內ノ狀態ニ由リ處女生殖 Parthenogenese ヲ營ミ，Merozoit ヲ造ルコトアリ．雌雄ノ Gamet (3a♀及 3a♂)ハ，蚊刺嘴(イ)ヲ通ジテ蚊ノ消化器內ニ入リ，茲ニ有性生殖ヲ營ミ，Ookinet(II)ヨリ Oocyste(V)Sporozoit (VI)トナリ．更ニ　Sporoblast (VII)トナリ．蚊刺嘴ヲ通ジテ，人血中ニ入ルコト前ノ如シ.

Chinin ノ解熱量ヲ用キタル後ニ現ル、所ノ體溫低降ト物質交換作用ノ減衰トヲ更ニ精シク說明センニ：—1）胃腸ニ於テ Catarrh 狀態ヲ生ズルガ爲メニ消化及ビ吸收ヲ妨ゲ，從ヒテ體溫ノ發生ヲ減ジ， 2）呼吸及ビ心臟ノ作用ガ衰フル爲ニモ體溫發生ヲ減ジ， 3）組織ノ細胞ノ生活力ガ衰フル爲ニモ亦體溫發生ヲ減ジ， 4）恐ラクハ溫中樞ノ麻痺ニヨリテ放溫ヲ增加ス．而シテ此第4ノ作用ハ Antipyrin 及ビ Salicyl 酸ニ比スレバ大ニ劣ルモノトス．故ニ溫放散ヲ盛ニシテ體溫ヲ低降セシムル點ニ於テ Chinin ハ Antipyrin 及ビ Salicyl 酸ニ劣レリト雖ドモ， Antipyrin 及ビ Salicyl 酸ノ如ク溫發生（新陳代謝）ヲ亢進スルコトナクシテ，却テソレヲ大ニ衰弱セシムルモノナリ．但シ健康ナル動物ニ Chinin ノ微量ヲ與ヘルトキハ却テ體溫ガ少ク昇騰スルハ，第2及ビ第3ノ作用ニ相反シテ組織ノ細胞ガ刺戟興奮セラルヽニヨリ呼吸，心臟ノ作用竝ニ組織ノ新陳代謝ノ作用ヲ增加シ，組織ニ於ケル燃燒多キガ爲メナリ．

Chinin ノ Malaria Plasmodium ニ對スル作用ハ Malaria ノ3日熱 Febris tertiana タルト，4日熱 Febris quartana タルト，將タ又熱帶熱卽チ惡性熱 Febris tropica. s. F. perniciosa タルトニ論ナク效ヲ奏スルガ故ニ，何レノ熱ニアツテモ發作以前3–5時間ニ投藥スレバ其目的ヲ達シ得可シ．但シ發作ノ際ニ血漿中ニ分離散布セラレタル起熱物ニ對シ， Chinin ハ格別ナル作用ナキヲ以テ，此時當然來ルベキ體溫昇騰ニ向テハ單ニ普通ノ解熱藥トシテ，而カモ Antipyrin 若クハ Salicyl 酸ニ及バザル解熱作用ヲ致スニ過ズト雖ドモ，血漿中ヲ游走スル原蟲ヲ毒殺スルヲ以テ，次ニ現ハル、發作ハ非常ニ弱シ：如此ニシテ每回ノ發作ニ先チテ Chinin ヲ與フレバ，終ニハ全ク此原蟲ヲ殺シ盡クシテ發作ヲ消滅セシムルニ至ル可キモノトス．

既ニ Chinin ノ Malaria 原蟲ニ對スル毒力ハ如此クニ顯著ナルヲ以テ，人ニ於テハ普通ノ Malaria 熱ノ外ニ尙ホ假面 Melaria ノ如キ定型性ノ神經痛ト偏頭痛ヲ主徵トスルモノニ至ルマデ，苟モ其病原ガ Plasmodium ニ由ルモノニハ，用キテ凡テ著效ヲ奏シツヽアリ．

Chinin ニハ錯誤作用アルヲ以テ，之ニ對シ特異體質ヲ有スル人ニ處方スレバ皮膚發疹，腎炎竝ニ高熱ヲ來サシムル事アリ，動物ニモ恐ラクハ特異體質ヲ有スルモノアル可シ．

Chinin ノ大量例ヘバ10瓦以上ヲ馬ニ與フレバ容易ニ虛脫ニ陷ル恐アリ．

性狀及應用

1) 鹽酸きにーね Chininum hydrochlorium.

$C_{20}H_{24}N_2O_2.Hcl+2H_2O$

著キ苦味ヲ有スル絹絲樣光澤ノ白色鍼狀ノ結晶ナリ．

34分ノ水，2分ノ沸湯，3分ノ酒精及ビ6分ノ Chloroform ニ溶解ス．

2) 硫酸きにーね Chininum. sulfuricum.

$(C_{20}H_{24}N_2O_2)_2.H_2SO_4+8H_2O$

著キ苦味ヲ有スル絹絲樣光澤ノ白色鍼狀ノ結晶ナリ．

大氣ニ觸ルレバ風化シ，味甚ダ苦ク，大約800分ノ水，30分ノ沸湯，60分ノ酒精ニ溶解ス．

3) 重硫酸きにーね Chininum bisulfnricum.

$C_{20}H_{24}N_2O_2.H_2SO_4+7H_2O$

光輝アル無色ノ稜柱狀結晶ニシテ，味甚ダ苦シ．

11分ノ水，竝ニ32分ノ酒精ニ溶解ス；近頃人ニ於テ應用スルモノアリ．

馬ニハ鹽酸 Chinine ヲ散劑トナシ飼料ニ混ジテ與フル事ヲ得可シ．

人ノ Malaria ニハ，第1日ニ於テ發作前3–5時間ニ1.0瓦ヲ頓服セシメ，其翌日ヨリハ0.5–1.5瓦ヲ1日量トナシ3回ニ分服セシム．

以上3種ノ製劑ハ人ノ Malaria ニ於テ盛ニ應用セラルレドモ，家畜ニハ本症ヲ認ムル事極メテ稀ナレバ，從テ Chinin ヲ要スル事モ亦少シト雖ドモ，敗血症，膿毒症等ノ熱ニ向テ屢、解熱劑トナシ，且ツ Croup 性肺炎及ビ傳染性貧血ノ熱ニモ試用セラル；但シ流行性感冒，胸疫，犬瘟熱等ニ向テ解熱劑トナストモ Antifebrin 及ビ Antipyrin ニ劣レリト云フ說アリ (Fröhner)；然ルニ著者ハ Chinin ガ犬瘟熱ニハ比較的良效アル事ヲ屢、實驗セリ；而シテ Chinin ノ解熱ノ效力ノ持續ハ大約半日間ナリ．

異常醱酵ニ原因スルトコロノ消化不良ニ向テ鹽酸 Chinine ノ少量ヲ稀酸酸ニ配合シテ與フルコトハ汎ク行ハル，

Chinin ノ少量ハ健胃强壯劑トシテ使用セラル、コト多シ，是レ Chinin ハ苦味ヲ有スル爲ナリト信ジラレタリシガ，其實ハ胃ヲ刺戟シテ食慾ヲ進メ，且ツ物質交換作用ヲ催進スルニ基クモノナリ，但シ大量ヲ用ユレバ容易ニ胃ヲ害シテ嘔心，嘔吐ヲ來ス．

肺炎ノ第2期ニ於テ之ヲ用キ，以テ白血球ノ血管外游出ヲ制限スル事アリ．或ハ又人ニ於テハ百日咳及ビ神經痛ノ際ニ輕キ腦ノ麻醉劑トナス事アリ．左レド是等ノ應用ハ獸醫術上極メテ稀ニ遭遇スルモノナルベシ．

解熱劑ノ用量(連用スレバ虚脱ニ陥ル).

大動物	10.0–25.0	少動物	0.1– 1.0
中動物	1.0– 5.0	人	0.5– 2.0

健胃劑ノ用量(連用スルトモ害ヲ招クコト少シ).

解熱劑ノ用量ノ $^1/_{10}$–$^1/_5$ トス.

處方例

1) 鹽酸きにーね　25.0
澱粉 ｝
あらびあごむ｝　各適宜
4丸トナシ，毎日2丸宛與フ(馬ノ解熱劑).

3) 鹽酸きにーね　5.0
亞砒酸　0.05
あらびあごむ｝
白糖　｝　各適宜
20丸トナシ毎日1–2丸ヲ與フ（犬ノ白血病).

3) 鹽酸きにーね　5.0
稀鹽酸　5.cc.
單舍利別　20.cc.
蒸餾水　250.cc.
混和溶液トナシ，毎日3–4食匙宛與フ(犬ノ膿毒症).

4) 枸櫞酸鐵きにーね Chinium ferrocitricum.

光澤アル透明帶綠黄色ノ薄キ小葉片ニシテ，弱酸性ノ反應ヲ徵シ，其味苦ク微ニ鐵味ヲ帶ビ，水ニハ徐々ナレド全ク溶解シ．酒精ニハ微ニ溶解ス；此モノハ枸櫞酸鐵〔$Fe_2(C_6H_5O_7)_2$〕及ビ枸櫞酸 Chinine 〔$(C_{20}H_{24}N_2O_2)_3C_6H_5O_7$〕ノ混合體ニシテ，Chinin ノ含量ハ 12.5%ニ當ル.

往時ハ之レヲ人ノ貧血症ニ向テ應用シタレドモ，今ハ行ハレズ.

5) きのぴりん Chinopyrinum.

鹽酸 Chinine 3分 Antipyrin 2分ヲ相混ジタルモノヲ Chinopyrin ト稱シ，極メテ水ニ溶解シ易クシテ，之レヲ皮下注射スルモ吸收セラレ得ルニヨリ，皮下注入若クハ靜脈內注入ニハ此製劑ヲ選用ス可シ.

Antipyrin ノ代リニ Urethan 若クハ Phenocoll ヲ以テスルモ，同樣ニ皮下注射及ビ靜脈內注入ニ適スル合劑ヲ得.

6) ゑちーる炭酸きにーね又おいきにん Chininum aethylcarbonicum. od. Euchininum.

$C_{20}H_{23}N_2O_2{\cdot}C_2H_5CO_2$

纖細白色ノ鍼狀結晶ニシテ，殆ンド味無ク，水ニ溶ケ難ク，酒精，Aether 及ビ Chloroform ニハ容易ニ溶解ス.

味無キヲ以テ小兒ニ用ユルニ適シ，特ニ百日咳ニ向テ賞用セラル．未ダ獸醫術ニ應用セラレタル事少キモ，犬ト猫トニハ飼料ニ混ジテ與フルニ妙ナリト信ズ．用量ハ鹽酸 Chinine ノ1.5倍トスレバ可ナリ.

7) たんにん酸きにーね Chininum tannicum.

$(C_{20}H_{24}N_2O_2.2C_{14}H_{10}O_3)$

黄白色無晶形ノ粉末ニシテ，苦味，澁味共ニ極テ少ク，水ニ溶解シ難ク酒精ニ溶解シ易シ；前者ト同一ノ長所ヲ有スルヲ以テ；現今盛ニ小兒ノ疾病ニ用キ，又大人ト雖モ鹽酸きにーね ノ苦味ヲ嫌フ者ニハソレニ代用ス．用量ハ鹽酸 Chinine ノ2倍ナリ.

8) ありすとひん Aristochin. $(C_{20}H_{23}N_2O_2)_2CO$.

Chinin ノ炭酸 Ester 化合體ニシテ，水ニ不溶解ナル無味無臭ノ結晶ナリ，96%ノ Chinin ヲ含有ス.

近來小兒ノ百日咳ニ向テ一般ニ用キラルヽモノニシテ，乳兒ナラバ生後ノ月數ニ相當シタル廳 (cg) ヲ處方ス．殆ド百日咳ノ特效藥ト認ムルモノアリ.

9) きな皮 Cortex Chinae

China 皮ハ赤褐色ノ木皮ニシテ，日本藥局方ニ於テハ印度ニ產スル茜草科植物ノ赤色きな樹(Cinchona succirubra，高サ25 mニ達スル喬木) ノ皮ヲ採用シ，4%以上ノ Alkaloid ヲ含有ス；其成分中ノ主要ナルモノハ次ノ如シ.

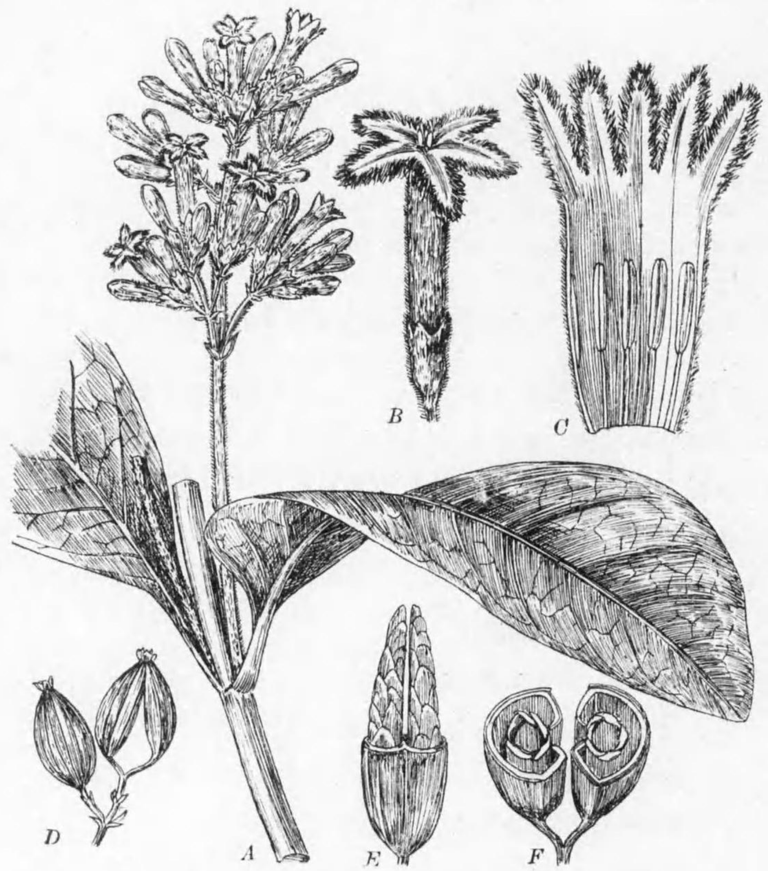
きにーん (Chinin)
きにぢーん (Chinidin)
しんこにーん (Cinchonin)
しんこにぢーん (Cinchonidin)
きな酸 (Chinasäure)
きな鞣酸 (Chinagerbsäure)
きな赤色素 (Chinaroth)

China 皮ハ主ニ苦味健胃藥トシテ小動物ノ消化不良ニ對シテ用キラル，此際通例煎劑トナシ稀鹽酸ヲ配合ス．又 China 皮

中ノ China 鞣酸ノ收斂作用ヲ以テ腎炎，膀胱炎，下痢等ヲ治療シ或ハ又創傷撒布劑ノ賦形藥トナス事アリ．

China 皮ハ獸醫ニモ人醫ニモ同ジ目的ニテ甚多ク用キラル，之ヲ煎劑トナスニハ豫メ稀鹽酸ヲ所要ノ水ト共ニ加ヘテ煎出スルヲ良シトス．

第 3 圖
赤色 China 樹



A 天然大ノ本植物ノ枝　　B 花
C 開展セル花冠　　D 破綻セル覆果
E 屋瓦狀ニ排列セル種子　　F 覆果ノ橫斷面

用 量

大動物	10.0–50.0
中動物	5.0–10.0
小動物	1.0– 5.0

處方例

1) きな皮煎　(5.0)150.cc.
稀鹽酸　2.cc.
混和1日3回1茶匙宛與フ(犬ノ慢性胃 Catarrh) 人ニハ此處方ヲ1日分トナシ3回ニ服用セシム

2) きな皮末　50.0
澱粉　100.0
單舍利別　適宜
舐劑トナシ，2分シ2日間ニ與フ(馬ノ下痢)．

10) きな越幾斯 Extractum Chinae.

稀酒精ニ溶解スル所ノ赤褐色越幾斯ニシテ，之レニ含有セル Alkaloid ハ 12 %以上ニ達シ；きな皮ノ用量ノ 1/10 ヲ以テ消化不良ニ用ユレドモ寧ロ殆ド無用ノ製劑ト云フ可シ．

11) きな丁幾 Tinctura Chinae.

China 皮末1分，稀酒精5分ヨリ成レル透明赤褐色ノ液ニシテ，犬，猫ノ胃腸 Catarrh ニ 5–25 滴ヲ與フ．

處方例

きな丁幾 / 大黃丁幾　各 25.cc.
混和，1日3回10滴ヅヽ (猫ノ慢性腸 Catarrh)．

此他尙ホ きな流動越幾斯 Extractum Chinae fluidum，きな酒 Vinum Chinae 等ノ製劑アレドモ，アマリ要ナキモノナレバ省略セリ．

12) をぷとひんゎれみじん Optochin od. Remijin.

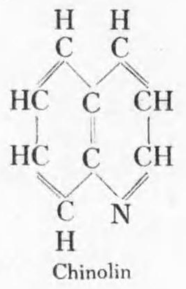
化學的ノ名稱ハ ゑちーるひどろくぷれいん Aethylhydrocuprein ニシテ China-Alkaloid ノ誘導體ナリ．1911年もるげんろーと Morgenroth 氏ノ研究ニ依リ Fränkel 氏肺炎菌ニ向テ特殊ノ殺菌性ヲ有スルト云フ結果ニ基キ，肺炎，蛇行性角膜炎，肺炎菌 Angina 等ニ著效アリトセラル．

水ニ溶解シ難キ淡褐色ノ結晶性粉末ニシテ，未ダ肝變期ニ達セザル初期ノ人ノ Influenza 肺炎卽チ其第1–2日ニ於テ，1回 0.25 g 宛4時間毎ニ晝夜間斷ナク服用セシメ，24時間內ノ藥用總量ヲ 1.5g トシ1–3日間連用スレバ奏效ス，但シ用量過グル時ハ黑內障ヲ招致シ，且ツ服用ノ際吐出シ易キヲ以テ，Oblat ニ包ミ少許ノ牛乳又ハ茶ト共ニ用ユベシ．

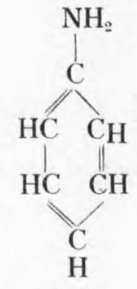
眼科用ノモノハ鹽酸 Optochin ノ水溶液ナリ．

第23. あんちぴりん屬 Gruppe des Antipyrins.

之レニ屬スル藥品ハ其化學的構成ヨリ云ヘバ，何レモ きのーりん(Chinolin)，あにりん (Anilin) 及ビ ひどらちん(Hydrazin) ノ誘導體ニシテ，組織ノ細胞ニ向テ毒性少キヲ以テ Chinin 屬ヨリ區別セラレ，又防腐力少キヲ以テ さりちーる酸屬ヨリ區別セラル.



Chinolin



Anilin

$H_2N\text{-}NH_2$

Hydrazin

動物體ノ體溫ハ熱ノ發生ト放散トノ關係ニ據テ調節セラル、モノニシテ，熱ノ發生ハ主トシテ肝臟及ビ筋肉ニ於テシ，其放散ハ皮膚ノ表面及ビ肺ノ呼吸ニ於テス，而シテ體溫ヲ調節スル中樞ノ位置ハ未ダ精細ニ知ラレザレドモ，中腦ニアルコトハ確實ニシテ，之レヲ藥理的ニ於テ研究スル時ハ，狹義ノ溫中樞ト冷中樞トニ區分スルコトヲ得. 溫中樞ハ交感神經系ニ屬シ， Adrenalin, Cocain, Caffein, Ephedrin, 等ニ依テ刺戟セラレテ發熱シ，ソレニ相反シテ冷中樞ハ副交感神經系ニ屬シ，Santonin Pilocarpin, Digitalis, Veratrin, Pikrotoxin, Anilin, Phenol, 等ニ依テ刺戟セラレ體溫ヲ低下ス. 同理ニ依リ溫中樞ヲ麻痺スル藥品ヲ用ユレバ體溫ヲ低降スベク，冷中樞ヲ麻痺スル藥品ニテハ體溫ヲ昇騰セシムベシ，爰ニ論ズルモノハ溫中樞ヲ麻痺スルガ爲メニ體溫放散ヲ多クシ，隨テ體溫低降ヲ來ス所ノモノナリ. 此外ニ尙ホ腦ニ作用シテ體溫ノ放散ヲ多少スルモノヲ中樞性作用ノ藥品ト云ヒ，肝臟及ビ筋肉等ニ作用シテ體溫ノ發生ヲ多少スルモノヲ末梢性作用ノモノトシテ說明スルモノ亦之レアレドモ，普通ニ藥品トシテ使用セラルヽモノハ中樞性ニシテ溫中樞ヲ麻痺シテ體溫放散ヲ盛ナラシムル所ノ解熱劑ノミナリ.

本屬藥品ノ特殊ナル長所ハ腦ニ於ケル溫中樞ヲ麻痺シ，從ツテ發熱性患畜ノ高熱ヲ著ク低降セシムルト雖ドモ，中心神經系ノ其他ノ部分及ビ循環裝置(血管及ビ心臟)ヲ麻痺スル所ノ作用ガ比較的ニ少シ.

是等ノ藥品ハ凡テ解熱作用及ビ鎭靜作用 (Beruhigung) ヲ呈シ，作用高度ニ及ブナラバ麻醉作用ヲモ現ハシ，更ニ甚ダシケレバ虛脫ニ陷ラシムト雖ドモ，其作用ハ通常徐々ニ現ハレ緩和ニ經過ス. ソレニ相反シ Salicyl 酸屬ノ解熱作用ハ卒然トシテ現ハレ，急劇ニ經過ス. 故ニ本屬藥品ハ虛脫ヲ來ス事少ク，ソレニ反シテ Salicyl 酸屬藥品ニハ其危險多シ.

Antipyrin ヲ健康ナル人ニ就テ試ミルニ，少量ヲ與フレバ體溫毫モ變化セザルカ，或ハ却テ僅カニ上昇シ; 大量ヲ與フルモ僅カニ 0.2–0.3 度ノ低降ヲ來スノミナリ. 然ルニ之レニ反シテ熱性病アル人ニ向テ適度ニ用ユレバ，常溫乃至其以下ニモ低降セシム. 左レド此體溫低降ノ作用ハ藥效ガ失ハルヽニ隨テ漸ク消失シ體溫再ビ上昇スルニヨリ，投藥ヲ反復シテ藥效ヲ持續セシム可シ. 而シテ體溫ガ低降スルヤ，必ズ其結果トシテ脈搏モ亦緩慢トナルモノナリ.

凡ソ體溫ノ低降ヲ來ス可キ原因ハ虛脫ノ結果ナルカ，又ハ新陳代謝ヲ減ジ從ヒテ溫ノ發生ヲ少クシタル爲ナルカ，或ハ又溫中

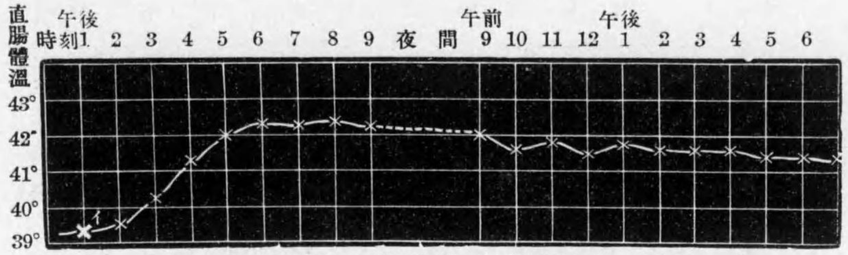
樞ヲ麻痺シテ溫ノ放散ヲ增加シタル爲ナルカ; 3種ノ作用ノ何レカニ外ナラズ. 而シテ Antipyrin 屬ノ藥品ハ容易ニ虛脫ヲ來サザルニ依リ, 彼ノ Veratrin ノ如ク虛脫ヲ來シタル結果トシテ解熱シタルモノニ非ルハ明白ナリ; 左レバ是等ノ藥品ハ新陳代謝ノ上ニ感作ヲ及ボシ, 體溫ノ發生ヲ減ジテ奏效スルヤ, 將タ又然ラズシテ溫中樞ニ作用シテ, 放溫ヲ增加スルガ爲ニ解熱セシムルモノナルヤヲ明カニスルハ頗ル必要ノ件ト云フ可シ.

卽チ少量ヲ與フレバ窒素ノ排泄ヲ增加シ, 却テ新陳代謝 (Stoffwechsel) ノ機能ハ旺盛トナル. 大量ヲ與フレバ窒素ノ排泄ハ始メニ著シク增加シ, 後ニハ少ク減少ス; 其後ノ減少ハ始メノ著キ增加ヲ補償スルモノニシテ, 前後ヲ平均スレバ, 藥用セザル時ヨリモ窒素ノ排泄セラルヽ事多キヲ以テ, 明カニ此場合ニモ新陳代謝機能ガ旺盛トナレルヲ認ム. 此故ニ新陳代謝機能ヲ減ジ, 從テ熱ノ發生ヲ少ナカラシメタル結果トシテ體溫低降ヲ來スト云ヘル說ハ全ク誤レルモノナリ. 卽チ此解熱作用ハ溫中樞ニ於ケル感作ト認メザルヲ得ズシテ, 而モ此感作ハ實驗的ニ證明シ得ラルルナリ. 假令バ家兎ノ腦ノ線狀體 (Corpus striatum) ヲ刺傷 (溫刺 Wärmestich) スル時ハ, 體溫忽チ昇騰シ42度尙ホ其以上ニ達スレドモ, Antipyrin 0,5g ヲ皮下注射スレバ, 1-2時間ニシテ平溫ニ復シ, ソレヨリシテ6–8時間ノ後ニハ再ビ42度內外ノ高熱ヲ發ス. Antipyrin ノ代リニ鹽酸 Morphine 0.01–0.02 g ヲ皮下注入スルモ, 同一ノ成績ヲ顯ハシ得可キナリ. 故ニ Antipyrin 若クハ鹽酸 Morphine ハ溫刺ノ刺戟ニ因テ興奮シタル溫中樞ヲ麻痺シテ安靜狀態ニ復歸セシメ以テ體溫ヲ低降スルモノナリ.

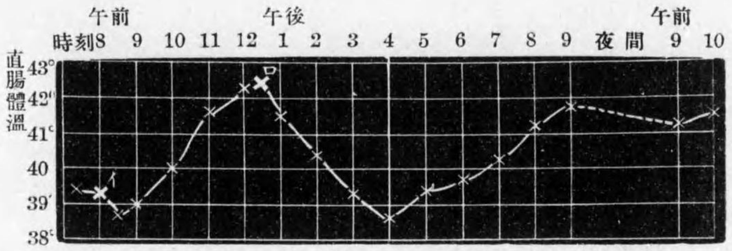
語ヲ換ヘテ之ヲ云フ時ハ, Antipyrin ヲ與フル時ハ, 體內ニ於ケル新陳代謝ノ機能ハ亢進シ, 却テ體溫ヲ發生スル事多シト雖ドモ, 腦ニ位シテ體溫放散ヲ制限スル所ノ中樞ノ異常興奮ヲ除去

第 4 圖

(家兎ニ於ケル林博士ノ實驗)



家兎ニ溫刺ヲ施シタル後ノ熱譜. (イ)溫刺ヲ施セル時間.



(イ)溫刺時刻. (ロ)Antipyrin 0.5 皮下注射時刻.
高熱ガ Antipyrin ノ爲ニ下降シ, 藥效ガ去ルニ從ヒ再ビ昇騰スル狀ヲ示ス.

シ充分ニ體溫ヲ失ハシムル爲メニ體溫ノ低降ヲ認ムルモノナリ.

實際 Antipyrin 其他ノ本屬藥品ヲ用ユル時ハ, 皮膚血管ガ著ク擴張シ, 皮膚ニ來ル處ノ血液ヲ增加シ之レガ爲メニ, 1) 血液ハ外氣ニ觸レテ冷却セラルヽ事ノ多キ外ニ尙ホ, 2) 溫ノ放散ノ增加, 3) 水蒸氣ノ發散, 4) 汗ノ分泌等ハ凡テ體溫低降ヲ助クルモノナリ. 故ニ Antipyrin ヲ用ユルト同時ニ Digitalis ヲ與ヘテ血壓ヲ高メ, 末梢血管ニ來ル處ノ血量ヲ一層多クスレバ, 解熱作用モ亦一層著シキモノナリ.

Antipyrin 屬ノ藥品モ亦 Chinin ノ如キ錯誤作用ヲ來ス事アルニ因リ, 之ニ對シ特異體質ヲ有スルモノニ處方スレバ著ク體溫ヲ昇騰セシムル事アリ.

Antipyrin 及ビ其製劑ハ Rheumatis ニ向テ治療ノ效ヲ奏スルガ故ニ, Salicyl 酸化合物ノ代リニ用キラルヽ事アレドモ, 元來 Rheumatis ニ向テハ Salicyl 酸化

合物ヲ特效アル藥品ト認メラル、ヲ以テ，其效無キ時ニ代用ス可キ價値アルニ過ギズ．

Antipyrin ハ皮下注入ニヨリ局所ニ輕微ノ知覺痲痺作用ヲ呈スレドモ，概シテ云ヘバ本屬ノ藥品ハ局所作用ヲ有セズ．

本屬ノ解熱劑ヲ人ニ應用シタル場合ニハ脈搏緩慢ノ外ニ，尙ホ注意ス可キ種々ノ副作用アリ．今其中ノ主要ナルモノヲ述ブ可キナリ．

1) 解熱劑ヲ用キテ體溫ヲ低降セシムル際ニ著キ發汗ヲ生ズル事アリ，左レド此發汗ハ體溫低降ニ向テ必要ノモノニアラズ；何トナレバ Atropin ヲ與ヘテ發汗ヲ制止スルトモ解熱作用ヲ著シク妨害セザレバナリ．

2) 藥效ノ消失ニ依テ體溫ガ再ビ上昇セントスル際ニ惡寒 (Frost) 及ビ戰慄 (Schüttelfrost) ヲ來ス事アリ，藥效ガ速カニ消失スル藥品ヲ用キタルトキ特ニ著シク認メラル．

3) 解熱劑ノ爲メニ脈管運動神經ガ痲痺セラル、時ハ，ソレノ結果トシテ皮膚ニ發疹スル事アリ，此副作用ハ殊ニ Antipyrin ヲ用キタル時ニ認メラレ；紅斑 (Erythema) 粟粒疹 (Miliaria) 或ハ蕁麻疹 (Urticaria) ノ如キ觀ヲ呈スレド，藥用ヲ止ムレバ多クハ久シカラズシテ消失ス．時トシテハ粘膜面ニ於ケル脈管運動神經ガ痲痺スル爲ニ粘膜ノ Catarrh, 水腫，甚ダシキハ出血ヲ認ム，此ノ如キ變狀ハ鼻粘膜及ビ結膜ニ現ハル、事多シ．

4) Acetanilid (Antifebrin) ヲ用ユル時ハ，血液中ニ めたへもぐろびん (Metahaemoglobin) ヲ化生シ赤血球ヲ崩壞シ，ソレガ爲メニ皮膚ノ各所ニ ちあのーぜ (Cyanose) ヲ來シ，且ツ尿ヲ變色 (血色素尿) スル事アリ． 是レ極メテ注意ス可キ危險ナル副作用ニシテ，稀ニハ Phenacetin ヲ用キタル時ニモ生ズル事アリ．

5) 恐ル可キ虛脫ハ解熱劑ヲ用キタル後ニ屢〻認メラル、モノニシテ，其原因ハ藥品ノ大量ヲ用キタル時ニ生ズ可キハ勿論ナレドモ，少量ヲ與ヘタル時ト雖ドモ體溫ガ卒然低降スル場合ニハ，是迄發熱ノ爲メニ興奮シツ、アリシ中心神經系竝ニ心臟ガ俄カニ衰弱シテ虛脫ニ陷ル事モ亦之レアル可キナリ．

爰ニ殊更注意ヲ要スルコトアリ，廣キ意味ニ於テ名ケラレタル溫中樞ナルモノハ，體溫ヲ調節スル所ノ凡テノ機能ヲ含ムモノト認メラル．故ニ其一部分トシテハ，Antipyrin ノ藥用量ヲ以テ痲痺セラル、所ノ體溫放散ヲ制限スル中樞ガ存在スルハ，前文論ジタルガ如シト雖ドモ；此外ニ尙ホ體溫發生ヲ制限スル中樞モアリテ，此中樞ハ Antipyrin ノ著キ大量ヲ與ヘタル時ニ於テ始メテ痲痺ニ陷ルモノナリ；苟モ此中樞ガ健全ナラン限リニハ，體外ノ溫度非常ニ上昇スルニ際シ，體溫ノ發生ヲ制限シテ調節セシメ，以テ平均體溫ニ近ヅカシメントヌルノ能力アレドモ，一朝 Antipyrin ノ大量ヲ與ヘテ痲痺セシムレバ，如此キ能力ガ失ハル、爲ニ，今此動物ヲ高溫度ヲ有スル箱內ニ投入スレバ體溫ノ非常ナル昇騰ヲ認ム可シ．左リナラガ此事ハ Antipyrin ノ藥用量ヨリモ遙カニ大量ヲ與ヘタル時ノ現象タルニ過ギザレバ，藥品ノ效力ニ對シ必要ノ關係ヲ有セズ．

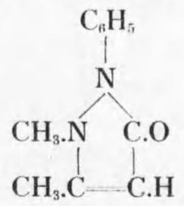
性狀及應用

1) あんちぴりん Antipyrinum.

$C_6H_5(CH_3)_2.C_3HN_2O$

無色稜柱狀ノ結晶若クハ白色結晶性ノ粉末ナリ．

殆ド臭氣無ク味微ニ苦ク等分ノ水，酒精， Chloroform, 大約 50 分ノ Aether ニ溶解ス． Antipyrin ハ ぴろろーる (Pyrrol, C_4H_5N) ノ一種タル ぴらつぉーる (Pyrazol $C_3H_4N_2$) ノ誘導體ニシテ，其化學上ノ構造ヨリ云ヘバ ふぇにーるぢめちーるぴらつぉろん (Phenyl-Dimethylpyrazolon) ナリ．



Antipyrin ハ良好ナル解熱劑ニシテ，其效力ハ比較的迅速ニ現ハレ久シク持續シ，且ツ不快ナル副作用少キノ故ヲ以テ，流行性感冒其他アラユル熱病ニ應用セラレ得可シ． 本屬藥品中ニテ Antipyrin ノ鎭靜作用ハ比較的大ナルヲ以テ，筋肉及ビ關節ノ Rheumatis ノ疼痛ニ應用スル事アリ． 近來ハ屢〻局所痲痺作用ヲ生ゼシムル目的ニテ，皮下注射スルモノサへ之レアリ．

Fröhner 氏ハ 1 回ノ投藥ニ由テ顯レタル效力ガ大概 12 時間繼續スト云ヘリ．

Antipyrin ハ大量ニ用ユルトモ毒性少ナキモノナリ；例ヘバ Fröhner 氏ノ實驗ニ於テ 42 瓩ノ體重アル犬ニ 50. g ノ Antipyrin ヲ 2 回マデ內用セシメタルニ，認ムル可キ有害ナル作用ヲ呈セズ；又 26 瓩ノ體重アル犬ニ向テ 2 週間內ニ內用セシメタル Antipyrin ノ量ハ總計 80 g ニ達シタルモ，是レ亦健康ヲ害スルコトナシ；尙ホ或時ニハ犬ニ 10 g ヲ皮下注入シタルタメ其部ニ膿瘍ハ生ジタルモ Antipyrin ノ吸收作用トシテ認メラレタルモノナカリシ．

Antipyrin ニ對シテ特異體質ヲ有スル人ハ，錯誤作用ヲ現ハシ著キ皮膚ノ發疹，結膜 Catarrh, 鼻 Catarrh, 其他ノ諸粘膜 Catarrh 竝ニ體溫ノ昇騰ヲ見ルコトアリ．

凡テ解熱劑ハ直接ニ患畜ノ生命ニ危險ノ虞アル高熱ニ向テノミ處方ス可シ．

用量(動物ハ通例1日2回ニテ足レリ)

大動物	15.0–25.0	小動物	0.2–2.0
中動物	2.0– 5.0	人	0.5–1.0

處方例

1) あんちぴりん 15.0
澱粉 適宜
爲1丸與フ(馬ノ流行性感冒).

2) あんちぴりん 2.0
蒸餾水 50.cc.
爲溶液1回ニ與フ(犬瘟熱).

2) さりちーる酸あんちぴりん又さりぴりん

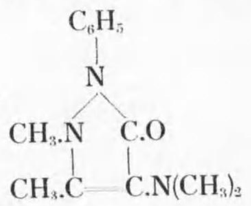
Antipyrinum salicylicum. od. Salipyrinum.

$C_{11}H_{12}N_2O.C_7H_6O_3$

白色無臭微ニ甘味ヲ有スル結晶性ノ粉末若クハ六邊形ノ板狀結晶ヲナシ, 200分ノ冷水, 25分ノ沸湯及ビ適宜ノ酒精, Chloroform, 等ニ溶解ス.

化學上ヨリ云ヘバ Antipyrin ト Salicyl 酸トノ化合體ニシテ, 詳ク云ヘバさりちーる酸ふぇにーる ぢめちーる ぴらつぉろん (Salicylsaures Phenyl-Dimethyl-Pyrazolon) ナリ. 解熱劑若クハ Rheumatis 劑トナシ Antipyrin 若クハ Salicyl 酸 Natrium ニ代用ス; 其用量ハ Antipyrin ニ同ジ.

3) ぢめちーるあみごあんちぴりん又びらみごん Dimethylamidoantipyrinum od. Pyramidonum.



白色微細ノ結晶ナリ.

微ニ苦味ヲ有シ20分ノ水ニ溶解シ, 酒精及ビ Aether ニハ容易ニ溶解ス.

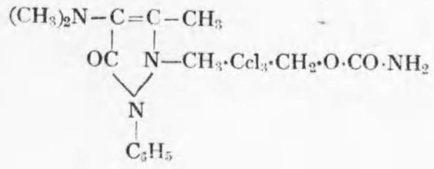
Pyramidon ハ解熱作用及ビ鎮靜作用ニ於テ殆ド全ク Antipyrin ニ等シク, 而モ效力ハ3–4倍强キヲ以テ, 近來人ニ於テ結核患者ノ解熱劑トシテ甚多ク處方セラル; 其用量ハ Antipyrin

ノ 1/2 ニシテ人ノ1回ノ用量 0,2–0.4 極量 0.5 ナリ

めるぶりん Melubrin ト稱スルモノハ Pyramidon ニ酷似シタル良好ノ解熱劑ニシテ, 人ニ對スル1回量ハ1.0g內外ナリ. 副作用少キヲ以テ賞用セラル.

4) こむぷらーる Compral

化學上ノ構造ヨリ云ヘバ, Trichlor-aethyl-urethan-dimethyl-amidoantipyrin 卽チ Voluntal ト Pyramidon トノ結合體ナリ. 解熱劑トシテ有效ナルハ勿論ナレドモ, 齎ロ鎭痛劑トシテ神經痛, Rheumatis 等ニ賞用セラレ, 人ニ對スル1回量 0.5, 1日量 1.0 ナリ.



5) あせとあにりーど又あんちふぇぶりん Acetanilidum. od. Antifebrinum.

$C_6H_5.N<^{H}_{CH_3CO}$

光輝アル無色ノ葉狀結晶ナリ.

化學上ヨリ云ヘバ, あにりん (Anilin. $C_6H_5.NH_2$) ノ礒基 (Amin. NH_2) 中ノ水素1原子ヲ醋酸基 (Acetyl. $CH_3.CO$) ニ依テ交換シタル所ノモノナレバ, あせとあにりーど (Acetanilidum) ト稱セラル. 中性ノ反應ヲ徵シ, 臭氣ナク味微ニ灼クガ如シ, 大約200分ノ冷水, 18分ノ沸湯及ビ3.5分ノ酒精ニ溶解ス.

本劑ハ Antipyrin ニ次デ確效アルトコロノ解熱劑ニシテ, 且ツ甚廉價ナルニヨリ家畜ノ治療藥トナスニ適スルモノナリ. 馬ノ胸疫, 肺炎, 流行性感冒, 竝ニ犬瘟熱ニ向テ良效アリ. 又腐敗及ビ醱酵ヲ制止スルノ力モ少ク之レアルガ故ニ, 創傷撒布藥ノ一成分トナス事ヲ得; 其他稀ニハ Rheumatis 及ビ神經痛ニ向テ鎭痛劑ト爲ス事アリ.

Fröhner 氏ハ1回ノ投藥ニ由テ顯ハレタル效力ハ 5–10 時間繼續スト云ヘリ. 人, 犬及ビ猫ニ於テ Antifebrin ハ Metahaemogrobin ヲ化生シ尙ホ Antipyrin

ヨリモ虚脱ヲ來シ易ケレバ，老人及ビ小兒ニハ特ニ注意シテ處方セラル.

ふりーどべるげる氏 (Friedberger) が馬ノ胸疫及ビ肺炎ニ向テ用キシ1日ノ量ハ90.0–100.0ニシテ，顯著ナル解熱作用ヲ認メ時トシテハ60.0ヲ以テ奏效セシト云フ. るっふはう氏(Luchhau)が馬ノ胸疫及ビ流行性感冒ニ用キシハ，1回ニ30.0–45.0トシ1日1回ヲ例トシ，必要ナレバ同ジ用量ヲ尚ホ1回與ヘタリ；其成績頗ル好ニシテ充分ニ解熱作用ヲ認メタルノミナラズ，毫モ不快ナル副作用ヲ顯ハスコトナク，却テ食慾增加シ榮養ヲ保持シ且ツ恢復期ヲ短縮セリト云フ. Fröhner 氏ノ說ニテハ. 健康ナル馬ニ300.0健康ナル牛ニ250.0ヲ與ヘタルトキ動物ガ死スルマデニハ至ラザリシ，併シ馬ハ60.0–75.0ヲ以テスラ中毒シ，運動麻痺ノ種々ナル徵候ヲ顯ハシ，ソレヨリモ大量ナラバ運動麻痺ノ外ニ尚ホ中心神經系ノ麻痺，體溫ノ低降，心悸亢進，消化器ノ障碍等氣遣ハシキ變狀ヲ呈スト云フ. 著者ノ經驗モ亦最後ノ Fröhner 氏ノ說ニ一致シ，Antifebrin ノ大量卽チ 30.0 以上ヲ用ユルトキハ，元氣俄カニ衰ヘ歩行確カナラズ，心悸亢進シテ却テ疾病ノ經過ヲ不良ナラシメタリ. 更ニ Fröhner 氏ハ云ヘリ；曰ク犬ハ Antifebrin ニ對シテ感受性強ク，死ヲ來ス可キ量ハ體重1瓩ニ付キ0.2ナリト；要スルニ Antifebrin ノ投藥ニハ愼重ナランコトヲ望ム.

用 量

大動物	15.0–30.0
中動物	1.0– 5.0
小動物	0.2– 1.0
人	0.2– 0.4

處方例

1) あせとあにりーど 50.0
澱粉 適宜
3丸トナシ，朝晝夕ニ1丸ヅヽ與フ(馬ノ流行性感冒).

2) あせとあにりーど 75.0
單舍利別 適宜
爲散劑，1日3回ニ分服 (馬ノ胸疫)

3) あせとあにりーど 5.0
木炭末 10.0
混和，創傷撒布劑.

4) あせとあにりーど 0.5
白糖 0.5
爲1包，其5包ヲ作リ，毎日1–2包ヅヽ與フ(犬瘟熱).

5) あせとあにりーど 5.0
あらびあごむ
白糖 各適宜
爲10丸，毎日1–2丸ヅヽ與フ(犬瘟熱).

6) ふゑなせちん Phenacetinum.

$$C_6H_4<\begin{matrix}O.C_2H_5(1)\\NH.CH_3CO(4)\end{matrix}$$

光輝アル無色ノ結晶ナリ.

此モノモ亦 Antifebrin ノ如ク Anilin 誘導體ニシテ，化學上ヨリ云ヘバ あせとばらふゑねちぢん(Acetparaphenetidin)ナリ，無味無臭ニシテ水ニ溶解シ難ク大約17分ノ沸湯及ビ20分ノ酒精ニ溶解ス.

小動物ニ向テ其0.1–1.0ヲ種々ノ場合ニ解熱劑トシテ應用ス (人ノ解熱劑ノ用量ハ0.5–0.7ニシテ尚ホ頭痛ニ對スル鎭痛劑トシテ處方セラル).

Phenacetin ハ味無キヲ以テ，小動物ニ向テ飼料ニ混ジテ與フルニハ妙ナリ.

處方例

1) ふゑなせちん
白糖 各 0.5
1包トナシ，其4包ヲ作リ，毎日1–2包ヅヽ與フ(犬瘟熱).

2) ふゑなせちん 2.0
白糖
あらびあごむ 各 1.0
10丸トナシ，毎日1–2丸ヅヽ與フ(犬瘟熱).

7) らくちーるふゑねちぢん又らくとふゑにん

Lactylphenetidinum. od. Lactopheninum.

$$C_6H_4<\begin{matrix}O.C_2H_5(1)\\NH.C_2H_4.OH.CO(4)\end{matrix}$$

無色無臭微ニ苦味ヲ有スル結晶ニシテ，500分ノ水，55分ノ熱湯又8.5分ノ酒精ニ溶解ス，其化學上ノ構造ヨリ云ヘバ殆ド全ク Phenacetin ニ等シク，唯 Phenacetin 中ノ醋酸基ニ代ユルニ乳酸基ヲ以テシタル差別アルノミ；從ヒテ用途モ亦 Phenacetin ニ同ジク，人ニ於テ解熱劑トナシ又鎭靜劑トシテ特ニ好テ偏頭痛ニ用ユ，用量ハ Phenacetin ノ如ク 0.5–0.7 ナリ.

8) のばるぎん Novalgin

(Phenyldimethyl-pyrazolon-methylaminomethansulfonsaures Natrium)

無色無味無臭ニシテ水ニ溶解シ易シ，人ニ於テハ結核ノ解熱劑トシテ其1.0ニ Pyramidon 0.3 ヲ配合シ，1日分トナシ，3回ニ分チテ服用セシム. 現今ニ於テハ最好評アル解熱劑ニシテ同時ニ鎭痛ノ效力モ亦偉大ナリト云フ.

第24. さりちーる酸屬 Gruppe der Salicylsäure.

本屬ノ芳香酸類及ビソノ えすてる 化合體 (Ester 化合體トハ有機酸ト Alkohol トガ化合セルモノ) ハ甚多シト雖ドモ，其中ニテ學術上竝ニ實地上特ニ必要ナリト認メラルヽモノハ安息

香酸及ビ Salicyl 酸ノミナリ.

本屬ノ藥品ハ一方ニ於テ Antipyrin ノ如ク溫中樞ヲ麻痺シテ解熱作用アリ，然レドモ痙攣及ビ呼吸ノ兩中樞ヲ刺戟スルヲ以テ Antipyrin ヨリ區別セラレ，又他方ニ於テ次ニ論ズル石炭酸ノ如ク痙攣及ビ呼吸ノ兩中樞ヲ刺戟シ，且ツ細胞ノ原形質ヲ侵スタメ消毒作用アレドモ，此消毒作用ハ石炭酸ニ比シテ甚弱シ．從ヒテ Salicyl 酸ハ Antipyrin ノ如キ解熱藥ト石炭酸ノ如キ防腐消毒藥トノ中間ニ位ス可キモノナリ.

Antipyrin	溫中樞麻痺		
Salicyl 酸	同	痙攣中樞及ビ呼吸中樞刺戟	消毒作用（弱）
石炭酸	同	同	同（强）

Salicyl 酸ノ解熱作用ハ全ク Antipyrin ノ如ク溫中樞ノ麻痺ニ依レルモノニシテ，此際新陳代謝ガ却テ亢進シ尿中ニ於ケル窒素排泄量ガ增加スル點モ亦 Antipyrin ヲ用キタル場合ノ如シ．其他解熱ニ伴ヒテ顯ハル、所ノ脈搏緩慢，解熱ノ際ノ發汗，藥效消失ノ爲ニ熱ガ再ビ昇ラントスルトキノ惡寒ト戰慄，藥用量ヲ以テスラ屢、認メラル、皮膚發疹竝ニ大量ヲ用キタル爲ニ陷ル可キ虛脫ニ至ルマデ凡テ Antipyrin ニ等シ．但シ Salicyl 酸ニ就テ恐ルベキ副作用ハ其大量ヲ用ユルニ際シ急性腎炎ヲ喚起シ，尿中ニ蛋白，圓柱，腎上皮細胞ヲ排出スルコトニシテ，此腎臟ニ於ケル Salicyl 酸ノ破壞作用（異化作用）ハ日本酒ノ如ク之レヲ含有スルモノヲ飮用スル者ノ爲ニ深ク注意スベキモノトス.

―― Salicyl 酸及ビ Salicyl 酸 Natrium ハ急性 Rheumatis ニ對スル唯一ノ良劑ナリ．此場合ニハ體溫ヲ低降スルノミナラズ，疾病ノ經過ヲ短縮シ，加フルニ關節ノ腫脹及ビ疼痛ヲ消散セシム．蓋シ Salicyl 酸ハ血液中ニテ Salicyl 酸 Natrium トナリ存在スルモ，炎症アル局部ニ至レバ多量ノ炭酸ノ質量作用ノ爲ニ Natrium ヲ奪ハレテ遊離 Salicyl 酸トナリ，Rheumatis ノ病原體ヲ撲滅スルモノナル可シ.

安息香酸ヲ內用シテ認メラル、作用ハ概シテ Salicyl 酸ニ同ジケレドモ其效力弱シ，然ルニ强ヒテ充分ナル效力ヲ顯ハス迄ノ量ヲ與フレバ容易ニ胃ヲ害スルニ由リ，到底如此キ大量ヲ內服藥トシテ使用ニ堪ヘザルナリ．然レドモ其少量ヲ古來ノ習慣ニヨリ祛痰藥トシテ用ユ，其目的ニハ祛痰作用ト同時ニ氣道粘膜ヲ消毒スル意味ヲ有ス.

多數ノ芳香酸類中ニテ Salicyl 酸ハ比較的ニ防腐消毒力强キガ故ニ酒類ヲ貯藏スルノ際ニ之ヲ加ヘテ防腐スレドモ，小量ヲ以テスラ心臟及ビ腎臟ヲ害スルガ故ニ，放任セラレ得ベキモノニ非ズ．尙ホ Salicyl 酸ヲ以テ腸管內ヲ消毒スルノ目的ニテ，Salicyl 酸 Phenyl ヲ用ユレバ胃ニ於テハ毫モ作用ナクシテ通過シ，腸ニ至リ始テ分解シ Salicyl 酸ト石炭酸トヲ生ジ以テ其效力ヲ顯ハス；又此效力ヲ腸ニ於テスル代リニ膀胱ニ到著スルノ後現ハレシメン爲ニ Salicyl 酸 Phenyl ヲ膀胱 Catarrh ニ向テ應用スルモノサヘ少ナカラズ.

凡テ是等ノ芳香酸類ハ酸ノ形狀ニテアル時ハ脂油ニ溶解スルヲ以テ細胞又ハ細菌ノ りぽいど (Lipoid) 膜ヲ透シテ其體內ニ竄入スルタメ著キ防腐消毒力アレドモ，一朝之ヲ鹽類トナス時ハ脂油ニ不溶解性トナリ全ク此消毒作用ヲ失フ；故ニ防腐消毒ノ目的ニハ鹽類ヲ用ユル能ハズ.

最後ニ尙ホ Salicyl 酸ノミニ特殊ナル作用ハ角質ヲ溶解スル事ニシテ，ソヲ或ル皮膚病特ニ濕疹ニ向テ應用スルコトアリ．又 Salicyl 酸 Natrium ノ大量ハ下腹部血管ヲ擴張シテ其充血ヲ來スニ由リ，妊娠セル動物ニ用ユレバ流產スルコトアリ，又人ニ於テ Typhus 患者ニ與ヘテ腸出血ヲ來スコトアリ，其他心臟衰

弱又ハ急性腎炎ヲ發生シテ危險ナル狀態ニ陷ラシムル事ハ人ニ於テモ動物ニ於テモ稀有ナリトセズ.

Salicyl 酸ハ Antipyrin ニ似タルノミナラズシテ, 又 Chinin ニ似タル所多シ; 卽チ Chinin ノ如ク大量ヲ內用シタル際ニハ容易ニ嘔吐其他ノ胃ノ障碍ヲ來スノミナラズ, 腦ニ於ケル障碍モ亦 Chinin ニ類似ス; 假令バソレガ爲ニ重聽(Taubheit), 耳鳴(Ohrensauren), 眩暈(Schwindel), 頭痛, 昏睡(Benommenheit), 譫妄(Delirien) 等ヲ發スルガ如シ. 左リナガラ Chinin ガ下等動物タル Amöba ニ同テ猛毒ナルニ反シ, Salicyl 酸ガ腐敗, 醱酵, 痼行疹, 白癬, 等ノ原因ヲナス下等植物ニ向テ劇毒ナルハ Chinin ヨリ區別セラル可キ要點ナリトス.

其他ノ芳香酸類中ニテ特ニ記載ノ要アルハ桂皮酸 (肉桂酸トモ云フ Acium Cinnamomi $C_6H_5CH:CH.COOH$)ナリ. 西曆 1892 年 Landerer 氏始テ之ヲ人ノ結核治療ノ目的ヲ以テ靜脈內ニ注入セリ. 次イデ此酸ノ Natrium 化合物ハ へとーる (Hetol) ノ名稱ヲ以テ發賣セラル, 其以來 Hetol ノ靜脈內注入ハ初期ノ結核ニ確效アリトシテ賞用シタルモノアリ, 蓋シ桂皮酸ガ血液中ニ入ルトキハ夥シキ白血球ノ增殖ヲ來シテ以テ結核菌ニ抵抗セシメ, 且ツ つべるくりん (Tuberculin) ノ如ク結核組織ノ周圍ニ向テ慢性ニ經過スル炎症刺戟ヲ致シ, 徐々ニ瘢痕形成 (Narbenbildung) ヲ招致シ, 依テ生ジタル瘢痕ノ被膜ヲ以テ結核ノ病機ノ進行ヲ中止セシメントスルニアリ. 然レドモ此療法ノ效果ハ疑ハシクシテ, 今日ニ於テハ旣ニ一種ノ治療歷史ノモノトナリ了ハレリ.

尙ホ桂皮酸ノ一種ノ誘導體ナル Cianamyl-para-oxyphenyl-harnstoff ヲ ゑるぼん (Elbon) ト名ヅケ肺結核ノ熱ニ特殊ノ效力アリトシテ賞用スルモノアリ.

1) 安息香酸 Acidum benzoicum.

C_6H_5COOH

安息香酸ハ光澤アル白色或ハ類黃色ノ小葉狀結晶若クハ鍼狀結晶ナリ.

酒精, Aether, Chloroform 等ニ溶解シ易ク, 水ニハ僅微ニ, 沸湯ニハ多量ニ溶解ス.

往時ハ解熱劑, 消毒劑特ニ祛痰劑トシテ, 人ニ於テ氣管枝 Catarrh 患者ノ衰弱セルモノニ向テ興奮及ビ祛痰ノ目的ヲ以テ汎ク應用セラレタレドモ, 現時ニ於テハ之レニ優ルモノ多ケレバ殆ド藥用セラレズ; 唯安息香酸綿トシテ綿ヲ消毒スルコトアリ, 又

豚脂ノ腐敗ヲ防グ目的ニ1%ノ比例ニ配合スル事多シ.

解熱劑ノ用量

牛, 馬	20.0–50.0
犬	0.2–2.0

祛痰劑ノ用量

牛, 馬	3.0– 5.0
犬, 人	0.1– 0.5

處方例

1) 安息香酸 10.0
澱粉 適宜
單舍利別ヲ以テ舐劑トナシ與フ(馬ノ膀胱かたーる).

2) 安息香酸 2.0
白糖 10.0
散藥 10 包トナシ每日 1 包ヅツ用ニ(犬ノ氣管枝 Catarrh).

3) 安息香酸 1.0
酸化亞鉛 6.0
豚脂 30.0
うぁるそん氏軟膏ト爲ス(濕疹).

2) 安息香酸なとりうむ Natrium benzoicum.

C_6H_5COONa

安息香酸 Natrium ハ白色無晶形或ハ結晶性ノ粉末ニシテ, 2分ノ水及 55 分ノ酒精ニ溶解ス. 安息香酸ト同一ノ目的ニテ往時ハ盛ニ使用セラレタレドモ今日ハ殆ンド無用ノモノトナレリ.

其他ノ安息香酸化合物中藥品トシテ我局方ニ採用セラレタルモノ5種類アリ.

1) 安息香 Benzoë ハ祛痰劑, 防腐劑, 薰香料トシテ用ヰ. 2) 安息香丁幾 Tinctura benzoës ハ矯臭劑トシテ人ニ用ユル水藥中ニ配合シ. 3) 安息香酸脂 Adeps benzoatus ハ安息香酸1分, 豚脂 99 分ヨリ成レル所ノ軟膏基礎藥タリ. 4) 安息香酸なとりうむかふぇいん Caffeino-Natrium benzoicum $C_8H_{10}N_4O_2.H_2O+2C_6H_5COONa$ ハ利尿劑特ニ强心劑トシテ內用若クハ皮下注入シ (人ノ極量1回1.0, 1日3.0). 5) 安息香酸あむもにうむ Ammonium benzoicum $C_6H_5COONH_4$ ハ祛痰劑, 特ニ老人ノ祛痰劑トシテ 0.5–1.0 宛1日數回內用セシム.

3) さりちーる酸 Acidum salicylicum.

$C_6H_4{<}^{OH\ (1)}_{COOH\ (2)}$

Salicyl 酸ハ白色鍼狀ノ結晶或ハ輕鬆ノ結晶性粉末ナリ.

臭氣無ク其味甘酸ニシテ稍〻苛辣ナリ. 大約 500 分ノ水, 適宜ノ酒精及ビ

Aether ニ溶解ス．硼酸ヲ伍用スレバ水ニ溶ケ易キヲ以テ，濃厚ナル水溶液ヲ製スルニハ之ヲ配合ス可シ(處方第4參照)．

胃腸ニ於ケル醱酵及ビ腐敗，特ニ瀉下痢ヲ制止スル目的ニテ内用セシムルコトアリ．其飽和水溶液ハ子宮及ビ膀胱ヲ洗滌スル外ニ尙ホ猫及ビ家兎ノ創面ヲ洗滌スルニ適ス(是等ノ動物ニ石炭酸ヲ用ユルトキハ中毒シ易ケレバ本劑ヲ應用ス可シ)．其他匍行疹，白癬，及ビ頑癬，等ニ向テ卓越ノ效ヲ現ハシ；又角質ノ溶解力大ナルヲ以テ慢性ノ濕疹ニ用ユル藥劑ニ配合スル事多シ．牛乳及ビ酒ノ腐敗ヲ防グニハ其10萬分中ニ25分ノ比例ニテ加フレバ足レリト雖ドモ，著者ハ此種ノ防腐的處置ガ許可セラレザラン事ヲ希望スルモノナリ．獨逸藥局方ニ採用セラレタル滑石加Salicyl酸ハ Salicyl酸3分，澱粉10分，滑石末87分ヨリ成レルモノニシテ人ノ足汗及ビ濕疹ニ汎ク賞用セラレ，又腋臭ニモ著效アリ．

用　量

大動物	25.0–50.0
中動物	2.0–10.0
小動物	0.1– 1.0
人	0.5– 1.0

處方例

1) さりちーる酸 } 各 2.0
　たんにん酸 }
　かみるれ花浸　(10.0)250cc.
　振盪合劑トナシ 2回ニ分チ4時間ヲ隔テ與フ(犢ノ下痢)．

2) さりちーる酸　5.0
　酒精　100cc.
　溶液トナシ外用(犬ノ脫毛癬)．

3) さりちーる酸　5.0
　酒精適宜ニ溶解シ，
　豚脂　100.0
　混和軟膏トナス(牛ノ乳房炎)．

4) さりちーる酸　5.0
　硼酸　10.0
　蒸餾水　1000cc.
　加溫爲溶液(犬，猫ノ創傷洗滌用)．

5) さりちーる酸　10.0
　單鉛硬膏　70.0
　黃蠟　10.0
　おれーふ油　1.0
　藥用石鹼　5.0
　精製樟腦　1.0
　混和シテ硬膏トナシ布片ニ塗布ス(びっく土肥硬膏ト稱シ，凍瘡其他ニ刺激性硬膏トシテ汎ク用キラル)．

4) さりちーる酸なとりうむ Natrium salicylicum $C_6H_4<^{OH\,(1)}_{COONa\,(2)}$

白色無臭ノ鱗屑狀結晶或ハ結晶性粉末ナリ．

味ハ甘鹹稍〻辛辣ニシテ，1分ノ水及ビ1分ノ酒精ニ溶解ス．

家畜ノ敗血症及ビ膿毒症ノ熱ニ向テ解熱劑トナシタル結果ハ不良ナリシモ，是等ノ2症ヲ除ケバ殆ド凡テノ熱性病ニ向テ應用スルニ適ス．特ニ注意ス可キハ人ト異ナリテ草食動物ハ本劑ノ大量ヲ用ユルトモ中毒スルコト稀有ナレバ投藥上頗ル便ナリ．筋肉及ビ關節ノ Rheumatis ノ急性症ニハ勿論慢性ナルモノニモ著效アリ，寧ロ特效藥ト云フモ不可ナシ．但シ本劑ヲ内用セシメタル後ニハ發汗多キ事ヲ注意シ，尙ホ人ニ於テハ心臟衰弱及ビ急性腎炎ヲ誘發セザルヤヲ顧慮スベシ．

用量ハ Salicyl酸ニ同ジ (人ニ於テ之ヲ内用スルニハ水溶液トナシ，少量ノ苦味丁幾ヲ加フレバ其不快ナル甘味ヲ變ジテ服用シ易シ)．

處方例

1) さりちーる酸なとりうむ　150.0
　澱粉　適宜
　舐劑トナシ，毎日其1/3宛與フ(馬ノ胸疫ノ解熱劑)．

2) さりちーる酸なとりうむ　10.0
　蒸餾水　250cc.
　溶液トナシ，毎日3–5食匙宛與フ(犬ノ急性關節 Rheumatis)．

3) さりちーる酸なとりうむ　100.0
　4包ニ分チ，毎3時其1包ヲ1罎ノ水ニ溶解シテ與フ(牛ノ急性關節 Rheumatis)

5) さりちーる酸ふぇにーる又さろーる Phenylum salicylicum. od. Salolum. $C_6H_4<^{OH(1)}_{COO.C_6H_5(2)}$

白色結晶性ノ粉末ニシテ，微ニ芳香性ノ香味ヲ有シ，水ニハ殆ド溶解セザレドモ，10分ノ酒精及ビ0.3分ノ Aether ニ溶解ス．

本劑ハ Salicyl酸ト石炭酸トノ化合物ニシテ，内用セシムレバ胃中ニ於テ全ク作用セズ，從テ少シモ胃ヲ害スル事無クシテ腸ニ至リ，膵液ニ遇フテ分解シ以テ Salicyl 酸及ビ石炭酸トナル；故ニ Salicyl 酸 Natrium ノ代リニ解熱劑特ニ Rheu-

matis 劑トナセドモ胃ヲ害セザルノ外ニ特別ノ長所アルニ非ズ.

用量前者ニ同シ (Salicyl 酸 Phenyl ハ人ノ Rheumatis ノ外ニ腸 Catarrh, 膀胱 Catarrh, 等ニ向テ防腐消毒ノ意味ヲ以テ甚多ク處方セラル).

處方例

1) さりちーる酸ふぇにーる　0.5
1包トナシ其10包ヲ作リ, 毎3時間ニ1包宛與フ (犬ノ急性關節ろいまちす).

2) (結核ニ對スル含嗽水)

阿仙藥丁幾	各 5.0cc.
みるら丁幾	
芳香丁幾	
さろーる	3.5
薄荷油	2.5cc.
單舍利別	7.0cc.
酒精	90.0cc.

以上ヲ溶液トナシ其20.cc. 中ニ Trypaflavin ヲ 0.1–1.0 %ノ比例ニ於テ溶解シ滴瓶ニ入レ其5–6滴ヲ水100 cc. ニ加ヘテ含嗽水トナス.

6) あせちーるさりちーる酸又あすぴりん
Acidum acetylsalicylicum. od. Aspirinum.

$$C_6H_4<\begin{matrix}O.CH_3CO\ (1)\\COOH\ (2)\end{matrix}$$

白色ノ鱗片若クハ結晶性ノ粉末ナリ (鱗片狀ノモノハ效力强キヲ以テ賞用セラル).

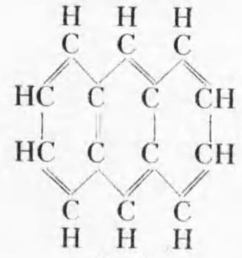
殆ド臭氣ナク水ニハ僅カニ, 熱湯, 酒精及ビ Aether ニハ容易ニ溶解ス.

之ヲ內服セシムルニ殆ンド變化セズシテ胃ヲ通過シ, 腸液ニ遇フテ一部分ハ分解シ Salicyl 酸ト醋酸トナリテ吸收セラレ; 又一部分ハ其儘ニテ吸收セラレ以テ Salicyl 酸ノ作用ト Acetylsalicyl 酸ノ作用トヲ呈ス, 而シテ其優秀ナル作用ハ Acetylsalicyl 酸ノ效力ニシテ遊離サレタル Salicyl 酸ノソレニハ非ズ. 人ノ Rheumatis 劑, 解熱劑竝ニ鎭痛劑トシテハ Salicyl 酸 Natrium ヨリモ多ク賞用セラル. 實際ニ Aspyrin ハ人ノ神經痛ニ於ケル聖藥ニシテ, 其人ニ於ケル用量ハ1回0.5–1.0ナリ. 本劑ハ人ノ解熱劑竝ニ鎭痛劑トシテ汎ク處方セラルレドモ, 酒客, 及ビ心臟疾患アル者ハ屢〻虛脫ニ陷ル虞アルヲ以テ, 如此キ輩ニハ1回ノ用量ヲ0.5以內トス可シ.

7) ぢぷろざーる Diplosalum.

無色無味無臭ノ結晶ニシテ水ニ溶解シ難シ. 此モノハ Sacliyl 酸ノ Salicyl 酸 Ester 化合體ナルヲ以テ腸ニ至レバ分解シテ2分子ノ Slicyl 酸ヲ生ズ. 專ラ Rheumatis ノ治療ニ向テ應用セラレ, 其用量ハ全ク Salicyl 酸ニ等シ.

8) とりぱふらびん Trypaflavin.



Acridin

とりぱふらびん ハ Diamino-methyl-acridinchlorid ニシテ Acridin ノ誘導體ナリ. 日光ニ觸ルレバ容易ニ分解スル所ノ黃色ノ粉末ニシテ, 其ノ水溶液ハ强キ黃色ヲ呈シ, 日光ニ遇フトキハ忽チ分解スレドモ, 消毒力ハ極メテ强キヲ以テ, 人ノ慢性淋病ニ對シ 100–2,000 倍溶液ヲ洗滌用トナシ, 同時ニ又0.5 %液10cc.ヲ靜脈內注入スルノ外ニ, 尙ホ全身傳染病例ヘバ流行性感冒, 膿毒症, 敗血症, 等ニモ靜脈內注入スレバ著效アリト云フ者アリ. 之レヲ要スルニ本劑ハ殺菌力猛烈ニシテ, 組織ノ深部ニマデ達スルニモカ・ワラズ, 局所ノ刺戟作用僅微ナルヲ以テ, 近來汎ク應用セラレ, 稍〻濫用ノ傾向ヲ生ズルニ至レリ.

第25.　石炭酸屬 Gruppe des Carbols.

本屬ノ藥品ハ Salicyl 酸屬藥品ノ如ク, 凡テ芳香化合體ニ屬シ溫中樞ヲ麻痺シテ解熱作用ヲ呈シ, 且ツ細胞ノ原形質ニ向テ一

種特異ナル毒性ヲ有ス. 而シテ其細胞毒タル作用ガ猛烈ナル爲ニ良好ナル防腐消毒藥ト認メラル. 斯ノ如ク石炭酸屬藥品トSalicyl 酸屬藥品トハ互ニ酷似シタル作用ヲ有スレドモ, 甲ハ殺菌作用ガ特ニ烈シキタメ防腐消毒藥トシテ應用セラレ, 乙ハソレニ反シテ溫中樞ヲ麻痺シテ現ハス所ノ解熱作用ガ卓越ナルタメAntipyrin 屬藥品ノ如ク解熱藥トシテ應用セラレ, 而シテ此點ヲ以テ互ニ區別セラル(石炭酸ト稱スレドモ其化學的構造ハ Alkohol ノ種類ニ屬ス).

局所作用 本屬藥品ハ殆ド總テ局所作用ヲ有シ, 就中其作用ノ烈シキモノヲ石炭酸トス; 卽チ其濃厚ナル溶液ハ蛋白質, 竝ニ膠質ヲ凝固スルガ故ニ, 皮膚面ニ觸レシムレバ發炎腐蝕セシメ, 內用スレバ劇甚ナル胃腸炎ヲ發ス. Kreosot 及ビ其他ノ本屬藥品モ亦之ニ類似セル作用アリ.

更ニ又石炭酸, Kreosot, 及ビ薄荷油ハ局所知覺麻痺ノ作用ヲ有ス. 之ガ爲ニ石炭酸ノ稀薄ナル溶液ハ皮膚ノ疼痛特ニ痒覺ヲ麻痺セシムル目的ニ外用セラレ, 濃厚ナル石炭酸, Kreosot, 竝ニ薄荷油ハ齲齒ノ疼痛ヲ消失セシムルガ爲ニ用キラル.

吸收作用 特ニ注意サレタルハ延髓ノ諸中樞ガ始メ刺戟セラレ後ニ麻痺セラルヽ事トス. 大腦及ビ脊髓モ亦同樣ニ侵サルヽモ延髓ノ如ク著シカラズ. 動物試驗ニ於テ石炭酸ヲ皮下注入シ徐々ニ吸收セシムル時ハ, 痙攣, 呼吸. 及ビ脈管神經, 等ノ諸中樞ヲ刺戟スルニヨリ痙攣, 呼吸促迫, 及ビ血壓亢進ヲ來セドモ, 後ニ至レバ知覺, 及ビ運動ノ障碍ヲ發シ, 終ニ中心神經系一般ノ麻痺ヲ來シ, 虛脫ニ陷リテ斃ル, 人ニ於ケル石炭酸ノ中毒ニテハ先ヅ頭痛, 眩暈, 等ノ如キ大腦ニ於ケル刺戟ノ徵候ヲ自覺シ, 汗腺, 唾液腺, 氣管枝粘液腺, 等ノ如キ諸腺ノ分泌ヲ亢進シ, ソレヨリ中毒ガ一層進行スルナラバ, 中心神經系ニ一般ノ麻痺ヲ來

シ, 虛脫ニ陷リテ斃ルヽガ故ニ概シテ動物ノ中毒徵候ニ似タレドモ, 唯著キ相違ト認メラレタルハ動物ニ於テ劈頭發現ス可キ痙攣ガ人ニ於テハ缺クル事ナリトス. 故ニ石炭酸ハ動物試驗ニ於テハ痙攣毒ニシテ, 人畜共ニ中毒ノ爲ニ死スルハ虛脫ニ因ル.

本屬ノ藥品ヲ多量ノ水ニ溶解シ, 化學的ニハ原形質ヲ破壞シ得ザル程度ニ稀釋シ, 腐蝕作用ヲ消失セシメタル後ニ於テ種々ノ病原菌ニ觸ルヽ時ハ, 之レヲ中毒セシメテ其發育ヲ止メ若クハ死滅セシムル事著シ. 例ヘバ芽胞無キ總テノ細菌竝ニ未ダ芽胞ヲ形成セザル總テノ細菌ハ石炭酸ノ3%溶液ニ觸ルヽトキハ概シテ數秒時間內ニ死滅スルモノナリ. くれそーる (Kresol), ちもーる (Thymol), ぐあやこーる (Guajacol), くれおそーる (Kreosol), 等ガ細菌ヲ撲滅セシムル作用ハ石炭酸ト類似セリ.

石炭酸ノ滅菌作用ハ1865年英國ノ醫師りすたー氏 (Lister) ニ依リテ初テ治病上ニ應用セラレタリ, 而シテ石炭酸ハソレヨリ約30年以前, 卽チ1836年ニ るんげ氏 (Runge) ノ製造シタルモノナリ.

本屬竝ニ Salicyl 酸屬ノ藥品ハ實地家ニ於テ一日モ缺ク可カラザル必要ナル防腐消毒藥トナサルヽモノ多キガ故ニ, 今爰ニ使用ノ目的ト藥品ノ選擇トノ關係ヲ略說セン.

汚穢ナル物體ヲ消毒スルニハ龍製たーる (Teer) ノ如ク廉價ナルモノヲ用キ, 飮食物ヲ防腐スルニハ毒性少クシテ臭味共ニ不良ナラザルトコロノ Salicyl 酸ヲ用キ (我國ノ酒ハ多ク之レヲ含有セリ, 酒中ニ含マレタル Salicyl 酸ハ小量ト雖ドモ慢性腎炎ヲ喚起スルヲ以テ衞生上ノ重要ナル問題ナルベシ), 創面ヲ消毒スルニハ使用上ニ便ナル所ノ石炭酸ヲ賞用ス.

Kreosot 及ビ其製劑ヲ以テ肺結核ヲ治療スルガ如キモヤハリ防腐消毒ノ意味ニ於ケル事ト信ゼラル. Kreosot ノ二千倍溶液ハ

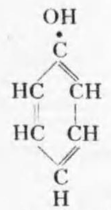
結核菌ヲ滅殺シ，**四千倍溶液ハ其發育ヲ妨害ス．** **內用**シタル Kreosot ヲシテ**血液中ニテ此濃度ニハ達セシムル事能ハズ**，左レド**多少此如キ感作ヲ及ボス事實**アリト認ム可シ，**實際ニ數ケ月間之レヲ用ユル時ハ食慾亢進シ，榮養改善シ，肺ノ病變モ亦輕減スルハ事實**ナリ．此際 Kreosot ガ解熱藥トシテ作用シ，發熱ヲ未前ニ豫防シテ身體ノ消耗ヲ防グ事ト，且ツ又胃腸ニ於ケル異常醱酵ヲ制止シテ，食慾及ビ消化ヲ改良スル事モ與ツテ奏效ヲ助ク可シト雖ドモ．凡テノ情況ヨリ推察スレバ肺及ビ氣管枝ヨリ排泄セラルヽ際ニ，結核菌竝ニ結核菌ト混在シテ化膿ノ**原因**ヲナス釀膿菌ニ對シ發育ヲ妨害スル作用アリト信ズルニ足ル可キトコロアリ．

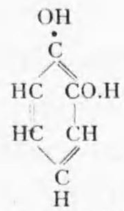
胃腸ニ於ケル異常醱酵ヲ制止スルノミニ本屬藥品ヲ**處方**セント欲セバ，石炭酸，及ビ Kreosot ノ如キ吸收セラレ易キモノハ妙ナラズ．故ニ爰ニハ Thymol 若クハ Menthol ノ如キ吸收セラレ難キ藥品ヲ用ユルカ，左モナクバ Salol ノ如キ腸ニ至リテ分解シ始メテ Salicyl 酸ト石炭酸トヲ生ズルモノヲ選用ス．又 Thymol ハ獨リ胃腸ノ防腐消毒藥トシテ用キラルヽノミナラズシテ，人ノ十二指腸蟲，條蟲及ビ其他ノ腸寄生蟲ニ向テ毒性大ナレバソレ等ヲ驅除スル**目的**ニテ甚多ク**處方**セラル．

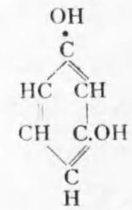
べんつぉーる Benzol ハ**白血球**ニ對シ破壞作用ヲ呈ス．**此原因**ハ骨髓，淋巴腺，及ビ脾臟ニ作用シテ**血液中**ノ白血球ヲ減少スルモノナリ．此作用アルニ**由リ之**ヲ白血病ニ應用スレバ白血球ヲ減少シ，脾臟，及ビ淋巴腺ノ肥大セルモノヲ再ビ縮小セシメテ尋常ノ大サニ復セシムル所ノ良效ヲ奏シ一般症狀ヲ輕快セシム．

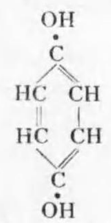
本屬中ノ藥品中ニテ揮發性ナルモノ，例ヘバ石炭酸ハ揮發竄透作用ヲ以テ刺戟スルニヨリ，此作用ノミニ依テモ皮膚ニ觸ルレバ發炎シ，內用スレバ胃腸炎ヲ生ジ，而シテ一旦吸收セラレタルモノガ，腎臟ヨリ排泄セラルヽ際ニハ，爰ニモ刺戟作用ヲ致シテ腎臟炎ヲ生ゼシム．故ニ揮發性アル所ノ石炭酸ノ如キハ稍ゝ濃厚ナル溶液トシテ局所ニ用ユレバ，本屬藥品ニ普通ナル所ノ凝固作用ノ外ニ尙ホ揮發竄透作用ヲ併有シ，同時ニ2種ノ作用ガ共同シテ働クヲ見ル．

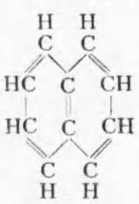
中心神經系ニ於ケル作用ニ於テ石炭酸 C_6H_5OH ニ同ジキモノハ ふれんつかてきん Brenzkatechin，れぞるちん Resorcin，ひどろきのーん Hydrochinon ノ3種ニシテ なふたりん Naphthalin，なふとーる Naphthol ノ2種ハ稍ゝソレニ類似シタルモノト認メラル．

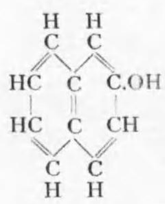

石 炭 酸


Brenzkatechin (1:2)


Resorcin (1:3)


Hydrochinon (1:4)


Naphthalin


β-Naphthol

一旦體內ニ入リタル本屬藥品竝ニ其他ノ芳香化合體ノ末路ニ付キテハ特ニ注意ス可キモノアリ；卽チ其分子ノ構造中ノ べんつぉーる核 Benzolkern ハ通例破壞セラレザルコトヽス．タトヘバ石炭酸(C_6H_5OH) ガ體內ニ入ルヤ一部分ハ酸化セラレテ Brenzkatechin $C_6H_4{<}^{OH(1)}_{OH(2)}$，及ビ Hydrochinon $C_6H_4{<}^{OH(1)}_{OH(4)}$ トナル．此如ク酸化セラレシ石炭酸及ビ未ダ酸化セラレザル石炭酸ハ或ハ硫酸ト化合シ或ハ ぐりくろん酸 Glykuronsäure $C_4H_5(OH)_3{<}^{COOH}_{COOH}$ ト化合シテ尿中ニ出ヅ．而シテ尿中ニテハ醱酵素ノ作用ニヨリ Brenzcatechin 及ビ Hydrochinon ヲ其等ノ化合體ヨリ，分解シテ遊離シ，其遊離サレシ Brenzcatechin 及ビ Hydrochinon ガ空氣ニ觸ルレバ酸化セラレテ暗黑色ヲ呈ス；是レ卽チ石炭酸ノ內用後ニ尿ガ暗黑色ニ變ズル所以ナリトス．此如キ變化ガ行ハルヽ事ハ馬ト人トニ於テ證明セラレタリ．

性狀及應用

1) 石炭酸又かるぼーる Acidum carbolicum. od. Phenolum. C_6H_5OH.

無色或ハ微ニ紅色ヲ帶ブル長キ鍼狀ノ結晶ニシテ，特殊ノ臭氣ヲ有シ，15分ノ水，隨意量ノ酒精，Aether, Chloroform 及ビ Glycerin 等ニ溶解ス.

石炭酸ヲ水溶液トナスニハ重湯煎ヲ以テ加溫融解シ，1/10 分量ノ蒸餾水ヲ加ヘ，振盪シテ冷却スレバ，常溫ニ於テ再ビ結晶スル事無シ. 如此液化セル石炭酸ヲ流動石炭酸 Acidum carbolicum liquefactum ト稱シ，14分ノ水ニ溶解スル事ヲ得可ク，又其比重ハ大約水ニ等シケレバ液量器ヲ以テ要スル分ヲ秤リテ水ニ加ヘ數分時攪拌振盪スレバ溶解ス可キナリ.

創面，潰瘍，其他アラユル場合ニ防腐消毒藥トナシ汎ク用ユ. 羊疥癬ニ向テ殺蟲劑トナシ，又ハ犬瘟熱，其他ノ熱性病ノ氣管枝ヲ侵シタルモノニ吸入劑トナス等其應用範圍ノ廣キ事他ニ其ノ比ヲ見ズ. 但シ猫ハ中毒シ易キヲ以テ之ヲ用ヰ難ク，屠獸及ビ乳牛ニ用ユレバ肉ト乳トニ其臭氣ヲ附與スルノ虞アリ. 人ニ於テモ尙ホ動物ニ於テモ痒覺ヲ消失セシムル爲ニ其軟膏若クハ溶液ヲ應用ス.

吸入劑ノ用量

大動物	5.0–15.0
中動物	1.0– 2.0
小動物	0.05–0.2
人	0.05–0.1

處方例

1) 石炭酸 10.0
水 300.cc.
爲溶液(創傷洗滌用).

2) 石炭酸 2.0
ぐりせりん 10.cc.
酒精 90.cc.
混和(痒覺アル部ニ塗布ス).

3) 石炭酸 5.0
ぐりせりん 100.cc.
蒸餾水 100.cc.
混和，鷄ノ Diphtherie 性口腔炎ニ塗布ス.

4) 石炭酸 5.0
酒精 5.cc.
綠石鹼 50.0
爲擦劑(疥癬ニ用ユ).

5) 石炭酸 1.0
酒精 100.cc.
爲溶液(耳漏ニ外用ス).

6) 石炭酸 2.0
豚脂 20.0
爲軟膏(痒覺アル部ニ用ユ).

2) くれおそーと Kreosotum.

Kresot ハ山毛欅樹 (ぶなのき)ヨリ採集セル一種特異ナル竄透性ノ臭氣ヲ有スル透明無色或ハ類黄色ノ强ク光線ヲ屈折スル油狀ノ液ナリ.

120分ノ水，20分ノ沸湯，適宜ノ酒精，Aether，Chloroform，等ニ溶解ス. 其主要ナル成分ハ ぐあやこーる (Guajakol)，くれおそーる(Kreosol)，くれそーる(Kresol)，及ビ めちーるくれそーる(Methylkresol)，等トス.

胃腸ノ異常醱酵ヲ制止スル目的ニテ內用スル事アレドモ，最モ，多ク用ヰラルヽハアラユル結核性ノ病變ニ對シ唯一ノ治療藥トシテ尊重セラルヽ事ナリトス. 其他惡臭若クハ化膿ヲ伴ヘル所ノ氣管枝ノ疾患ニモ內用若クハ吸入セシムル事多シ，稀ニハ組織出血アルトキニ止血劑トナス事アレドモ玆ニハ鹽化鐵液ノ效力ニハ遙ニ劣レリ.

Kreosot ハ腐蝕作用ト知覺麻痺作用トヲ併用スルヲ以テ，脫脂綿ニ浸シテ齲齒ノ鎭痛劑トナスモノアリ.

內用量

大動物	5.0 –15.0cc.
中動物	1.0 – 2.0cc.
小動物	0.05– 0.2cc.
人	0.1 – 0.5cc.

(猫ニハ禁忌ナリ).

處方例

1) くれおそーと 0.5cc.
あらびあごむ 5.0
蒸餾水 150.cc.
乳劑トナシ，毎3時1食匙宛與フ(犬ノ胃ノ異常醱酵ニ用ユ. 調劑法ニ付キテハ上卷調劑術中ノ乳劑ノ項ヲ參照ス可シ).

2) くれおそーと 15.cc.
あらびあごむ
小麥澱粉
單舍利別 各適宜
3丸トナシ毎日1丸宛與フ(馬ノ氣管枝 Catarrh. 此丸ヲ製スルニハ始メあらびあごむ末 15.0 ニ單舍利別 7.5cc.

ヲ加ヘテ混ジ，次ニ Kreosot ヲ滴々加ヘツヽ混和シ，最後ニ小麥澱粉ヲ加ヘテ丸トナスニアリ)．

3) くれおそーと　10.cc.
稀酒精　300.cc.
混和．毎2時1食匙宛與フ（羊ノ胃ノ寄生蟲驅除藥)．

4) くれおそーと　10.cc.
おれーふ油　100.cc.
混和シテ擦劑トナス（犬ノ疥癬驅蟲劑)．

5) くれおそーと　20.cc.
酒精　200.cc.
溶液トナス(馬痘ニ外用)．

6) くれおそーと　各10.cc.
てれびん油
ふれーふ油　250.cc.
混和毎2時1食匙宛與フ(羊ノ筋ノ寄生蟲驅除藥)．

7) くれおそーと　20.cc.
綠石鹼　100.0
酒精　50.cc.
混和シテ擦劑トナス（馬ノ疥癬ニ用ユ)．

3) くれおそーと丸 Pilulae Kreosoti.

日本藥局ノ Kreosot 丸ハ Kreosot 10分，甘草細末19分，Glycerin 1分ヨリ成リ；1丸ノ重量ハ約0.15g ニシテ，1丸中ノ Kreosot ノ含量ハ約0.05g ニ當レリ．

犬ノ氣管枝 Catarrh，等ニ祛痰劑トシテ 1日1-2 丸宛與フルニ便ナリ．人ノ結核ニ Kreosot ヲ用ユル場合ニハ通例此丸劑ヲ與フルカ若クハ之ニ糖衣ヲ被セタルモノヲ與フ．日本，獨逸，兩藥局方ニ於テ1丸中ノ Kreosot ハ何レモ0.05g ナリ．Kreosot 丸ヲ人ニハ毎食後4-5丸宛內用セシム．

4) ぐあやこーる Guajakolum. $C_6H_4<^{O.CH_3(1)}_{OH(2)}$

無色透明，强ク光線ヲ屈折スル油狀ノ液ニシテ，大約80分ノ水，適宜ノ酒精，Aether，等ニ溶解ス．人ノ肺結核ニ內用セシメ，又ハ等分ノ おれーふ油ニ混ジテ腹膜結核ニ外用ス．Guajakol ノ人ニ於ケル用量ハ0.1-0.3cc. 宛1日3回．

5) 炭酸くれおそーと又くれおそたーる Kreosotum carbonicum od. Kreosotal.

無色或ハ類黃色澄明粘稠ノ液ニシテ，殆ド臭氣無ク微ニ苦味ヲ有シ，水ニ溶解

セザレドモ酒精，Aether，及ビ Chloroform，ニ溶解ス．人醫術上最モ汎ク結核療法ニ用ユ．本劑ハ腸ニ至リ始メテ分解シテ Kreosot ヲ遊離スルガ故ニ單純ナル Kreosot ニ比スレバ胃ヲ刺戟セザルノ利アリ．炭酸 Kreosot ノ人ニ於ケル用量ハ0.2-0.5cc. 宛1日3回，丸劑若クハ膠囊劑トナシ與ヘ，漸次增量シテ1日量5.0cc. ニ至ルコトヲ得．

6) 炭酸ぐあやこーる又づおたーる Guajakolum Carbonicum. od. Duotal. $(C_6H_4OCH_3)_2CO_3$

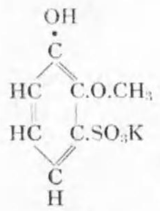
白色結晶性ノ粉末ニシテ，殆ド臭味無ク水ニ溶解セザレドモ，Aether，Chloroform，Benzol，及ビ沸騰酒精ニ溶解ス．人醫術上結核療法ニ用ユル最良ノ製劑タリ．胃ヲ刺戟セザル事前者ノ如シ．炭酸 Guayakol ノ人ニ於ケル用量ハ0.2-1.0g 宛1日3回，散劑又ハ丸劑トナシ，日量ヲ10.0g ニ達セシムル事ヲ得可シ．

(結核ニ對スル處方)

炭酸ぐあやこーる	0.6
番木鼈越幾斯	0.06
亞砒酸	0.0015
硫酸きにーね	0.2
げんちあな末	0.3

以上ヲ以テ12丸又ハ12錠トナシ1日3回食後1時間4丸ヅヽ與フ(番木鼈越幾斯 0.06 ノ代リニ莨菪越幾斯 0.045 ヲ用ユルコトアリ)．

7) ちおこーる Thiocolum.



化學上ヨリ云ヘバ眞性ぐあやこーる硫酸かりうむ Orthoguajakolsulfonsäures Kali ニシテ，白色結晶性ノ粉末ヲナシ，臭氣ナク始メ苦クシテ後ニ甘キ味ヲ有シ，水及ビ酒精ニ溶解シ易ク，從ヒテ吸收セラレ易キ長所アリトシ，散劑，水劑若クハ膠囊劑トシテ，人ニ於テ1回1.0-1.5瓦宛1日3回內服セシムレドモ，稍ヽ胃腸ヲ害シ食慾ヲ失ハシムル短所アルヲ免レズ．

8) しろりん Sirolinum.

10%ノ Thiocol ヲ含有スル含利別ニシテ，好テ小兒ノ結核療法ニ應用ス．長所短所共ニ前者ニ同シ．

9) ふぁごーるえぷのいみん Fagol od. Pneumin

Kreosot ニ Formaldehyd ヲ化合セシメタルモノナリ．灰白色無味無臭ノ粉末ニシテ，人ノ結核ニ向テ 0.5–1.0 g 宛1日3回服用セシム．本劑ハ腸ニ至リテ分解シ，爰ニ消毒作用ヲ呈スルヲ以テ腸防腐劑トシテ慢性腸 Catarrh ニ賞用セラル，然レドモ元來肺結核ノ治療劑トシテ世ニ現ハレタルモノナリ．

10) 大風子油 Oleum Gynocardiae.

類白色又ハ類黄色ノ軟膏樣ノ塊ニシテ，一種特異ノ臭氣ト脂肪樣ノ味トヲ有ス．古來ノ習慣ニ從ヒ癩病及ビ象皮病ニ向テ1日數回加溫融解シテ 4–5 滴服用セシメ，又ハ隔週1回宛 0.1–0.2 ヲ皮下注入ス，或ハ又ソヲ　おれーふ油ニテ 10 倍ニ稀釋シ塗擦スル事アリ；然レドモ本劑ノ癩病ニ對スル效力ハ多少疑ハシキ點アルモ，最近ニ至リ大風子油ヨリ有效成分ヲ採集シ癩病ニ對スル特效劑トシテ皮下注入スルモノアリ，此傾向ヨリ推測スレバ大風子油ガ本症ニ有效ナルコトハ稍ゝ信ズベキガ如シ．

11) 粗製くれぞーる Cresolum crudum.

一種特殊ノ焦臭ヲ有シ，強ク光線ヲ屈折スル黄色油狀ノ液ニシテ，其 200–400 倍ノ水溶液ヲ石炭酸水ニ代用スル事ヲ得，而シテ其水溶液ハ少ク溷濁ス．

12) りぞーる Lysolum.

粗製 Kresol 1分ニ　Kali 石鹸1分ヲ加ヘテ製シタル暗褐色舍利別樣ノ液ニシテ，前者ノ如ク溷濁ヲ生ズル事ナクシテ水ニ溶解スルノ長所アリ．通例 100–200 倍溶液トシテ石炭酸水ニ代用ス．我邦ニ於ケル產婆ハ產婦ニ對スル消毒藥トシテ多クハ Lysol ヲ使用シツヽアリ．

13) くれおりん Creolium.

粗製 Kresol ニ少許ノ　Soda 石鹸ヲ加ヘテ得タル暗褐色舍利別樣ノ液ニシテ，之ヲ水中ニ滴下スレバ乳汁樣ノ乳劑トナリ，其溷濁ノ濃淡ニヨリテ濃度ヲ知ルニ簡便ナレバ民間ニ於テ防腐消

毒劑トナスニ適ス．

粗製 Kresol ニ Alkali ヲ加ヘテ製シタルモノニテ，汎ク應用サルヽハ Lysol 及ビ Kreolin ノ2種ナレドモ，此ノ他尙ホ そるとーる (Solutol)，そるうえおーる (Solveol)，くれしん (Kresin)，あいせる (Izal) 等モ屢ゝ處方セラル，就中 Kresin 及ビ Izal ハ近來 Kreolin ニ代用サルヽコト尠カラズ，

我ガ獸醫界ニ於テ　Kreolin ヲ用ユルハ人醫ニ於テ石炭酸ヲ用ユルト同一ノ目的ニシテ，此種ノ藥品ハ重金屬鹽類，例ヘバ昇汞ノ如ク化學的ニ組織ヲ破壞セズシテ，其働ハ單ニ分子的，卽チ脂油ニ溶解スルガ爲メニ細菌體ニ結合シソレヲ中毒ニ陷ラシムルモ他ノ組織ノ蛋白質ト化合スルコト之レナキヲ以テ，消毒作用ハ甚强シ，其應用後ニ局所ヨリ吸收セラルヽモノ，例ヘバ揮發性强キ石炭酸ハ多量ニ血液中ニ移行シテ動物ヲ中毒スルコトアレドモ，ソレニ相反シテ　Kreolin ノ揮發性ハ甚微ナルヲ以テ，外用ニ因リテ嘗テ中毒シタル實例ナシ，加フルニ　Kreolin ヲ水ニ加フレバ乳劑トナリ，其溷濁ノ濃淡ニ據リテ溶液ノ濃度ヲ推測シ得ル便宜モ之レアルヲ以テ石炭酸水ノ如ク透明ナルモノニ比スレバ使用上ニ多少ノ缺點アレドモ汎ク賞用セラル．

Fröhner 氏ニ據ル時ハ本劑ノ用途ヲ次ノ如クニ說明セリ；- Kreolin ハ防腐消毒力ト驅蟲力トニ於テ無害ニシテ，卓越セル效力ヲ有スルノミナラズシテ，蛋白質ヲ凝固スルノ性質アレバ從テ又止血力ヲ有シ，種々ナル方面ニ向テ處方スルニ適ス．1) 其 0.5–2 %水溶液ハ石炭酸ノ代リニ創面ノ消毒ニ用ユ可シ．2) 其 0.5–1 %水溶液ハ消毒除臭劑トシテ產科ニ於テ子宮ヲ洗滌スルニ適ス．3) 其 2–3 %水溶液ハ厩舍內ノ傳染毒ヲ撲滅スルニ妙ナリ．4) 疥癬，毛囊蟲，其他ノ皮膚寄生蟲ヲ驅除ス可キ藥品中廉價ニシテ而カモ卓效アル良藥ナリ．5) 慢性濕疹ニ向テハ　Teer ノ如ク

良效ヲ奏ス. 6) 胃腸ノ異常醱酵ヲ制止シ, 嘔吐下痢ヲ杜絶シ, 傳染セル腸管ヲ消毒シ腸ノ寄生蟲ヲ驅除スル目的ニテ内用セシムレバ確效ヲ奏ス. 7) 其1%水溶液ハ種々ノ氣管枝 Catarrh 及ビ肺空洞, 等ニ向テ吸入劑トナスニ適ス. 8) 其0.5–1%水溶液ハ結膜及ビ角膜ノ炎症ニ對シテ點眼液トナスコトヲ得.

左レドモ獸醫術上ノ應用ニハ好マシカラヌ點アリ; 卽チ消毒力ノ强度ガ一樣ナラザル事, 器械ヲ汚染スル事, 竝ニ不透明ナルヲ以テ手術上ニ不便ナル事等是レナリ. 然レドモ馬ノ蹄叉腐爛ニ向テ其純ナルモノヲ脫脂綿ニ浸シテ插入スル時ハ頗ル多ク又牛ノ產道ヲ消毒除臭スルニ其1%溶液ハ頗ル適當ノモノナリ. 且ツ明治30年ノ夏東京鐵道馬車會社ノ馬ニ流行シタル疥癬ニハ Kreolin ガ最上ノ效力ヲ現ハシタリト云フ. 疥癬其他ノ皮膚寄生蟲ヲ驅除スルニハ Kreolin ニ等分ノ Kali 石鹼ト10倍ノ酒精トヲ加ヘテ擦劑トナシ, 每日1回宛塗擦シテ7日間連用ス可シ. 之ヲ要スルニ Kreolin ヲ石炭酸ニ代用スルハ妙ナラザレドモ, 他ノ特別ノ目的ニハ長所アルガ如シ.

Fröhner 氏ニ據レバ Kreolin ノ主要成分ハ おるど及ビ めたくれぞーる (Ortho- und Meta-Kresol. $C_6H_4.OH.CH_3$), きしれのーる (Xylenol $C_6H_3.OH.CH_3.CH_3$), ふろろーる (Phlorol $C_6H_4.OH.C_2H_5$), きのーりん (Chinolin C_9H_7N), なふたりん (Naphthalin $C_{10}H_8$), あんとらつさーん (Anthracen $C_{14}H_{10}$) 其他種々ノ炭水化物及ビ樹脂ニシテ灰分トシテハ主モニ炭酸 Natrium ヨリ成リ, 硫酸 Natrium 及ビ食鹽ノ微量ヲ含有ス, 但シ石炭酸ハ全ク存在セザルカ, 若クハ痕跡ノ微量ヲ含有スルノミ.

內用量

馬, 牛	10.0–25.0cc.
羊, 山羊, 豚	5.0–10.0cc.
犬	0.5–2.0cc.
家禽	0.1–0.25cc.

處方例

1) くれおりん 10.cc.
水 500.cc.
爲溶液(創傷用).

2) くれおりん 1.cc.
酒精 100.cc.
混和(耳漏ニ外用).

3) くれおりん 2.cc.
ぐりせりん, 蒸餾水 各50.cc.
混和(鷄ぢふてりー ニ向テ口腔內ニ塗布ス).

4) くれおりん 50 cc
綠石鹼 50.0
酒精 500.cc.
混和(犬ノ疥癬ニ外用).

5) くれおりん, 酒精 各100.cc.
綠石鹼 800.0
爲軟膏(羊疥癬).

6) くれおりん 2.5cc.
甘草末, 甘草羔, 黃蠟 各 2.5
10丸トナシ1日數回1丸宛與フ(犬瘟熱).

7) くれをりん 50.cc.
甘草末 400.0
甘草羔, 黃蠟 各適宜
5丸トナシ每日1–2丸ヲ與フ(馬ノ腸Catarrh).

14) ちもーる Thymolum. $C_6H_3\langle^{CH_3(1)}_{OH(3)}_{C_3H_7(4)}$

無色透映著大ナル結晶ナリ.

芳香性ノ香味ヲ有シ, 水ニハ殆ド溶解セザレドモ, 之レニ反シテ酒精, Aether, Chloroform ニハ容易ニ溶解ス. 本邦ノ やまじそ (Mosula japonica) 中ニ含有セラルヽ揮發油ノ主要成分ハ Thymol ナリ.

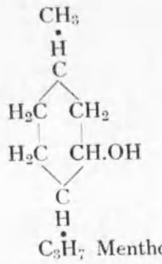
Thymol ハ刺戟性少ク且ツ毒性モ亦少クシテ, 而カモ防腐消毒力ハ甚ダ强キヲ以テ長所トナセドモ, 水ニ殆ンド溶解セザルタメ石炭酸ニ代用スル事能ハズ. 然レドモ此水ニ不溶解ナル性質ハ却テ腸管內ノ寄生蟲特ニ十二指腸蟲ヲ驅除スルニ適當シ, 人醫ニ於テハ十二指腸蟲, 條蟲, 蛔蟲, 等ニ對スル驅除劑トナシ, 獸醫ニテモ十二指腸蟲, 條蟲, 蛔蟲及ビ蟯蟲ヲ驅除スルタメ犬及ビ鷄ニ向テ內用セシム.

其用法次ノ如シ; 犬ナレバ前晚及ビ藥用當日ノ朝絕食セシメ, Thymol 0.5–2.0 ヲ膠囊ニ入レテ服用セシメ, 30分時間ヲ經テ蓖麻子油30.cc. ヲ與フ. 鷄ニアツテモ用法全ク之ヲ同ジクシテ Thymol ノ用量ハ 0.5–2.0 ヲ適當トス, 左リナガラ蓖麻子油ノ用量ハ犬ニ比シテ稍ゝ少ク 20.cc. ヲ以テ足レリ. 而シテ Thymol ノ效力ニ由リテ十二指腸蟲ガ消滅ニ歸シタルヤ否ヤハ, 數日ノ後ニ採集シタル糞便ヲ水ニ溶解シ濾過シテ檢スルヲ便トス.

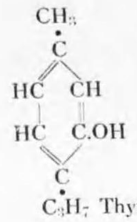
人ノ十二指腸蟲ニ關スル Thymol ノ用法ハ, 早朝空腹時ニ於テ 2.0–6.0 ヲ頓服セシメ, 右側ニ橫臥セシムルコト1時間ノ後ニ, 硫酸 Magnesia 15.0–20.0 ヲ與ヘテ下痢ヲ致サシム

15) 薄荷腦又めんとーる Mentholum. $C_{10}H_{20}O$

無色鍼狀ノ結晶ニシテ, 特異芳透性ノ香氣ヲ有シ味ハ初メ灼クガ如ク後冷涼ナリ, 水ニハ微ニ溶解スレドモ之ニ反シテ酒精, Aether, Chloroform, 等ニハ溶解シ易シ.



C_3H_7 Menthol



C_3H_7 Thymol

此モノハ薄荷油中ノ主要成分ニシテ，人ニテハ局所鎮痛劑トシテ神經痛及ビ偏頭痛ニソノ軟膏若クハ挺子ヲ塗擦シ，齒痛ニハ其結晶ヲ10%ノ Chloroform 溶液トナシテ外用シ，結核性ノ骨疽ニモ結晶ノマヽニテ外用シ，肺ノ結核ニ向テ0.1-1.0ヲ內服セシムル等其應用汎ケレドモ，獸醫術ニテハ胃腸ノ異常醱酵ヲ制止ス可キ他藥ニ少許ヲ配合シテ用ユルニ過ギズ．之ヲ要スルニ人ニ於テモ動物ニ於テモ寧ロ矯臭，矯味ノ藥劑ナリ．

薄荷油(Oleum Menthae)ノ應用モ全ク薄荷腦ニ同ジ，但シ止痒劑トシテ處方セリラルヽコト多シ．

16) べんつぉーる Benzolum. C_6H_6

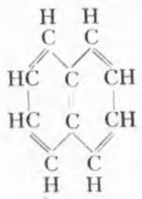
無色透明揮發性ノ液體ニシテ一種特殊ノ芳香ヲ有ス．人ノ白血球ニ向テ1日量トシテ3.0-5.0ヲ膠囊數個ニ分納シ數回ニ分服セシム，但シ之ニ少許ノ おいかるぷと油 (Oleum Eukalypti) ヲ配合スレバ服用シ易シト云フ．最近研究ノ結果ニ徵スレバ，本劑ハ骨髓系白血球ノ再生機能ヲ疲弊セシメ，淋巴系白血球ヲ盛ニ破壞スルノミナラズ，機能活潑ナル腺性諸臟器ノ實質ヲ破壞スルコト猛烈ナルヲ以テ藥用中ハ特ニ最後ノ點ニ注意ヲ要ス．

17) なふたりん Naphthalinum. $C_{10}H_8$

光輝アル無色ノ小板狀結晶ナリ．

石炭たーるノ樣ノ不快ナル臭氣ト焦性ノ味トヲ有シ，水ニハ殆ド不溶解ナレドモ之ニ反シテ Aether, Chloroform, Benzol, 沸騰酒精，等ニ溶解ス．

虱，蚤，等ヲ驅除スルニハ有效ナレドモ，疥癬，毛囊蟲，等



ニハ其驅蟲力乏シ，故ニ專ラ家禽ノ羽蟲驅除劑トナス．

Naphthalin ハ蟲魚ヲ驅除スルニ妙ナリ，書籍，衣類，特ニ毛布ヲ貯藏スルニハ之ヲ應用スベシ，其價甚廉ナレバ樟腦ニ勝レリ．殊ニ其球形トナシタルモノハ使用ニ便ナリ．

處方例

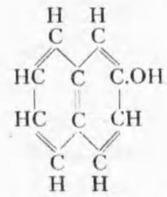
1) なふたりん末 } 各10.0
　茴香末 }
　混和．毎日1回宛撒布(鷄ノ羽蟲)．

2) なふたりん 5.0
　豚脂 50.0
　爲軟膏(疥癬及ビ毛囊蟲)．

18) なふとーる又べたなふとーる Naphtholum. od. β-Naphtholum. $C_{10}H_7OH$

光輝アル無色ノ小葉狀結晶ナリ．

芳香性ノ臭氣ト焦性ノ味トヲ有シ，大約1000分ノ冷水，75分ノ沸湯ニ溶解シ，Aether, 酒精，Benzol, Chloroform, 等ニハ溶解シ易シ．



人ニ於テハ凡テノ寄生性皮膚病ニ於テ木たーる ニ代用スルガ故ニ，其應用ノ範圍極メテ汎キ皮膚ノ殺蟲劑タリ．又木たーる ノ如ク慢性濕疹ニモ應用シテ奇效アリ．近來獸醫術ニモ木たーる ノ代リニ疥癬，等ニ用ユレド，猫ハ特ニ中毒シ易ク又如何ナル動物ニテモ屢腎炎ヲ發スルノ虞レアリ．故ニ猫ニハ之レヲ禁ジ，且ツ又面積大ナル皮膚面ニ向テ一時ニ大量ヲ用ユ可カラズ．尙ホ特ニ記載セント欲スルハ，人ニ用ユル多種ノ頑癬藥中有效ニシテ且ツ使用ノ簡便ナルハ現時本劑ノ右ニ出ルモノナカル可シ．

處方例

1) べたなふとーる 5.0
　豚脂 50.0
　爲軟膏(疥癬藥)．

2) べたなふとーる	5.0
酒精	100.cc.
爲溶液(頑癬藥).	
3) べたなふとーる	15.0
かり石鹸	50.0
豚脂	100.0
滑石末	10.0
爲軟膏(疥癬及頑癬).	
4) べたなふとーる	10.0
沈降硫黄	50.0
わぜりん, 綠石鹸	各25.0
爲 Pasta (疥癬及頑癬).	

19) れぞるちん Resorcinum. $C_6H_4{<}^{OH(1)}_{OH(3)}$

無色或ハ微ニ赤色ヲ帶ブル稜柱狀或ハ鍼狀結晶ヲナシ1分ノ水, 0.5 分ノ酒精, 少許ノ Aether 及ビ Glycerin ニ溶解ス.

往時ハ之レヲ解熱劑トナシタルモ, 今日ハ防腐消毒力アル收斂藥トシテ專ラ人ノ淋病ニ用ユ. 獸醫術ニハ餘リ多ク用キラレザレドモ, 其 5–10 %軟膏ハ汾泌多キ濕疹ニ又 1–2 %水溶液ハ結膜炎, 尿道 Catarrh, 等ニ於ケル消毒收斂劑トシテ試用ス可キ價値アリ. 尙ホ人ニ於テハ痤瘡ニ處方シ又ハ好デ糠粃性禿頭ニ對スル毛生劑トナス.

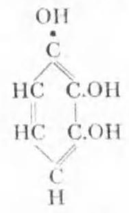
處方例

1) れぞるちん	2.0
酸化亞鉛, 澱粉	各5.0
わぜりん	10.0
爲軟膏(人ノ痤瘡).	
2) れぞるちん	10.0
蓖麻子油	10.cc.
べるがもつと油	10 滴
酒精, 蒸餾水	各90.cc.

混和, 用ニ臨ミ震盪シ頭部毛根ニ注グ(人ノ粃糠性禿頭).

20) ぴろがろーる又焦性沒食子酸 Pyrogallolum. od. Acidum Pyrogallicum. $C_6H_3{<}^{OH(1)}_{OH(2)}_{OH(3)}$

光輝アル白色ノ輕キ鱗屑狀或ハ鍼狀結晶ニシテ, 臭氣ナク苦味ヲ有シ, 1.7 分



ノ水ニ溶解シ無色澄明中性ノ液ヲ生ジ, 此溶液ヲ大氣中ニ放置スレバ漸々褐色ニ變ジ

テ酸性ノ反應ヲ呈ス. 本劑ノ水溶液ニ Alkali ヲ加ヘタルモノハ大氣中ノ酸素ヲ吸收スル特性アリ. 故ニ Pyrogallol ハ無酸素瓦斯ヲ作ル場合ニ必要缺ク可カラザルモノナリ.

Pyrogallol ハ著キ還元作用アルニ由リ防腐, 消毒及ビ除臭ノ效力ヲ有シ其 5–10 %軟膏若クハ溶液ヲ種々ノ慢性皮膚病特ニ鱗屑疹ニ向テ處方スルコトアレド, 皮膚ノ廣汎ナル面ニ用ユルトキハ, ソレヨリ吸收セラレテ中心神經系ヲ麻痺シ, 且ツ Metahaemoglobin ヲ化生シテ血球ヲ崩壞セシムル虞アリ.

體內ニ吸收セラレタル芳香化合體ノ Benzol 核ハ分解セラレズシテ排泄セラルヽコトヲ通例トスレドモ, 獨リ Pyrogallol ハ例外ニテ此核ハ容易ニ破壞セラルヽモノナリ.

21) べるーばるさむ Balsamum Peruvianum.

黑褐色舍利別樣ノ液體ナリ.

南米ノ西海岸ニ產スル蝴蝶形科ノ植物 (Toluifera Pereirae) ヨリ採集シタルモノニシテ, 佳快ナル芳香ト初メ苦ク後ニ辛キ味トヲ有シ, 等分ノ酒精ニ混和スレバ透明ノ液トナル. 其主要成分ハ安息香酸べんぢるえすてる, 及ビ桂皮酸べんぢるえすてる (Benzoesäure-Benzylester. und Zimmtsäure-Benzylester) ノ外ニ少量ノ桂皮酸 (Zimmtsäure) 及ビ樹脂, 等トス.

往時ハ之レヲ慢性氣管枝 Catarrh, 膀胱 Catarrh 及ビ人ノ結核ニ試用シタルコトアレドモ奏效確實ナラズ. 近時專ラ應用サルヽハ疥癬驅蟲劑トナス事ニシテ其疥癬殺蟲力ノ有力ナルハ, ソレニ等分ノ酒精ヲ加ヘ充分ニ塗布スレバ蟲體及ビ卵, 共ニ大約 30 分時間ニシテ死滅スルヲ以テ知リ得可キナリ.

稀ニハ又毛髮及ビ肉芽ノ發生ヲ催進セシムルタメニ試用ス. 犬, 猫及ビ人ノ疥癬ニハ殆ンド唯一ノ特效劑ナレドモ, 廣大ナル皮膚面ニ一時ニ塗布スル時ハ, ソレヨリ吸收セラレタル藥品ノ刺戟作用ニヨリテ腎炎ヲ起ス處レアリ. 故ニ本劑使用中ハ必ズ尿ヲ檢査シ, 尿中ニ蛋白ヲ發見セバ直チニ休藥ス可シ. 著者ノ研究ノ結果ニ據リ本劑ハ馬ノ傳染性貧血ノ經過ヲ佳良ナラシムル效力アル事ヲ發見セリ. 其用法ハ小麥澱粉ヲ加ヘテ丸劑トナシ, 1日1回 10 g 宛內用セシメ, 1週間投藥ノ後ニ1週間休藥セシメ隔週ノ藥用ヲ 2–3 ヶ月間繼續スルモノナリ.

用量(內用ノ量)

大動物	10.0–25.0
中動物	1.0– 5.0
小動物	0.1– 1.0

處方例

1) べるーばるさむ かり石鹼	各25.0
酒精	250.cc.
混和，爲擦劑(疥癬藥)，	
2) べるーばるさむ	2.0
ばらふぃん軟膏	20.0
爲軟膏(肉芽發生緩慢ナル創面)．	

22) 流動蘇合香 Styrax liquidus

金樓梅科ノ植物(Liquidambar orientalis *Miller*)ヨリ採集シタルモノニシテ，灰色粘稠ノ液ヲナシ，佳快ナル芳香ト苛辣ノ味ヲト有ス．其主要成分ハ桂皮酸ト種々ノ芳香 Alkohol トノ化合體ニシテ全量ノ殆ンド半バ すとれしん (Stresin) ナル芳香 Alkohol ヨリ成リ，之ニ次デ多キハ すちらちん卽チ桂皮酸 ちんなみーるえすてる (Styracin, od. Zimmtsäure-Cinnamylester) トス；此他樹脂アレドモ 10–12 %ノ水分ヲ含有シ居ルコトハ卽チ本劑ガ灰色ヲ呈スル所以ナリ．

其應用ハ全ク Perubalsam ニ等シクシテ，廉價ナレドモ同時ニ效力モ稍〻劣レリ．疥癬療法ニハ等量ノ おれーふ油ヲ混ジテ用ユルヲ善シトス．

23) とるーばるさむ Balsamum tolutanum.

南米ノ Tolu 府近傍ニ產スル蝴蝶形科ノ植物 (Toluifera Balsamum *Linn*) ヨリ採集シタルモノニシテ，帶褐黃色ノ粘稠液ヲナシ，時日ヲ經ルニ從ヒ帶褐赤色粉碎シ易キ塊トナル；其粉末ハ黃色ニシテ佳快ナル香氣ト芳香性ノ味トヲ有シ，酒精及ビ Chloroform ニ溶解ス．其成分ハ安息香酸 Benzylester，桂皮酸 Benzylester，遊離セル安息香酸，桂皮酸及ビ樹脂，等ナリ． Perubalsam ト同一ニ疥癬療法ニ外用セラレ，又ハ刺戟性祛痰劑トシテ內用セラルヽ事アレドモ，效力弱キヲ以テ現時ハ專ラ其佳香ヲ利用シ，人醫ニ於テハ矯臭ノ目的ニテ丸衣トナシ，且ツ丸藥ニ光澤ヲ付スルメニ用ユル事多シ．

24) 木たーる Pix liquida.

松樅科ノ植物殊ニ黑松及ビ赤松ヨリ採集シタルモノニシテ，黑褐色濃厚ノ液ナリ．

一種特異ノ臭氣ト焦性ノ味トヲ有シ，水中ニ注ゲバ沈下シ，純 Alkohol ニ全ク溶解シ，Terebin 油ニハ一部分ノミ帶褐色ヲ呈シテ溶解ス．其主成分ハ とるおーる(Toluol $C_6H_5CH_3$)，きしろーる(Xylol $C_6H_4(CH_3)_2$)，すちろーる(Styrol $C_6H_5.CH=CH_2$)，ばらふぃん(Paraffin)，石炭酸，くれぞーる(Kresol $C_6H_4<^{CH_3}_{OH}$) 及ビ くれおぞーる (Kreosol)等トス．

獸醫術上甚ダ多ク用ヰラルヽ所ノ藥品ニシテ，就中牛馬ノ蹄病ニ向テ防腐消毒藥トナスニハ其純粹ナルモノヲ單ニ塗布スルノミニテ足リ繃帶ヲ要セザルニヨリ甚便ナリ；故ニ蹄叉腐爛ニハ先ヅ第一ニ木たーる ヲ試用ス可キナリ．傳染病流行ノ際ニハ之ニ石灰，硫酸鐵，等ヲ混ジテ畜舍ノ地盤上ニ撒布スル事アリ．慢性濕疹，疥癬特ニ馬ノ禿性匐行疹及ビ顆粒性皮膚炎卽チ ひむしニ向テ，之ニ Kali 石鹼，硫黃華，豚脂，等ヲ加ヘテ軟膏(處方例第4) トナシ適當ニ用ユル時ハ極メテ佳良ノ效ヲ奏シ，忽チ痒覺ヲ去リ且ツ之ヲ治セシム．此場合一時ニ體ノ $^1/_3$ 以上ノ廣サニ塗布ス可カラズ，是レ皮膚面ヨリ吸收セラレテ偶發ス可キ腎炎ヲ豫防スルニ必要ノ條件トス．其他尙ホ應用サルヽハ慢性氣管枝 Catarrh ニ向テ刺戟消毒性祛痰藥トナシ吸入若クハ內用セシムル事，馬蠅幼蟲ノ驅除藥トナス事(二硫化炭素ノ效ニ劣ル)，反芻獸ノ胃腸ニ於ケル異常醱酵ヲ制止スル事，竝ニ犢下痢ヲ治療スル等ニシテ，此中ニテ犢ノ下痢ニハ屢〻用ヰラル；卽チ第1日ニ於テハ半時間每ニ 300. cc. ノ たーる水(處方例第1) ヲ注腸シ，下痢ガ止ミタルナラバ第2，第3兩日ハ $^1/_4$ Litre ノ たーる水ヲ乳汁中ニ加ヘテ飮マシム．

內用量

大動物	10.0–25.0
中動物	2.0– 5.0
小動物	0.1– 1.0

處方例

1) 木たーる	100.0
輕石末	300.0
混和之レニ常水1 Litre ヲ加ヘ約5分時間振盪ノ後濾過シテ たーる水トナス(用法前出)．	
2) 木たーる	10.0
澱粉	適宜
爲1丸與フ(牛馬ノ祛痰藥)．	
3) 木たーる	5.0
豚脂	50.0
爲軟膏(慢性濕疹)．	
4) 木たーる	10.0

昇華硫黄	10.0
かり石鹸	各20.0
豚脂	
滑石末	5.0

爲軟膏，へぶら (Hebra) 氏改良うぃるきんそん (Wilkinson) 氏軟膏ト稱シ，禿性鉤行疹，慢性濕疹，顆粒性皮炎及ビ疥癬ニ向テ汎ク應用セラル．本處方ハ馬ノ禿性鉤行疹ニ著效アリ；洗フ事ナクシテ毎日1回1週間連用シ，更ニ Wilson 氏軟膏若クハ亞鉛華軟膏ヲ3日間連用シ，始メテ石鹸ヲ用キ水洗ス可シ．但シ洋馬ノ如キ皮膚薄キモノニハ豚脂ノ量ヲ2倍シテ40gトナスヲ要ス．

5) 木たーる	5.0
ぐりせりん	250.cc.

混和外用(家禽ノ足疥癬)．

6) 木たーる	各50.0
昇華硫黄	
澱粉	適宜

10丸トナシ毎日 2–4 丸ヅヽ與フ (馬ノ肺壞疽)．

7) 木たーる	0.5

膠嚢1個ニ納メ其10個ヲ與ヘ，毎日1個宛内用セシム (犬ノ氣管枝Catarrh)．

8) 木たーる	各50.0
綠石鹸	
酒精	25.cc.

爲擦劑(慢性濕疹)．

25) ぴちろーる Pityrol.

Pityrol ハ醫學博士松浦有志太郎氏ガ米糠ヨリ製造シタル帶褐黒色ノ半流動體ニシテ，特殊ノ臭氣ヲ有シ，水ニハ溶解シ難ケレドモ，ソレニ反シテ酒精ニハ溶解シ易シ．

汎ク木たーる ニ代用セラルヽモノニシテ Pasta, 硬膏，絆創膏，等ノ製劑トシテ販賣セラル．

26) ぐりてーる Glyteer.

Glyteer ハ醫學博士高木繁氏ガ豆粕ヨリ製造シタル暗褐色粘稠ノ液ニシテ，不快ナラザル焦臭ヲ有シ，水ニ溶解セズ，Aether，酒精，等ニハ良ク溶解シ，Alkali 性反應ヲ呈ス．

Glyteer モ亦 Pityrol ノ如ク，木たーる ニ代用セラルヽモノナルガ臭氣不良ナラザルト，且ツ幾分カ色淡キヲ以テ，人ノ顔面ニ塗布セラレ得ル長所ヲ有スト云フ．

27) つめのーる及つめのーるあむもにうむ
Tumenol und Tumenolammonium.

Tumenol ハ暗黄色濃厚ノ液體ニシテ，殺菌作用ナキモ，乾燥，消炎，特ニ止痒ノ作用強キヲ以テ，凡テ瘙痒アル皮膚病ニ適シ，通例2–5％水溶液又ハ1–10％軟膏トシテ應用ス．

Tumenolammonium ハ褐色中性油狀ノ液ニシテ，殆ド刺戟性ナキヲ以テ，前者ヨリモ一層良效アリテ汎ク賞用セラル．用法ハ Tumenol ニ同ジ．

第26.　樟腦屬 Gruppe des Camphers.

局所作用．樟腦ハ揮發性ナルヲ以テ組織内ニ侵入シテ刺戟作用ヲ呈ス．此故ニ皮膚面ニ之レヲ用ユレバ發赤シ，内用セシムレバ胃痛，嘔吐，等ヲ生ズルニ至ル．此刺戟作用ノ外ニ尚ホ芳香化合體ノ通有性トシテ弱キ防腐作用アルヲ以テ種々ノ場合ニ外用セラル．

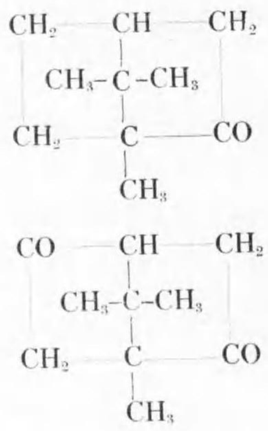
吸收作用．樟腦ガ血液中ニ吸收サルヽ時ハ，中心神經系及ビ心臟ヲ興奮スル作用著シ，卽チ少量ヲ用ユレバ，脈管神經中樞ノ興奮ニヨリテ血壓亢進シ，迷走神經中樞ノ興奮ニヨリテ脈搏緩慢トナリ，呼吸中樞ノ興奮ニヨリテ呼吸ノ深サヲ增加ス．ソレヨリモ大量，例ヘバ人ニ向テ1回ニ1.0ヲ皮下注入スレバ，精神ニ至ルマデモ興奮シ，甚シキ場合ニハ眩暈 (Schwindel)，頭痛，譫妄 (Derilien) 等ヲ生ジ，終ニハ意識ノ作用消失ス；此時ニ至レバ腦特ニ中腦ニ於ケル運動中樞ノ興奮ニヨリ定時ニ反復スル癲癎樣痙攣ヲ發スルニ至ル．

尙ホ樟腦ニ就キテ貴重ナル作用ト認メラルヽハ，心臟ノ自働中樞ヲ興奮セシメ心搏動ヲ勵マスガ故ニ，凡テノ心臟衰弱ニ向テ興奮劑トナシ得ル事トス．樟腦ハ中心神經系及ビ心臟ヲ興奮セシムルモ，其興奮ノ後ニ疲勞ヲ繼發セシメザル良性ヲ有ス．

蛙ニ向テ樟腦ヲ試用スレバ橫紋筋ニ終レル運動神經ノ末梢麻痺ヲ來セドモ溫血動物ニハ此作用ヲ認メズ，

樟腦ハ呼吸興奮劑及ビ强心劑トシテ，虛脫或ハ心臟衰弱ノ際

ニ汎ク應用セラレ，其呼吸興奮劑トシテノ作用ハ確實ニ認メラレタルガ心臟ニ對スル作用ハ場合ニヨリテ一樣ナラザリキ．然ルニ最近田村憲造博士其他ノ協同研究者ノ發見スル所ニ據レバ，樟腦ヲ油溶液トシテ皮下注入スレバ，皮下組織内ニテ種々ナル酸化物ヲ生ジ，其酸化物中ニテ Para-Oxocampher ガ心臟ニ對シ興奮作用ヲ有スルコトヲ知リ得タリ．此有效成分ハ試驗管内ニテ樟腦ヲ酸化スルトモ容易ニ生シ得ザリシガ，種々ナル研究ヲ經テ終ニ製造スルコトヲ得テ臨牀上ニ應用セラルヽニ至レリ．

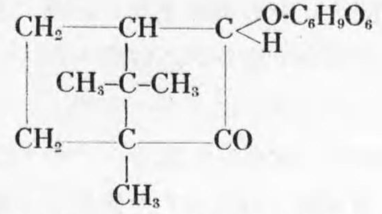


樟腦ノ構造

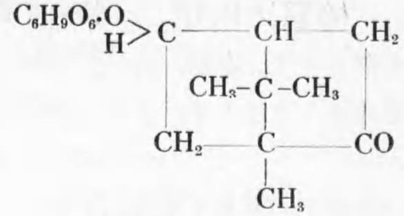
Para-Oxocampher ノ構造
（左側上端ノ H_2 ガ O ト交代シタルモノ）

樟腦應用後ニ尿中ニ排泄セラルヽモノハ Ortho-Oxycampher glykuronsäure 及ビ Para-Oxycampherglykuronsäure ノ2種類ニテ，何レモ無效ノモノナレド；猶ホ Glykuronsäure ト化合セザル以前ノ Ortho-Oxycampher ハ呼吸中樞ヲ多少興奮シ，心臟ニ對シテハ麻痺作用ヲ呈ス；Para-Oxycampher ハ呼吸中樞ヲ强ク興奮シ，心臟ニ對シテハ始メ麻痺作用ヲ呈シ後ニ興奮作用ヲ呈ス．

尙ホ人ニ於テ稍ヽ多量ノ樟腦ヲ用ユルトキハ，發熱セル患者ノ體溫ヲ低降セシム．例ヘバ家兎ノ溫中樞ヲ刺傷シタル爲ノ熱ナラバ，樟腦ヲ以テ確カニ解熱セシムル事ヲ得可ク，又人ノ臨牀上ニモ此解熱作用ヲ實驗シ得ラル；而シテ此作用ノ原因ハ恐クハ溫中樞ノ麻痺ニ基クモノナル可シト云フ，



Ortho-Oxycampherglykuronsäure.



Para-Oxycampherglykuronsäure.

麝香 (Moschus) 及ビ海狸香 (Castreum) ノ作用ハ概シテ樟腦ニ似タルモノナレドモ，未ダ精密ナル研究ヲ遂ゲタルモノニ非ズ．

性狀及應用

1) 精製樟腦又片腦又反腦 Camphora depurata. $C_{10}H_{16}O$

樟腦ハ白色半透明結晶性ノ塊ナリ．

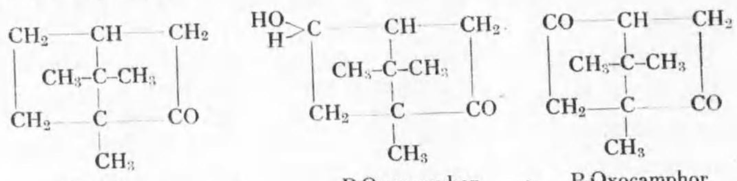
樟腦ハ本邦ノ各地特ニ臺灣ニ產スル樟科ノ植物 (Cinnamomum Camphora *Nees*) ヨリ採取シタルモノニシテ，特殊ノ香氣ヲ有シ味ハ始メ灼クガ如ク後ニ清凉ナリ．水ニハ殆ド溶解セザレドモ，之ニ反シテ酒精及ビ Aether ニハ溶ケ易シ．

樟腦ニ酒精製苛性 Kali 溶液ヲ加ヘテ煮沸スレバ樟腦酸 (Agaricin 酸屬ヲ見ヨ) 及ビ龍腦 (Borneol $C_{10}H_{18}O$) ヲ生ズ $\underset{\text{樟腦}}{2C_{10}H_{16}O}+H_2O=\underset{\text{龍腦}}{C_{10}H_{18}O}+\underset{\text{樟腦酸}}{C_{10}H_{16}O_2}$ 龍腦ノ性狀ハ概シテ樟腦ニ等シケレドモ香氣一層佳良ナリ；天然ニハ東印度諸島特ニ Borneo 及ビ Sumatra ニ產スル　ぢぷてろかるぷす科ノ植物 (Dryobalonops Camphora) 中ニ含有セラル．樟腦ヨリ化成シタル樟腦酸ハ樟腦トハ著ク異リタル作用卽チ止汗作用，特ニ結核患者ノ盜汗ヲ制止スルノ效力アリ．

樟腦ノ外用．　ハ酒精溶液，油溶液若クハ軟膏ノ形狀ニ於テ刺戟劑トシテ浮腫，褥瘡，凍瘡，其他ノ皮膚壞疽ニ用キテ血行ヲ促ガシ組織ノ榮養ヲ恢復セシメ，或ハ無力性潰瘍ニ用キテ肉芽ノ發生ヲ催進シ．又ハ挫傷，打撲，轉捩，Rheumatis, 等ノ疼痛ヲ誘導シテ緩解スル目的ニ應用セラル；是等ノ場合ニ於テハ同時ニ防腐消毒ノ意味ヲ兼ヲテ利用セラルヽモノナリ．

樟腦ノ内用. 特ニ皮下注入ハ中心神經系竝ニ心臟ノ興奮劑トシテ，虛弱，疲勞，昏睡，虛脫及ビ種々ノ心臟病ノ爲メニ脈搏衰ヘタルトキ，血行ヲ催進スルノ目的ニ必ズ先ヅ使用セラルルモノナリ．之レニ次デ肺炎，胸疫，敗血症，膿毒症ノ如キ心臟衰弱ヲ來シ易キ熱性病ニ向テハ下熱劑ノ目的ニテモ使用スル事アリ．其他慢性氣管枝 Catarrh ニ於ケル刺戟性祛痰劑ノ應用モ屢〻認ムル所ナリトス．但シ樟腦ノ體内ニ入ルヤ大部分ハ速カニ Camphoglykuron 酸トナリテ作用ヲ失フガ故ニ，ソノ效力ヲ繼續セシメント欲セバ1日中ニ數回藥用ノ反復ヲ要ス．

從來ノ學說ニ於テ樟腦ハ中心神經系及ビ心臟ニ對シ，刺戟興奮ノ作用アリト確信セラレ，其意味ニ於テ應用セラレ，卽チ其油溶液ヲ皮下注射シ確カニ其效果ヲ認メタリ．然ルニ最近ニ至リ種々ノ藥品ノ靜脈内注入研究ガ行ハレ，樟腦ニ付テモ各方面ニ於テ調査セラレシガ，意外ニモ樟腦ノ靜脈内注入ハ却テ血壓ヲ低降シ心臟ニ對シテハ麻痺スルコトヲ發見セリ．然レドモ生體試驗ニ於テハ，時ヲ經テ心臟ヲ興奮シ血壓ヲ昇騰スルヲ以テ，樟腦ノ强心作用ハ樟腦其物ニ非ズシテ，動物體内ニテソレヨリ化生シタル物質ナルコトヲ推定シ，P-Oxycamphor ナル樟腦ノ酸化物ガ組織内ニ現ハレ，此モノ更ニ進ンデ P-Oxocamphor トナリ，爰ニ始メテ刺戟興奮ノ作用ヲ發揮スルコトヲ發見シタリ．



Camphor → P-Oxycamphor → P-Oxocamphor

往時ヨリ樟腦ハ色慾ヲ制止スル作用アリト信用セラレ，ソノ興奮シタル場合ニ處方シ，特ニ僧侶ハ之ヲ内用シタリシノミナラズ，陰部ニ外用シタルモノ少カラズト云フ，Brom 樟腦ヲ婦人ノ Hystorie ニ對スル良藥ト認メタルハ全ク之ガ爲ナリ．

下熱劑ノ用量(内用)

大動物	5.0–15.0	小動物	0.1– 2.0
中動物	1.0– 5.0		

興奮劑ノ用量(皮下注入)

大動物	1.0–5.0	小動物及ビ人	0.1–0.5
中動物	0.5–2.0		

處方例

1) 樟腦 30.0
酒精少許ヲ加ヘ搗碎シテ細末トナシ澱粉及ビ Arabiagum 適宜ヲ加ヘ混和3丸トナシ，毎日1丸宛宛與フ(馬ノ敗血症)．

2) 樟腦 2.0
酒精少許ヲ加ヘ搗碎シテ細末トナシ．
豚脂 20.0
ヲ加ヘ混和軟膏トナス(蜂窠織炎ニ外用ス)．

3) 樟腦 1.0
おれーふ油 10.cc.
爲溶液(興奮劑トシテ皮下ニ注入スルニハ普通ニ此處方ニ據ル)．

2) 樟腦精又かむふる丁幾 Spiritus camphoratus od. Tinctura camphorata.

日本藥局方ニ據レバ，精製樟腦10分ヲ稀酒精90分ニ溶解シテ製シタル澄明無色ノ液ナリ．主トシテ刺戟誘導藥トシテ外用ニ供スルノ外ニ，尙ホ綿花又ハ麻撒絲ニ浸シテ蹄ノ防腐的繃帶料トナス事アリ．

處方例

樟腦精 300.cc.
てれびん油 100.cc.
混和．刺戟誘導劑トシテ外用ス(犬ノ Rheumatis, 馬ノ疝痛)．

3) 樟腦油 Oleum camphoratum.

日本藥局方ニテハ樟腦1分ヲおれーふ油4分ニ溶解シタルモノナリ；獨逸藥局方ニテハ樟腦1分ヲおれーふ油9分ニ溶解セリ；樟腦ノ含有量ニ從ヒ適宜ノ用量ヲ興奮劑トシテ皮下注入スベシ．但シ我局方ノ樟腦油ハ濃稠ニシテ皮下注入ノ際ニ壓力ヲ要スル事大ナレバ，樟腦1分，Aether 2分，おれーふ油4分ノ割合ヲ以テ溶液ヲ作レバ注入ニ甚便ナリ．但シ此最後ノ處方ノ溶液ハ皮下注射ニ際シテ一時性ノ劇シキ疼痛アリ．

4) ぶろーむ樟腦又臭素かむふる Camphora bromata.

od. Camphora monobromata. $C_{10}H_{15}BrO$

無色稜柱形ノ鍼狀或ハ板狀結晶ニシテ，大氣中ニ於テ變化セズ，香味ハ樟腦ニ類似シテ稍〻緩和ナリ，水ニ殆ド溶解セザレドモ酒精，Aether 及ビ Chloroform ニハ容易ニ溶解ス．

本劑ハ人ニ於テ興奮劑トシテヨリモ，寧ロ其 Brom ノ作用ヲ以テ鎭靜藥トナシ，諸種ノ神經興奮症，就中色慾ノ異常興奮及ビ ひすてりー (Hysterie) ニ向テ1回0.1-0.3宛，1日數回散藥トシテ處方セラル．

5) 麝香 Moschus.

支那ノ西部，西藏及ビ Siberia ニ產スル反芻獸ノ1種ナル麝 (Moschus moschiferus) ノ牡獸ノ陰莖ト臍トノ中間ニ位スル腺囊卽チ麝囊內ノ分泌物ニシテ，新鮮ナルモノハ稍〻柔軟ナレド，乾燥セシモノハ黑褐色或ハ暗赤褐色ノ顆粒狀ヲナセル塊ヲナシ，特殊ナル香氣ヲ有ス．其成分ハ未ダ詳ナラズ，之ニ樟腦，麥角或ハ茴香等ヲ混ジテ乾燥スレバ香氣ヲ失ヒ，水ニテ潤ストキハ再ビ香氣ヲ生ズ．我邦ニハ雲南，本口及ビ白毛ノ3種アリテ，雲南麝香ハ香氣最良ナルヲ以テ價亦貴ク，通例販賣セラルモノハ本口，白毛ノ兩方ヲ混和セシモノナリ，而シテ血塊若クハ小豆餡ヲ加ヘタル贋造品甚多シ．人ニ於テハ虛脫ノ際ノ興奮劑トシテ，1回 0.1-0.5 ヲ散劑トシテ內用セシメ，又ハ乳劑トシテ注腸スル事アリ．

6) 海狸香 Castreum.

北米ノ Canada 國ニ產スル海狸 (Castor americanus) ノ生殖器腺ノ分泌物ニシテ褐色ノ乾燥セル土塊樣ノ物質ヲナシ，稍〻麝香ニ似タル香氣アレドモ藥品トシテ特ニ認メラル可キ效力ナシ．

附) 水溶性樟腦製劑

樟腦ハ水ニ不溶解ナルヲ以テ油溶液トシテ皮下注入シタリシガ，近年ニ至リ水溶性樟腦製劑ヲ發賣セラレタリ．何レモ Ampulle ニ納メタルモノニシテ，著名ナルハへきせとん Hexeton (Methyl-isopropyl-cyclohexenon) ナリ．卽チ此ノモノヲ さりちーる酸なとりうむ ノ水溶液中ニ溶解シ，筋肉內注入ニハ 10 %，靜脈內注入ニハ1%溶液トシ，Ampulle ニ納メ市中販賣品トセラル．次デ かまふぇとん Camafeton ナルモノ生ズ，樟腦食鹽ノ純水溶液ニシテ，皮下注入スルトモ局所ニ疼痛ナシト云フ．更ニ又がだみん Gadamin ナルモノアリ，同樣ニ樟腦ノ水溶液ニシテ皮下注入ニ適スト云フ．以上ハ一旦非常ニ流行セシガ何故カ近頃ニ至リ再ビ樟腦ノ油溶液ヲ用ユル傾向ニ復セリ，按ズルニ是等ノ新藥ハ高價ニシテ且ツ效力弱キモノナルベシ．

第 27.　びくろときしん屬 Gruppe des Pikrotoxins.

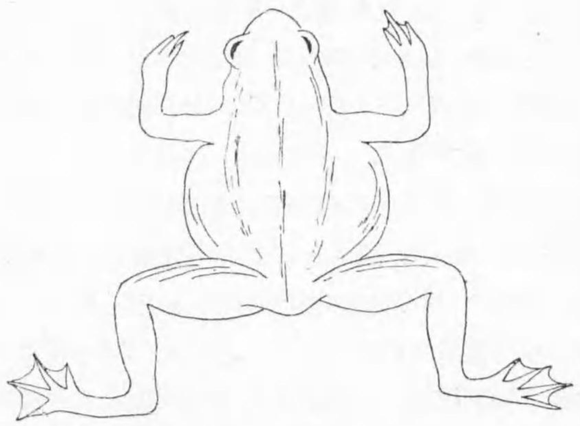
びくろときしん　ハ　あなみるた　こっくるす (Anamirta Cocculus) ノ有毒成分ニシテ，往時ノ日本藥局方ニ採用セラレタル南陸(山ごぼう)モ此屬ニ編入セラル可キ性質ノモノタリ，又獸醫ニ關係アル毒物タル　どくうつぎ (Coriaria japonica 毒成分ハ Coriamyrtin)，毒芹 (Cicuta virosa 毒成分ハ Cicutoxin) 及ビ　しきみ (Illicium religiosum 毒成分ハ Sikimin) 等ノ中ニ含有セラルヽ有毒成分ハ此屬ト性質ヲ同フスルモノナリ．何レモ藥品トシテ應用セラレ得ルヤ否ヤハ未詳ノ問題ナレバ一般作用ヲ略載スルニ留ム．

本屬ノ藥品ハ延髓ニ於ケル痙攣中樞ヲ刺戟シ，激烈ナル痙攣及ビ搐搦ヲ發スルヲ特性トシ，此痙攣中ハ意識消失ス，而シテ此痙攣發作ガ時ヲ定メテ反復スル狀態ハ恰モ好ク癲癇ニ似タリ，尙ホ之レト同時ニ脈管神經中樞，迷走神經中樞及ビ呼吸中樞等モ刺戟セラルヽニ據リ血壓昇騰，脈搏緩慢及ビ呼吸促迫，等ヲ見ル．

以上ノ作用アルヲ以テ本屬ノ毒物ハ延髓ニ於ケル諸中樞ガ麻痺ヲ來ス可キ場合例ヘバ酒精及ビ　もるひね等ノ重キ中毒ニ向テソレヲ刺戟スル所ノ興奮劑トナシ得ラルル性質アレドモ，今日マデ試用セラレタル事殆ド之レナシ．左リナガラ此中ニテ試用ニ最適スルモノハ　どくうつぎ　ノ成分タル Coriamyrtin ニシテ人ニ對スル用量ハ 0.5-1.0mg ナリ．

第　5　圖

Pikrotoxin 中毒ノ姿勢



腹部膨脹シ四肢ハ關節部ニ於テ直角ヲナス

第 28. ぢぎたりん屬 Gruppe des Digitalins.

本屬ニ編入ス可キモノハ Digitalis 葉, Strophanthus 子及ビ海葱ノ3種ト, ソレ等ヨリ作リタル製劑ノ外ニ, 尚ホ普通ノ藥品ニハアラザレドモ, 福壽草ニ含マレタル あどにぢん (Adonidin) 種々ノ藜蘆中ノ へれぼれいん (Helleborein), 漢藥ノ蟾酥及ビひきがへる ノ皮膚分泌物中ノ ぶふぁぎん (Bufagin 此他ニ Bufotoxin ナル痙攣毒アリ) ノ作用モ亦本屬ノソレト相類似スルモノナリ.

漢藥蟾酥ノ主成分ハ Bufagin ナリ. 蟾酥ノ作用ハ Digitalis 葉ニ比シテ50倍以上強ク, 著名ナル六神丸ハ之ヲ含有セリ, 然レドモ蟾酥ノ成分ニハ未ダ猶ホ不明ナル點少ナカラズシテ將來ノ研究ヲ要スル所多シ.

局所作用. 本屬ノ藥品ハ局所ノ刺戟作用強キヲ以テ, 皮下注射スレバ發炎化膿セシメ, 大量ヲ內服セシムレバ嘔吐, 下痢等ヲ來ス事アリ.

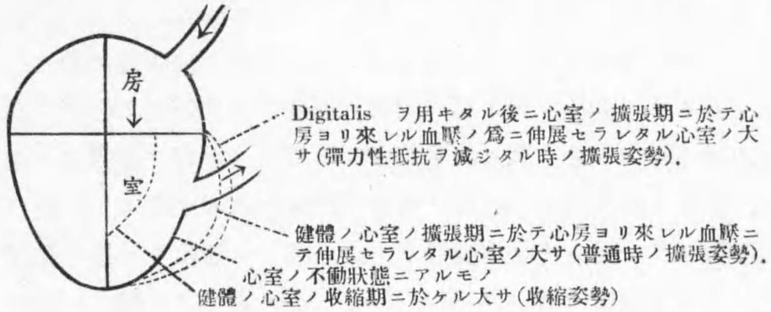
吸收作用. 一旦血液中ニ吸收セラルヽトキ特殊ナル作用ハ心臟ニ於テ現ハル. 今1889年 うぃりあむ William 氏ガ發表シタル說ニ據リ Digitalin ヲ赤蛙ニ與ヘ其心臟ニ於テ生ズル現象ヲ2期ニ區別シテ論ズ可シ.

第1ノ時期ニ於テハ心臟筋質ノ收縮力ニハ變化ヲ來サズシテ, 唯其彈力性抵抗ヲ減ズルガ爲メニ, 心室ノ擴張期ニ於テ心房ヨリ來ル血液ノタメ心室ガ擴張セラルヽ事一層多ク, 從テ心室ニ受容スル所ノ血量モ亦多クシテ, 心室ノ1回ノ收縮ニ依テ驅出ス可キ血液ノ量ヲ增加シ, 其結果トシテ脈波大ナル可キ理ナリ. 如此ク每回ノ收縮ニ際シ大量ノ血液ヲ送リ出ス爲ニ, 自然ニ心臟

ノ縮期 (Systole) ハ平素ヨリ永ク, 從ツテ1分時間ノ搏動數ハ藥用以前ヨリモ減少シテ, 脈搏緩慢トナル.

Digitalin ノ作用一層進行シテ第2ノ時期ニ至レバ, 第1期ニ於テ一旦減少シタルトコロノ心臟筋質ノ彈力性抵抗ハ却テ著シク增加シ, 且ツ心室ノ不整ナル收縮卽チ心室ノ蠕動運動ト稱セラルル現象ヲ起シ. 終ニハ心室ノ收縮狀態ノ位置ニ於テ靜止スルヲ見ル. 此靜止ノ原因ハ心室ノ筋質彈力性ノ抵抗ノ著シキ增加ノ爲メニ, 心房ヨリ來レル血液ノ通常ノ壓力ニテハ心室ヲ擴張シ得ザルガ爲ナリ.

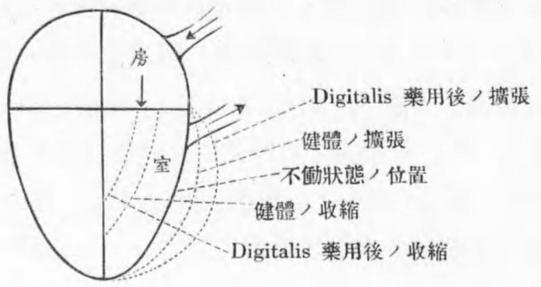
左リナガラ此場合ニ至リテモ, 若シモ强ヒテ人工的ニ靜脈ヨリ心房ヲ經テ心室ニ迄一定ノ壓力ヲ有スル血液ヲ注入シ, 以テ心



室ヲ擴張セシムルナラバ, 再ビ心搏動ヲ現ハス可シ, 是レ卽チ心臟筋質ノ收縮力ハ猶ホ依然トシテ健存スレドモ, 獨リ其彈力性抵抗增加ノ爲ニ所謂縮期靜止ヲ來セルノ證ナリ. 而シテ如此ク人工ノ壓力ニ依リ搏動ヲ繼續セシメタル心臟ニ向テ, 更ニ Digitalin ヲ追加シ其作用ヲシテ更ニ一層進行セシムレバ, 最後ニ心臟筋質ノ眞ノ麻痺ヲ來シテ, 心搏動ガ消失スルヲ認ム可シ.

然ルニ 1900年ニ至リ やこびー及ビ うぃばう (Jacobj und Wybauw) 兩人ノ共同作業ニテ Digitalis ノ强心作用ニ關スル他ノ解釋ヲ得タリ. へれぼれいん (Helleborein ハ Digitalis ト同一

ノ作用ヲ有シ，此作用ハ Digitalis ヨリモ速カニ顯ハレテ速カニ消失スルガ故ニ研究ノ爲ニハ甚ダ便利ナリ）ヲ含有セル榮養液中



ニ心臟ヲ浸シタル際ニ，心室ノ容積增加ト搏動緩慢ノ現象ヲ認メ，終ニ心室ハ靜止シタリト雖ドモ此靜止ハ收縮期ノ靜止ニ非ズシテ却テ擴張期ノ靜止ナリシ．此如ク Helleborein ヲシテ心臟筋質ノ外層ニ觸接セシメタル時ニ當テハ，心室ガ擴張期ノ靜止ヲ致スト雖ドモ，其後ニ至リ毒ガ次第ニ筋層ヲ深ク侵シテ心室ノ筋層ノ內層ニ達スルカ，又ハ榮養液中ニ溶解シタル毒ヲ靜脈內ニ注入シ，心房ヲ經テ直チニ心室ノ內層ニ作用セシムル時ハ，心室ハ擴張姿勢ヨリ一變シテ收縮姿勢トナリ，終ニハ如此キ狀態ニ支配セラレテ縮期靜止ヲ來スニ至ル可シ．是ヲ以テ之ヲ觀レバ本屬毒物ノ心臟筋肉ノ外層ト內層トニ於ケル作用ハ全然相違シ，外層ニ於ケル作用ハ擴張ヲ有力ニシ，內層ニ於ケル作用ハ收縮ヲ有力ニシ，內外兩層ニ於ケル作用ガ適度ニ興奮スレバ擴張收縮共ニ旺盛トナリ，從ツテ血行促進セラル可シ．左リナガラ是等兩層ニ於ケル筋ノ興奮ガ過度ナルニ至レバ必然優勝劣敗ノ現象生ズ，蓋シ內層ノ筋纖維ノ量ハ外層ノソレヲ遙ニ凌駕スルタメ，其興奮作用モ亦優勝シ，結局縮期靜止ニ陷ラシム．

Digitalis 葉ノ有效成分ハ好ンデ心臟ノ筋肉ニ固著シ其排泄極メテ緩慢ナルヲ以テ，藥用ヲ持重スレバ，漸次爰ニ蓄積シ終ニハ

中毒量ニ達シテ危險ナル徵候ヲ呈スル事アリ．如此キ蓄積作用ハ Strophanthus 子及ビ海葱ヲ用キタル時ニハ殆ド之レナシ．

哺乳動物及ビ人ニ於ケル Digitalis ノ作用モ赤蛙ノ心臟ニ於ケルガ如ク 2 期ニ區別スル事ヲ得可シ．第 1 期卽チ藥效期ニ於テハ(甲)脈搏緩慢トナリ，(乙)脈波ノ容積增加シ，(丙)血壓昇騰ス．(甲)脈搏ガ緩慢トナル主因ハ增加セシ血壓ノ爲ニ迷走神經ノ中樞及ビ末梢ガ共ニ刺戟セラルヽ爲メナリ．今 Digitalis ヲ與ヘタル爲ニ脈搏ガ減少セル家兎ノ迷走神經幹ヲ切斷スレバ，中樞ノ制止作用ガ心臟ニ傳ラザル爲ニ脈搏ヲ若干增加スベシ．是ニ由テ迷走神經中樞ノ心搏制止作用ノ存在ヲ證明スル事ヲ得．次デ Atropin ヲ與ヘ心臟ニ存在スル迷走神經ノ末梢裝置ヲ麻痺スレバ，更ニ一層ノ脈搏增加アルベシ．是ニ由テ此末梢裝置ヨリ發生スル制止作用ノ存在ヲ證明スル事ヲ得．但シ初ヨリ Atropin ヲ與ヘテ此末梢制止裝置ヲ麻痺シ然ル後ニ Digitalis ヲ與フルモ脈搏ハ著シク緩慢トナラズ，或ハ適宜ノ方法ヲ以テ血壓ノ昇騰ス可キヲ豫防シタル後ニ，Digitalis ヲ與フルトモ脈搏ハ著シク緩慢トナラズ．(乙)脈波ノ容積ノ增大ハ赤蛙ノ心臟ガ Digitalis ノ第 1 期作用ヲ受ケタルト同ジク，心室筋質ノ內外兩層共ニ興奮シ擴張及ビ收縮ガ旺盛トナリ，從ツテ 1 回ノ收縮ニ多量ノ血液ヲ動脈內ニ送リ出スガ爲ナリ．此他 Digitalis ヲ用ユル時ハ末梢血管ノ筋質ヲ刺戟シテソヲ收縮スル作用アルヲ以テ，此事モ亦血壓昇騰ニ關係ス可シト雖モ，Digitalis ノ藥用量ヲ以テ現ハルル血壓亢進ハ此脈管ノ作用ニハ關係ナキモノトス；何トナレバ脈管壁ヲ收縮セシメンニハ藥用量ヨリモ遙ニ大量ヲ要スルモノナレバナリ．

第 2 期卽チ中毒期ニ於テハ，迷走神經末梢ガ麻痺スルニヨリ，第 1 期ノ脈搏緩慢ハ却テ頻數トナリ，血壓ハ依然昇騰ノ狀態ニアレドモ；作用ソレヨリモ進ム時ハ心室ノ收縮不正トナリ，所謂心室ノ筋質ガ蠕動スル爲メニ脈波ノ容積不整トナリ，從テ血壓モ亦不正ニ變化スルニヨリ，人ニ於テハ自覺徵候トシテ眼前浮動，視野朦朧，等ノ如キ視力障碍，神氣錯亂，譫妄，等ノ如キ精神障碍，惡心，眩暈，等アリ．而シテ終ニハ卒然心臟麻痺ヲ發シ，血壓俄ニ低降シ虛脫ヲ以テ斃ル（此虛脫ヲ以テ第 3 期卽チ臨死期トシテ區分スル者アリ）．

Digitalis ヲ哺乳動物ニ用ユル時ハ，血壓昇騰ノ爲メニ迷走神經ノ緊張ヲ增加シ，ソレガ爲メニハ心臟ノ刺戟傳導ヲ害スルヲ以テ，心臟ノ刺戟傳導路卽チ His 氏及ビ田原氏ノ筋束ニ病(Rheumatis，徵毒) アリテ，傳導障碍ヲ有スル者ニ Digitalis ヲ用ユレバ，迷走神經ノ此傳導抑制作用ガ異常ニ亢進シテ，危險ナル徐脈ヲ來ス恐アリ．

性狀及ビ應用

1) ぢぎたりす葉 Folia Digitalis.

玄參科植物 (Digitalis purpurea *Linn*) ノ葉ニシテ其主要成分

ハ Digitalin 及ビ Digitoxin ノ2種類ナリ.

長サ30 cm ヲ超エズ，幅大約10 cm ノ長卵圓形ヲナシ，皺縮シ，下部ハ葉柄ニ沿フテ狹長トナリ，邊緣ハ不同ノ鈍鋸齒狀ヲ呈シ，裏面ニハ柔軟ナル細毛ヨリ成レル毳被ヲ帶ビ著ク隆起セル細密ノ網脈ヲ現ハシ，味ハ不快ニシテ苦ク，貯藏後1ケ年以上ヲ經過シタルモノハ概シテ藥用ニ供スルコトヲ得ズ.

第　6　圖

Digitalis 葉ノ基本植物

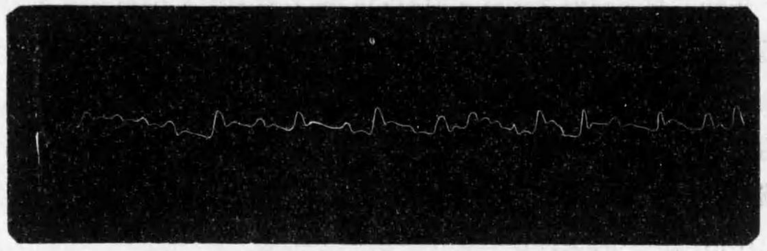
其成分ハ　ぢぎたりん(Digitalin 配糖質ニテ水ニ溶解ス)，ぢぎたれいん (Digitalein 配糖質ニテ水ニ溶解ス)，ぱらぢぎたりにん (Paradigitalinin 配糖質ニテ水ニ溶解ス) 及ビ　ぢぎときしん (Digitoxin 配糖質ニアラズ水ニ不溶解) 等ト稱セラルヽモ．實際ニ葉中ニ存スルモノナルヤ，將タ又分折ノ際ニ分解産物トシテ現ハルヽモノナルヤハ不明ナリ．著者ハ既ニ Dgitalin ノ作用ニ就テノミ論ジタルモ，一說ニ據レバ心臟ニ對スル作用ガ最モ强キハ Digitoxin ナリト云フ．ソノ他ニ化學的操作上ノ分解産物トシテ生ジタルモノヽ中，世ニ知ラレタルハ ぢぎたりれじん (Digitaliresin)，ぢぎとれじん (Digitoresin)，ぢぎとにん (Digitonin)，ぢぎとれいん (Digitonein)，ぢぎとげにん (Digitogenin) 等トス.

Digitalis 葉ハ　1) 種々ノ心臟病例ヘバ瓣膜病，膜孔狹窄，心內膜炎，心外膜炎，等ニ於テ脈搏細數，血壓低降セシ時ニ用ユ可キ聖藥タリ．特ニ僧帽瓣又ハ三尖瓣ノ閉塞不全ニ之ヲ用ユレバ心室ノ擴張ト收縮トガ有力トナルノミナラズ，ソレ等ノ瓣ガ存在スル房室孔ガ心室ノ縮期ニ於テ强ク收縮スルタメ血液ノ逆流ヲ減少セシメ，又大動脈瓣閉塞不全ノ場合ニ之レヲ用ユレバ血液ヲ輸出スル量ガ增加スル外ニ，尙ホ心室ノ收縮期ノ延長ニ由リ，動脈血ハ毛細管ヲ經過シテ遙カニ靜脈ニマデ到リ易ク，之ガ爲ニ循環

第　7　圖

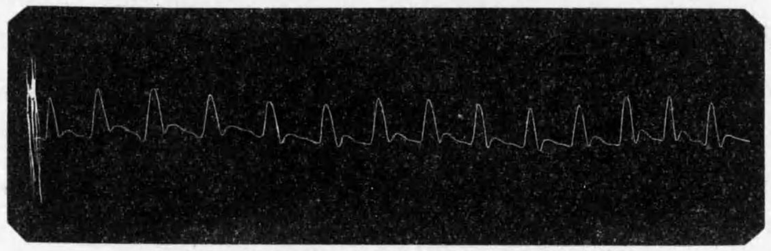
Eichhorst 氏 ニ 據 ル

(甲)



45 歲ノ男子ノ僧帽瓣不全閉鎖及ビ心嚢炎ニ罹レルモノガ代償機能障碍ヲ起シタルトキノ脈譜

(乙)



同患者ニ Digitalis ヲ6日間投與シタル後ノ脈譜ニシテ，脈搏整正增大シ，血壓モ亦從テ亢進セル狀ヲ曲線上ニ認ムルコトヲ得可シ.

ノ狀態著ク佳良トナル可シ．2) 次ニ肺氣腫 (Emphysem)，肺炎，等ノ爲メニ器械的ニ肺循環ヲ障碍サレタルトキ，之レヲ用キ其增加シタル血壓ヲ以テ障碍ヲ排シテ血流ヲ利シ，肺ノ榮養ヲ改善スル事アリ．3) 終リニ尙ホ慢性腎臟炎殊ニ萎縮腎 (Schrumpfniere) ノ爲メニ排尿少キモノニ之レヲ用キ，其增加シタル血壓ヲ以テ排尿作用ヲ通利セシメント試ムル事アリ.

爰ニ注意ヲ要スル事ハ，心臟病ニ原因スル所ノ血行障碍タルト，肺疾患ニ基ク所ノ血行障碍タルト，將タ又腎臟病ニ由レル所ノ血行障碍タルトヲ問ハズ，生活體ハ藥用セザルトモ最初ハ一旦自然ニソレ等ノ障碍ヲ代償セントスルノ目的ニテ心臟ノ筋質ノ肥

大增殖ヲ來シテ以テ心臟ノ力ヲ强クシ，從ツテ血流ヲ有力ナラシム．如此ニシテ血行ヲ通利スルナラバ數年乃至十數年間モ彼等ノ疾病ノ爲ニ障碍サレタル血行ハ心臟ノ有力ナル作業ニヨリテ代償セラレテ血液ノ循環充分ナルヲ以テ，動物ハ藥用セザルトモ平素ノ如ク其健康ヲ維持スル事ヲ得，是レ卽チ動物體ノ自然良能ノ結果トシテ來レル所ノ代償機能 (Compensation) ナリ．故ニ代償機能アル間ハ固ヨリ Digitalis ヲ用ユルノ要ナシ，然レドモ元來此代償作用ハ心臟自身ニ取リテ過度ノ勞働ナルヲ以テ，多年ノ後ニハ終ニ疲勞シ其結果脈搏ハ不整トナリ微弱トナリ尙ホ頻數トナル．爰ニ至レバ動脈ノ血量不足シテ血壓低降シ，靜脈ニハ血液鬱積シテ所謂鬱血ヲ生ズ；血行如此ク不良ナレバ全身ノ臟器ノ榮養衰ヘ從ツテ又心臟ノ榮養モ衰フルガ故ニ，其作業力ハ益〻衰弱スルニ至リ，其徵候トシテハ，1) 血行不良ノ爲ニ酸素ノ供給ニ不足ヲ訴ヘテ呼吸促迫シ，2) 血壓低降ノ爲ニ尿ノ分泌ヲ減少シ，3) 靜脈鬱血ノ爲ニ全身ニ水腫ヲ生ズ．

今ヤ始テ Digitalis ヲ應用ス可キ好時期ニ到達ス．卽チ之ヲ與フレバ心搏動ハ緩慢ニシテ有力ノモノトナリ，心室ガ擴張スル事ノ大ナル爲ニ室ニ受容スル所ノ血量多ク從ツテ收縮毎ニ動脈中ニ輸出スル所ノ血量增加シ，(甲) 血行旺盛トナリ，(乙) 血壓昇騰ス，(甲) 血行旺盛ナレバ酸素ノ供給充分トナリ，呼吸促迫ノ徵候消失シ，靜脈血ガ鬱滯スル事ナキヲ以テ鬱血モ亦消失ス；(乙) 血壓昇騰スレバ尿ノ排泄量增加ス．而シテ鬱血ノ消失ト尿量ノ增加トハ相待テ水腫ヲ消散セシム，斯クテソレヨリ次第ニ身體ノ榮養ヲ改善スル事ヲ得可キナリ．

Digitalis ハ如此ク心臟ヲ有力ナラシムルニ依テ藥效ヲ致ス所ノモノナレバ，心臟作用ノ障碍ノ爲ニ血壓低降シ水腫ヲ生ジタル場合ニハ實ニ聖藥トシテ貴重セラル；左リナガラ腎臟ニ對シテハ

特殊ナル作用ナキニヨリ，今腎臟ニ病アリテ血壓高ク而カモ排尿不足セルモノ，例ヘバ急性腎炎及ビ人ノ脚氣ノ如キモノニハ之ヲ用ユルモ利尿ノ目的ヲ達セザル可シ．

タトヒ Digitalis ガ有效ナル疾病ノ際ト雖ドモ，之ヲ用キタル場合ニ脈搏ガ緩慢トナリ，强實トナラバ，爰ニ其目的ヲ達シ得タルモノナレバ，直チニ投藥ヲ中止シテ其經過ヲ窺ヒ中毒ニ陷ル事ヲ避ケザル可カラズ，而シテ藥效ノ消失ノ爲ニ，再ビ脈搏ガ頻數トナリ，軟弱トナラバ，更ニ投藥ヲ開始シ充分ニ目的ヲ達スルニ至レバ休藥ス．如此ニシテ投藥ト休藥トヲ交互シテ，中毒ヲ豫防スル事ハ本劑應用上至要ナル條件トス．

急性熱性病若クハ過劇ノ勞働ニヨリ心臟ガ俄カニ衰弱シタル爲ニ，脈搏不整細數トナラバ，直チニ Digitalis ヲ與フベシ；例ヘバ肺炎ニ向テ之ヲ用ユレバ，獨リ衰弱セル心臟ヲ有力ナラシムルニ止マラズ，肺循環ヲ盛ニシテ疾病ノ恢復ヲ促ガス；往時ヨリ肺炎ニ Digitalis ヲ處方スル者多キハ實ニ之ガ爲ナリ．

概括シテ之ヲ云ヘバ Digitalis ハ心臟筋質ガ尙ホ興奮シ得ル患畜ニテ，脈搏細數トナリ水腫ヲ併發シタル場合ニ，心臟ノ作用ヲ高メ，且ツ利尿作用ヲ促ガシ，水腫ヲ消散セシムル爲ニ處方セラレ可キモノニシテ，單ニ解熱藥トシテハ好マシカラズ；又心臟ノ筋實質ニ變化アルモノ，心臟ノ代償機能ガ行ハルヽモノ，竝ニ出血素因アルモノニハ禁忌ス可キ事ヲ忘ル可カラズ．

著者ノ研究ニ徵スレバ，馬ニ向テ1回ニ 10.0 g ノ如キ大量ヲ與フレバ必然食慾ヲ損スルヲ以テ，强心藥トシテハ 5.0 g 以下ヲ以テ適量トナスモ；2.0 g ニテハ奏效確實ナラズ，體重約 100 貫ノ馬ニ向テ 4.0 g ヲ1日1回宛丸劑トシテ與フレバ，第3日ニ於テ脈搏ノ減少，尿量ノ增加ヲ見ル；故ニ第5日マデ若クハ第7日マデ連用シ，然ル後ニ 5-7 日ノ休藥ヲ要ス可シ．

ふれーれる氏ハ熱性病ニシテ著キ心臓障碍ヲ伴ヘル者ニ，本劑ヲ下熱ノ目的ニ投薬セリ．例ヘバ馬ノ肺炎，胸疫及ビ牛ノ口蹄疫ニ向テ其 10–12g ヲ頓服セシメタルニ獨リ體溫ヲ低降セシメタルノミナラズ，心臓ヲ有力ニシテ經過ヲ佳良ナラシメタリ；然レドモ如此キ大量ヲ連續投與スルコトハ危險ナルニヨリ1回ヲ限リテ試用スベシト云ヘリ；而シテ氏ハ此見地ヨリシテ解熱劑トシテノ用量ヲ次ノ如ク指定セリ．

1回限リニ用ユル解熱劑ノ用量

馬，牛	10.0–12.0	犬	0.2–0.5
羊，豚	1.0– 2.0	猫	0.1–0.2

要スルニ Digitalis ハ血壓ヲ昇騰セシムル藥品ナレバ，出血セル患畜ニ用ユレバ其出血ヲ多カラシメ，又出血素因アルモノニ與フレバ出血ヲ促ガスノ危險アリ；タトヘバ人ノ肺結核，動脈ノ Atherom 變性，殊ニ老人ニシテ此變性アルモノニ禁忌セラレタルハ之ガ爲ナリ．但シ Digitalis ニモ末梢動脈收縮作用アレドモ，此作用ハ甚微力ナルヲ以テ，到底昇騰シタル血壓ガ出血ヲ促ス場合ニソヲ防禦シ得ザルナリ．

ぢぎたりす葉ノ效力ハ强弱區々ニシテ定マリ難キモノナレバ，其强サヲ試驗スルタメ種々ノ法アレドモ，最良ナルハ ふなっけ氏法ナリ (Focke. Archiv der Pharmazie 1903 Seite 128)．乾燥セル葉末 2.0 g ニ熱湯 24 cc. ヲ加ヘ，30 分時間ノ後ニ壓榨濾過シテ得タル所ノ浸液 20 cc. ヨリ少キ時ハ，之ニ水ヲ加ヘテ 20 cc. トナセバ 10 %浸劑ヲ得可シ．7月ノ終ヨリ9月ノ始マデノ間ニテ，室溫ヲ攝氏 17 度トナシ試驗スルニ，10分時間ヨリ速カナラズ30分時間ヨリ遲カラザル時間內ニ，縮期靜止ヲ來シタル赤蛙ノ心臓ヲ以テセリ．

$$V=\frac{P.}{d.t.}$$

P.＝赤蛙ノ體重(g.)
d.＝10% Digitalis 浸劑ノ用量(cc.)
t.＝縮期靜止マデノ時間(分)

タトヘバ赤蛙ノ體重 25 g，Digitalis 浸ノ用量 0.5cc，時間 13 分ナレバ前ニ示シタル式ニ據リ $\frac{25}{0.5\times13}=3.8$，Vノ價ハ 3.8 トナル．善良ナル Digitalis 葉ノVハ 5–6 ナリ．

ぢぎたりす葉ノ效價ヲ定ムルニ猫法ナルモノアリ．猫法ハ 1910 年ニ米人 Hatcher 及ビ Brodie 兩氏ニ依テ定メラレタルモノニシテ，猫ノ股靜脈內ニ注入シ猫ノ體重 1 Kgr. ニ對スル最小死量ヲ一單位トス．良好ナル葉末ノ 0.1 gr.，Digitalis 丁幾ノ 10 cc.，Digifolin 又ハ Pangital ノ 1 cc. ハ 1 猫單位ニ相當ス．人ノ1治療期間ノ全用量ハ體重 1 Kg ニ對シ 0.33 猫單位ヲ要スト云フヲ以テ，50 Kg. ノ大人ナラバ 16.5 猫單位，從テ 1.65 g. ノ葉末ヲ處方サルベキ道理ナリ．其以前十日以內ニ Digitalis ヲ用キタルコト之レナキ者ナラバ，全用量ノ 1/4 宛ヲ6時間ヲ隔テテ2回頓服セシメ，其後ハ毎6時間全用量ノ 1/10 宛ヲ服用セシム．勿論浸劑トシテ用ユルモノナルガ，6時間ト云フ間隔ハ，其時間內ニ Digitalis ガ腸ヨリ吸收セラレテ，充分其作用ヲ現ハス迄ノ餘裕ナレバ，與ヘ過ギテ中毒ヲ起スコトヲ豫防スルニ適ス．動物ニ關シテハ未ダ嘗テ如此キ處方ナキモ，適當ニ斟酌シテ利用スレバ甚ダ妙ナルベシ．

心臓藥ノ用量(1週間投藥ノ後ハ1週間ノ休藥ヲ要ス)

大動物	2.0 –5.0
中動物	0.5 –1.0
小動物及ビ人	0.02–0.1

處方例

1) ぢぎたりす葉末 4.0
あらびあごむ 少許
爲1丸，頓服(馬ノ肺炎)．

2) ぢぎたりす葉末 12.0
茴香末 50.0
澱粉 ｝各 適宜
あらびあごむ ｝
6丸トナシ1日2丸宛(馬ノ水腫)．

3) ぢぎたりす葉浸 (1.0)100.cc.
單舍利別 10.cc.
混和，毎日2食匙宛與フ(犬ノ水腫)．

4) ぢぎたりす葉末 0.1
白糖 0.5
1包トナシ其10包ヲ作リ，毎日1包宛(犬ノ水腫)．

5) ぢぎたりす葉浸 5.0)500.cc.
頓服(馬ノ胸疫)．

6) ぢぎたりす葉末 5.0
單舍利別 適宜
爲舐劑，舌面ニ塗抹ス(馬ノ心臓病)．

7) ぢぎたりす葉末 5.0
1瓶ノ水ニ混ジ振盪シテ頓服セシム(牛ノ口蹄疫)．

8) ぢぎたりす葉浸 (2.0)250.cc.
醋酸かりうむ液 ｝各 20.cc.
單舍利別 ｝
混和，1日數回1食匙宛與フ(犬ノ腹水)．

Digitalis 葉ノ浸劑ヲ作ルニハ，葉ノ重量ノ 200 倍ノ水ヲ加ヘ約 90°C ノ溫度ニテ 15 分時間浸出スベシ，然ル時ハ有效成分ノ 99 %マデ浸出セシムル事ヲ得可シ．元來 Digitoxin ノ含有量ハ葉ノ 1/300 ニシテ，其溶解度ハ 1/14,000 ナルヲ以テ，葉ノ 230 倍重量ノ水ヲ加フレバ浸劑中ノ Digitoxin ノ濃度ハ 1/60,000 トナリ充分ニ溶解セラレ得ルモノナリ．加フルニ葉中ノ Digitoxin ハ純粹ナル結晶ノソレヨリモ溶解シ易キ狀態ニアルヲ以テ，溶解ニ付キテハ何等懸念ヲ要セズ．左リナガラ 200 倍ノ沸騰水ヲ葉ニ注ギ加ヘテ，5分間放置シタルノミノ浸劑ニテハ，有效成分ノ 59–76 %ヲ得ルニ過ギズ．

Digitalis 浸劑ニ 0.05–0.1 %ノ濃度ニ於テ鹽酸ヲ加フレバ，室溫ニテ 5–6 日間ハ其效力ヲ減少セザルノミナラズ，同時ニ浸劑ニ特有ナル局所刺戟ノ作用ヲ消失スルヲ以テ其配合ハ其適當ナリト云フ．

2) ぢぎたりす丁幾 Tinctura Digitalis.

Digitalis 葉 1 分．稀酒精 10 分ヲ以テ製シタル澄明帶褐綠色ノ液ナリ．用量ハ葉ノ5倍トス．

處方例

ぢぎたりす丁幾 100.cc.
右毎日1食匙宛ヲ半瓶ノ水ニ混ジテ與フ(牛ノ水腫)．

3) ぢがーれん Digalenum.

くれーた氏 Cloetta ノ發見ニ係レル 25 % ノ Glycerin 水ニ Digitoxin ヲ溶解シタルモノナリト云フ; 其 1 cc. 中ニハ Digitoxin 0.3 mg ヲ含有シ恰モ Digitalis 葉 0.15 g ノ浸劑ト效力ヲ同ウス; 故ニ人ニ於テ其 0.5–1.0 cc. ヲ 1 回量トシテ內用, 皮下注入, 筋肉內注入, 靜脈內注入, 等ノ處方アリ. 馬ニハ 1 回ノ靜脈內注入ニ 10.cc. ヲ要ス.

我國ニ於テモ渡邊藥學博士ハ ぢぎたみん Digitamin ト稱スル製劑ヲ案出シ, 又高橋醫學博士ハ ぱんぎたーる Pangital ト稱スルモノヲ製出セリ. 甲ハ Digalen ニ酷似セル製劑ニシテ, 乙ハ Digitalis 葉中ノ凡テノ有效成分ヲ含有セルモノナリ. ぢぎぷらつーむ Digipuratum 及ビ ぢぎふぉりん Digifolin ト稱スル製劑モ輸入セラレ其成分ハ Pangital ニ類似シタルモノニシテ特ニ Digifolin ハ最近甚ダ賞用セラル. 何レモ內用, 皮下注入竝ニ靜脈內注入ニ適當スルモノナリ. 而シテ是等ノ製劑ノ用量ハ殆ド凡テ Digalen ニ同ジ.

4) ぢぎたりん又眞正ぢぎたりん Digitalinum od. Digitalinum verum.

佛國 Belgie 及ビ獨逸ノ或地方ニ於テハ種々ナル Digitalin ヲ販賣シ, 以テ Digitalis 葉ニ代用セリ. Digitalin ハ白色無晶形ノ粉末ニシテ殆ド水ニ溶解セズ. 此モノ實際ハ數種ノ混合物ニシテ其效力一定セザレドモ, Digitalis 葉ノ代リニ人ニ於テハ 1 回量 0.002–0.006 ヲ酒精溶液トナシ內用セシムル事アリ, 要スレバ又皮下注入スル事サヘモ之レアリ, 左リナガラ皮下注入ニテハ膿瘍ヲ生ズルノ虞アル可シ.

5) ぢぎときしん Digitoxinum. $C_{32}H_{52}O_{10}$

獨逸國 E. Merck 會社製造品ニシテ, 白色無臭微細ノ結晶性粉末ヲナシ, 苦味ヲ有シ酒精ニハ溶解スレドモ水ニハ溶解セズ, 其酒精溶液ハ久シク保存スル事ヲ得.

Digitalis 葉ノ代リニ人ニ於テ 0.0005–0.001 ヲ 1 日分トシ 3 回ニ分服セシム.

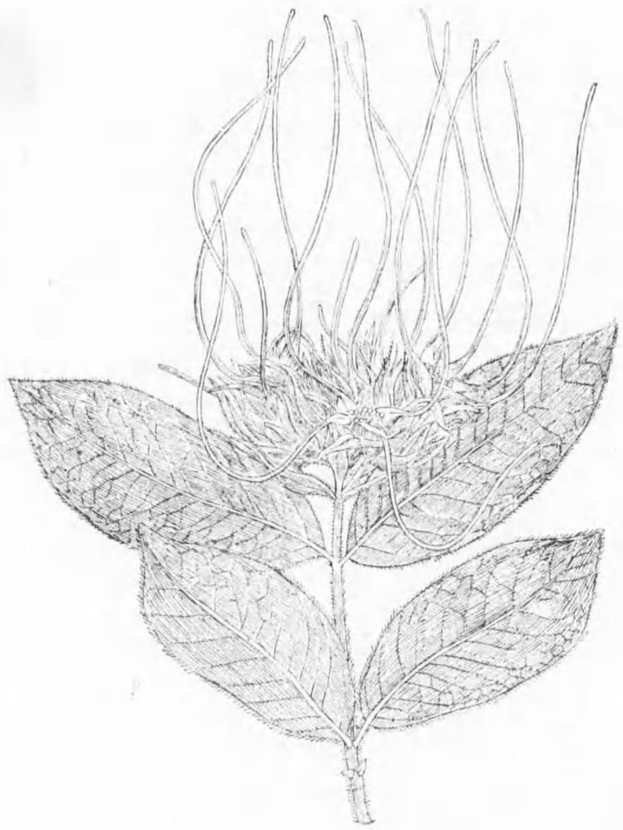
胃ヲ刺戟スルコト甚シキヲ以テ乳糖, 甘草末, 等ノ賦形藥ト合シテ散藥トナシ食後ニ內用セシムルカ又ハ ごむ漿ニ混ジテ直腸內ニ注入ス.

6) すとろふぁんつす子 Semen Strophanthi.

亞弗利加ノ熱帶地方ニ產スル夾竹桃科ノ蔓性灌木 (Strophanthus) 屬ノ種子ニシテ, 產地ノ土人ガ矢毒トシテ使用スルモノナリ.

第 8 圖

Strophanthus Kombe



長サ大約15mm幅5mmノ扁平鏃鏃形ヲナシ，輕クシテ頂端尖鋭ナリ，其外面ニハ類白色，類黄色又ハ類褐色ノ毛茸ヲ被ムリ；薬用ニ供セラルヽモノニ2種類アリテ，すとろふぁんつす　ひすぴづす（S. hispidus）及ビ　すとろふぁんつす　こむべ（S. kombe）ト云フ．前者ハ　ぷそいどすとろふぁんちん（Pseudo-strophanthin $C_{40}H_{60}O_{16}$）ヲ含ミ．後者ハ　すとろふぁんちん（Strophanthin $C_{40}H_{66}O_{19}$）ヲ含ミ，本邦ニ輸入サルヽモノハ大抵，此後者ノ種類ト'ス．是等ノ成分ハ何レモ配糖質ニシテ作用相同ジキモノト認メラル．専ラ次ニ揭グル丁幾ノ形狀ヲ以テ薬用ニ供ス．

7) すとろふぁんつす丁幾 Tinctura Strophanthi.

Strophanthus 子 1分稀酒精10分ヲ以テ製シタル澄明褐黄色ノ液ニシテ苦味ヲ有ス．

其作用ハ全ク Digitalis ニ同ジ，唯異ナレルハ (1) 效力ガ速カニ顯ハレ (2) 又速カニ消失スル事，(3) 胃腸ヲ刺戟スル少キコト，(4) 竝ニ蓄積作用無キコト等ナリ．故ニ迅速ニ作用セシメントスル時，若クハ胃腸ニ疾患アル時ニ用ユルニ適スレドモ，其他ニ於テハ Digitalis ニ劣リ，實際 Digitalis ヨリモ效力弱ク，且ツ水ヲ加フルトキハ變敗シ易キヲ以テ數日分ヲ同時ニ調劑シ置ク事ヲ得ズ．人ニ於テハ1回2-10滴ヅヽ1日數回使用ス．

用　量

馬	10-25cc.
犬	10-25 滴

處方例

1) すとろふぁんつす丁幾　5.cc.
朝夕10滴宛少許ノ白糖ヲ加ヘタル水ニ混ジテ與フ（犬ノ水腫）．

2) すとろふぁんつす丁幾　1.cc.
白糖　10.0
蒸餾水　60.cc.
混和，朝夕1食匙宛與フ（犬ノ心臟病）．

3) すとろふぁんつす丁幾　10.cc.
ぢぎたりす葉末　10.0
澱粉　30.0
爲舐劑，2回ニ分チ與フ（馬ノ胸疫）．

8) すとろふぁんちん Strophanthinum. $C_{40}H_{66}O_{19}$

白色無晶形ノ粉末ニシテ，水及ビ酒精ニ溶解ス．人ニ於テハ 0.5-1.0mg 宛1日3回，膠嚢劑又ハ酒精溶液トシテ用ユ．

9) たんにん酸すとろふぁんちん Strophanthinum tannicum.

白色無晶形ノ粉末ニシテ，水ニ溶解セズ，其中ノ Strophanthin ノ含有量ハ 58%ニ當ル．人ニ於テハ 1-2mg 宛散劑トシテ用ユ．

10) 海葱 Bulbus Scillae.

地中海ノ沿岸ニ産スル百合科ノ植物（Urginea Maritima *Bak.*）ノ葱根ノ中層ヲ採リ，細長片ニ剉截セルモノナリ．

長サ 5cm 厚3mm 角膜樣透映，帶黄白色ヲ呈シ味ハ粘滑辛烈ナリ．其中ノ主要成分ハ　すちらいん（Scillain），すちりん（Scillin），すちりときしん（Scillitoxin），すちりぴくりん（Scillipicrin）等トス．其製劑ニ海葱丁幾，海葱醋，海葱醋蜜アリ．

第　9　圖

海　葱

往時ハ盛ンニ應用セラレタレドモ胃，腸及ビ腎臓ノ刺戟作用強クシテ屢〻不慮ノ副作用ヲ認ムルニヨリ，近來殆ンド用ユル者無シ．左レドモ其腎臓ノ刺戟作用アルガ爲メニ却テ之レヲ水腫ニ利用セント試ムルモノモ亦之アリ．

用量（冷浸劑トシテ用ユ）

大動物	5.0 -10.0
中動物	1.0 - 2.0
小動物	0.1 - 0.5
人	0.05- 0.2

（日本藥局方ノ海葱丁幾ノ用量ハ此5倍，海葱醋ナラバ10倍，海葱醋蜜ナラバ20倍トス）．

處方例

海葱浸 (2.0)200.cc.
ぢぎたりす丁幾 10.cc.
爲溶液，毎日 1-2 食匙宛與フ（犬ノ水腫）．

第29. ざぽときしん屬 Gruppe des Sapotoxins.

本屬ニ編入サル可キ藥物ノ主成分ノ水溶液ハ石鹸溶液ノ如ク泡沫 (Schaum) ヲ生ズル性質アルヲ以テ，Sapotoxin 卽チ石鹸毒素ノ名稱アリ．本屬藥品ハ魚族ニ對シテ猛毒ナルヲ以テ，往古ヨリ魚流し ト稱シ魚類ヲ捕獲スル爲ノ毒物トシテ，遍ク使用セラレタリ．而シテ通例藥品トシテ應用サルヽモノハ Quillaja 皮，Senega 根及ビ遠志根ノ3種トス 今 Quillaja 皮中ノ主成分タル Sapotoxin ニ付テ作用ヲ論ズ可キナリ．

本屬藥品ノ主效分ハ內服ニ依テ吸收セラレザレドモ，烈シキ局所作用ヲ有シ，觸接シタル細胞ノ元形質ノ Lipoid ト化合シ其中ヨリ Cholesterin ヲ奪取スル爲ニ，自然ニ元形質ヲ破壞シ細胞ヲ死滅セシム，Sapotoxin ガ細胞毒卽チ元形質毒ト稱セラルヽハ之ガ爲ナリ．故ニ口腔ニ觸ルレバ唾液ノ分泌ヲ增加シ，咽頭ニテハ嘔氣 (Ekel) ヲ催フシ，鼻腔ニテハ噴嚔 (Niesen) ヲ發シ，咽頭ニテハ咳嗽 (Husten) ヲ發シ，眼球ニテハ落涙 (Thränenfluss) ヲ生ズ．又其軟膏ヲ皮膚ニ塗擦スレバ刺戟發炎シテ膿疱 (Pustel) ヲ生ズルニ至ラシメ，皮下注入スレバ其部ニ烈キ出血性炎性ヲ發シ，內服シテ胃腸ニ達スレバ嘔心 (Nausea)，嘔吐，下痢，等ヲ來スト雖ドモ，胃腸ヨリハ吸收セラルヽコトナキガ故ニ一般中毒ヲ起スコトナシ，而シテ其胃粘膜ノ刺戟ノ爲ニ生ズル嘔心アルニヨリ羊，犬及ビ猫ノ祛痰藥トナスニ適ス．

嘔心ハ 1) 氣管枝粘膜ノ分泌ヲ催進シテ濃厚ナル痰液ヲ溶解シ喀出ニ便ナラシメ，2) 呼氣ヲ有力ニシテ喀痰力ヲ强クシ，3) 氣管枝粘膜ノ筋層ヲ弛緩シテ氣道ヲ擴大シ，ソレガ爲ニモ喀出ヲ容易ナラシム所ノ3種ノ作用卽チ嘔心性祛痰作用ヲ現ハス．

Senega 根及ビ遠志根中ノ主成分タル せねぎん (Senegin) ノ局所作用及ビ吸收作用ハ全ク Sapotoxin ニ等シクシテ，而カモ其作用緩和ナルニヨリ，却テ多ク藥用ニ供セラル．是等ノ2者ハ殆ド同一ノモノニシテ我局方ニハ Senega 根ノミヲ採用セリ．

本屬ノ藥品ハ人犬及ビ猫等ノ如ク完全ナル嘔吐中樞ヲ有スルモノニ向テ祛痰作用ヲ呈スレドモ，馬及ビ家兎ノ如キ此中樞ガ退化消滅セルモノニハ祛痰劑トナシ難シ．

Sapotoxin ヲ用キタル時ニハ此嘔心性祛痰作用以外ニ，尙ホ喉頭ニ咳嗽刺戟ヲ致シテソレガ爲ニ一層喀出力ヲ强クスルニ因リ，特ニ刺戟性祛痰藥トシテ區別スル事アリ．故ニ嘔心性祛痰劑中ニハ吐根及ビ金硫黄ノ如キ狹義ノ嘔心性祛痰藥ト Quillaja 皮及ビ Senega 根ノ如キ刺戟性祛痰藥トノ2種類アリ．

ざぽときしん ヲ靜脈內ニ注入スル時，大量ナレバ先ヅ烈シキ痙攣ヲ發シ後ニ延髓特ニ呼吸中樞ノ麻痺ヲ以テ斃レ；ソレヨリモ少量ナル時ハ數日ニ亙ルトコロノ虛脫ヲ以テ斃ル．但シ Sapotoxin ガ血中ニ入ル時赤血球ヲ溶解セシムル著明ノ作用アレドモ，此作用ガ動物斃死ノ原因ヲ爲スニ先チテ既ニ呼吸麻痺ヲ以テ失命スルニヨリ，中毒症狀ノ上ニ重大ナル關係ヲ有スルモノニ非ズ．然レドモ Sapotoxin ノ溶血作用ハ學術研究上ニ於テハ極メテ必要ナルモノナリ．

性狀及ビ應用

1) きらや皮 Cortex Quillajae.

南 America ノ諸國ニ産スル薔薇科ノ植物(Quillaja Saponaria)ノ内皮ナリ.

扁平巨大ノ片ヲナシ外部ハ帶褐白色, 内部ハ類白色ヲ呈シ。味徴ニ甘クシテ辛シ, 其主要成分ハ さぽときしん(Sapotoxin $C_{17}H_{30}O_{10}$)及ビ きらや酸(Quillajasäure $C_{19}H_{30}O_{10}$)ニシテ2者ハ作用ヲ等フス.

内用セシムレバ咽喉頭ヲ刺戟シテ嘔氣及ビ咳嗽刺戟ヲ生ゼシメ, ソレヨリ胃ニ達スレバ其粘膜ヲ刺戟シテ嘔心ヲ催シ, 隨テ祛痰作用ヲ呈ス; 故ニ痰液ガ餘リ粘稠ナラザル時ニ祛痰藥トナスニ適シ, 此作用ハ有效成分ガ血液中ニ吸收セラルヽ事無クシテ生ズルノ點ハ, 其他ノ祛痰劑例ヘバ吐根ニ勝レリ. 然ルニ其ノ作用少シク過激ナルヲ以テ人醫ニテ餘リ多ク用キラレザレドモ, 廉價ナルニヨリ羊, 犬及ビ猫ノ氣道 Catarrh ノ分泌液ガアマリ濃厚ナラズシテ多量ナル時, ソヲ排泄セシメントスルニハ成ル可ク丈ケ本劑ノ如キモノヲ試用セラレン事ヲ望ム.

第 10 圖
きらや

用量

羊	2.0–5.0
犬. 猫	0.2–1.5

處方例

1) きらや皮煎 (10.0)300.cc.
礦砂 10.0
爲溶液, 毎3時1食匙宛與フ(羊ノ Catarrh 性肺炎).

2) きらや皮煎 (2.0)250.cc.
礦砂 10.0
單舍利別 10.cc.
爲溶液, 毎3時1食匙宛(犬ノ肺炎).

2) せねが根及ビ遠志根 Radix Senegae.

北米合衆國ノ森林中ニ産スル遠志科植物(Polygala Senega)ノ根ナリ.

帶黃褐色ヲ呈シ多少轉捩シ結節狀ノ根頭ヲ有シ且ツ上部ニハ輪節アルヲ特徴トス, 一種特異ノ佳香ヲ放チ味ハ粘滑ニシテ後苛烈ナリ. 其主要成分ハ含量2.5%ニ達スルトコロノ せねぎん(Senegin $C_{15}C_{28}O_{10}$)ナル配糖質ニシテ作用ハ Sapotoxin ニ等シ.

漢藥ノ遠志根ハ恐ラクハ ひめはぎ(Polygala tenuitolia)ノ根ニシテ Senega 根トハ別ノモノナレドモ成分ハ Senegin ニ同ジ.

人醫ニテハ其ノ煎劑ヲ刺戟性祛痰劑トシテ汎ク使用ス. Quillaja 皮ヨリモ多ク用キラルルハ作用緩和ナルガ爲メナリ.

用量ハ Quillaja 皮ニ同ジケレドモ作用少ク弱キガ故ニ記載用量中ノ大ナルモノヲ用ユ可シ.

第 11 圖
せねが

處方例

1) せれが根煎　(20.0)300.cc.
　礦砂　10.0
　爲溶液 毎3時1食匙宛(羊ノCatarrh性肺炎).

2) せれが根煎　(5.0)250.cc.
　礦砂　10.0
　單舎利別　10.cc.
　爲溶液, 毎3時1食匙宛與フ (犬ノ肺炎).

3) せねが舎利別及ビ遠志舎利別 Sirupus Senegae.

Senega 根ニ水, 酒精, 等ヲ加ヘ冷浸シテ得タル濾液ニ白糖ヲ加ヘテ製シタル澄明黄色ノ舎利別ニシテ根ノ5倍ヲ用量トス.

最近ニ至リ本邦ニ於テハ, 此屬ニ編入セラルベキ多數ノ祛痰藥ヲ種々ノ植物ヨリ製造シテ販賣セラル. ぶろちん Brotin, えばにん Evanin, ふすたぎん Hustagin, ふぁとしん Fatosin, ぐらびんGlabin, せきさのーる Sexanol, 等殆ド枚擧ニ遑ナキ程多シト雖ドモ, 往時ヨリ處方セラレタル Senega 根ニ優レリト信ズベキモノ全ク之レナシ.

第30.　えるごときしん屬 Gruppe des Ergotoxins.

本屬ニ於テ論ズ可キハ獨リ麥角ノミニシテ, 其有效成分ニ就キテハ未ダ精密ニ知ラレザル所アレドモ今日マデニ先輩ニ由テ認メラレタルハ えるごときしん(Ergotoxin), こるぬちん(Cornutin) 及ビ えるごちん酸(Ergotinsäure) ノ3種ナリ.

最近ニ至リ ひすたみん (Histamin od. β-Imid-azolyl-äthyl-amin) 及ビ ちらみん (Tyramin od. *p*-Hydroxy-phenyl-äthyl-amin) ノ2種モ亦麥角ノ有效成分ト認メラルヽニ至レリ. 而シテ此等ノ2者ハ あどれなりん(Adrenalin) ニ似タルモノナリ.

Ergotoxin ハ動物試驗ニ於テ子宮ヲ直接ニ刺戟シ, 牝獸特ニ妊娠セル動物ニ向テ陣痛樣子宮收縮ヲ生ゼシメ, 尙ホ末梢ニ於ケル脈管ヲ直接ニ刺戟シテ永續スル所ノ脈管攣縮 (Krampfhafte Contraction) ヲ生ジセシムルヲ以テ, 爰ニ血液瀦溜 (Stase) ヲ來シ硝子樣血栓ヲ生ジ, 此脈管ニ依テ養ハル、部分ヲ壞疽(Gangrän) ニ陷ラシム; 此壞疽ハ特ニ末梢ニ起リ易ク鷄冠 (Kamm) ト幼豚ノ耳端, 鼻尖, 等ハ最モ多ク之ニ侵サル. 人體ニ於テモ指及ビ趾ニ始メ疼痛ヲ覺エ終ニ壞疽ヲ生ズルガ故ニ壞疽性麥角中毒 (Ergotismus gangraenosus) ノ名稱アリ. 此他人體ニ付キテハ精神, 呼吸, 運動及ビ知覺ノ中心神經系ニ於ケル自覺的障碍ヲモ認ム可キナリ.

Ergotoxin ハ交感神經及ビ副交感神經ノ運動枝ノ末梢ノ筋神經接續部 (Myoneural junction) ヲ少量ナラバ興奮セシメ, 大量ナラバ麻痺セシムルモ, 其制止枝ニハ何等ノ作用ナシ. 之レ極メテ特殊ナル現象トス. 麥角應用後ニ發生スル陣痛樣子宮收縮及ビ脈管擧縮ハ此等ノ運動枝ノ末梢ニ於ケル興奮作用ニ因ル.

Cornutin ノ少量ヲ與フレバ腰髓ニ位スル子宮收縮中樞ノ刺戟ニ由リテ子宮ノ收縮ヲ來シ, 而シテ大量ヲ用ユル時ハ延髓ニ於ケル脈管神經中樞, 迷走神經中樞及ビ痙攣中樞ヲ刺戟スルニヨリ血壓ノ著キ昇騰, 脈搏ノ緩慢及ビ癲癎樣痙攣ヲ發シ, 終ニ呼吸中樞ノ麻痺ヲ以テ斃ル. 人ノ麥角中毒ニヨリテ痙攣ヲ發スルハ之レガ爲メニシテ痙攣性麥角中毒 (Ergotismus convulsivus) ノ名稱アリ.

Ergotin 酸ヲ內服セシムル時ハ消化管內ニテ分解消失スルニヨリ作用無シト雖ドモ, 皮下注入スレバ脊髓ノ上行性麻痺及ビ血壓ノ低降ヲ來ス可キ性質ヲ有ス.

Histamin ハ直接ニ子宮自働中樞ヲ刺戟シテ收縮セシム, 故ニ麥角應用後ニ生ズル子宮ノ收縮ハ Ergotoxin ノ交感神經及ビ副交感神經ノ運動枝ノ末梢ニ於ケル刺戟作用ト, Histamin ノ子宮ニ於ケル自働中樞刺戟作用トガ共同シテ致ストコロノモノニシテ, 中心神經系ノ作用ハ之レニ參與セザルモノナリ.

Tyramin ハ Ergotoxin ノ如ク交感神經ノ運動枝ノ末梢ノ筋神經接續部(Myoneural junction) ヲ刺戟興奮セシムルノミナラズ, 尙ホ其制止枝ノ末梢ノ筋神經接續部ヲモ多少刺戟興奮セシム. 麥角應用後ニ現ハル、所ノ血管ノ痙攣性收縮ト, 其結果タル壞疽性麥角中毒ハ Ergotoxin ト Tyramin トノ共同作用ニ基クモノト認メラル.

爰ヲ以テ人ノ麥角中毒ニハ2種類アリテ; 其1ハ身體ノ末梢

殊ニ指及ビ趾ニ疼痛ヲ起シ，次デ壞疽ヲ生ズル所ノ壞疽性麥角中毒 (Ergotismus gangraenosus) トシテ認メラル；其2ハ痙攣竝ニ知覺障碍ヲ來ス所ノ痙攣性麥角中毒 (Ergotismus convulsivus) 卽チ苦癢病 (Kriebelkrankheit) トシテ現ハル．而シテ是等2種ノ中毒ニ際シ妊婦ハ流產若クハ早產スル事アリ，此經驗ヨリシテ麥角ハ產科ニ於テ應用セラレタルモノナリ．

其他すふぁつぁろときしん(Sphacelotoxin)，くりそときしん(Chrysotoxin)，せかーりんときしん(Secalintoxin)及ビ くらびん(Clavin)等ノ如キ種々ノ物質ヲ或時ニハ麥角ノ有效成分ニ擬シタル事アリシト雖ドモ今日ハ既ニ歷史的ノモノトナリ了セリ．

Ergotoxin ハ ひどろえるごちにん Hydroergotinin ト稱スル別名ヲ有シ，水ニ可溶性ナル無晶形ノ Alkaloid ニシテ麥角成分中ノ唯一ノ有效成分ト認メラルヽニ至レリ．

Cornutin ハ1884年ニ こーべると (Kobert) 氏ガ發見セラレタル Alkaloid ナルガ，其後ノ研究ニテハ麥角ニ存在スルヤ否ヤ明瞭ナラズ，故ニ痙攣性麥角中毒ハ Cornutin ノ爲ニ生ズルモノニ非ズシテ Ergotoxin ノ爲ニ血管內ニ硝子樣血栓ヲ生ジ，ソレヨリシテ中心神經系ニ小ナル壞疽竈ヲ生ズルガ爲ナリト云フ者アリ．

性狀及ビ應用

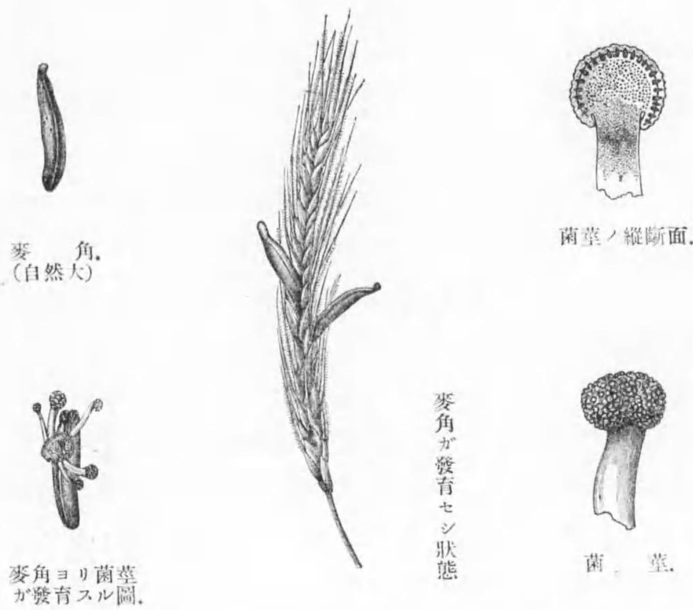
1) 麥角 Secale cornutum.

麥角ハ子囊菌科ノ一種 (Claviceps purpurea) ノ永續體ニシテ特ニ裸麥ニ寄生ス．專ラ歐洲各地ニ產シ，本邦ニ於テハ稀ニ かもじくさ及ビ あはがへり (此等2種ニ付キテハ下山藥學博士ノ說ニ據ル) ニノミ發見セラレタレドモ，俗ニ所謂 くろんぼ ナルモノハ麥角ニ非ザルナリ．麥角ハ稍彎曲セル三稜柱形 (松魚節形) ヲナシ．大ナルハ長サ 6cm ニ達シ外面ハ暗紫色，內部ハ白色ヲ顯ハス．一種厭フ可キ臭氣ト初メ少ク甘クシテ後ニ少ク苛烈ナル味トヲ有ス．1ケ年以上ヲ貯藏シタルモノハ藥用ニ供スル事ヲ得ズ．

其主要成分ハ次ノ5種トス．

1) Ergotoxin ハ水ニ可溶性ナル無晶形 Alkaloid ニシテ，麥角成分中第一ノ有效ナルモノト認メラル．左リナガラ其化學上ノ構造ヨリ云ヘバ，古キ時代ヨリ麥角中ノ無效成分トシテ知ラレタル結晶性 Alkaloid ノ えるごちにん(Ergotinin)ノ抱水可合物ナルニ過ギズ．

第 12 圖
麥　角



2) こるちん (Cornutin) ハ Alkaloid ニシテ舍利別樣ノ液ヲナシ酒精ニ溶解ス(酸ト化合スレバ水ニ溶解ス)．

3) えるごちん酸 (Ergotinsäure) ハ酸性配糖質ニシテ其性狀頗ル Sapotoxin ニ類似シタルモノナリ．

4) ひすたみん (Histamin) ハ Adrenalin ニ似タルモノニシテ，化學上ノ構造ハ べたいみーどあつぉりーるえちーるあみん (β-Imidazolyläthylamin) ナリ．

5) ちらみん (Tyramin) モ亦 Adrenalin ニ似タルモノニシテ，化學的ニ云ヘバ ぱらひどろおきしふぇにーるえちーるあみん(*P*-Hydroxyphenyläthylamin) ナリ．

6) 最近ニ至リ すとる氏 Stoll ハ麥角中ヨリ結晶性ノ Alkaloid ヲ得テ之レヲえるごたみん Ergotamin $C_{33}H_{35}N_5O_5$ ト名ヅケタリ．此モノハ其作用ニ於テ全然 Ergotoxin ニ等シクシテ目下ノ研究ニテハ交感神經ノ末梢ヲ麻痺シ從ヒテ Adrenalin,

Diuretin 其他ノモノニ因テ現ハル可キ過血糖ヲ制止スト云フヲ以テ吾人ハ爰ニ始メテ交感神經末梢ヲ麻痺スベキ藥品ヲ得タルモノナリ.

麥角ノ應用ハ主トシテ Ergotoxin ヲ利用スルモノニシテ, 中毒作用ヲ起サヾル量ヲ以テ, 子宮ノ收縮及ビ其血管ノ攣縮ヲ來サシムルニアリ. 如此ニシテ子宮ト共ニ其血管ガ攣縮スル時ハ, 子宮內ノ血液ハ子宮外ニ驅逐セラレ貧血スルニ由リ, 人ニ於テハ月經過多竝ニ種々ノ子宮ノ出血ニ向テ止血劑トナシ, 子宮ノ炎症ニ向テ消炎劑トナシ, 子宮新生物特ニ子宮筋腫 (Myom) ノ發育ヲ制止スル爲ニ用ユル等, 其應用ノ範圍最モ汎シ. 妊娠セル子宮ハ然ラザル子宮ヨリモ麥角ニ對シ感ズル事強クシテ, 妊娠ノ進ムニ隨ヒ其感受性ヲ增加ス. 爰ヲ以テ後產期 (Nachgeburtsperiode) ニ於テ子宮出血ヲ止メ子宮ノ復故ヲ促ス目的ニハ殆ド唯一ノ特效劑ト云フ可キナリ. 稀ニハ陣痛微弱 (Schwäche der Wehen) ナル時ニ分娩ヲ助クル目的ニテ使用スル事アレドモ, 流產 (Abortus) 及ビ早產 (Vorzeitige Ausstossung) ノ目的ニテ使用スルハ頗ル危險ナリ. 此他往時ハ肺, 胃, 腸, 等ノ出血竝ニ血斑熱ニ至ルマデ之ヲ應用シタレドモ, 子宮以外ノ出血ヲ止ムル程度ニ多量ノ麥角ヲ用ユレバ必然末梢血管ニ硝子樣血栓ヲ生ジテ壞疽ニ陷ラシムルヲ以テ, 大ニ戒メザル可カラズ. 時トシテハ家禽ノ產卵ヲ止メシムルニ用ユル事アリ; 左レド鷄ト豚トハ中毒シ易キニ由リ成ル丈ケ用キザルヲ善シトス.

用量 (揭載シタルハ浸劑トシテノ量ナリ細末ヲ散藥トスル時ハ此半量ヲ用ユ).

大動物	10.0-50.0
中動物	2.0-10.0
小動物	0.2- 1.0
人	0.3- 1.0

處方例

1) 麥角末 30.0
2包ニ分チ, 其1包宛ヲ溫メタル麥酒1立ニテ震盪合劑トナシ與フ (牛ノ產後出血).

2) 麥角末 } 各 0.5
白糖 }
爲1包, 其5包ヲ作リ, 每30分時間ニ1包宛與フ (犬ノ陣痛微弱).

3) 麥角浸 (5.0)150.cc.
單舍利別 10.cc.
混和, 每3時1食匙宛與フ (犬ノ產後出血).

2) せかこるにん Secacornin.

本劑ハ麥角製劑中ニテ效力ガ最確實ナルモノニシテ, 其1.0ハ麥角 4.0 ニ相當シ, 人ニ於テハ 0.25–1.0 ヲ1日量トシ內服又ハ皮下注入ス, 獸醫ニ於テモ適當量ヲ應用スベキ價値充分ナリ.

3) 麥角越幾斯 Extractum Secalis cornuti.

麥角ノ冷浸劑ノ濾液ヲ蒸發シ, 酒精ヲ加ヘ再ビ濾過シ, 蒸發シテ得タル褐色稠厚ノ越幾斯ニシテ, 此中ニ含有セラルヽ有效成分ハ Ergotoxin ナリト云フト雖ドモ所說一樣ナラズ, 甚ダシキハ Ergotin 酸ヲ含有スルノミナレバ子宮ノ收縮, 脈管ノ攣縮, 等ヲ來サシムルニハ全ク無效ナリト稱セラル. 左レド今日猶ホ多ク麥角ト同一ノ目的ニテ使用セラルヽモノナリ.

麥角越幾斯ハ麥角ヨリモ久シク貯ヘ得ルガ故ニ汎ク應用セラルヽ傾向アリ.

用量 (人ノ1回量 0.1—0.2 ニシテ, 極量1回 0.2, 1日 0.6 ナリ.

大動物	5.0-10.0
中動物	0.5- 5.0
小動物	0.1- 1.0

處方例

麥角越幾斯 2.0
蒸餾水 100.cc.
爲溶液, 每3時1食匙宛與フ (犬ノ子宮出血).

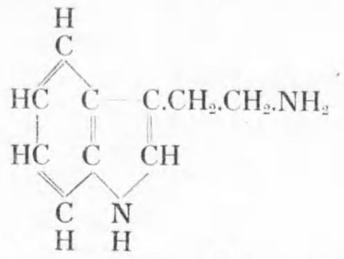
4) 麥角流動越幾斯 Extractum Secalis cornuti fluidum.

100 分ノ麥角ヲ酒精2分ト蒸餾水8分トノ混合液ニテ浸出シ, 流動越幾斯製法ノ規定ニ從ヒ100分トナシタル赤褐色透明ノ液ニシテ, 麥角ノ凡テノ有效成分ヲ網羅含有スルニヨリ前者ヨリモ有效ナリト稱スルモノアリ.

麥角流動越幾斯ハ近來甚多ク應用セラル, 麥角越幾斯ヨリモ實際ニ效力多キモノト信ゼラル.

用量ハ前者ノ3倍トス.

5) るたみん Rutamin. $C_{10}H_{12}N_2$.



Rutamin ハ化學ノ構造ヨリ云ヘバ べたいんどーるえちーるあみん (β-Indolaethylamin) ト稱スル Alkaloid ニシテ，朝比奈藥學博士ガ芸香科 (Rutaceae) 植物ノ一種ナル吳茱萸 (Evodia rutaecarpa) 又ハ辟邪翁，九日三官，吳俶，等ト稱スル本邦南部ノ暖地ニ野生スル亞喬木ノ果實ヨリ析出シ，陣痛微弱，子宮出血，特ニ肺結核患者ノ喀血ニ對シ著效アルモノナリ．

Rutamin ノ大量ヲ用ユル時ハ，試驗動物ハ痙攣ヲ生ジ，次デ運動麻痺ニ陷リ，心臟麻痺ヲ以テ斃ル；而シテ其際，腸ノ蠕動ハ大ニ亢進ス．中毒量ノ數十分ノ一ノ小量ヲ以テ，子宮及ビ腸ノ自働中樞ヲ興奮セシメ，牝獸特ニ孕獸ニアッテハ定期的ナル陣痛樣收縮ヲ喚起シ，子宮出血，陣痛微弱，等ニ用ユルモ嘗テ强直樣收縮ヲ來シタルコトナシト云フ．

販賣セラルヽ鹽酸るたみん 0.02-0.04 g ヲ人ノ1回量トシ，水ニ溶解シテ皮下又ハ靜脈內ニ注入ス．牛馬ニハ其10倍量，卽チ 0.2-0.4 g ヲ同一ノ目的ニ處方スレバ頗ル妙ナリ．

第 31. かんなびのん屬 Gruppe des Cannabinons.

Cannabinon ハ印度大麻(Cannabis sativa) ノ雌草ノ果實稔熟ノ初期ニ於テ，枝梢中ニ含有セラルヽ樹脂樣物質ニシテ，其化學上ノ構造未ダ明カナラズ．印度大麻ハ今日殆ンド藥用ニ供スルモノナシト雖モ，之ヲ人ニ用ユレバ始メ精神ノ發揚狀態ヲ呈シテ大悅，哄笑，愉快ナル幻視，幻聽又ハ空中飛行，海中游泳，等ノ如キ幻覺ヲ生ジ，ソレヨリシテ漸ク痲痺期ニ移行シ精神朦朧トナリ，嗜眠，昏睡，等ニ陷ル，故ニ其少量ヲ嗜好品トナスモノアレドモ，慢性中毒ニ陷リ精神及ビ身體ノ衰弱ヲ來ス處レアリ．

1) 印度大麻草 Herba Cannabis indicae.

第 13 圖
印 度 大 麻 草

印度ノ北部ニ產スル蕁麻科ノ植物(Cannabis sativa)ノ雌草ノ果實稔熟ノ初期ニ枝梢ヲ採集シタルモノニシテ，多量ノ樹脂ヲ分泌シアル爲ニ相粘著シテ塊ヲナス．

原產地ニ於テ普通品ヲ ばんぐ又ハ ぐあざ (Bang. od. Guaza) ト云ヒ，上等品ヲ がんや又ハ しゃらす (Ganjah. od. Charas) ト稱ス．又其喫煙料ニ製造シタモノヲ はっししゅ (Haschisch) ト云フ．

人ノ喘息煙草トシテ喫煙セシメ又ハ人ニ於テ 0.5-3.0 ヲ散劑或ハ丸劑ノ形狀ニ於テ鎭靜，催眠ノ目的ニテ用ユル事アリ．

2) 印度大麻越幾斯 Extractum Cannabis indicae.

印度大麻ノ酒精製越幾斯ニシテ，人ニ於テ1回 0.05-0.1 宛1日3回，鎭靜若クハ催眠ノ目的ニテ內用セシム．

3) 印度大麻丁幾 Tinctura Cannabis indicae

印度大麻越幾斯1分ニ酒精 20 分ヲ加ヘテ得タルモノニシテ，人ニ於テ1日數回 10-20 滴宛白糖上ニ滴下シテ內用セシム．過テ水劑トナス時ハ樹脂ヲ析出ス可シ．

第 32. あがりちん酸屬 Gruppe des Agarizinsäure.

本屬ノ藥品竝ニ Atropin 屬藥品ハ今日マデ何レモ止汗藥トシテ，人及ビ家畜ニ對シ有效ナルモノト認メラレシガ，余ノ研究成績ニ徵スレバ汗分泌神經ニ2種類アル事ヲ發見シタルヲ以テ，自然ニ發汗藥及ビ止汗藥ノ解釋ニ改正ヲ來ス可キハ勿論，根柢ニ溯リテ汗腺ノ分泌機能ニ對スル生理學ノ說明ヲ變更スルノ要ヲ生ゼリ．今其概要ヲ揭ゲン；人，猫及ビ牛ニアリテハ汗分泌ハ主トシテ副交感神經ノ營ム所ナリ，ソレニ相反シ羊ニアリテハ汗分泌ハ主トシテ交感神經ノ營ム所トス，馬ニアリテハソレ

等2種ノ神經ガ共ニ汗分泌ヲ主宰スルヲ以テ，交感神經ノ發汗動物ハ羊トシ，副交感神經ノ發汗動物ハ人，猫及ビ牛トシ，ソレ等兩神經ノ發汗動物ヲ馬トナスヲ要ス．故ニソレ等3種ノ發汗動物ニ於テ發汗藥及ビ止汗藥ヲ特殊ニス可キハ當然ニシテ，今日マデノ發汗藥及ビ止汗藥ハ獨リ人，猫及ビ牛ニ該當スレドモ馬ト羊トニ向テハ將來ノ研究ヲ待テ規定スベキモノナリ．

- 神經
  - 意識神經
  - 自律神經
    - 交感神經
    - 副交感神經
      - 動眼神經
      - 鼓索神經
      - 顔面神經
      - 舌咽神經
      - 迷走神經
      - 骨盤神經

注意　往時ハ本表ニ揭ゲタル副交感神經ノミヲ自律神經ト稱セリ．

本屬ニハ落葉松菌(とぼし Polyporus officinalis)ノ主成分タル Agarizin 酸及ビ樟腦ノ酸化ニ依テ生ズル所ノ樟腦酸ノ2種類アリ．

Agarizin 酸ノ少量ヲ用ユル時ハ全ク其他ノ作用無クシテ，獨リ汗分泌神經ノ末梢ヲ麻痺シ發汗ヲ制止スル特殊ノ作用アリ．然レドモ之ニ由テ制止セラレタル發汗ハ Pilocarpin ヲ與フルトキ再ビ顯ハル、點ニ於テ全ク Atropin ノ止汗作用ト趣ヲ異

第　14　圖

ニシ，一旦 Atropin ヲ與フレバ Pilocarpin ノ發汗作用ハ無效ナリ．爰ヲ以テ Pilocarpin ハ汗分泌神經ガ汗腺細胞ニ連接スル最終點ヲ刺戟シ，Atropin ハ此點ヲ麻痺シ，Agarizin 酸ハソレヨリ少シク細胞ト隔リタル神經ノ終端ヲ麻痺スルモノト推測セラル．且ツ Atropin ハ汗腺以外ノ諸分泌ヲモ制止スルノ點ニ於テモ本劑ト相違セリ．

故ニ發汗ノミヲ制止セシメントスルニハ Agarizin 酸ヲ用キテ妙效アリ．但シ大量ヲ與フル時ハ大腦ヲ麻痺シ，延髓ニ於ケル諸中樞ヲ刺戟シ，睡眠，倦怠，等ト共ニ血壓亢進，呼吸促迫，脈搏緩慢及ビ痙攣ヲ認ムレド終ニハ是等諸中樞ノ麻痺ニ陷リ虛脫ヲ以テ斃ル．如此ク眞好ノ作用アルニ拘ラズ，今日マデ應用ガ汎カラザルハ局所ノ刺戟作用ガ强クシテ，皮下注射スレバ膿瘍ヲ生ジ，內服セシムレバ間々嘔吐，下痢，等ヲ發スルコトアルニ因ル．

樟腦酸ノ作用モ亦概シテ Agarizin 酸ニ等シク，而モ局所刺戟ノ作用少キヲ以テ寧ロ多ク用キラル．樟腦酸ハ結核患者ノ盜汗ヲ制止スル作用アリト信用セラレ汎ク使用セラルト雖ドモ，一說ニハ此モノハ樟腦ノ如ク溫中樞ヲ麻痺シテ解熱作用ヲ致シ其結果トシテ自然ニ盜汗ノ分泌ヲ制止スルモノナリト云フ．此事ガ果シテ實際ナレバ本劑ハ樟腦屬ニ移サル可キモノトナル．

1) あがりちん酸 Acidum agaricinum $C_{16}H_{30}O_5+H_2O$

落葉松ニ生ズル膜菌科植物 (Polyporus officinalis) ヨリ採集シタル白色無味無臭ノ結晶性粉末ニシテ，水ニハ僅カニ Alkali 液ニハ容易ニ溶解ス．人ノ結核ノ盜汗ニ於テ 0.005-0.01 倘ホ其以上ヲ止汗藥トシテ就寢前ニ內服セシム．刺戟性大ナレバ散劑ヨリモ適宜ノ賦形藥ヲ以テ丸トナシ與フルヲ眞シトス．

2) 樟腦酸 Acidum camphoricum. $C_{10}H_{16}O_2$

樟腦ヲ酸化シテ得タル無色ノ針狀若クハ葉狀結晶ニシテ酒精ニ溶解スレドモ水ニハ殆ド溶ケ難シ．前者ノ如ク人ノ肺結核ノ盜汗ニ 0.5-2.0 ヲ散劑ノ形狀ニ於テ就寢前ニ與フ，刺戟性少キヲ以テ前者ヨリモ寧ロ多ク用キラル．

第 2 編

局所ノ榮養變調ヲ喚起ス可キ有機化合體.
Lokale nutritive Veränderung verursachende organische Verbindungen.

既ニ論ジタル神經及ビ筋肉劑ハ一旦血液中ニ吸收セラレタル後ニ作用スルモノナルニ，本編ニ論ズルモノハ全クソレニ反シ觸接シタル皮膚及ビ粘膜，等ニ榮養變調ヲ喚起スルモノナリ．精ク云ヘバ其局所ヲ刺戟シ或ハ發炎セシメ又ハソノ反對ニ病的ノ刺戟ヲ緩解シ炎症ヲ消散セシム．然ル後ニ吸收セラレテ組織ニ至レバ，多クハ變化シテ無效ノモノト成リ果テヽ格別ナル作用ナキヲ常トスレドモ，藥品ニ依リテハ其排泄經路タル尿路又ハ腸管壁ニ集積シテ濃厚トナリ，以テ特殊ノ作用ヲ現ハスモノアリ．

第 1. 粘漿劑 Schleimige Mittel oder Mucilaginosa.

之ニ屬スルモノハ水ヲ加フル時ハ溶解若クハ膨脹シテ膠樣ノ觀ヲ呈スルトコロノ物質ニシテ例ヘバ ごむ (Gummi)，植物粘液 (Pflanzenschleim)，澱粉 (Stärke)，できすとりん (Dextrin) 及ビ蛋白質ノ如キモノナリ．

粘漿劑ハ動物膜ヲ通過シ得ザルノミナラズ，通過シ得可キ藥品ト混ズレバ此藥品ノ通過ヲモ妨害ス．故ニ其レ自身胃腸粘膜ヨリ吸收セラレザルノミナラズ，吸收サレ易キ他藥ト混ズレバ此藥品ノ吸收ヲモ妨害スルモノナリ．

以上ノ作用ニヨリテ藥物ノ用途ヲ區別スレバ大約次ノ如シ．

1) 不快ナル味ヲ有スル藥品ニ粘漿劑ヲ配合スレバ，味神經ノ末梢ニ來ル可キ此不快ナル味ヲ減少，若クハ消失セシムル事ヲ得．

2) 胃腸ニ炎症アル時ニ粘漿劑ヲ用ユレバ，粘膜面ヲ被覆シテ食物及ビ糞便，等ヨリ來ル可キ刺戟ヲ減少シ，以テ炎症ノ治癒ヲ促ガス事ヲ得．

3) 呼吸器ノ炎症ニ粘漿劑ヲ用ユレバ，喉頭及ビ咽頭ヲ被覆シテ是等ノ部分ニ受ク可キ刺戟作用ヲ除キ，咳嗽 (Husten) ヲ減ジ，以テ間接ニ氣道深部ノ炎症ヲ治癒セシム．

4) 或藥品ノ胃ニ於ケル吸收作用ヲ緩慢ニシ，腸ニ達セシメントスル時ニ粘漿劑ヲ配合スル事アリ．(阿片，Belladonna 越幾斯，番木鼈越幾斯，等ハ元來植物粘液ヲ含有シ胃ニ於テ吸收セラルヽコト少キタメ腸ニ達シ，直接ニ玆ニ作用スルヲ以テ腸ニ疾患アル時ハ是等ノ有效成分タル Morphin, Atropin, Strychinin ヨリモ賞用セラルヽ所以ナリトス)．

5) 刺戟性ガ強キ藥品ハ胃腸ヲ害スルニヨリ其刺戟性ヲ減ズル爲メニ粘漿劑ヲ配合スル事アリ．例ヘバ抱水 Chloral ハ通例ごむ漿又ハ亞麻仁煎ニ溶解シテ內用若クハ直腸內ニ注入スルガ如シ．

6) 粘漿劑ハ錠劑，丸劑及ビ乳劑，等ノ賦形藥トシテ用キラルヽ事アリ．

粘漿劑ノ用量ハ何レモ適宜ニシテ特ニ規定スルノ要アラズ．

性狀及ビ應用

1) 澱粉 Amylum. $(C_6H_{10}O_5)_2 3H_2O$?

澱粉ヲ煮熟シテ得タル澱粉糊ハ消化管粘膜ニ炎症アルトキ粘漿劑トナスニ最モ適當ノモノナリ．內用ニモ將タ又直腸內注入

ニモ多ク用キラレ且ツ Jod 中毒ノ解毒劑トナス事アリ，是レ澱粉ハ Jod ニ向テ一種特異ノ親和力ヲ有スレバナリ．澱粉ハ又適宜ニ亞鉛華末（酸化亞鉛）ト混和シテ分泌多キ濕疹ノ撒布劑トナスコトアリ．或ハ又散劑，丸劑，舐劑，等ノ賦形藥トナスコトアリ．

純白色光澤アル粉末ニシテ，臭味共ニ無ク冷水，酒精及ビ Aether ニ溶解セザレドモ，熱湯ヲ加フレバ半透映ノ膠樣塊トナル，之レヲ澱粉糊ト稱ス．澱粉ヲ顯微鏡下ニ窺フ時ハ植物ノ異ナルニ從テ各特有ノ形狀ト大小トヲ示シ正圓形，卵圓形，梨子形，多角形ノモノアリ；又大ナル澱粉粒ハ臍點ト之レヲ圍繞スル集心的輪層ヲ顯ハス．日本藥局方ニ於テハ かたくり及ビ葛ヲ採用シタレドモ裸麥，米，玉蜀黍，蕎麥，豌豆，大豆，馬鈴薯，等ノ澱粉モ藥用ニ供シ得可キモノナリ．

2) されっぷ根 Radix salep.

我國ニ於テハ蘭科植物ノ一種ナル さいわいらん(Cremastra Wallichiana) ヨリ採集シ，歐洲ニ於テハ蘭科ノ種々ノ植物ヨリ採集ス．目下我國ニ於テモ市場ニハ多ク歐洲產ノモノヲ見ル，故ニ形狀一樣ナラズシテ，蕪菁形ノモノアリ，卵圓形ノモノアリ，或ハ又分岐セルモノアリ，何レモ角質樣ニシテ甚ダ堅ク外面帶褐灰色若クハ類黃色ヲ呈シ；其主要成分ハ植物粘液ニシテ此粘液ノ性質ハ頗ル植物纖維素ニ類似ス．

Salep 根末1分ニ熱湯100分ヲ加フル時ハ適宜ナル稠度ノ粘漿ヲ得ルヲ以テ，種々ノ刺戟性アル藥品ヲ內用若クハ直腸內注入スルニ當テ賦形藥トナスニ適ス，又澱粉糊ノ如ク消化管粘膜ノ炎症アルモノニ緩和粘漿劑トナスモ妙ナリ．

3) あらびあごむ Gummi arabicum.

緩和粘漿劑トシテ汎ク應用セラル、外ニ尙ホ乳劑，丸劑，舐劑，等ノ調劑ニモ必要缺ク可カラザルモノトス．日本藥局方ニテハ あらびあごむ1分ヲ熱湯2分ニ溶解シタルモノヲ あらびあごむ漿(Mucilago Gummi arabici)ト稱シ あらびあごむ末5分，甘草細末3分，白糖2分ヲ混合シタルモノヲ ごむ散 (Pulvis gummosus) ト稱シ，其ニ粘漿劑ノ目的ニ供ス．

Africa ノ北部ニ產スル合歡科植物ノ Acacia 屬ヨリ採集シタルモノニシテ，無色或ハ微ニ類黃色ヲ帶ブル球形其他ノ形狀ノ塊ヲナシ，通常市場ニ販賣セラルヽモノハ粉末ナリ，味ハ淡白ニシテ且ツ粘滑ナリ；其主要成分ハ Arabin 酸石灰トス．

4) あるてあ根又蜀葵根 Radix Althaeae.

粘漿劑，琶布劑トナシ多ク用キラレ，尙ホ散劑，舐劑，丸劑，乳劑，等ノ賦形藥トナスト雖ドモ馬ハ之ヲ嫌フガ故ニ馬ニ處方スルハ妙ナラズ．

第 15 圖

あ る て あ

錦葵科屬ノ越年性植物（Althaea officinalis *Linn*）ノ根ナリ．大約1.5 cm ノ直徑ト20 cm ノ長サトヲ有シ，外面類白色ニシテ縱皺ヲ帶ビ，輙ク搔取セラレ得可キ纖維ヲ現ハス，其橫斷面ハ純白色ニシテ木部ハ稍〻放線狀ヲ呈シ，其味淡白ニシテ且粘滑ナリ．坊間ニハ類白色ノ粉末トナシテ販賣セラル．其主要成分ハ大約35 %ノ粘液質ニシテ此他尙ホ Asparagin，澱粉，糖分，等ヲ含有ス．

馬ニ用ユル散劑ノ賦形藥トシテハ藥末若クハ乾草末ヲ以テ理想的ナリト云フ可シ．日本藥局方ニハ　あるてあ舍利別 (Sirupus Althaeae) ナルモノアレドモ獸醫ニ必要多カラズ．

5) とらがんと Tragacantha.

小 Asia 及ビ前 Asia ニ產スル蝴蝶形科植物（種々ノ黃蓍屬）ヨリ採集シタルモノニシテ，帶狀ノ小片若クハ鎌狀ノ小板片ヲナセル柔靭角質半透明白色ノ物質ニシテ，粉碎シ難ク水中ニ投ズレバ膨脹ス．市場ニハ白色ノ粉末トナシ販賣セラル．其主成分ハ　ばっそりん (Bassorin) ト稱スル不溶解性粘液質ニシテ傍ラ又溶解性ごむ (Arabin) 及ビ澱粉，等ヲ含有ス，あらびやごむ　ト同一ノ目的ニ應用シ，用量ハ其 1/10 ヲ以テ足レリ．

6) いすらんど苔 Lichen islandicus.

歐洲北部及ビ本邦北部ノ高山ニ產スル地衣 (Cetraria islandica) ヨリ採集シタルモノニシテ，廣狹種々ニ裂セル葉狀ノ聚胞體ヲナシ，葉ノ一面ハ帶褐綠色或ハ褐色ニシテ，他ノ一面ハ類白色或ハ灰色ナリ．其主要成分ハ苦澱粉ニシテ尙ホ苦味質ヲモ含有シ．往時ハ滋養品トシテ人ノ肺疾其他ニ應用シタレドモ，今ハ稀ニ他ノ粘漿劑ニ代用ス，(10–15倍ノ水ヲ加ヘテ煎出スベシ)．

7) からーげん Carrageen.

Island 及ビ北米ノ海濱ニ產スル紅藻科植物 (Chondrus crispus 及ビ Gigartina mammillosa) ヲ乾燥シタルモノニシテ，からぎん (Carragin) ト稱スル粘液ヲ含有スルヲ以テ 50–200 倍ノ熱湯ヲ加ヘテ粘漿劑トナス．我邦ノ寒天，ところてん及ビ　つのまた　モ亦之ニ代用スル事ヲ得．

第 2.　矯味藥 Geschmackscorrigentien.

散劑，舐劑 (Electuaria) 及ビ水劑ヲ內用セシムルトキ配合ス可キ藥品中ニ不良ノ味アル時，ソヲ矯正シテ動物ガ嫌フコト無カラシメ，又ハ無味ノ藥品ニ好味ヲ添ヘ動物ヲシテ好ンデ內服セシムルコトハ極メテ緊要ノ件ナリトス．人醫ニハ此他尙ホ矯臭劑 (Geruchscorrigentien) ナルモノアリテ不良ノ臭氣ヲ矯正シ，又ハ良好ノ香氣ヲ添加スレドモ動物ノ內服藥ニハ未ダ汎ク行ハレザルナリ．

性狀及ビ應用

1) さっかりん Saccharinum $C_6H_4<^{SO_2}_{CO}>NH$

Saccharin ハ化學的構成上ヨリ云ヘバ無水安息香酸 Sulfamin ニシテ，酸性反應ヲ有スル輕キ白色ノ粉末ナリ．

僅カニ苦扁桃油ノ如キ香氣ヲ放チ，水ニ溶解シ難シト雖モ酒精，Aether 及ビ Alkali 溶液ニハ溶ケ易シ；其甘キ事白糖ニ比スレバ約 300 倍ニシテ Saccharin ノ 7 萬倍水溶液ハ猶ホ且甘味ヲ呈ス可キナリ．

Saccharin ノ甘味ハ馬ガ好マザルモノナレバ，馬ニハ調味藥トシテ用キ難シ．之レヲ內用スレバ變化セズシテ尿中ニ排泄セラルヽヲ以テ，人醫ニテハ糖尿病患者ノ食物ニ甘味ヲ付スル爲メニ用ユル事アリ．然レドモ久シク之レヲ用ユレバ消化ヲ害シ，甚ダシキハ腎臟ニモ慢性炎症ヲ生ズルノ虞アリト云フ．

2) 白糖 Saccharum $C_{12}H_{22}O_{11}$

甘蔗 (Saccharum officinarium) 及ビ甜菜 (Beta vulgaris) ノ 2 種ヨリ採集スルモノニシテ，純白色ノ乾燥セル結晶ヲナシ，臭氣無ク 0.5 分ノ水ニ溶解シ其味甚ダ甘シ．

馬，犬及ビ猫ハ白糖及ビ角砂糖ノ甘味ヲ好ムガ如シ；多數ノ馬ハ Glycerin ノ甘味ヲモ嗜メルモノヽ如シ．

古來ノ習慣ニヨリ家畜ノ祛痰劑ニ白糖ヲ配合スレバ良好アリト信ゼラル，然ルニ小動物ニ大量ヲ與フレバ下痢ヲ催起スル事アリ．又角膜及ビ喉頭ノ潰瘍ニ白糖ヲ撒布シテ刺戟作用ヲ致サシメ，以テ肉芽ノ發生ヲ催進スル事屢〻之レアリ．又甘汞ニ白糖ヲ配合シテ角膜ノ斑翳ニ撒布シ其消散ヲ望ム事アリ．且ツ散劑，舐劑，水劑，等ノ調味藥トシテハ最モ多ク用キラルヽ所ノモノタ

リ.

蔗糖ヨリ白糖ヲ製出セルニ際シ殘渣ヲ生ズ. 之ヲ糖蜜ト稱シ, 往時ヨリ舐劑製造ノ調味藥トシテ處方セラレタリシガ, 實際馬ノ大多數ハ之ヲ嫌フガ故ニ馬ニ向テ用ユルハ妙ナラズ.

3) 單舍利別 Sirupus simplex.

熱シタル蒸餾水 35 分ニ白糖 65 分ヲ溶解シテ製シタル無色, 無臭, 澄明ノ舍利別ニシテ, 專ラ矯味劑トシテ應用ス.

4) 葡萄糖 Glucose od. Traubenzucker od. Dextrose $C_6H_{12}O_6$

葡萄糖ハ汎ク植物界ニ分布シ葡萄, 桃, 櫻, 無花果, 其他凡テ甘味ヲ有スル果實ノ成分ニシテ, 常ニ果糖 Fructose od. Lavulose $C_6H_{12}O_6$ 卽チ左旋糖ト伴ヒ存在ス. 葡萄糖ハ美麗ナル結晶ヲ呈スルコト稀ニシテ, 概シテ舍利別狀ナレド, 之レヲ放置スレバ粒狀ノ塊ヲ生ジ, 之レヲ鏡檢スレバ菱角板狀ノ結晶ヲ示シ; 分極光線面ヲ右旋スルコト 52.6 度ナリ, 右旋糖ノ一名アルハ之レガ爲ナリ. 動物體內ニ於テ消化セラレタル炭水化物ハ葡萄糖ノ形狀ヲ以テ組織ニ達シ, 其或部分ハ ぐりこーげん Glycogen ノ形狀ヲ以テ種々ノ組織特ニ肝臟內ニ貯藏セラレ, 必要ニ應ジテ葡萄糖トナリ, 組織ノ榮養成分トナル, 爰ヲ以テ最近葡萄糖療法ナルモノ發達シ, 組織內ノ葡萄糖ノ量ヲ制限スル作用アル膵臟島裝置ノ內分泌タル いんしゅりん Insulin ト適宜ニ併用セラレテ榮養的治療法ノ迅速ナル進步ヲ見ルニ至レリ. 今其主要ナルモノヲ擧グレバ:—例ヘバ體重 50 kg. ノ患者ノ絕對安靜時ノ需用 Calorie ハ 1 日ニ $24\times50=1200$ Calorie ナルヲ以テ 300 g. ノ葡萄糖ヲ要ス, 此場

合其 25 % 溶液 200 cc. 宛 6 回靜脈內注入スレバ起死回生ノ作用アルガ如シ. 又 Typhus 若クハ破傷風ノ毒素ノ致死量ト共ニ葡萄糖ヲ注入スレバ斃死セザルヲ以テ, 此場合ニ葡萄糖若クハソレヨリ化生シタル Glycogen ニ解毒作用アルコトヲ知リ得テ熱性病患者ノ榮養不良ナルモノニ汎ク賞用セラルヽニ至レリ.

按ズルニ近キ將來ニ於テハ我獸醫界ニモ以上ノ見地ニ基礎ヲ置キタル葡萄糖療法ガ行ハルヽニ至ルベシ.

5) 乳糖 Saccharum Lactis $C_{12}H_{22}O_{11}+H_2O$

乾酪製造所ニ於テ副產物トシテ乳淸ヨリ製造セラレタルモノナリ.

類白色ノ結晶塊或ハ純白色ノ粉末ヲナシ, 微ニ甘味ヲ有シ臭氣無ク大約 7 分ノ水竝ニ 1 分ノ沸湯ニ溶解ス.

白糖ヨリモ水ニ溶解シ難キヲ以テ散劑ニ配合スルニ適ス. 乳糖ノ大量ヲ與フレバ著キ利尿作用アルガ故ニ心臟疾患ノ爲メニ水腫アルモノニ乳糖若クハ乳汁ヲ與フレバ良效アリト云フモノアリ.

6) 蜂蜜 Mel.

新鮮ナルモノハ淡黃色或ハ帶褐黃色ヲ有スル透映粘稠ノ液ヲナシ. 後ニ至レバ渾濁シテ顆粒狀ノ物質ヲ析出ス. 味甚ダ甘ク一種特異ノ佳香ヲ有シ水及ビ稀酒精ニ溶解ス. 日本藥局方ニ於テハ蜂蜜 2 分ニ蒸餾水 3 分ヲ加ヘ煮沸濾過シテ帶褐黃色澄明舍利別樣ノ液トナシタルモノヲ精製蜂蜜 (Mel depuratum). ト稱ス. 蜂蜜ノ成分ハ主トシテ葡萄糖及ビ果糖ニシテ此他尙ホ少量ノ白糖, 蜜蠟, 色素, 蛋白質, 蟻酸, 鹽類, 等ヲ含有ス.

7) 甘草 Radix Liquiritiae.

蝴蝶形科ノ植物 (Glycyrrhiza glabra) ノ根ニシテ其根皮ヲ剝離セシモノナリ, 之ヲ舌面ニ致セバ久シク消滅セザル所ノ甘味ヲ

呈ス.

長サ大約30 cm 太サ大約1 cm ニ達シ，黄色ヲ呈シ横折面ハ長纖維狀ヲ呈シ横斷面ハ甚ダ鬆疎ニシテ放線狀ヲ現ハス．其味甚ダ甘シ．其主成分ハ ぐりちりちん (Glycyrrhicin) ト稱スル配糖質ノ外ニ葡萄糖，Asparagin，等ナリ．

第 16 圖
甘　草

甘草ハ人ノ氣道 Catarrh ニ對スル祛痰劑ニ配合シテ用キラルヽ事最モ多ク，其他不良ノ味アル藥品ノ調味劑トナシ，兼テ又丸劑及ビ舐劑ノ賦形藥トシ甚ダ汎ク應用セラル．大動物（牛）ニハ甘草ヲ用ユル事多ケレドモ，小動物ニハ次ニ揭グル甘草煎ヲ良シトス．但シ馬ハ甘草及ビ其製劑ヲ嫌フガ故ニ處方ス可カラズ．

甘草ハ礦砂ノ鹹味ヲ消滅セシムル爲ノ矯味藥トシテ人ニ於テハ最良ノモノナリ，故ニ礦砂ヲ含有セル人ノ散藥ニハ必ズ之ヲ配合ス．

處方例

黑色硫化あんちもにうむ	50.0
甘草根末	100.0
食鹽	250.0

混和散劑トナシ，咳嗽アル牛ニ向テ毎飼料中ニ2食匙宛加フ．

8) 甘草煎 Succus Liquiritiae.

甘草ヲ水ニ和シ煎出壓榨シテ得タル液ヲ濃稠トナシタル越幾斯ニシテ，光澤ヲ帶ブル黑色ノ圓柱ヲナシ味甚ダ甘シ．調味藥トシテ，種々ノ藥品特ニ礦砂ヲ含メル藥劑中ニ伍用セラル．

處方例

礦砂	5.0
甘草煎	10.0
蒸餾水	150.cc.

爲水劑，犬瘟熱ニ罹リタル犬ニ向テ毎3時1茶匙-1食匙宛與フ．

第 3.　茶劑 Theespecies.

芳香性ノ揮發油ヲ含有スル所ノ植物ヲ煎出シテ茶劑トシテ應用スルハ洋ノ東西ニ論ナク往古ヨリ行ハレタルモノナリ．蓋シ其目的ハ發汗ヲ助ケ，且ツ子宮其他ノ下腹部臟器ノ痙攣ヲ鎭靜セシムルニアリ．其奏效ハ固ヨリ溫湯ノ作用ニ外ナラズト雖ドモ，之ニ含マレタル揮發油モ亦同時ニ味神經及ビ嗅神經ヲ戟刺シテ愉快ナル感覺ヲ與ヘ，且ツ胃腸ヲ刺戟シテ溫湯ノ吸收ヲ補助ス．

性狀及ビ應用

1) かみるれ花 Flores Chamomillae.

第 17 圖
か　み　る　れ

菊科植物 (Matricaria Chamomilla) ノ花頭ナリ．

空洞圓錐形ノ襞出セル花牀ト，鱗次セル總苞トヲ有シ：放線花ハ白色舌狀ニシテ 12-18 個，扁板花ハ黃色管狀ニシテ遙カニ多數ナリ．大約 0.45 % ノ揮發油ヲ含有シ，此揮發油ハ鮮藍色ヲ呈シ種々ノ成分卽チ揮發性かみるれ油ノ外ニ樟腦ニ類似シタル物質，苦味質及ビ樹脂，等ヨリナレルモノナリ．

胃，腸，子宮，膀胱，等ノ痙攣アル時ニ鎭痙藥トナシ，又ハ疝痛及ビ胃腸 Catarrh ニ向テ驅風劑トシ，尙ホ熱性病ノ際ニ發汗劑トナス事アリ．其他民間ニテハ之レヲ巵布劑，眼ノ罨

法劑及ビ創傷ノ洗滌劑トナス.

用 量

大動物	25.0-50.0
中動物	2.0-10.0
小動物	0.2-2.0
人	2.0-5.0

處方例

1) かみるれ花浸 (25.0)500.cc.
ほふまん液 20.cc.
混和頓服(馬ノ痙攣性疝痛).

2) かみるれ花末 100.0
抱水くろらーる 50.0
分2包, 其1包ヲ1罐ノ亞麻仁煎ニ加ヘ振湯シテ與フ(牛ノ痙攣性陣痛).

3) かみるれ花浸 (10.0)150.cc.
單阿片丁幾 5.cc.
混和, 毎3時1食匙宛與フ(犬ノ疝痛ヲ伴ヘル下痢).

2) 薄荷葉 Folia Menthae.

脣形科植物ノ種々ノ Menthae 屬ノ葉ニシテ, 卵圓鏃鍼形ヲナシ, 葉柄ヲ具ヘ, 毛茸ヲ帶ビ, 基部ノ邊緣ニハ缺裂ナク, 上部ハ鋸齒裂ヲナシ, 特異强烈ノ香氣ヲ有シ, 味ハ初メ灼クガ如クニシテ後清凉ナリ. 其主要成分ハ大約 2.5% ニ達スルトコロノ薄荷油ナリ.

用量, 用途及ビ調劑ハ凡テ かみるれ花ニ同ジ.

3) さるふぃあ葉 Folia Saviae.

脣形科ノ植物 Salvia officinalis *Linn* ノ葉ニシテ, 長卵圓形ヲナシ葉柄ヲ具ヘ稍〻厚ク, 邊緣ニハ密ニ鈍鋸齒ヲ有シ, 間〻基部ニ耳狀ノ小葉ヲ著ケ, 外面ニハ細密ナル脈網ヲ現ハシ, 灰色ノ毳毛ヲ帶ブ, 氣味ハ特異ナル芳香性ニシテ稍〻苦ク且ツ收斂性アリ. 其主要成分ハ 1.25% ニ達スル さるふぃあ油ノ外ニ鞣酸, 苦味質, 等トス.

古代ヨリ藥用ニ供セラレシモノニシテ, 今日猶ホ其浸劑ヲ輕キ收斂劑トナシ. 口腔炎, 咽頭炎, 下痢及ビ腎炎, 等ニ應用スルノ外尙ホ罨布劑トナス.

用 量

大動物	25.0-50.0
中動物	5.0-10.0
小動物	1.0-5.0
人	5.0-10.0

處方例

1) さるふぃあ葉浸 (50.0)500.cc.
硼砂 25.0
單舍利別 25.cc.
爲溶液, 鷲口瘡ニ罹レル嬰ノ口腔洗滌劑トナス.

2) 細刻さるふぃあ葉 } 各100.0
細刻かみるれ花 }
亞麻仁末 250.0
爲罨布劑.

(附)此他尙ホ接骨木花(Flores Sambuci)及ビ菩提樹花(Flores Tilliae)モ亦かみるれ花ニ代用セラルヽ事アレドモ必要ノ藥品ニアラズ.

第 4. 嗅劑 Riechmittel.

揮發性ニシテ且ツ烈シキ刺戟性ヲ有スル種々ノ藥品ハ嗅神經ノ末梢若クハ三叉神經ノ末梢ヲ刺戟シ, 反射的ニ中心神經系, 特ニ延髓ヲ興奮セシムルモノナリ. 例ヘバ刺戟性ノ瓦斯ヲ鼻粘膜面ニ作用セシムレバ, 反射的ニ呼吸中樞ヲ刺戟シテ聲門ヲ閉鎖シ, 痙攣性呼氣ヲ生ゼシメ, 且ツ同時ニ迷走神經及ビ脈管神經ノ兩中樞モ亦同一ノ反射刺戟ヲ受ケテ興奮シ脈搏緩慢トナリ血壓亢進ス可シ; 故ニ嗅劑ヲ用キテ失神, 假死及ビ虛脫ノ狀態ヨリ興奮セシムル事アリ. 此目的ニ應用セラレ得可キハ Ammonia 水, 蟻酸, 醋酸, Aether 及ビ芥子油, 等ナレドモ個々ノ藥品ニ於ケル性狀及應用ハ他ノ項ニ詳論ス可ケレバ爰ニ略セリ.

第 5. 汚臭神經劑 Uebelriechende Nervenmittel.

神經系ノ知覺竝ニ運動ノ感受性ガ異常ニ興奮シタル時ニ著シキ惡臭ヲ有スル藥品ヲ以テ嗅神經ヲ刺戟シ, 反射的ニ彼ノ興奮シタル神經系ヲ安靜ナラシムル一種ノ誘導療法アリ.

汚臭神經劑ハ人ニ於テ Hysterie ニ向テ甚多ク處方セラル.

性狀及ビ應用

1) 阿魏 Asa foetida.

阿魏ハ極メテ厭フベキ臭氣ヲ放ツ所ノ樹脂ナリ.

Persia 灣附近ニ產スル繖形科植物 (Ferula Scorodosma) 及ビ Indus 河ノ東方ニ產スル繖形科植物 (Ferula Narthex) ヨリ採集シタル ごむ樹脂ニシテ或ハ相粘合シ, 或ハ個々分離シ, 或ハ黯色ノ塊中ニ包藏セラルヽ顆粒ヨリ成リ, 其新破碎面ハ類白色ニシテ微ニ紅色ノ色彩ヲ帶ビ, 外面ハ灰色, 紫色或ハ類褐色ナリ. 耐ユベカラザル蒜樣ノ惡臭ヲ放チ, 水ヲ加ヘテ研磨スレバ白色ノ乳樣液トナル. 其成分ハ 6-9% ノ揮發油, 70% ノ樹脂, 20-30% ノ ごむ トス.

阿魏ハ卓越ナル鎭痙作用アルヲ以テ往時ハ之レヲ馬ノ疝痛及ビ痙攣性諸症ニ丸劑或ハ乳劑ノ形狀ニ於テ遍ク應用シタリキ. 左

レド今日ニ至リテハ他ニ良藥ヲ發見シタル爲メ漸ク其用途ヲ絕タントス. 現今ト雖ドモ稀ニハ蟯蟲ヲ驅除センガ爲メニ之レヲ直腸內注入スル事アリ. 但シ屠殺ス可キ獸類ニ用ユル時ハ肉ニ不良ノ臭氣ヲ附與スルノ虞アレバ禁忌ス可シ. 爰ニ奇ナルハ如此ク極メテ不良ノ臭氣アル阿魏モ其昔 Persia 及ビ Greece 人ノ香味料タリシト云フ; 又一說ニハ今日ト雖ドモ其產地ニ於テハ最上等品ヲ貴重ナル香味料トシテ使用シ嘗テ輸出シタル事無シト云フ.

用 量

大動物	10.0–25.0
中動物	5.0–10.0
小動物	0.1– 2.0

處方例

阿魏	20.0
卵黃	2 個
爲乳劑之レニ	
かみるれ花浸	(50.0)500.cc.

ヲ加ヘテ痂痛患馬ニ與フ.

2) 阿魏丁幾 Tinctura Asae foetidae.

阿魏1分, 酒精5分ヨリ成レルモノニシテ澄明, 帶黃褐赤色ノ液ナリ.

繃帶ヲ噛ミ裂クモノ, 創面ヲ舐ムルモノ及ビ羽毛ヲ喰ヒ拔ク性質アルモノニ其惡臭ヲ利用シテ其等ノ癖ヲ防禦ス.

明治十年頃マデノ我陸軍獸醫ガ馬ノ痂痛療法ニ最多ク用キタルハ阿魏丁幾ナリ.

3) 纈草根 Radix Valerianae.

敗醬科ノ植物かのこぐさ (Valeriana officinalis 又 Valeriana angustifolia) ノ根ニシテ, 太サ大約1 cm長サ大約1.5 cm ノ根莖ヨリ成リ, 之レニ多數ノ根ヲ附著ス, 此根ハ太サ大約2 mm長サ大約20cm ニ達シ類白色ノ皮ヲ被ムル. 纈草根ハ特殊ナル峻烈ノ臭氣ヲ有シ味ハ芳香性ニシテ且ツ微ニ苦シ、其主要成分ハ大約6%ニ達スル揮發油トス.

往時ハ其小量 (左列ノ量) ヲ神經興奮劑トシテ虛脫, 陣痛微弱, 昏酔, 心臟衰弱等ニ應用シ, 其大量(右例ノ量)ヲバ鎭痙劑トシテ痂痛其他ノ痙攣性諸症, 例ヘバ破傷風及ビ癲癇, 等ニ應用シ; 且ツ習慣ニヨリ糖尿病及ビ尿崩症ニ試用シ, 尙ホ反芻獸ノ慢性不消化ニ向テ刺戟性健胃劑トナシタリキ. 左リナガラ以上ノ應用ハ現今殆ンド其跡ヲ絕チ, 唯稀ニ其鎭痙劑トシテノ處方ヲ見ルノミ.

第 18 圖
纈 草

用量(往時處方セシ用量)

大動物	200.cc.–500.cc.
中動物	20.cc.–100.cc.
小動物	1.cc.–20.cc.

處方例

1) 纈草根浸 (25.0)500.cc.
稀酒精 100.cc.
混和シテ牛ノ興奮劑トナス(頓服).

2) 纈草根浸 (50.0)500.cc.
えーてる 25.cc.
混和, 痙攣性痂痛アル馬ニ與フ (頓服).

4) 纈草丁幾 Tinctura Valerianae.

纈草根1分, 稀酒精10分ヨリ成レルモノニシテ, 澄明帶黃褐色ノ液ヲナス. 近來殆ンド應用セラレズ.

纈草丁幾	20.cc.

每2時20滴宛咖啡煎ニ加ヘテ與フ (犬瘟熱ニテ衰弱シタル犬).

第 6. 健胃劑 Magenmittel. od. Stomachica.

植物性健胃藥ハ古代ヨリ醫藥トシテ用キラレシモノニシテ, 之レヲ與フレバ口腔ニ於テ味神經及ビ知覺神經ヲ刺戟シ唾液及ビ胃液ノ分泌ヲ促ガシ, 胃腸ニ於テモ亦其粘膜ノ刺戟ニヨリ胃液,

腸液, 膵液, 等ノ分泌ヲ增加シ蠕動ヲ興奮シ, 且輕度ノ充血ヲ來スガ故ニ榮養品ノ消化及ビ吸收共ニ旺盛トナル. 左レバ唾液增加ノ爲メニ澱粉質ノ消化ヲ進メ, 胃液增加ノ爲メニ蛋白質ノ消化ヲ增シ, 膵液增加ノ爲メニ澱粉, 蛋白質及ビ脂肪ノ消化ヲ盛ナラシム. 之レト同時ニ吸收モ亦增進スルガ故ニ饑餓ノ感覺ヲ生ジ食慾ヲ亢進ス, 之レ卽チ胃腸ノ慢性 Catarrh ニ向テ良效アル所以ナリ. 更ニ此等ノ藥品ハ一面ニ於テハ輕キ制酵作用アリテ胃腸內容物ノ異常醱酵ヲ制止シ, 他面ニ於テハ旣ニ論ジタルガ如ク蠕動ヲ興奮セシムルニヨリ, 下痢ヲ來サヾル用量ニテ腸內ノ瓦斯ヲ驅逐スル事ヲ得. 故ニ此等ノ制酵作用ト蠕動興奮作用トハ相待テ驅風劑 (Carminativa) ノ效ヲ奏ス. 且ツ夫レ以上ノ理由ニ據リ此屬ノ藥品ヲバ佐藥トシテ他ノ主藥ニ伍用スレバ主藥ノ吸收ヲ催進ス可ク, 又下劑ニ配合スルモ其效ヲ補助ス可キナリ. 左リナガラ此等ノ植物性健胃劑ガ人ノ口腔ニ於テ味神經及知覺神經ヲ刺戟シテ以テ唾液ノ分泌ヲ促ガスガ如クニ, 動物ノ胃腸ニ到リテモ亦ソレト同樣ナル刺戟作用ヲ呈スルヤ否ヤハ, 未ダ精ク研究セラレタルモノニアラズ. 加之ナラズ動物ニアツテハコノ口腔ノ刺戟作用ノ存在スラ疑フ可キ點アリ. 吾等ハ唯古來ノ習慣ニ從テ之ヲ用ユルニ過ギザレバ之ヲ處方スルトモ, ソレガタメニ消化管 Catarrh ガ必然恢復ニ至ル可シト期待セザルヲ良シトス.

本屬ハ大別シテ芳香性健胃劑, 苦味性健胃劑及ビ苛味性健胃劑ノ3種トナス.

甲　芳香性健胃劑 Aromatische Magenmittel

1) 橙皮 Cortex Fructus Aurantii.

我邦ノ伊豆及ビ紀伊ノ兩國ニ於テ多ク栽培セル橙科植物ノ橙(Citrus Aurantium)

ノ實ノ皮ヲ, 其內面ニ附著セル白色海綿樣ノ組織ヲ成ル可ク揉除シタル後ニ, 乾燥シタルモノニシテ, 外面ハ類褐色, 內面ハ白色海綿樣ヲ呈シ, 味ハ芳香性ニシテ且ツ苦シ. 其主要成分ハ揮發性ノ橙皮油ニシテ, 歐洲ニ於テ藥用ニ供スルトコロノ苦橙 (Citrus vulgaris) ノ成分ト大差無シト云フ. 專ラ其製劑タル橙皮油, 橙皮丁幾, 橙皮舍利別及ビ苦味丁幾ヲ人醫ニ於テ藥用ニ供ス.

2) 橙皮油 Oleum Aurantii Corticis

新鮮ナル橙皮ヨリ採集シタル無色或ハ類黃色稀薄ナル揮發油ニシテ, 特殊ナル芳香性苦味ヲ有シ, 之レニ Jod ヲ加フレバ烈シク爆噴スル性質アリ. 蜜柑 (Citrus nobilis) ノ實ノ皮ヨリ得タル蜜柑油ハ屢〻橙皮油ニ代用セラル. 專ラ人醫ニ於テ矯味藥及ビ矯臭劑トシテ應用シ又ハ粉粧料トス.

3) 橙花油 Oleum Aurantii Florum.

橙花ノ新鮮ナルモノニ水ヲ加ヘ蒸餾シテ得タル帶褐黃色稀薄ノ揮發油ニシテ, 極メテ佳快秀絕ナル香氣ヲ有シ, 其最上等品ハ佛國產ノ だいだい ヨリ採集シタルモノニシテ ねろり油(Oleum Neroli genuinum)ト稱シ, 甚ダ貴重ナル粉粧料トス.

4) 橙皮丁幾 Tinctura Aurantii Corticis.

橙皮1分, 稀酒精4分ヲ以テ製シタル澄明類褐色ノ液ニシテ, 人ノ芳香性健胃劑トナス.

5) 橙皮舍利別 Sirupus Aurantii Corticis.

橙皮丁幾15分, 單舍利別85分ヲ混和シテ製シタル透明帶褐黃色ノ舍利別ニシテ, 佳快ノ芳香ヲ有シ, 人醫ニ於テハ健胃藥, 矯味藥又ハ矯臭劑ト爲シ得可キ頗ル重寶ナル製劑ナレドモ獸醫ニテハ餘リ多ク用キラレズ.

6) 枸櫞皮 Cortex Citri Fructus.

地中海濱ニ栽培セラル、橙科植物 れもん(Citrus Limonum) ノ實ノ皮ニシテ螺旋狀ノ切片トナシ市場ニ販賣セラル. 外面黃褐色ニシテ, 內面白色海綿狀ヲ呈シ, 其主要成分ハ枸櫞油ナレドモ, 其他 へすぺりぢん(Hesperidin) ト稱スル一種ノ苦味質ヲ含ム. 醫藥トシテハ其製劑ヲ用ユ.

7) 枸櫞油又檸檬(レモン)油 Oleum Citri od. Oleum Limonis.

新鮮ナル枸櫞皮ヨリ採集シタル淡黃色稀薄ノ揮發油ナリ. 氣味ハ芳香性ニシテ

稍ゝ苦シ，橙皮油ノ如ク Jod ニ逢ヘバ烈シク爆噴ス．　人醫ニ於テハ矯味矯臭藥トナシ又ハ粉粧料トス．

8) 枸櫞精 Spiritus Citri.

枸櫞油 10 分ニ酒精 90 分ヲ加ヘタルモノニシテ無色澄明ノ液ヲナシ，人醫ニ於テ矯味矯臭藥トナス．

9) 桂皮又桂枝 Cortex Cinnamomi.

桂皮ハ粉末ノ形狀ニ於テ家畜ノ健胃藥，矯味藥，矯臭藥トシテ屢ゝ處方セラレ，或ハ又其揮發油ヲ含メルガ故ニ子宮，腸及ビ膀胱，等ノ痙攣ニ向テ鎭痙劑トナス事アリ．　特ニ牛ノ產後衰弱ニハ燒酎若クハ溫メタル麥酒ニ加ヘ震盪合劑トシテ與フル事多シ．

桂皮ヲ人ノ產科ニ於テ多ク處方スルハ婦人ノ多數ガ其香味ヲ愛スルニ基クモノナリ．　故ニ家畜ノ治療上ニハソレホドノ必要ナキモノナリ．

支那ノ南部ニ於テ栽培セル樟科植物 Cinnamomum Cassia *Blume* ノ枝或ハ稚幹ノ皮ニシテ，管狀或ハ半管狀ヲナシ，外面ハ帶赤褐色；內面ハ褐色ヲ呈ス；特殊ナル佳快ノ香氣ト峻烈芳香性ニシテ微ニ甘ク且ツ粘液樣ノ味アリ．　其成分ハ大約 1 % ニ達スル揮發油(桂皮油)ニシテ其他鞣酸，粘液，樹脂及ビ澱分，等ヲ含有ス．

用　量

大動物	10.0–20.0	小動物	0.1– 1.0
中動物	5.0–10.0		

10) 桂皮油又桂枝油 Oleum Cinnamomi.

桂皮ニ水ヲ加ヘ，蒸餾シテ得タル澄明黃色或ハ黃褐色稍ゝ濃厚ノ揮發油ニシテ，特殊ノ芳香ヲ有シ味ハ灼クガ如クニシテ微ニ甘シ．　桂皮ト同一ノ目的ニテ其 1/100 ヲ用ユ．

11) 桂皮水 Aqua Cinnamomi.

桂皮油 2 分，溫蒸餾水千分ヲ混和シ強ク振盪シ冷後ニ濾過シタルモノニシテ矯味矯臭藥トナス．

日本藥局方ノ桂皮水ハ桂皮粗末 1 分ニ酒精 1 分ヲ加ヘ常水適宜ヲ注ギ一晝夜靜置シタル後ニ其 10 分ヲ蒸取シタルモノナリ．　前ニ揭ゲタル桂皮水ノ調製ハ甚容易ナルヲ以テ局方ト相違スレドモ之レヲ逃ベタリ．

處方例

麥角越幾斯	2.0	桂皮水	150.cc.
單舍利別	5.cc.	混和，每 3 時 1 食匙宛與フ（犬ノ子宮出血）．	

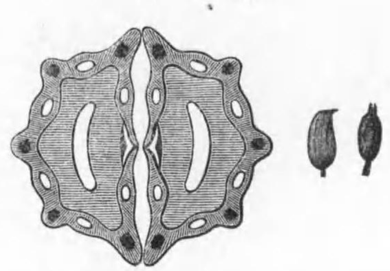
12) 桂皮精 Spiritus Cinnamomi.

桂皮油 2 分，酒精 98 分ヲ混和シタルモノニシテ，澄明ノ液ヲナシ，矯味矯臭藥トス．

13) 茴香(ウヰキヨウ)又小茴香 Fructus Foeniculi.

健胃藥又ハ調味藥トシテ其粉末ヲ用ユレバ，風氣，醱酵及ビ痙攣ヲ制止シ兼テ又祛痰，鎭咳ノ效ヲ有ス．　尙ホ古來ノ習慣ニ從ツテ催乳散 (Milchpulver) ノ一成分トモナス．

第 19 圖
茴　香



橫斷面ヲ擴大セルモノ

用量及ビ處方ハ次ニ揭グルあにーす實ニ等シ．

纖形科植物 Foeniculum capillaceum *Gilibert* ノ果實ニシテ，帶褐綠色ノ長圓壔形ヲナシ，長サ 7-10mm 太サ 3–4 mm ニ達シ，其兩分果ハ大抵分離ス，各分果ハ淡色ノ肋條 5 條ヲ有シ，其兩邊ニ位スルモノハ著ク隆起ス．　氣味ハ芳香性ニシテ微ニ甘シ，其主要成分ハ 3–8 % ニ達スル茴香油トス．

14) 茴香油 Oleum Foeniculi.

茴香ニ水ヲ加ヘ蒸餾シテ得タル無色或ハ類黃色ノ揮發油ニシテ，特殊ノ香氣ヲ有シ味微ニ甘シ．　寒冷ニ逢ヘバ白色ノ結晶塊ヲ分離シ終ニハ全ク固結ス．　茴香ト同一ノ目的ニテ其 1/50 ヲ用ユ．

15) 茴香水 Aqua Foeniculi.

茴香油 2 分，溫蒸餾水千分ヲ混和シ強ク振盪シ冷後ニ濾過シタルモノナリ．　矯味矯臭劑トシテ間ゝ應用セラル．

日本藥局方ノ茴香水ハ搗碎セル茴香 1 分ニ適宜ノ常水ヲ加ヘテ其 30 分ヲ餾取シタルモノナリ．

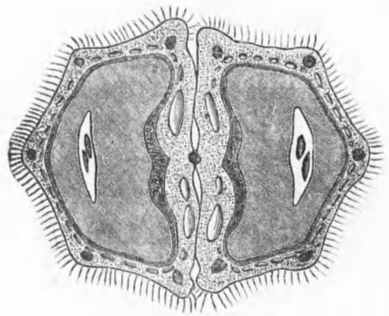
16) 茴香精 Spiritus Foeniculi.

茴香油5分，酒精95分ヲ混和シテ製シタルトコロノ無色澄明ノ液ニシテ，用途ハ前者ニ同ジ．

17) あにーす實 Fructus Anisi.

Anis 實ハ胃腸ノ醱酵及ビ腐敗ヲ制止シ且鎮痙及ビ鎮痛ノ作用アリシトシテ，痙攣性疝痛ノ輕症ナルモノ竝ニ咳嗽アルモノニ向テ應用セラレ；又古來本劑ハ乳腺ニ向テ分泌刺戟ヲ致スモノナリト信ジ催乳劑トナスト雖ドモ，近頃研究ノ成績ニ據レバ，其效力甚ダ疑ハシ（茴香，葛縷子，菖蒲，杜松實，龍膽，等ノ催乳作用モ亦信ジ難シ）．

第　20　圖
あにーす實



橫斷面ヲ擴張セルモノ

繖形科ノ一年草 Pimpinella Anisum. ノ果實ナリ，卵圓形ヲナシ，帶綠灰白色ヲ呈シ，硬毛ヲ被ムリ，10條ノ隆起線ヲ顯ハシ，2-3％ニ達スル揮發性ノ Anis 油ヲ含有ス．

用　量

大動物	10.0–50.0
中動物	2.0–10.0
小動物	0.2– 2.0

處方例

1) あにーす實末 ｝
　人工かるゝす泉鹽 ｝ 各 120.0
　混和，每飼料中ニ2食匙宛加フ（胃かたーる，氣管枝かたーる，等アル馬）．

2) あにーす實末 ｝
　茴香末 ｝ 各 100.0
　黑色硫化あんちもにうむ ｝
　食鹽 ｝ 各 200.0
　混和，每飼料中ニ2食匙宛加フ（牝牛ノ催乳藥）．

18) あにーす油 Oleum Anisi.

强ク光線ヲ屈折スル無色ノ液ニシテ，一種特異ノ佳香ヲ有シ，寒冷ニ逢フ時ハ白色ノ結晶塊トナル．

Anis 實ノ如ク胃腸ノ鎮痙鎮痛劑ト爲ス外ニ，尙ホ制酵劑，防腐劑トナシ且ツ鎮咳劑トシテ用ユ．Anis 油ハ皮膚寄生蟲，特ニ羽蟲，毛虱，蚤及ビ虱，等ニ對スル有力ナル驅蟲劑ニシテ 10–100 倍ノ酒精，おれーふ油，亞麻仁油，等ヲ以テ稀釋シテ用ユ．但シ かなりや鳥ノ如キ小鳥ニハ Anis 實ノ粉末ヲ撒布スルカ又ハ實ヲ煎劑トシテ用ユ可シ；是レ Anis 油ハ此如キ纖弱ナル動物ニ用ユルニハ刺戟性餘リ大ナレバナリ．

內用量ハ Anis 實ノ 1/50 トス．

處方例

1) あにーす油　1.cc.
　酒精　100.cc.
　混和，家禽ノ羽蟲ニ向テ噴霧劑トナス．

2) あにーす油 ｝
　酒精 ｝ 各 2.cc.
　混和，每3時5–10滴宛與フ（犬ノ腸炎）．

19) 丁香又丁子 Caryophylli.

石榴科植物 Eugenia caryophyllata *Thumberg* ノ未開ノ花ニシテ其實礎ハ長サ 10–15 mm 太サ 5 mm ニ達スル鈍四稜形ノ圓壔ヲナシ，上端ニハ4裂セル蕚ヲ戴キ4個ノ花瓣アリテ多數ノ雄蕊ヲ抱擁ス．氣味ハ芳香性ニシテ峻烈ナリ．其主成分ハ 20％ニ達スル所ノ丁香油トス．

往時ハ之レヲ健胃劑，矯臭劑，等トナシタレドモ，今ハ人醫ニ於テ種々ノ製劑ニ配合シ又ハ粉粧料トナスニ止マレリ，

20) 丁香油又丁子油 Oleum caryophyllorum.

丁香ニ水ヲ加ヘ蒸餾シテ得タル澄明類黃色或ハ類褐色稍ゝ稠厚ノ揮發油ニシテ，主トシテ おいげのーる (Eugenol $C_6H_3\begin{cases}CH_2—CH=CH_2(1)\\O.CH_3(3)\\OH(4).\end{cases}$ ト稱スル一種ノ Phenol 化合體ヨリ成ル，人醫ニ於テ種々ノ製劑ニ加ヘ又ハ粉粧料トナス．

21) みるら又沒藥 Myrra.

Commiphora 屬ノ植物ヨリ採集セル ごむ樹脂ニシテ，類黃色、類赤色、又ハ褐色ノ塊片ヲナス．氣味ハ特殊芳香性ニシテ，苦ク，且ツ苛辣ナリ．其成分ハ揮發油，樹脂，及ビ苦味質ニシテ，健胃劑トシテ1回 0.3–1.0 宛散藥或ハ丸藥ノ形狀ニ於テ，人ノ慢性胃腸 Catarrh ニ處方シ、又慢性氣管枝炎ニ對スル祛痰藥トナス．

22) みるら丁幾又沒藥丁幾 Tinctura Myrrae.

5倍ノ酒精ヲ以テ製シタル帶褐赤黃色ノ液ニシテ，專ラ人ノ含嗽料トシ，又ハ等分ノ蘆薈丁幾ト混和シテ，肉芽ノ發生不良ナル潰瘍面ノ刺戟劑トナス、

以上ニ揭ゲタル芳香性健胃劑中ニテ橙皮，枸櫞皮，丁香竝ニ其等ノ製劑ハ人醫ニ於テ藥用ニ供セラレ又ハ粉粧料トナシ；桂皮，茴香，Anis 實及ビ其等ノ製劑ハ人醫ニ於テモ獸醫ニ於テモ多ク應用サルヽモノナリ．此他肉豆蔻（ニクヅク）(Semen Myristicae) 肉豆蔻子衣油（ニクヅクユ）(Oleum Macidis)，菖蒲根 (Rhizoma Calami)，菖蒲丁幾 (Tinctura Calami) 等アレドモ應用サルヽ事極メテ稀ナレバ省略セリ．

乙　苛味性健胃劑 Scharf schmeckende Magenmittel.

之ニ屬スルモノハ寧ロ漢法醫的治療藥ニシテ，人醫ニモ稀ニ應用セラレ獸醫ニハ全ク用途無シト云ツテ可ナリ，故ニ唯其名稱ノミヲ揭グ．

1) 小豆蔻（ショウヅク） (Fructus Cardamomi.)
2) 生薑（シャウキャウ） (Radix Zingiberis.)
3) 莪蓯（ガジュツ） (Radix Zedoariae.)
4) 高良薑根（カウリャウキャウコン） (Rhizoma Galangae.)
5) あんげりか根 (Radix Angelicae.)
6) ぴむぴねら根 (Radix Pimpinellae.)

其他製劑トシテハ次ノ如キモノアリ．

7) 生薑丁幾 (Tinctura Zingiberis.)
8) 生薑舍利別 (Sirupus Zingiberis.)
9) 芳香丁幾 (Tinctura aromatica.)
10) 芳香精 (Spiritus aormaticus.)
11) 複方あんげりか精 (Spiritus Angelicae compositus.)
12) ぴむぴねら丁幾 (Tinctura Pimpinellae.)

丙　苦味性健胃劑 Bittere Magenmittel.

苦味性健胃劑ノ效力ノ基源ハ其苦味ニアルヲ以テ，之レヲ處方ニ當リテハ其苦味ヲ充分ニ發揮セシメザル可カラズ．然ルニ之レヲ丸劑トシテ苦味ヲ減少スレバ其效力モ亦減少スベク，人ニ於テ誤用セラルヽガ如ク，おぶらーと ニ包ミテ苦味ノ全部ヲ消滅セシムレバ其效力モ亦全部消滅スベキ理由ナレバ，之ニ甘味ヲ有スル調味藥ヲ加フル事ヌラモ亦不合理ニシテ，其ノ應用ノ範圍モ亦大ナラズ．卽チ苦味ヲ好マザル家畜ニ向テハ殆ド用ユル利益ヲ認メズ，單ニ苦味ヲ厭ハザル動物ニ健胃劑トシテ與ヘ，又人ニ於テ大人ノ如キ苦味ヲ理解ノ上ニ服用スルモノニ散藥特ニ水藥トシテ用ユベキノミ．但シ苦味性健胃劑ニモ胃腸ノ知覺神經ヲ刺戟シタ其分泌ヲ促ガス作用アルヲ以テ，此作用ヲ應用セントスル目的ナラバ，丸劑トシテ又ハ おぶらーと ヲ以テ服用セシムルトモ敢テ差支ナキモ，苦味藥ノ本體ヨリ詮考スレバ如此キ處方ハ甚ダ妙ナラズ，之レヲ要スルニ苦味性健胃劑ハ內用ニ際シ舌面ニ感得シタル苦味ニヨリ唾液及ビ胃液ノ分泌ヲ催進シ，其胃液ノ分泌增加ハ轉テ又膵液ノ分泌ヲ促ガシ，以テ胃腸ニ於ケル消化作用ヲ促進スルモノナリ．

1) 龍膽（リュウタン）又げんちあな根 Radix Gentianae scabrae.

本邦ニ產スル龍膽科植物 Gentiana scabra ノ根莖ニシテ著キ苦味ヲ有ス．

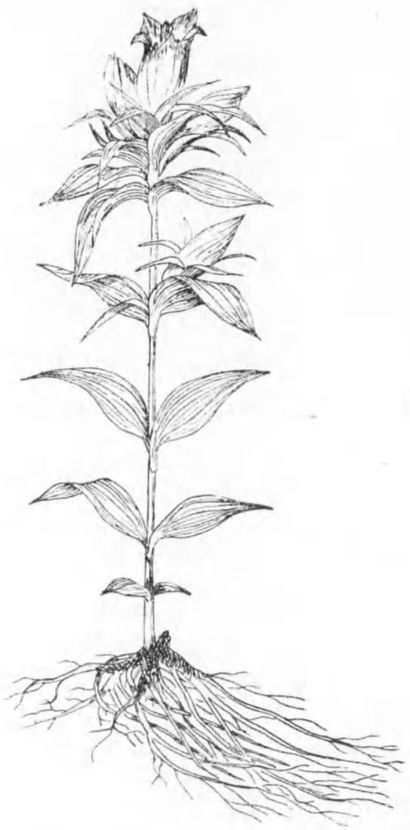
長サ大約 10 cm 太サ 5 mm ニ達シ，暗灰褐色ヲ呈シ，不整ノ輪節ヲ有シ，上方ニハ莖痕ヲ顯ハシ時トシテ殘莖ヲ附著シ，兩側及ビ下方ニハ多數ノ副根アリ；副根ハ長サ大約 2 dm 太サ 3 mm ニ達シ，帶褐黃色ヲ呈シ，且縱皺ヲ顯ハス．其成分ハ未ダ

精密ナル調査ヲ遂ゲラレズト雖モ，恐ラクハ歐洲ニ於テ藥用スル　げんちあな根(Radix Gentianae) 卽チ Gentiana lutea ヨリ採集シタルモノト大差無カル可シト云フ．而シテ歐洲産 Gentiana 根ノ主成分ハ　げんちのぴくりん (Gentinopicrin $C_{16}H_{20}O_9$) ナル苦味質タリ．

人醫ニ於テモ獸醫ニ於テモ最モ多ク用キラルヽトコロノ苦味藥ニシテ，消化ヲ催進シ且ツ胃腸ノ醱酵ヲ制止スルノ作用アリ．此故ニ消化不良，慢性胃腸 Katarh 等ニ向テ汎ク應用セラレ，就中草食獸特ニ反芻獸ニ於テ奏效大ナリ．　通例ハ散劑トシテ飼料

第　21　圖

龍　　膽



第　22　圖

げ ん ち あ な

中ニ加フルモ若シ其苦味ノ爲メニ動物ガ喰ハザル時ハ丸劑，舐劑，浸劑，煎劑若クハ振盪合劑トシテ與フ．

せんぶり（當藥，たうやく）Ophelia diluta ノ全草ハ龍膽ニ代用セラレ得ルモノナリ．

然レドモ此等ノ苦味性健胃劑ガ胃腸ノ生理的作用ヲ亢進ス可シト云ヘル事ハ未ダ充分ニ證明セラレズ，唯古來ノ習慣ニ依リ處方スルニ過ギズ．

用　量

大動物	10.0–50.0
中動物	2.0–10.0
小動物	0.1– 2.0
人	0.1– 1.0

處方例

1) 龍膽末　50.0
　あにーす實末　100.0
　食鹽　25.0
　爲散劑，每飼料中ニ1食匙宛加フ(馬ノ消化不良)．

2) 龍膽末　20.0
　芒硝　200.0
　單舍利別　適宜
　爲舐劑，2回分與(馬ノ胃かたーる)．

3) 龍膽末　30.0
　硫酸まぐねしうむ　300.0
　混和，水1 Litre ヲ以テ振盪合劑トナシ與フ(牛ノ不消化)．

4) 龍膽末　500.0
　杜松實末　500.0
　硫酸鐵末　100.0
　食鹽　1000.0
　燕麥ノ磨碎シタルモノニ混ジ，羊100頭ニ對スル任意舐劑トス(萎黃病)．

5) 龍膽煎　(10.0)150.cc.
　稀鹽酸　2.cc.
　單舍利別　20.cc.
　混和，每3時1食匙宛(1茶匙宛)犬ノ(猫ノ)胃Catarth アルモノニ與フ．

2) 龍膽越幾斯又げんちあな越幾斯 Extractum Gentianae scabrae,

苦ダシキ苦味ヲ有スル褐色ノ稠厚越幾斯ニシテ、水ニハ澄明ニ溶解ス可シ．用量ハ龍膽ノ 1/3 ニシテ，用途全ク同ジケレドモ特ニ丸劑ノ賦形藥ト爲スニ適セリ．

3) 龍膽丁幾又げんちあな丁幾 Tinctura Gentianae scabrae.

龍膽1分，稀酒精5分ヨリ成レル澄明帶赤褐色ノ液ニシテ，用量ハ龍膽ノ5倍トス．

處方例

龍膽丁幾 } 各5.cc.
稀鹽酸 }
單舍利別　20.cc.
水　300.cc.
混和，每3時1食匙與フ（犬ノ不消化)．

4) 苦味丁幾 Tinctura amara.

橙皮5分，龍膽5分，莨菪2分，稀酒精100分ヨリ成レル澄明黃褐色ノ液ニシテ，人醫ニ最モ汎ク用キラル、健胃劑ナレドモ，獸醫ニハ寧ロ龍膽丁幾若クハ大黃丁幾ヲ用ユ，但シ用量ハ全ク龍膽丁幾ニ同ジ．

5) ころむぼ根 Radix Colombo.

防已科ニ屬スル蔓性植物 Cocculus palmatus ノ根ナリ．

通常黃色ヲ呈スル橫截片トナシ販賣セラル．此截片ハ圓形若クハ橢圓形ヲナシ，直徑約3–6 cm 厚サ 1–2cm 多少彎曲ス，皮部ハ大約5 mm ニシテ黃色ヲ呈シ，次ニ黯色ニシテ線紋アル新生組織ヲ有シテ，皮部ト木部トヲ區分ス，木部ハ類綠色或ハ帶綠黃色ニシテ其中心凹陷ス．味甚苦シ其主要成分ハ ころむびん (Colombin $C_{21}H_{22}O_7$) ころむぼ酸及ビ べるべりん (Berberin) ノ3種ニシテ何レモ苦味ヲ有スルモノタリ．其ノ他本劑ハ澱粉ヲ含有スルノ點ニ於テ特ニ龍膽ヨリ區別セラル可キモノトス．

用量及ビ用途ハ全ク龍膽ニ同ジケレドモ，澱粉ヲ含有シ，作用緩和ナルヲ以テ，藥用ヲ久シク繼續セントスル時又ハ下痢，嘔吐，等アルモノニハ龍膽ヨリモ多ク賞用セラル．

處方例

1) ころむぼ根煎　(10.0)150.cc.
　單阿片丁幾　5.cc.
　混和，每3時1食匙宛(1茶匙宛)犬ノ(猫ノ)下痢アルモノニ與フ．

2) ころむぼ根末　10.0
　大黃根末　2.0
　爲1包，其5包ヲ作リ，每3時其1包ヲ 1/4 立ノ　かみるれ花浸ニ加ヘ與フ（犢下痢)．

6) ころむぼ越幾斯 Extractum Colombo.

Colombo 根ニ酒精及ビ常水ヲ加ヘ冷浸シ，其漉液ヲ蒸發シテ得タル褐色ノ越幾斯ニシテ，水ニハ溷濁シテ溶解ス．

根ノ 1/5 ヲ以テ根ト同一ノ目的ニ用ユ．

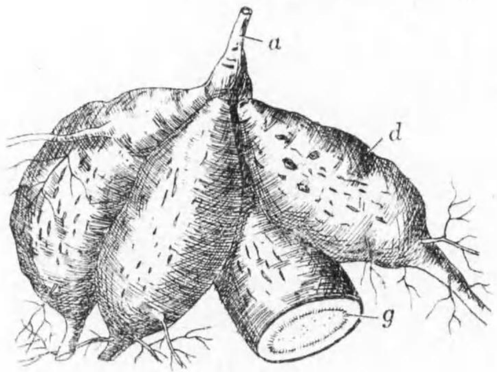
7) 黃蓮 Radix Coptidis.

毛莨科ニ屬スル種々ノ　こぷちす屬特ニ Coptis anemonaefolia ノ根莖ニシテ，大約長サ4 cm 太サ 1–5 mm，多クハ彎曲シ細小ナル多數ノ副根ヲ有シ，所々ニ疣贅狀ノ隆起アリ，外面帶黃灰色，橫斷面ニハ厚キ黯橙黃色ノ皮部ト淡黃色ノ木部ト黯橙黃色ノ髓心トヲ顯ハス．臭氣無ク味極メテ苦ク；其主要成分ハ べるべりん(Berberin) ナリ．

第　22　圖

ころむぼノ基本植物

ころむぼノ根



a　地上ニ挺出セル莖軸、
d　肥大セル副根、
g　副根ノ斷面.

Colombo 根ノ 1/10 ノ用量ヲ以テ同一ノ目的ニ應用スレドモ，近來稀ニ處方セラル.

8) 黄蓮越幾斯 Extractum Coptidis.

Colombo 越幾斯ト同一ノ法ヲ以テ製シタル褐色ノ越幾斯ニシテ，水ニハ溷濁シテ溶解ス.

Colombo 越幾斯ノ 1/10 ノ用量ヲ以テ同一ノ目的ニ應用スレドモ，近來稀ニ處方セラル.

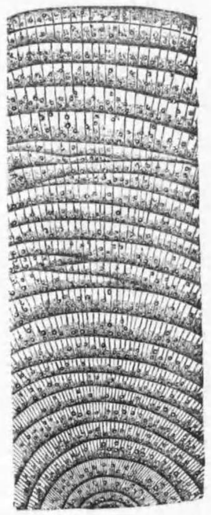
9) くわっしあ木 Lignum Quassiae.

Quassia 木ニハ和蘭領すりなむ (Surinam) 地方ヨリ産スルモノ (Quassia amara *L.*) ト，西印度ノ じゃまいか (Jamaica) 地方ヨリ産スルモノ (Picrasma excelsa *Lindl.*) トノ2種類アリ.

第　23　圖

くわっしあ (Quassia amara)

木ノ横斷面



何レモ黄楝樹科植物ニシテ，甲ハ太サ8 cm ニ達スル類白色ノ輕キ木質ヲナシ，其横斷面ハ密ニ排列セル年輪ヲ示シ，剝離シ易キ外皮ヲ被ムル，此皮ハ灰白色ニシテ厚サ2 mm ヲ超エズ．乙ハ太サ30 cm ニ達スル巨木ヲ片トナシタルモノニシテ，微ニ類黄色ヲ帶ビ，其横斷面ニハ粗ニ排列セル年輪ヲ顯ハシ，1 cm ノ厚サアル黑褐色ノ外皮ヲ被ムル．是等2種ノ木質ハ何レモ割裂シ易ク，且ツ久シク存留スル所ノ苦味ヲ有ス．其有效成分ハ1%ニ達スル所ノ　くわっしん(Quassin)ナル苦味質ナリ．

日本藥局方ニハ是等2種類ノ外ニ尙ホ Picrasma quassioides *Benn* ヲモ採用セリ．

Quassia 木ヲ冷浸煎劑トシテ用ユレバ苦味性健胃劑トシテ作用スル外ニ，尙ホ驅蟲力ヲ有シ蛔蟲特ニ蟯ニ對シテ猛毒ナルノ點ニ於テ著名ナルモノナリ．歐洲ノ民間ニ行ハル、人ニ無害ナル驅蟯紙ハ之レヲ含有ス．用量ハ Gentiana 根ニ同ジケケドモ著キ大量ヲ與フレバ中毒ヲ來シ昏酔ニ陷ラシメ，ソレヨリシテ呼吸心及ビ心臟ノ麻痺ヲ以テ斃ル、事アリ．

Quassia 木ハ　ほっぷ(Hop)ノ代用品トシテ麥酒ニ苦味ヲ附スルニ用キラル、事アリ．

10) くわっしあ丁幾 Tinctura Quassiae.

Quassia 木1分，稀酒精5分ヲ以テ製シタル澄明淡褐黄色ノ液ニシテ，往時ハ苦味藥トナシタレドモ近來ハ殆ド全ク廢藥ニ屬セリ．

11) かすかりら皮 Cortex Cascarillae.

西印度諸島ニ產スル大戟科ノ植物 Croton Elutoria *Bennett* ノ皮ニシテ，大約厚サ2 mm 長サ10 cm，管狀或ハ半管狀ヲナシ其直徑大約1 cm ナリ．外皮ハ淡灰色ニシテ纖細ナル縱紋及ビ横裂ヲ有シ，其剝脫シタル部分ハ類褐色ヲ呈ス；內面ハ類褐色ニシテ均等細顆粒狀ノ紋理ヲ顯ハス．氣味ハ芳香性ニシテ苦シ．主成分ハ　かすかりりん (Cascarillin $C_{16}H_{24}O_5$) ナル苦味質，鞣酸及ビ大約3%ニ達スル揮發油ナリ．

本劑ハ芳香苦味劑ニシテ且ツ收斂ノ效ヲ併有スルガ故ニ，消化不良特ニ其下痢ヲ兼子タルモノニ與フ．用量，處方，等ハ Gentiana 根ニ準ズ可シ．

12) かすかりら越幾斯 Extractum Cascarillae.

Cascarilla 皮ニ沸湯ヲ注ギ浸出シタル液ヲ蒸發シテ稠厚トナシタル暗褐色ノ越幾斯ニシテ，水ニハ溷濁シテ溶解ス．

Cascarilla 皮ト同一ノ目的ニテ　げんちあな越幾斯ト同量ヲ用ユ．

13) かすかりら丁幾 Tinctura Cascarillae.

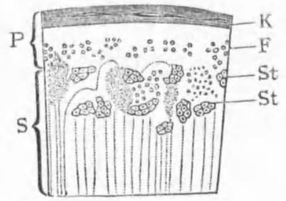
Cascarilla 皮1分，稀酒精5分ヲ以テ製シタル澄明赤褐色ノ液ニシテ，Cascarilla 皮ト同一ノ目的ニテ Gentiana 丁幾ト同量ヲ用ユ．

14) こんぢゅらんご皮 Cortex Condurango.

南米熱帶國西部ノ山地ニ產スル白前科ノ植物 Marsdenia Condurango *Reichenbach* ノ幹皮ナリ．

厚サ 2–7 mm 多少彎曲シ，外面ハ類褐色或ハ帶褐灰色ノ薄キ外皮ヲ被ムリ縱皺ヲ顯ハシ，內面ハ淡灰色ニシテ縱紋アリ，氣味ハ稍〻芳香性ニシテ微ニ苦ク且苛シ，其成分ハ未詳ニ屬スレドモ　こんぢゅらんぎん (Condurangin) ト名クル配糖質，Strychinin ニ似タル Alkaloid，鞣酸，澱粉，等ナリ．成分中ニテ效力ヲ顯ハストコロノ主ナルモノハ鞣酸ナリト認メラル．

第 24 圖
こんぢゅらんご皮横斷面
(擴大)



P 外皮部　S 內皮部
K 抱層　F 纖維束
St 石核細胞簇

往時ハ人ノ胃癌ニ特效アリト稱セラレ其名聲極メテ高カリシガ，近頃研究ノ結果トシテ其效力疑シキ事ヲ認メタリ；左レド人ノ胃癌，胃潰瘍，其他胃粘膜ニ刺戟アルモノニ之ヲ用ユレバ，徵候ヲ輕快シ食慾ヲ增進シ消化ヲ佳良ナラシムルニヨリテ，凡テ病性不明ナル胃病ニ向テ 10.0–15.0 ヲ煎劑トナシ1日量トシテ與フ．未ダ汎ク獸醫ニ應用セラレズト雖ドモ，犬ノ胃かたーるニハ試用ス可キ價値アルモノト信ズ．

Condurango 皮及ビ其製劑ハ今日ト雖モ猶ホ人ノ胃癌ニ向テ甚多ク用キラル．

15) こんぢゅらんご流動越幾斯 Extractum Condurango fluidum

Condurango 皮 100 分ニ酒精，水，Glycerin，等ヲ加ヘテ 100 分ノ流動越幾斯ト

ナシタルモノニシテ褐色ノ液ヲナス. 人ニ於テ 1-2 cc. 宛1日數回, 皮ト同一ノ目的ニテ用ユ.

16) こんぢゅらんご酒 Vinum Condurango.

日本藥局方ニ於テ Condurango 皮1分ヲ せり酒 (Sherry) 10分ニテ浸出シタルモノナリ. 嘗テ Fröhner 氏ハ犬ノ健胃劑トシテ使用ス可キ事ヲ記載セリ.

17) たんにん酸をれきしん Orexinum tannicum.

をれきしん (Orexin) ハ化學上 Phenyldihydrochinazolin $C_3H_7N_2 \cdot C_6H_5$ ニシテ, 普通ニハ たんにん酸化合體トシテ, 久シキ以前ヨリ汎ク世ニ用ヰラレ, 今日猶ホ賞用セラレツヽアリ. 此モノハ白堊ニ似タル疎鬆ナル粉末ニシテ, 水ニハ殆ド溶解セザレドモ, ソレニ相反シ酒精及ビ Ether ニハ稍〻溶解スル無臭無味ノ食慾催進劑ナリ. 之ヲ用ユレバ胃液ノ分泌ト胃ノ運動トヲ興奮スルヲ以テ, 肺結核其他ノ慢性ノ經過中ニ於テ食慾ヲ催進セシムル爲ニ處方セラル. 大人ニ於ケル1回ノ用量ハ 0.25-0.5 ナリ.

苦味性健胃劑トシテ擧グ可キモノ尙ホ之レアリト雖ドモ, 殆ンド廢藥ニ屬スルカ, 又ハ獸醫ニ必要ノ用途ヲ見ザルモノナレバ次ニ名稱ノミヲ揭ゲ.

18) 睡菜葉 (Folia Trifolii fibrini.)
19) 苦艾(ニガヨモギ) (あぶしんと草) (Herba Absinthii.)
20) 苦艾越幾斯 (あぶしんと越幾斯) (Extractum Absinthii.)
21) 苦艾丁幾 (あぶしんと丁幾) (Tinctura Absinthii.)
22) つゑんたうりうむ草 (Herba Centaurii.)

第 7. 泌尿器ノ消毒藥及刺戟藥 Desinfections- und Reizmittel für die Harnorgane.

本屬藥品ノ有效成分ハ揮發性ナルヲ以テ, 胃腸ヨリ容易ニ吸收セラレ, 體內ニ於テ著キ變化ヲ受クル事ナク腎臟ヲ經テ排泄セラルヽニ當リ, 其徑路ニ於テ特殊ノ刺戟作用若クハ消毒作用ヲ致ス所ノモノナリ.

爰ニ揭ゲラル可キ藥品ハ杜松實, こぱいばばるさむ (Copaiva Balsam), 蓽澄茄(ヒツチヨウカ)及ビ白檀油(ビヤクダンユ), 等ニシテ杜松實ハ尿分泌ヲ促進シ, Copaiva Balsam, 蓽澄茄及ビ白檀油ノ3藥ハ人ニ於ケル淋毒性病變ヲ恢復スル效アリ.

杜松實中ニハ有機酸ノ Alkali 鹽類ヲ含有スルガ故ニ利尿作用 (醋酸 Kali ヲ參照ス可シ) ヲ致ス外ニ, 尙ホ杜松實中ノ揮發油ハ腎臟ヲ通過シテ排泄セラルヽ際爰ニ一種特異ノ刺戟作用ヲ呈シ, 用量大ニ過グレバ腎炎ヲ生ズルモ, 然ラズシテ適量ナル時ニハ腎ノ上皮細胞ノ尿分泌機能ヲ催進シ, 且ツ血液中ノ水分ノ腎ニ於ケル濾過作用ヲ容易ニシ, 其結果トシテ尿量增加ヲ見ルニ至ル可キナリ.

Copaiva Balsam, 蓽澄茄及ビ白檀油中ニ含マレタル揮發油〔てるぺん Terpene $(C_5H_8)n$〕ハ容易ニ吸收セラレテ體內ニ入リ, 酸化セラレテ Terpenalkohol トナリ, 此 Alkohol ノ大部分ハ Glykuron 酸ト化合シ, 小部分ハ硫酸ト化合シ, 腎臟ヲ經テ尿中ニ排泄セラルヽ際ニ腎臟實質內ニ含有セラルヽ酵素ノ爲ニ分解セラレテ Terpenalkohol ヲ遊離シ, 此有效成分ハ顯著ナル消毒作用ヲ呈ス. Terpenalkohol ハ防腐性アルガ故ニ放尿後久シク尿ガ腐敗セザルノミナラズ, 尿排ノ徑路タル膀胱及ビ尿道ノ炎症, 特ニ人ノ淋毒性炎症ニ偉效アリ, 蓋シ此治淋ノ效力ハ2樣ノ作用ニ基クモノト認ム可シ; 卽チ一方ニ於テ此化合物ノ滅菌作用ニヨリテ淋病菌及ビ其他ノ雜菌ノ發育ヲ妨害シ, 他方ニ於テ通常ノ場合ナラバ膀胱及ビ尿道中ニテ尿ガ分解ヲ始メ, 爰ニ刺戟作用ヲ致シテ淋毒性炎症ヲ增進ス可キ筈ナレドモ, 防腐セラレテヨリ此分解ヲ止メ, 從テ炎症ヲシテ治シ易カラシムルニアリ.

本屬藥品ハ何レモ大量ヲ用ユレバ，胃腸ヲ刺戟シテ消化ヲ害シ，腎臟ヲ刺戟シテ腎炎ヲ生ゼシメ，加之ナラズ皮疹ヲモ發生セシムル性質ヲ有スルガ故ニ，藥用中ハ常ニ消化ニ注意シ，尿ノ蛋白ヲ檢査シ，豫メ其危害ヲ防グ可キナリ．

然ルニ Copaiva Balsam ヲ乳劑トナシ尿道內ニ注入シタル試驗ノ成績ニ據レバ如此キ著效ヲ認メザリシ．此注入ノ效力ガ內服シタルモノニ及バザリシ理由ニハ2條ノ說明ヲ與フル事ヲ得．其1ハ注入シタル藥液ハ防腐力アル尿ノ如クニアマチク尿道內ヲ消毒シ得ザル事，其2ハ是等ノ藥品中ノ揮發油ノ消毒力ハ一旦體內ニ入リ，酸化セラレテ Terpenalkohol トナリタル時ニノミ强キ事トス．

Copaiva Balsam, 蕪澄茄及ビ白檀油ハ尙ホ淋毒性ナラザル人畜ノ膀胱炎及ビ尿道炎，特ニソレ等ノ慢性ナルモノニ應用セラル可キ性質ノモノナリ．

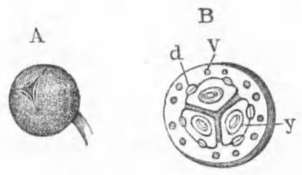
性狀及ビ應用

1) 杜松實 Fructus Juniperi.

松柏科ノ植物 Juniperus communis *L.* ノ熟果ナリ．

球圓形ヲナシ，黑褐色ヲ呈シ，青色ノ粉霜ヲ帶ビ，基底ニハ6個ノ小蓋鱗，頂點ニハ3個ノ縱痕ヲ有シ，內部ハ褐綠色ノ髓肉ニシテ3個ノ種子アリ．氣味ハ苦甘芳香性ナリ．主要成分ハ1-2%ニ達スル杜松實油ニシテ其他糖分アリ．

第 25 圖
杜 松 實



A 天然大ノ杜松實
B 擴大セル橫斷面
d 油囊 v 油室 y 種子

種々ノ原因ニ基クトコロノ水腫ニ向テ利尿劑トナシ，多クハ他藥ト配合シテ用ユ．其他健胃劑，祛痰劑，催乳劑，等トナス事アリ．但シ杜松實ハ腎炎ヲ生ジ易キ爲メ近頃人醫ニテハ殆ンド廢藥ニ屬セリ．

往時我邦ノ軍馬ニ用キタル健胃散ハ杜松實，食鹽及ビ重炭酸 Natrium ノ 3種ヨリ成レリ．

用 量

大動物	25.0-100.0	小動物	0.5 – 5.0
中動物	5.0 –10.0		

處方例

1) 杜松實末	100.0	芒硝	500.0
食鹽	250.0	礪砂	50.0
硝石	50.0	混和，3包ニ分チ，每日其1包ヲ1鐘ノ亞麻仁煎ニテ振盪合劑トナシ與フ(牛ノ氣管枝 Catarrh)．	
爲散劑，每飼料中ニ1食匙宛加フ(馬ノ水腫)．			
2) 杜松實末	250.0		

2) 杜松實油 Oleum Juniperi.

杜松實ニ水ヲ加ヘ蒸餾シテ得タル澄明無色或ハ淡黃色稀薄ノ揮發油ナリ．てれびん油ノ如ク刺戟性ノ擦劑トナシ，特ニ Rheumatis ニ向テ外用スレド敢テ必要ノ藥品ニアラズ．

杜松實煮(Succus Juniperi inspissatus)及ビ杜松實精(Spiritus Juniperi)ノ如キ製劑モアレド殆ンド用キラレズ．

3) こばいばばるさむ Balsamum Copaivae.

南米ノ北部ニ產スル決明科植物 (Copaifera officinalis *L.* 其他) ヨリ採集シタル帶黃褐色或ハ淡黃色澄明ノ樹脂液ナリ．

特異芳香性ノ香氣ヲ有シ，味ハ微ニ苦クシテ且ツ久シク辛烈ナリ．其成分ハ40-60%ノ こばいば油 (Kopaivaöl) ト名クル揮發油ニシテ，其殘リノ部分ハ こばいば酸(Kopaivasäure)及ビ樹脂ナリ．

利尿劑，祛痰劑及ビ膀胱，尿道，等ノ炎症アル時ノ治療劑トシテ用キ得レドモ，人ノ淋毒ニ於ケル如ク盛ニ用キラレズ．

Copaiva Balsam ハ今日ト雖モ必要ナル人ノ內用的治淋藥ナリ．

用 量

大動物	10.0-50.0	小動物	0.2- 2.0
中動物	2.0-10.0	人	0.5- 2.0

こばいばばるさむ膠囊 (Capsulae Copaivae) ト稱スルハ人醫ニ於テ治淋ノ目的ニ供用スルモノニシテ，1囊子中ニ0.5g ヲ含有シ，1日3回1-4個宛食後ニ用ユ．

4) 蕪澄茄(ビヂチヨウカ)又くべば子 Fructus Cubebae.

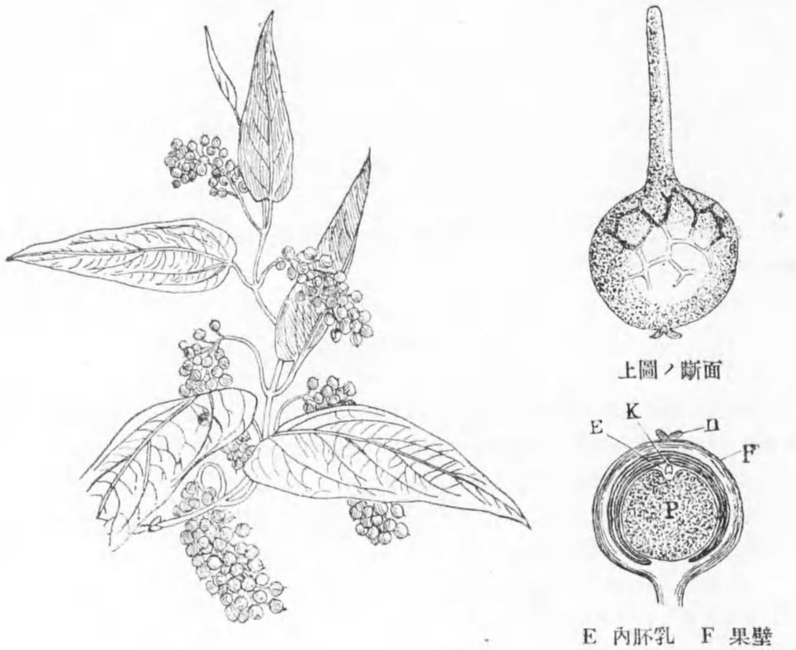
印度, Java, 等ニ生ズル胡椒科植物(Cubeba Officinalis *Miquel*)ノ未熟果實ナリ．

直徑5mm ノ球圓形ヲナシ，暗灰褐色ヲ呈シ，頂點ニハ凸起セル雌蕊痕ヲ有シ，基礎部ハ漸ク狹細トナリ，長サ1cm ヲ超エザル果梗ニ移ル，果壁ハ薄クシテ網狀ニ皺縮シ，內部ニハ萎縮セル基立性ノ種子アリ，味ハ辛辣芳香性ニシテ稍ゝ苦シ．其主

要ナル成分ハ　くべば油(Cubebaöl)ト稱スル大約13%ノ揮發油ト　くべびん Cubebin $C_{10}H_{10}O_3$ ト名クル2.5%ノ苦味質トス，其他尚ホ無晶形ノ樹脂樣物質(Cubebensäure $C_{13}H_{12}O_5$)アリ．

第　26　圖

蘿　澄　茄　　少ク擴大セル蘿澄茄



上圖ノ斷面

E 內胚乳　F 果壁
K 芽胎　n 雌蕊頭
p 外胚乳

主トシテ人ノ淋病ニノミ應用セラルヽモノナレドモ，家畜ニ於テハ健胃劑，祛痰劑竝ニ膀胱及ビ尿道ノ　Catarrh　ニ向テ治療劑トナス事ヲ得．印度及ビ　Arabia　ニ於テハ古代ヨリ香味料トシテ賞用セラル．

用　量

大動物	20.0-50.0	小動物	0.2- 5.0
中動物	5.0-20.0	人	1.0-10.0

蘿澄茄越幾斯(Extractum Cubebarum)ナル製劑アリテ．人ノ淋病ニ多ク用キラルレドモ，家畜ニハ固ヨリ必要ノ藥品ニアラズ．

5) 白檀油又さんたり油 Oleum Santali.

濠洲，Malay 半島及ビ印度ニ產スル白檀科植物ノ一種 (Santalum album *L.*)ノ

木材ヲ細切シ水ヲ加ヘ蒸餾シテ得タル芳香性ノ揮發油ナリ．淡キ類黃色或ハ黃色濃厚ノ液ヲナシ，比重0.970-0.985，沸騰點ハ300度ナリ．其主要成分ハ　あるふぁ及ビ　べた　さんたろーる (α- und β-Santalol $C_{15}H_{25}O_6$) ニシテ，含有量大約90%ニ達ス．

人ノ淋病ニ於テ賞用セラレ又膀胱 Catarrh 及ビ攝護腺炎，等ニ處方セラル，其人ニ於ケル用法ハ0.5入ノ膠囊ヲ食後ニ2個ヅヽ，1日3回內用セシム．

ごのろーる　又ハ　　さんたろーる Gonorol od. Santarol ト稱スルモノハ白檀油ノ中ニテ300度ニ於テ沸騰スル部分ヲ採集シテ得タル無色無臭ノ液ニシテ，刺戟性ナキガ故ニ汎ク賞用セラル．0.3入ノ膠囊ヲ食後ニ3個宛1日3回內用スレバ人ニ對スル治淋ノ效力著明ナリ．

ごのさん Gonosan ト稱スルハ20%ノ　かわ (Kawa) 樹脂越幾斯ヲ含有セルモノニシテ，芳香ヲ呈スル帶黃綠色半透明ノ液ヲナス；Kawa ハ粘膜麻痺作用ヲ併有スルタメ尿道ノ知覺麻痺ヲ來シ從ツテ勃起又ハ遺精ヲ豫防スルノ效ヲモ有ス．人ノ淋病ニ0.3入ノ膠囊2個宛食後ニ服用セシム．蓋シ Kawa 越幾斯ハ南洋ニ產スル一種ノ樹根ヨリ製出セシモノニシテ，局所ニ適用スルトキ粘膜ノ知覺ヲ麻痺シ，內用後尿路ニ排泄セラルヽ際ニモソレヲ麻痺スルヲ以テ，急性淋病ニ於ケル疼痛ヲ緩解スルノ效力アルモノナリ．

さんちーる Santyl ト稱スルハ白檀油ノ　さりちーる酸えすてる　ニシテ，無味無臭ノ淡黃色ノ液ナリ．等シク治淋藥トシテ1回 20-30 滴宛每食後ニ牛乳ニ混ジ與フ．

附 1) うわうるし葉 Folia Uvae Ursi.

石楠科ノ小灌木 Arctostaphylos Uva Ursi *Spreng.* ノ葉ナリ．

倒置卵圓形ヲナシ，長2 cm ヲ超エズ，幅ハ其半ニシテ，基部ハ葉柄ニ沿フテ急ニ狹細トナリ，邊緣缺裂セズ，上面ハ光澤ヲ帶ビ毛茸ナク著ルシク露出セル脈理アリテ皺縮シ，味稍〻苦ク收斂性ナリ．其ノ成分ハ沒食子酸 (Gallussäure) ノ外ニ結晶性配糖質ナル　あるぶちん(Arbutin $C_{25}H_{34}O_{15}$)，無晶性配糖質ナル　えりこりん(Ericolin) 及ビ中性化合體ナル　うるそん(Urson)，等トス．

本劑ヲ內用スレバ沒食子酸ノ收斂作用ノ外ニ，尚ホ Arbutin ガ體內ニ於テ分解シ葡萄糖，ひどろひのーん (Hydrochinon) 及ビめちーるひどろひのーん (Methylhydrochinon) トナリ，後2者ハ恰モ石炭酸ノ如ク硫酸ト化合シテ尿中ニ排泄セラレ，其徑路ニ防腐及ビ制酵作用ヲ致シ，且ツ　Urson　ハ多少ノ利尿作用ヲ呈スル

ガ如ク; 收斂, 防腐及ビ利尿ノ作用ヲ兼有スルニヨリ, 膀胱及ビ尿道ノ Catarrh ニ向テハ實ニ聖藥ト云フ可シ. 然ルニ今日マデ我邦ニ於テ獸醫ニ多ク用キラレザリシハ, 家畜ニ適應症ガ多ク認メ得ザリシニ坐ス. Fröhner 氏ハ腎臟病ニモ應用ス可キ事ヲ奬勵セリ.

第　27　圖

うわうるし

用　量

大動物	20.0–50.0	澱粉	100.0
中動物	5.0–15.0	單舍利別	適宜
小動物及ビ人	1.0– 5.0	爲散劑, 2回ニ分與ス(馬ノ腎炎).	
處方例		2) うわうるし葉煎	(10.0)150.cc.
1) うわうるし葉末	50.0	毎3時1食匙宛(犬ノ膀胱炎).	
芒硝	200.0		

附 2) うろとろぴん又へきさめちーれんてとらみん Urotropinum. od. Hexamethylentetraminum. $(CH_2)_6N_4$

Formaldehyd ニ Ammonia ヲ化合セシメテ生ズル無色ノ結晶ニシテ水ニ溶解シ易シ. 之ヲ人ニ內用セシムレバ, 吸收セラレテ血液中ニ入リ, 變化ヲ受ケズシテ尿中ニ排泄セラレ, 尿若シ中性若クハ酸性ナル時ハ徐々ニ分解シテ ふぉるむあるでひーど (Formaldehyd) ヲ游離シ, 以テ消毒作用ヲ呈ス. 之ヲ以テ人ノ淋毒性膀胱かたーる ニ良效アリ, 加フルニ本劑ハ利尿作用ト尿酸ノ溶解作用トヲ併有スルガ故ニ人ノ痛風ニモ賞用セラル. 卽チ 1.0–1.5 ヲ水ニ溶解シテ1日3回ニ分服セシム.

$$6\,CH_2O + 4\,NH_3 = 6H_2O + (CH_2)_6N_4$$

最近ニ至リ馬ノ ぼるな(Borna)病ニ向テ Urotropin 20–60 g 宛, 毎日1回, 3日間, 靜脈內注入又ハ皮下注入シテ良好ヲ奏セリト云フ者アリ. 如此キ場合ニハ 10 倍ノ蒸餾水ヲ加ヘ溶液トナシ注入スルモノニシテ Borna 病ノ外種々ナル傳染性疾患ニ對シ試用セラレツヽアリ(傳染性貧血ノ患馬ニ對シテハ目下研究中ナリ).

Formaldehyd 若シ尿酸ト化合スレバ, 後者ヲ可溶性ノモノニ變化セシムルガ故ニ Urotropin ハ痛風ニ用キラル, 但シ Urotropin ハ酸性尿中ニ於テノミ有效ナレバ之ニ Alkali ヲ配合スベカラズ.

附 3) さりふぉるみん Saliforminum.

化學上ヨリ云ヘバ さりちーる酸うろとろぴん ニシテ, 尿ノ反應如何ニ係ラズ有效ナレバ, 前者ノ如ク人ノ膀胱 Catarrh ニ賞用セラル. 用量亦 1.0–1.5 ヲ1日分トス.

附 4) ぼろべるちん Borovertinum.

化學上ノ構造ハ硼酸 Urotropin ニシテ, 尿反應如何ニ係ラズ, 尿中ニテ分解シ硼酸及ビ Formaldehyd ヲ游離シ, 防腐消毒ノ效ヲ奏ス. 近來人ノ膀胱かたーるニ向テ最多ク處方セラルヽモノナリ. 2.0–3.0 ヲ1日ノ用量トス.

附 5) ちすとぷりん Cystopurinum.

化學上ニテハ醋酸 Sodaurotropin ナリ. 尿反應如何ニ係ラズ有效ナレバ, 人ノ膀胱 Catarrh ニ前者ノ如ク 2.0–3.0 ヲ1日量トシテ與フ.

附 6) へるみとーる又新うろとろぴん Helmitolum. od. Urotropinum novum.

化學ノ構造ニ於テ Helmitol ハ Methylen 枸櫞酸 Urotropin ニシテ, 一旦吸收セラレテ後ニ膀胱ニ出ヅレバ, 尿ノ反應ガ酸性タルト, Alkali 性タルトヲ問ハズ

分解シ, Formaldehyd ヲ游離シ消毒ノ效ヲ現ハス長所アリ. 人ノ膀胱かたーる ニ前者ノ如ク 2.0-3.0 ヲ1日量トシテ處方ス.

附 7) ひっぽーる Hippol.

化學上ニテハ めちーれん馬尿酸 Methylenhyppolsäure ニシテ, Alkali 性ノ尿中ニテモ容易ニ Formaldehyd ヲ游離シ以テ尿ヲ消毒スルガ故ニ, 人ノ膀胱かたーるニ於テ 0.5-1.0 宛1日3回服用セシム.

第 8. 膏藥劑 Hautsalben.

膏藥劑トハ脂肪, 脂肪油, Paraffin, 石鹸, 樹脂, Glycerin, 等ヲ適宜ニ混合シタルモノニシテ; 其使用ノ目的ニ隨ヒ, 硬固ナルモノアリ, 柔軟ナルモノアリ, 或ハ又液狀ヲナスモノアリ.

膏藥劑ノ用途ハ種々ニシテ, (1) 皮膚ニ塗抹シテソヲ柔軟ニシ以テ外來ノ刺戟ニ對スル抵抗力ヲ增加セシメ, (2) 傷ツキタル皮膚, 殊ニ表皮ガ脫落セル部分ニ塗布シテ外來ノ刺戟ヲ免レシメ, (3) 收斂劑, 刺戟劑若クハ防腐劑ヲ之ニ配合シテ皮膚面ニ附著セシメ, (4) 皮膚面ヨリ血液中ニ吸收セシメントスル藥品例ヘバ水銀ヲ配合シテ塗擦スルガ如シ.

膏藥劑ハ其形狀ニ從ヒ通例次ノ4種ニ區別セラル.

1) 擦劑又液膏劑又糊劑 (Linimentum) トハ液狀若クハ殆ド液狀ニ近キ劑形ニシテ, 通常ハ おれーふ油, Glycerin 又ハ石鹸ノ酒精溶液ニ他ノ液狀ノ藥品ヲ配合シタルモノナリ.

2) 軟膏 (Unguentum) トハ軟キ稠度ヲ有スル膏藥ニシテ, 通常ハ脂肪ト蠟トヲ適度ニ配合シテ製シ, 其儘ニテ皮膚ヲ被フ目的ニ使用シ, 又ハ他ノ有力ナル藥品ヲ混ジテ皮膚面ニ附著スルモノナリ.

3) 硬膏 (Emplastrum) トハ硬キ稠度ヲ有スル膏藥ニシテ, 體溫ニ遇フテ始メテ軟化スルモノナリ. 本劑ハ樹脂, 蠟, 石鹸, 酸化鉛, ごむ, 脂肪, 脂肪油, 等ヲ適宜ニ混合シテ製シタルモノニシテ, 皮膚ニ粘著スル性質アリ. 人ニハ應用サルヽ事多ケレドモ家畜ニハ極メテ稀ニ用キラルヽニ過ギズ.

4) ぱすた又泥膏 (Pasta) トハ軟膏ニ似タル稠度ノ藥劑ニシテ, 種々ノ粉末狀ノ藥品ニ脂肪油ヲ混和シ泥狀トナシタルモノナリ. 其性質鬆粗ナルヲ以テ皮膚ノ分泌物ヲ吸收シテソヲ乾燥セシムル所ノ長所アレドモ, 皮膚ニ粘著シ難キヲ短所トス. 但シ Pasta ハ粉末狀藥品ノ多量ヲ含有スル點ニ於テ軟膏ト相違アリ.

5) 琶布劑 (Cataplasma) トハ種々ノ無力性ナル粉末狀藥品ニ水ヲ加ヘ糜粥狀ノ塊トナシタル者ニシテ, 之ヲ溫メテ炎症アル局部ヲ被フ時ハ炎症產物ノ吸收消散ヲ促ス效アリ. 故ニ蹄ノ疾病ニハ汎ク應用セラル. 但シ琶布ヲ袋ニ編入スルハ稍〻穩當ナラズト雖ドモ其劑形ガ頗ル膏藥劑ニ似タル點ヨリ假ニ加ヘ置キタリ.

性狀及ビ應用

1) 單軟膏 Unguentum simplex.

黃蠟1分, 胡麻油2分ヲ以テ製シタルモノニシテ, 最モ汎ク軟膏基礎藥トナス.

單軟膏ハ獸醫ニ於テ最モ多ク用キラルヽモノナリ.

2) ぱらふぃん軟膏 Unguentum Paraffini.

固形 Paraffin 1分, 流動 Paraffin 4分ヲ混合シテ製シタルモノニシテ, 全ク刺戟性無ク且ツ變敗セザルトコロノ軟膏基礎藥ナ

リ．故ニ赤降汞，硼酸，酸化鉛，吐酒石，等ヲ軟膏トナスニ適當スレドモ，其缺點ハ水分ノ攝取力少キヲ以テ一旦水ニ溶カシタルモノヲ配合スル事能ハザルト，且ツ皮膚面ヨリ全ク吸收セラレザレバ，吸收作用ヲ望ム藥品ヲバ配合スル事能ハザルトニアリ．

眼軟膏ヲ作ルニハ，Paraffin 軟膏ヲ用ユルコト多シ．

3) ぐりせりん軟膏 Unguentum Glycerini.

澱粉 10 分，蒸餾水 15 分，Glycerin 90 分ヲ混ジ，重湯煎上ニ於テ熱ヲ與ヘ全質均等殆ド透映ニシテ冷後軟膏狀ヲ呈スルニ至ルマデ攪拌シテ製シタルモノニシテ，水ニ溶解スル性質ノ藥品ヲ軟膏トナス時ニ用キラル．

4) へぶら軟膏 Unguentum Hebrae.

單鉛硬膏 1 分，落花生油 1 分ヲ混ジ加溫融解シテ製シタルモノニシテ，濕疹，表皮剝脫，等ノ際ニ皮膚ヲ保護スル最良ノ軟膏ナリ．

5) 豚脂又家猪脂 Adeps suillus.

本劑ハ汎ク軟膏基礎藥トシテ應用セラルレドモ，變敗シ易ケレバ 1 % ノ安息香酸若クハ 4 % ノ安息香ヲ加ヘ以テ安息香脂 (Adeps benzoatus) トナシ貯藏シ置クヲ良シトス．

豚ノ脂肪組織ヨリ融出シタル脂肪ヲ水ニテ洗滌シタル後ニ脫水シテ得タル白色ノ脂肪ニシテ 36–42 度ニ於テ融解シ無色澄明ノ液トナル．其ノ成分ハ硬脂 [Stearin $C_3H_5(OC_{18}H_{35}O)_3$]，軟脂 [Palmitin $C_3H_5(OC_{16}H_{31}O)_3$] 及ビ油脂 [Olein $C_3H_5(OC_{18}H_{33}O)_3$] ニシテ，ソレ等ガ種々ナル比例ニ於テ混合シタルモノナリ．

6) 無水らのりん Adeps Lanae anhydricus.

羊ノ毛脂ヨリ採集精製シタル無水ノ脂肪ナリ．

淡黃色軟膏樣ノ塊ヲナシ，殆ド臭氣無ク，酒精ニハ僅ニ溶解シ，水ニハ溶解セザレドモ，2 倍量ノ水ヲ混和スルモ其稠度ヲ變セズ．

無水 Lanolin ノ優秀ナル性質トシ次ノ 4 項ヲ認メラル．

1) 大氣中ニ於テ容易ニ變敗セズ．
2) 2–3 倍量ノ水ヲ混和スルモ稠度ヲ變ゼザルニヨリ，水ニ溶解シタル藥品ヲ配合スルニ適ス．
3) 皮膚面ヨリ吸收セラレ得ルガ故ニ，吸收ヲ望ムトコロノ藥品ヲ配合スルニ適ス．
4) 粘膜ニモ良ク粘著スルガ故ニ，粘膜面ニ貼用ス可キ軟膏ノ基礎藥トナスニ適ス．

著者モ屢〻之レヲ應用シタリシガ其粘著性大ナルノ故ヲ以テ，豚脂ニ混ズレバ豚脂ノ粘著性ヲ增加スル事ヲ得テ頗ル妙ナリ．

7) 含水らのりん Adeps Lanae cum Aqua.

無水 Lanolin 75 分，蒸餾水 25 分ヲ混和シテ製シタルモノナリ．

帶黃白色軟膏樣ノ塊ヲナシ，殆ド臭氣ナク重湯煎上ニテ溫ムレバ融解シテ水層及ビ油層ニ分解ス．

無水 Lanolin ト同一ノ目的ニ使用セラル．處方中ニ單ニ Lanolin ト記入スル場合ニハ含水 Lanolin ヲ指定スルモノナリ．

處方例

		らのりん	20.0
べるーばるさむ	2.0	爲軟膏(犬ノ疥癬)．	

8) わせりん Vaselinum.

Vaselin ハ石油ヲ蒸餾シタル殘渣卽チ固形 Paraffin ト流動 Paraffin トノ混合物ヨリ成レルモノニ硫酸及ビ Natron 滷液ヲ加ヘテ精製シタル白色或ハ類黃色半透明軟膏樣ノ物質ニシテ，Paraffin 軟膏ニ代用シ得ルモノナリ．

坊間ニ販賣セル Vaselin ニハ刺戟性ヲ有スルモノ稀ナリトセズ，故ニ刺戟ヲ恐ルヽナラバ Paraffin 軟膏ヲ用ユベシ．

9) わそげーん及わそーる Vasogenum und Vasolum.

何レモ Vaselin ヲ酸化シテ製ス．(1)種々ノ藥品ヲ溶解スルノ性質ト，(2)皮膚面ヨリ多少吸收セラルヽ性質トヲ有シ，(3)且ツ水ト混ズレバ乳劑ヲ爲ス特性ヲ具フルニ由リ，Jod 及ビ水銀ノ如キ皮膚面ヨリ吸收セシメントスルモノヲ軟膏トナスニ適ス．

10) おれーふ油 Oleum Olivarum.

皮膚病ニ用ユル緩和藥，包攝藥竝ニ軟化藥トシテ油液ノ形狀ニ於テ單味ニ若クハ他藥ト配合シテ用ユ．　椿油，胡麻油，落花生油，等ハ何レモ　おれーふ油ノ代リニ用キラレ，寧ロ之レニ優レルモノナリ．

おれーふ油ハ歐洲南部ニ栽培セラルヽ木犀科ノ植物，ほるとのき Olea europaea *L.* ノ果肉ヲ壓榨シテ製出セル淡黃色ノ脂肪油ニシテ，微ニ特殊ノ臭氣ヲ有シ，味ハ緩和ニシテ敗油性ナラズ，大約攝氏 10 度ニ於テハ溷濁ヲ起シ，零度ニ於テハ凝結シテ顆粒狀軟膏樣ノ塊トナル．　其成分ハ油脂ナリ．

11) ぐりせりん Glycerinum. $C_3H_5(OH)_3$.

Glycerin ハ水分ヲ攝取スル力強キヲ以テ創面及ビ粘膜ヲ刺戟シ，賦形藥トシテハ是等ノ部位ニ用キ得ザレドモ，之レヲ直腸內ニ注入スレバ其刺戟作用ニヨリテ排便ヲ促ガスノ性質アレバ人醫ニ於テ又獸醫ニ於テ此方面ニ多ク應用セラル．　然レドモ排便劑トシテ賞用セラルヽハ極メテ少量ヲ用ユルモ奏效スル爲メニシテ，語ヲ換ヘテ云ヘバ唯使用ノ便ナルニアリ，實際ノ效力ニ至テハ石鹼溶液ノ直腸內注入ニハ遠ク及バザル事勿論ナリ．

Glycerin ハ防腐力アルヲ以テ痘苗ノ貯藏ニ用キ，又殺菌力アルヲ以テ鷄 Diphtherie ヲ治療スル用ユ．　其他おれーふ油ノ如ク皮膚ノ軟化藥トシテ用キ，又ハ種々ノ鹽類，Alkaloid ヲ溶解スルニモ用キラレ用途頗ル汎シ．

脂肪ニ苛性 Kali 又ハ酸化鉛ヲ加ヘテ煮沸スル時ハ Glycerin ヲ游離析出スルモノニシテ，主トシテ蠟燭，石鹼，等ヲ製造スル際ニ副產物トシテ得ラル．　Glycerin ハ無色澄明舍利別樣ノ液ニシテ，味甘ク臭氣無ク水及ビ酒精ニハ隨意ノ比例ニ於テ溶解シ　Aether, Chloroform　及ビ脂肪油ニ溶解セズ．　多クノ馬ハ好デ Glycerin ヲ舐ムルモノナリ．

ごむ製ノ器具ハ Glycerin 又ハ炭酸瓦斯中ニ貯フレバ久シク損ズル事ナシ．

處方例

ぐりせりん	15.cc.	蒸餾水	130.cc.
鹽酸かり	7.5	混和溶液トナシ，朝夕1回宛塗布ス	
さりちーる酸	1.5	(鷄 Diphtherie)	

12) 亞麻仁 Semen Lini.

亞麻科植物 Linum usitatissimum *Linn* ノ種子ナリ．

褐色ノ扁平卵圓形ヲナシ，長サ 4-6 mm. 其兩面滑澤ニシテ稍〻穹隆シ强キ光澤ヲ帶ビ，臭氣無ク，味ハ油樣粘滑ニシテ敗油性ナラズ．　之レニ 25 倍ノ水ヲ加ヘ煮沸スレバ澄明ノ粘漿ヲ得可シ．　其主要成分ハ大約 30 % ノ亞麻仁油ト 6 % ノ粘液ニシテ，澱粉ヲ含有セズ．　亞麻仁ハ時日ヲ經過スルニ從ヒ變敗スルニ由リ新鮮ナルモノヲ用ユベシ．

往時ハ其煎劑ヲ用キタルモ，今ハ之レヲ搗碎シ 30 分時間冷水中ニ浸シテ粘液ヲ浸出シタルモノ所謂浸漬劑ヲ用ユル事多シ．此浸漬劑竝ニ煎劑ハ胃腸ノ炎症ニ向テ包攝藥トナシ，又古來ノ習慣ニヨリ腎臟炎及ビ膀胱炎ニ用ユル藥品ノ賦形藥トナス．

13) 亞麻仁粉 Farina Lini.

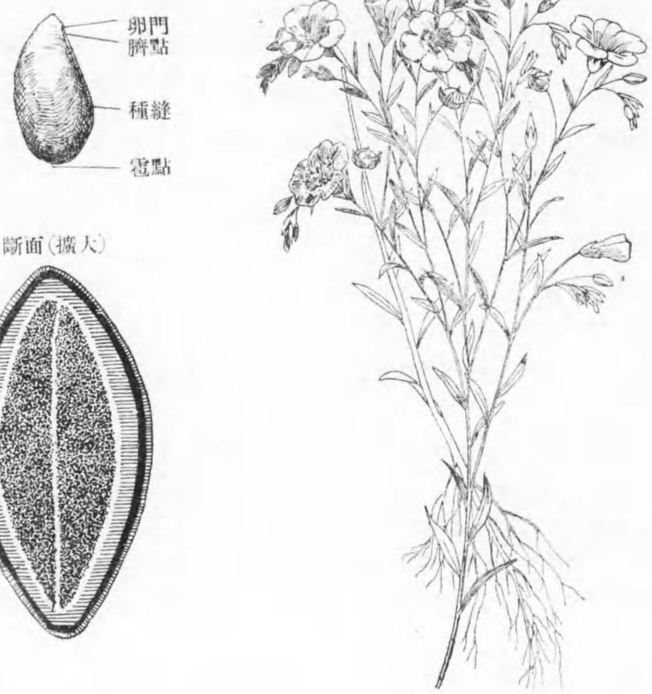
油分ヲ榨取シタル亞麻仁ヲ粗末トナシタルモノニシテ，好ンデ粘液罨布トシテ蹄ノ諸病ニ用ユ．　近頃ニ至リテハ　ふすま　ヲニ之代用スルモノ多シ．

14) 亞麻仁油 Oleum Lini.

等分ノ石灰水ト混ジテ火傷ニ塗布シ，又種々ノ軟膏ヲ製スル

第 28 圖

亞　麻



タメ用ユルノ外ニ，其性質ガ乾燥シ易キ爲メ工業上ニハ　ぺんき，いんき，にす，等ノ製造ニ充テラル.

亞麻仁ヲ冷壓シテ得タル澄明黃色ノ脂肪油ニシテ，微ニ特殊ノ臭氣ヲ有シ，味ハ緩和ナリ．攝氏零下 10 度ニ於テモ猶ホ液狀ニ留マリ，塗布シテ放置スレバ乾燥スルヲ特性トス.

15) 扁桃油 Oleum Amygdalarum.

扁桃(あめんどう) Prunus Amygdalus ノ種子ヨリ得タル油液ニシテ，おれーふ油ノ如ク用キラル.

第 9.　皮膚刺戟劑 Hautreizmittel. Dermeresthitica.

皮膚ノ知覺ヲ興奮セシメ，之レト同時ニ其部ニ充血若クハ炎症ヲ生ゼシムル作用アル藥品ヲ皮膚刺戟劑ト稱ス.

皮膚ヲ刺戟スル時ハ，其部ノ知覺神經ノ末梢ニ位スル感受體ヲ興奮セシメ，其興奮ハ，あきそーん反射 (Axonreflex) ヲ形成シテ，直チニ毛細管ヲ刺戟シテ擴張セシム．故ニ局所麻醉劑ヲ用キ此感受體ヲ麻痺シテ，興奮シ得ザル狀態トナシタル後ニ，皮膚刺戟劑ヲ用ユルトモ，毛細管ヲ擴張スルコト能ハズ.

皮膚刺戟劑ヲ用ユレバ先ヅ知覺刺戟ヲ致シ，次デ毛細管擴張ノ爲ニ充血シ，充血高度ナレバ炎症ヲ喚起ス．而シテ皮膚刺戟ノ場合ニ毛細管ノ擴張ヲ來スハ，其知覺刺戟ニ原因スルモノヽ外ニ，尙ホ其刺戟劑ノ爲メニ直接ニ毛細管ノ內皮細胞ヲ侵サルヽ爲ナルコトモ亦之レアリ．詮ズルニ輕度ノ刺戟ニテハ單ニ皮膚ニ充血ヲ來スノミナレドモ，强キ刺戟ナレバ，炎症ヲ生ジ，血管ヲ傷害シ，血管ヨリ液體ヲ漏出シ，以テ水疱ヲ生セシメ，更ニ一層强度ノ刺戟ハ組織細胞ヲ壞死ニ陷ラシメ，以テ化膿ヲ來サシム.

輕度ノ皮膚刺戟ヲ永ク持續スル時ハ，其刺戟作用ト刺戟ノ爲メニ血管ヲ擴張シ血流ヲ增加シタル事トニ因リテ，組織ノ榮養狀態ヲ變化シ病的產物ノ破壞吸收ヲ促ス事アリ．此場合ニハ患部ニ集中シタル多量ノ血液中ノ　おぷそにん (Opsonin)，あれきしん (Alexin) 等ガ病原體ヲ撲滅スルコト，恰モ Bier 氏ノ鬱血療法ニ於ケルガ如ク，慢性ノ炎症ニ對シ偉效ヲ奏スルモノナリ.

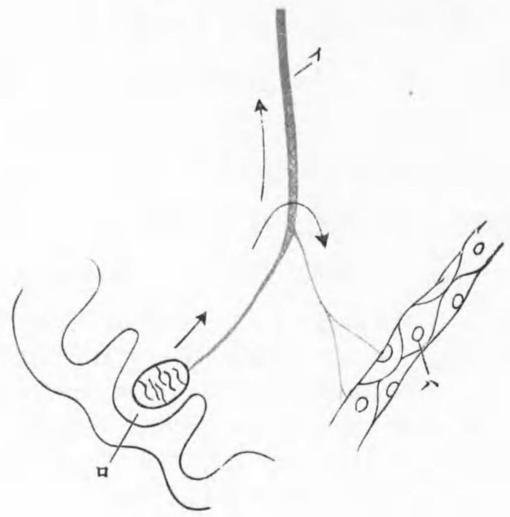
强度ノ刺戟ヲ暫時皮膚ニ與フル時ハ，劇シキ疼痛及ビ皮膚ノ引赤ヲ喚起シ，之レガ爲ニ其內方ニ存スルトコロノ炎症狀態及ビ疼痛，等ヲ輕快セシムル事ヲ得．其理由ハ明瞭ナラザレドモ恐ラクハ皮膚ノ知覺神經ノ興奮ニヨリテ反射的ニ病アル深部ノ組織ニ變化ヲ及ボス爲ナル可シ，

瞬時ノ劇シキ皮膚ノ知覺刺戟ヲ反射的ニ腦ニ作用セシメテ失神，虛脫及ビ嗜眠，等ヨリ醒覺セシメント試ムル事アリ．蓋シ皮膚刺戟ハ獨リ消失セントスル意識ヲ喚

起セシムルノミナラズ，同時ニ又呼吸中樞及ビ心臟ヲ興奮セシメ，以テ呼吸及ビ脈搏ヲ促進スルノ效力アレバナリ．而シテ呼吸及ビ脈搏ノ數ハ皮膚ノ知覺刺戟ノ弱キ場合ニハ增加シ，强キ場合ニハ減少スルモノトス．

第　29　圖

（あきそーん反射，林博士藥理學ヨリ轉載ス）



イ　知覺神經
ロ　皮膚ニ於ケル感受體
ハ　毛細管

皮膚ノ知覺刺戟ハ反射的ニ血液內ノ白血球ノ數ヲ增加シ，又血液ノ凝固性ヲ增進スルノミナラズ，遠ク脈管神經ノ中樞ニ至ルマデ影響ヲ及ボスモノナリ．此影響ヲ受クル時ハ皮膚ノ血管ハ忽チ擴張シ，內臟ノ血管ハ先ヅ收縮シテ後ニ擴張ス．故ニ皮膚ニ刺戟ヲ與ヘタル始ニハ內臟ノ血管收縮シ，皮膚ノ血管ハ却テ擴張スルニヨリ，血液ハ體ノ表面ニ來ル事多ク；後ニ至レバ內臟ノ血管擴張セラレテ多クノ血流ハ之ニ赴ク事トナル．而シテ皮膚ニ與ヘタル刺戟ノ强キ時ハ此末期ニ來ル可キ內臟血管ノ擴張ヲ認ムル事迅速ナリ．如此ク皮膚ノ刺戟ハ內臟血管ノ血流ヲ變化スル作用アルヲ以テ內臟ノ治療ニ向テ皮膚刺戟ヲ利用スル事ヲ得．

而シテ此內臟血管ノ收縮ト皮膚血管ノ擴張トニヨリ體內ノ溫度下リ，之ニ反シ體表ノ溫度昇リ，從テ體溫ノ消失多ク其結果終ニ體溫低降ヲ來スモノナリ．

全身若クハ體ノ廣キ部分ニ輕度ノ皮膚刺戟ヲ加ヘント欲セバ，浴湯(Bäde)，塗擦(Einreibung)，洗滌(Waschung)，等ヲ行フ可ク；之レニ適スル藥品ハ酸類，あるかり類，鹽類，酒精溶液，揮發油，等ノ適宜ニ稀釋セラレタルモノナリ．之レニ反シテ皮膚ノ狹キ部分ニ强キ知覺刺戟若クハ引赤ヲ生セシムルニハ，芥子(Senf)，芥子油又ハ蕃椒丁幾ヲ貼シトシ，若シ又ソレヨリモ一層强キ刺戟ヲ與ヘテ水疱ヲ起マデノ作用ヲ要スレバ，かんたりすヲ用ユベシ．是等ニ關スル詳細ハ逐一後文ニ論ズ可キナリ．

Langrey ノ所謂軸索反射 (Axonreflex) ハ求心性導路及ビ遠心性導路ヲ有スレドモ，反射中樞ガ之レニ參與セザルヲ以テ眞ノ反射ト認メ難シ．

皮膚刺戟劑ヲ用キテ化膿セシメタル時ハ，其膿中ニ釀膿菌ヲ認ムルコト多シ．

皮膚刺戟劑ニハ2樣ノ類別法アリテ，其作用ノ强弱ニ從ヒ，引赤劑 (Rubefacientia)，發泡劑(Vesicantia)，及ビ打膿劑(Pustulantia) ノ3種ニ區分シ；或ハ其作用ノ性質ニ據リテ　てれびん油屬，かんたりぢん屬，芥子油屬ノ3種ニ區分ス．而シテ藥理學ニハ此後ノ類別法ヲ用キント欲ス．何トナレバ一種類ノ藥品ニテモ其調劑法ト應用時間ノ長短トニ因リ，或ハ引赤劑トナリ，或ハ發泡劑トナリ，乃至ハ又打膿劑トナリ得ルヲ以テ，此ノ如キ類別法ハ時々混雜ヲ招ク憂アレバナリ．

甲　てれびん油屬 Gruppe des Terpentinöls.

之ニ屬スルモノハ松樅科植物，殊ニ松屬ノ樹木中ニ含有セラレタルトコロノ Terebin 油竝ニ其他ノ揮發油ニシテ，脂肪油ニ溶解シ特ニ揮發性ナルガ爲メニ容易ニ健康ナル皮膚若クハ粘膜ヲ透シテ組織中ニ竄入シ，異物トシテ刺戟作用(理學的)ヲ知覺神經ノ末梢ニ呈スルノミニシテ，他ニ特殊ナル刺戟作用ヲ有スルモノニアラズ．

少量ヲ內服セシムレバ吸收セラレテ血液中ニ稀釋セラレ爰ニ白血球ヲ增加シ，且ツ其血管外游走ヲ制止スルガ故ニ消炎作用ヲ致シ，ソレヨリシテ腎臟及ビ氣管枝粘膜ヨリ排泄セラルヽニ際シ濃縮セラレテ刺戟作用ヲ致シ，尿及ビ氣管枝粘液ノ分泌ヲ增加ス可ク；又大量ヲ血液中ニ吸收シタル時ニハ中心神經系ヲ刺戟シ，之レガ爲メニ脈管神經中樞，呼吸中樞，脊髓，等ヲ興奮セシメ，從テ血壓亢進，呼吸促迫及ビ反射機興奮，等ヲ認ムレドモ，是等

ノ刺戟徴候ハ漸ク麻痺ノ徴候ニ移行シ以テ斃死ノ原因ヲ爲ス．而シテ斃死ヲ來サヾル限リノ大量ノ中毒ニテハ，腎臓ノ强キ刺戟ノ爲メニ往々急性腎臓炎ヲ生ズル事ニ注意セラル可シ．

死ノ原因ハ中心神經系ノ麻痺ナリ．箱内ニ蒸發セシメタル Terebin 油ヲ犬ニ吸入セシムルニ際シ注意ヲ怠ルトキハ中毒シテ死ニ至ラシムルコトアリ．

一旦體内ニ吸收セラレタル Terebin 油ハ一部分ハ其儘ニテ，一部分ハ酸化セラレ一旦 Terpenalkohol トナリ，何レモ ぐりくろん酸 (Glykuronsäure $C_4H_5(OH)_3<^{COOH}_{COOH}$) ト複合シテ尿中ニ排泄セラレ，尚ホ一部分ハ變化セズシテ肺竝ニ氣管枝ヨリ排泄セラル．故ニ尿ハ此 Terpenalkohol ノ爲ニ菫ニ似タル佳香ヲ放チ，呼氣ハ Terebin 油ノ固有ノ香氣ヲ有ス．

應用

1) Terebin 油ノ少量ハ (甲) 牛ノ慢性不消化ニ向テ反芻作用ヲ催進スルニ用ユル事アリ，(乙) 水腫ノ際ニ利尿劑トナス事アリ，(丙) 消毒溶解性祛痰藥トシテ氣道粘膜ノ Catarrh ニ用ユル事アリ，此中ニテ甲ト乙トニハ餘リ多ク應用セラレザルモ丙ニハ頗ル良好ノ藥品ト認メラレ，化膿性氣管枝炎，特ニ犬瘟熱ノ氣道粘膜ヲ侵シタルモノニ吸入若クハ内用ス．此場合ニ Terebin 油ハ一面ニ於テハ白血球ノ游走ヲ妨ゲテ化膿ヲ制止シ，且ツ防腐消毒ノ效ヲ奏シ，他面ニ於テハ祛痰作用ヲ呈ス．

2) Terebin 油ノ大量ハ馬ノ蛔蟲驅除藥トシテ應用スル事アリ，但シ屢〻中毒ノ危險ヲ來シタル實例アレバ，應用上ニハ極メテ注意ヲ要スルノミナラズ，Santonin, 二硫化炭素, 等ノ良藥アレバ寧ロ是等ヲ用ユルニ如カズ．又古キ Terebin 油ハ多量ノ酸素ヲ吸收シテ之レヲ おつぉん (Ozon O_3) ノ形狀ニテ保有スルガ故ニ，黄燐 (猫いらず) 中毒ノ際ニ之ヲ用ユレバ胃中ニ存スル燐ハ Ozon ノ爲メニ酸化セラレテ亞燐酸 (H_3PO_3) 及ビ燐酸 (H_3PO_4) トナリ，以テ毒性ヲ失フ；但シ此目的ニ精製 Terebin 油ハ Ozon ヲ含有セザル爲メ適セズ，新鮮ナル Terebin 油モ亦然リ，是等ハ獨リ適當セザルノミナラズ燐ヲ溶解シテ吸收ヲ容易ナラシムルニヨリ，却テ中毒ヲ助クルナリ．人ニ於テハ膽石疝痛ノ場合ニ膽汁ノ分泌ヲ亢進セシメテ膽石ヲ排出セシムルタメ，精製 Terebin 油ヲ内用セシムルコトアリ．

3) Terebin 油ハ筋及ビ關節ノ Rheumatis, 神經痛，腹膜炎，等ニ向テ誘導藥トシテ外用セラレ，又凡テノ疲勞及ビ麻痺狀態アル部ニモ刺戟劑トシテ外用スル事多シ．

4) 其他稀ニ Terebin 油ハ蝨ヲ毒殺スル目的ニテ塗布シ，又ハ陳久惡性ノ肉芽ヲ有スル創面ノ肉芽ヲ改良セントシテ試用スル事アリ．

5) 殊ニ記載セント欲スルハ人ノ輕度ノ凍傷 (しもやけ) ニハ之ニ $^1/_{10}$ ノ樟腦ヲ溶解シテ用ユレバ奇效アル事ナリ．

(注意) Terebin 油屬ノ藥品ハ屠獸及ビ乳牛ニハ内外トモニ應用スル事ヲ得ズ，是レ其臭氣ヲ肉ト乳汁トニ附與スルノ恐レアレバナリ．尚ホ Terebin 油屬ノ藥品ノ應用中ハ誤テ腎炎ヲ喚起スル事ナキヤ否ヤヲ顧慮シ，絕エズ尿中ノ蛋白ノ有無ヲ檢査スベシ．

性狀

1) てれびんちーな Terebinthina.

本邦ニ於ケル赤松及ビ黑松ニ多ク之レヲ含有スルモノニシテ，稠厚類黄色ノ樹脂液ヲナシ，特殊ノ香氣及ビ苦味ヲ有シ．通例結晶性ノ逝滓ヲ混有ス．其成分ハ 70–85 % ノ樹脂，15–30 % ノ Terebin 油ナリ．專ラ軟膏及ビ硬膏ヲ製造スルニ用ユ．

2) てれびん油 Oleum Terebinthinae.

Terebinthina ニ水ヲ加ヘ蒸餾シテ得タル無色或ハ淡黄色稀薄ノ揮發油ニシテ，主トシテ $C_{10}H_{16}$ ノ構成ヲ有スルモノヨリナル．

専ラ外用ニ供スルモノナレドモ，牛ニハ精製 Terebin 油ノ代リニ内用ニ供スル事ヲ得.

3) 精製てれびん油 Oleum Terebinthinae rectificatum.

Terebin 油1分，石灰水6分ヲ混和シタルモノヲ蒸餾シテ，油分ノ $^3/_4$ ヲ蒸餾シ得タル時ニ，餾液中ノ油分ヲ分取シ，乾キタル濾紙ヲ以テ濾過シタルモノナリ. 専ラ内用ニ供ス.

Terebin 油ノ吸入量及ビ内用量

大動物	10.0–100.cc.
中動物	5.0– 15.cc.
小動物	0.5– 2.cc.
人	0.5– 1.cc.

處方例

1) てれびん油 50.cc.
亞麻仁煎 (25.0)300.cc.
混和振盪合劑トナシ，2回ニ分與ス (牛ノ慢性不消化)

2) 精製てれびん油 100.cc.
蓖麻子油 500.cc.
混和，頓服(馬ノ蛔蟲).

3) 精製てれびん油 10.cc.
あらびあごむ 20.0
白糖 20.0
蒸餾水 300.cc.
爲乳劑，腐敗性ノ氣管枝炎ヲ有スル犬ニ毎日3回1食匙宛與フ.

4) てれびん油 100.cc.
樟腦精 300.cc.
混和，塗擦ス (Rheumatis 又ハ疝痛等ノ際ニ於ケル刺戟誘導藥).

4) ころふぉにうむ Colophonium.

Trebinthina ヨリ Terebin 油ヲ採リタル殘餘ノ樹脂質ニシテ，膏藥ノ賦形藥トナス. Colophonium ハ往時獸醫ガ止血藥トシテ，出血アル創面ニ用ユル撒布劑ニ配合シタルモノナリ.

5) てれびん軟膏 Unguentum Terebinthinae.

獨逸藥局方ニ據レバ Terebinthina, Terebin 油，黄蠟，各等分ヨリ成レルトコロノモノニシテ主トシテ釀膿軟膏トナス.

6) ばぢり軟膏又基礎軟膏又王軟膏 Unguentum basilicum od. Königssalbe.

日本藥局方ニ依レバ落花生油9分，黄蠟，Colophonium, 無水 Lanolin, 各3分，Terebinthina 2分ヨリ製ス. 前者ト同一ノ目的ニ用ユレドモ刺戟性弱シ.

附 1) 抱水てるびん又含水てるびん又 水化てるびん Terpinum hydratum $C_{10}H_{16}+3H_2O$

Terebin 油ニ水ヲ加ヘ久シク放置スル時ハ之ヲ生ズ. 人工的ニハ精製 Terebin 油4分，酒精，硝酸各1分ヲ以テ製造ス. 無色無臭ノ稜柱狀結晶ニシテ，芳香性ノ苦味ヲ有シ，沸湯及ビ酒精ニ溶解スルモ冷水ニハ溶ケ難ク，隨テ内用ノ際ニ刺戟性少キガ故ニ，人ニ於テハ祛痰劑トシテ特ニ小兒ニ向テ賞用ス. 大人ノ1回量0.2–0.5トス.

附 2) さびな油 Oleum Sabinae.

松樅科植物 Juniperus Sabina ヨリ採集シタル揮發油ニシテ，其刺戟性ハ Terebin 油ヨリモ烈シク，之ヲ内用スレバ激烈ナル胃腸炎，ソレヨリシテ骨盤腔ノ充血ヲ喚起シ，妊婦ニアリテハ墮胎スルヲ以テ，歐洲ニ於テハ墮胎藥トシテ密用スルノ惡弊アレドモ，屢〻危險ナル腎臟炎其他ノ中毒徵候ヲ發スルニヨリテ，決シテ此目的ニ使用シ得ザルナリ.

乙 かんたりぢん屬 Gruppe des Cantharidins.

Cantharidin ハ常溫度ニ於テ揮發セザレバ，Terebin 油屬ノ藥品ノ如ク揮發性ヲ以テ，皮膚及ビ粘膜ヲ透シ組織內ニ竄入シ異物トシテ刺戟作用ヲ呈スル事ナシ．然レドモ本屬藥品ハ脂肪油ニ可溶性ナルヲ以テ，脂肪，Aether, 酒精，等ニ溶解シ，以テ皮脂ニ溶解シツヽ，皮膚ノ組織內ニ浸潤シ得可キ劑形ニ變ジテ用ユルトキハ，組織ニ達シ血管內皮細胞ニ對シテ特殊ノ刺戟作用(化學的)ヲ呈シテ發炎セシム．

Cantharidin ハ我邦ノ豆斑猫(マメハシメウ) (Epicauta Gorhami) 及ビ歐洲ノ芫菁 (Lytta vesicatoria) 中ニ含有セラルヽ無水酸ニシテ，其 Alkali ト化合シタルモノモ同一ノ刺戟作用アリ．

本屬藥品ノ刺戟作用ハ Terebin 油ニ比スレバ遙カニ烈シト雖ドモ，揮發性ナラザルヲ以テ，Terebin 油ノ如ク皮膚面ヨリ組織ノ深部ニマデ達スル事無シ，故ニ之レガ爲メニ生ジタル炎症ハタトヒ水泡ヲ見ルニ至ルモ速カニ快復セシムル事ヲ得．

Cantharis ヲ內用セシムル時ハ胃腸粘膜ヲ刺戟シテ發炎セシメ，ソレヨリシテ比較的容易ニ血液中ニ吸收セラレ，主トシテ尿路ニヨリテ排泄セラルヽニヨリ，爰ニ至リテ濃縮セラレ，ソレガ爲ニ急性絲毬腎臟炎ヲ發シ易ク，且ツ膀胱及ビ尿道ノ粘膜モ亦刺戟ヲ被リテ發炎スル事アリ．皮膚面ニ大量ヲ塗擦スル時ハ，ソレヨリ吸收セラレテ同一ノ中毒徵候ヲ呈スルコトアリ．

往時此刺戟ノ爲メニ陰莖ノ勃起ヲ來ス事アルヨリ，誤リ認メテ催淫作用アルモノトシ，人ニ於テ陰萎，等ニ應用シタル事アリシ，尿路ノ外ニ尙ホ一部分ハ胃ヨリモ排泄セラルヽヲ以テ，胃ハ內用ノ際ト排泄ノ時ト共ニ其刺戟ヲ受ケ劇シキ炎症ヲ發シ，嘔吐，

加之ナラズ吐血スル事アリ．

大量ニ內用シタル かんたりす ガ吸收サルヽ時ハ 中心神經系ニ向テ初メ刺戟症狀ヲ顯ハシ頭痛，眩暈，呼吸困難及ビ痙攣等ヲ生ズレドモ，後ニハ麻痺症狀ニ移行シ，昏睡，麻痺，呼吸靜止，等ヲ來スニ至ル．

終リニ尙ホ Cantharis ヲ皮膚ノ輕キ刺戟劑トシテ用ユル時ハ，皮膚ニ於ケル血液ノ循環ヲ佳良ナラシメ毛根ノ榮養ヲ盛ニシ以テ毛髮ノ發育ヲ催進スル事アリ．賣藥ノ毛髮發生催進藥ハ概シテ Cantharis 製劑ナリ，但シ Cantharis ハ皮膚面ヨリモ吸收セラルヽヲ以テ，外用ト雖ドモ大量ヲ用ユベカラズ．

此他ニ Cantharis ト作用ヲ等クシ，本屬中ニ編入セラルベキモノハ；1) Euphorbia resinifera ノ樹脂中ニ含有セラルヽ無水酸ナル おるふおるびん Euphorbin, 2)番椒(たうがらし Fructus Capsici) ノ成分 かぷさいちん(Capsaicin), おにしばりノ一種 Daphne Mezereum ノ成分めつぜれいん (Mezerein), 4) いちげ及ビ毛莨ノ類 (Anemone u. Ranunculus) ノ成分あねものーる (Anemonol), 5) 漆 (うるし Rhus vernicifera) ノ成分うるしおーる(Urshiol), 6)檳如樹(かじょじゅ Anacarpium occidentale) ノ成分かるどーる (Cardol), 7) 巴豆油ノ くろとのーる酸(Crotonalsäure) 8) 蓖麻子油ノ りちのーる酸(Ricinolsäure), 等ナリ．

性狀及ビ應用

1) かんたりす又豆斑猫又葛上亭長 Cantharides od. Cantharis.

Cantharis ハ六脚蟲類甲翅族ニ屬スル昆蟲 Epicautha Gorhami ナリ．

長サ 15–18 mm 廣サ 4–5 mm, 頭ハ略ゝ心臟形ニシテ三角形ヲナシ，其後部ハ赤褐色ナリ，甲翼ハ黑色ニシテ邊緣及ビ中央ニ於テ類黃色ノ毛ヨリ成レル線條アリ，腹部ハ黑色ニシテ光澤ヲ有シ，其後部ニモ類黃色ノ毛ヨリ成レル 4–5 條ノ輪帶ヲ有ス．我邦ニテ豆斑猫ト稱スルハ此蟲ガ好ンデ豆葉ヲ喰フニ基キ，漢名ノ葛上亭長ハ此蟲ガ葛葉上ニ棲息シ，赤頭黑翼ヲ有スルノ狀恰モ往時ノ亭長卽チ驛長ガ赤幘玄衣ヲ著ケタ

第　30　圖

かんたりす(豆斑猫)(日本産)　　芫菁(歐洲産)

ルニ似タレバナリト云フ. 其有效成分ハ大約2%ノ　かんたりぢん (Cantharidin $C_{10}H_{12}O_4$) トス. Cantharidin ハ無色ノ稜柱狀結晶若クハ葉狀結晶ヲナシ, 水ニハ溶解セザレドモ酒精及ビ Aether ニハ少ク, Chloroform 及ビ脂肪油ニハ隨意ニ溶解ス. 歐洲ノ芫菁(Lytta vesicatoria) ハ Cantharidin ノ含量少クシテ大約0.4%ナリ.

皮膚刺戟藥トシテ其軟膏ノ應用ハ極メテ汎ク, Rheumatis 及ビ神經痛ノ疼痛ヲ緩解スルタメニ用キ, 特ニ馬ト牛トニ於テ腱, 腱鞘, 關節, 筋肉, 蜂窩織, 淋巴腺, 等ノ慢性炎ニ向テ試用セラル, 其他病性不詳ノ慢性跛行竝ニ慢性腫瘍ニハ屢〻應用セラレ, 且ツ刺創ノ如キ深部ニマデ達シタル創傷ニハ一旦丁寧ニ洗滌消毒シタル後ニ, 其軟膏ヲ塗布シテ血行ヲ催進シ榮養ヲ盛ナラシメ, 以テ創孔ノ閉塞ヲ迅速ナラシムル事アリ, 往時我邦ノ軍隊ニ於ケル臀部刺創ノ療法ハ多ク此方法ニ據リタリ. 又同一ノ理由ニ據リ毛根ノ榮養ヲ促シ, 毛髮ノ發育ヲ希望スル事アリ. Cantharis ノ軟膏ハ疥癬療法ニ用ユル事アリ, 特ニ Acarus 癬ニ向テ之ト硫肝浴トヲ交互ニ用ユレバ時トシテハ良效アリ.

Cantharis ノ內用ハ絕對的ニ必要ノモノナラズ, 故ニ其內用量ヲ揭ゲズ Fröhner 氏ハ歐洲ノ芫菁ノ致死量ヲ左ノ如ク示セリ.

牛, 馬	25.0–30.0	犬	0.5– 2.0
羊	5.0		

若シモ此死量ヲ確實ナルモノトセバ, 我邦ノ Cantharis ナラバ其 1/5 量ヲ以テ死ス可キナリ.

2) かんたりす丁幾 Tinctura Cantharidum.

Cantharis 粗末 1 分. 酒精 10 分ヨリ製シタル黃褐色透明ノ液體ニシテ, 人ニ於テハ之ヲ更ニ 5–50 倍ノ酒精ニテ稀釋シ, 毛髮ノ發育ヲ促ス目的ニテ禿髮症ニ應用シ; 獸醫ニ於テハ角裂, 蹄軟骨瘻, 等ノ手術後ニ蹄角發生ヲ催進スル爲メニ其純ナルモノヲ蹄冠部ニ塗布スル事アリ.

3) 蕃椒丁幾 Tinctura Capsici.

蕃椒(たうがらし) 1 分, 酒精 10 ヲ以テ製シタル帶赤黃色ノ液ニシテ味灼クガ如ク辛烈ナリ.

Cantharis 丁幾ノ如ク刺戟誘導藥トシテ外用スルコトアリ. 廉價ナルヲ以テ獸醫用トシテハ適當ノモノト認ム. 民間ニテハ生花ノ水揭ゲノ爲ニ使用シ, 又ハ 100 倍ノ水ヲ加ヘテ含嗽料トナスコトアリ. 誘導藥トシテ外用スルナラバ, 動物ノ大小ニ隨ヒ 2–20 倍ノ酒精ヲ加ヘテ稀釋スベシ.

4) 强發泡膏 Unguentum vesicans fortius.

Cantharis 中末 10 分, おれーふ油 90 分ヲ取リ混和シ, 重湯煎上ニ於テ 20 時間溫浸シ, 之ニ黃臘 70 分, Terebinthina 30 分ヲ熔和シ冷却スルニ至ルマデ攪拌シテ製ス.

5% ノ Cantharis ヲ含有セルモノニシテ, 獸醫術上ニハ專ラ本劑ヲ用ユ.

5) 弱發泡膏 Unguentum vesicans mitius.

Cantharis 中末 5 分, おれーふ油 70 分ヲ取リ混和シ重湯煎上ニ於テ 12 時間溫浸シ, 之ニ豫メ熔融セル黃臘 125 分ヲ混和シ冷却スルマデ攪拌シテ製ス.

2.5% ノ Cantharis ヲ含有セルモノニシテ, 人醫ニハ多ク之ヲ用ユ.

其他引赤紙(Charta rubefaciens)及ビ發泡ころぢうむ (Collodium epispasticum) 等アレドモ獸醫ニ要アラズ. 次ニハ尙ホ Cantharis ニ似タル作用ヲ有スル 2 種ノ藥品ヲ附記ス可シ.

6) くりさろびん又精製ごあ末 Chrysarobinum.

南米 Brazil 國ニ產スル蝴蝶形科ノ植物 (Andira Araroba *Aguiar*) ノ樹幹ノ空

鞘中ニ分泌セラレテ蓄積セル粉末所謂ごあ粉(Goapulver)ヲ精製シタルモノナリ.

黄色結晶性無臭無味ノ輕キ粉末ヲナシ, 水ニハ殆ド溶解セザレドモ酒精ニハ微ニ, 沸騰 Benzol ニハ容易ニ溶解ス. Chrysarobin ハ還元作用ヲ有スル藥品ナリ.

脂肪若クハ脂肪油ニ配合シテ皮膚面ニ用キルトキハ, 組織中ニ竄入シテ劇シク刺戟シ發炎セシムルノミナラズ, ソレヨリシテ吸收セラレ尿路ヲ經テ排泄セラルヽ際腎臟炎ヲ起ス事アリ. 且ツ應用ノ際誤テ之レヲ角膜, 結膜, 等ニ觸ルレバ烈シキ刺戟作用ヲ呈スルニヨリ注意ス可シ. 一旦血液中ニ吸收セラレタル Chrysarobin ハ酸化セラレテ くりそふぁん酸 (Chrysophansäure) トナリ(植物性下劑ヲ參照ス可シ)

$$\underset{\text{Chrysarobin}}{C_{30}H_{26}O_7}+4O=2\underset{\text{Chrysophan}}{C_{15}H_{10}O_4}+3H_2O$$

尿中ニ排泄セラルヽニヨリ. 此尿ヲ Alkali 性トナス時ハ赤色ヲ呈ス.

5-20% 軟膏ヲ人ノ鱗屑疹, 匐行疹, 白癬, 等ニ應用スレドモ家畜ニハ餘リ用キラレズ. 之レニ反シテ人ノ頑癬ニハ殆ド特效藥トシテ賞用セラレ, 且ツ人ノ匐行疹, 糠枇疹, 鱗屑疹ニモ甚ダ汎ク應用セラル. Chrysarobin ハ頑癬ノ聖藥ナリ, 多クハ軟膏トシテ處方セラル, 軟膏ノ代リニ ぐったぺるか液(Liquor Guttaperchae)ニ混和シタルモノモ亦汎ク用キラル.

處方例

ぐりさろびん　5.0
わぜりん　50.0
爲軟膏(人ノ頑癬).

鐵刀木(たがやさん)ハ植物ノ本性明瞭ナラザレドモ, 三好理學博士ノ說ニ從ヘバ かっしあ しあめあ (Cassia siamea) ナリト云フ. たがやさん ノ木質ノ鞘裂中ニ黄色若クハ褐色ノ粉末アリ. 岩川醫學博士ノ研究ニ徵スレバ此粉末ノ大部分ハ くりそふぁんひどらんとろん (Chrysophanhydranthron) ナリト云フヲ以テ, 化學上ニテハ Chrysarobin ト同種類ニシテ, 採集容易ナラバ Chrysarobin ニ代用シ得ラルヽモノナリ.

7) するふぉいひちおーる酸あむもにうむ又いひちおーる Ammonium sulfoichthyolicum od. Ichthyolum.

最初ニハ墺國 Tyrol 州ニ發見セラレタル魚類及ビ海獸ノ化石ヲ乾餾シテ得タル揮發性ノ油液, 所謂粗製 Ichthyol ヲ精製シタルモノナリシガ, 現今ニアリテハ本邦ニ於テモ亦多ク產出ス. Ichthyol ハ帶赤褐色舍利別樣ノ液ヲナシ, 焦性ノ臭味ヲ有シ水ニハ澄明ニ混和シ酒精及ビ Aether ニハ溶解シ難ケレドモ酒精, Aether 各等量ノ混液ニハ殆ド全ク溶解ス.

本品ハ還元作用ヲ有スル藥品ニシテ, 應用シタル皮膚若クハ粘膜ノ局所ヲ緩和ニ刺戟シ, 其結果トシテ血管ヲ收縮シ, 分泌ヲ制減シ, 吸收ヲ促シ, 角質ノ新成ヲ進メ, 且ツ鎭痛, 止痒ノ效力ト制腐作用トヲ有ス.

一時ハ之レヲ慢性濕疹, 特ニ寄生性ノ慢性濕疹, 慢性關節炎, 挫傷, 瘭疽, 乳房炎及ビ犬ノ Sarcoptes 癬ニ至ルマデアラユル皮膚及ビ皮下織ノ疾病ニ向テ盛ニ試用セラレタルモ近頃其等ノ處方ヲ減ゼリ. 左レド人ノ丹毒ニ向テハ尙ホ盛ニ應用セラル, 實際ニ Ichthyol ノ 3-4 %水溶液ハ丹毒菌ノ發育ヲ制止スル作用アルヲ以テ, ソヲ軟膏トシテ應用スルハ極テ妙ナリト云フベシ. 又人ノ種々ナル子宮疾患ニ向テ消炎鎭痛ノ目的ニテ子宮又ハ腟內ニ 10 % ノ Glycerin 溶液或ハ 10 % ノ坐藥トシテ汎ク用ユ. 之ヲ要スルニ Ichthyol ハ人ノ皮膚病科及ビ婦人科ニ於テ鎭痛, 止痒, 防腐ノ作用ヲ兼有スル緩和ナル藥品トシテ必要缺ク可カラザルモノタリ. 其他時トシテハ犬ニ於テ胃腸ノ異常醱酵ヲ制止スル時, 若クハ犬瘟熱ニ向テ試用シ. 稀ニハ馬ノ血斑熱ニ與フ (Fröhner 氏ハ馬ニ向テ日量 50 g ヲ處方セリ). 又人ニ於テハ肺結核, 痛風, Rheumatis, 等ニ內用セシムル事アレドモ固ヨリ著效アルニアラズ.

處方例

1) いひちおーる　10.0
　酒精
　えーてる　各 30.cc.
　蒸餾水
　混和, 爲疥癬擦劑.

2) いひちおーる　4.0
　蒸餾水　100.cc.
　混和, 每日 3 食匙宛與フ(犬瘟熱).
3) いひちおーる　5.0
　豚脂　50.0
　爲軟膏(牛ノ乳房炎).

近來 Ichthyol ノ製劑竝ニ其代用品ノ世ニ現ハレタルモノ甚多シ. 今次ニ其主要ナルモノヲ揭ゲ.

(イ) いひたるびん Ichthalbin ハ Ichthyol ト蛋白質トノ化合體ニシテ, 無味無臭ノ粉末ヲナシ, 內用スレバ腸ニ至リテ始テ分解シ Ichthyol ノ作用ヲ呈ス. 人ノ慢

性腸かたーる ニ於テ 0.5–3.0 宛 1 日 3 回内用ス.

(ロ) いひとふぉるむ Ichthoform ハ Ichthyol ト Formaldehyd トノ化合體ナリ. Ichthalbin ト同一ノ目的ニ向テ同量ヲ用ユ.

(ハ) いひたるがん Ichthargan ハ Ichthyol ト銀 トノ化合物ニテ, 0.02–0.2 %溶液ヲ人ノ淋病ニ用ユ.

(ニ) ちおーる Thiol ハ液狀ノモノト, 粉末ノモノト 2 種類アリ; 何レモ Ichthyol ニ代用ス.

(ホ) ちげのーる Thigenol モ亦人工製ノ Ichthyol ニシテ, 良好ノ代用品タリ. 又 Kreosot ノ代用品トシテ内用セシメ腸ヲ消毒スルニ適スト云フ.

(ヘ) つめのーる Tumenol ハ良好ナル Ichthyol 代用品ニシテ, 其鎭痒作用卓越ナルニ依リ, 近來瘙痒性ノ皮膚病ニ向テ其 2–5 %水溶液又ハ其 5–10 %ヲ加ヘタル亞鉛華澱粉 Pasta 等ヲ賞用ス.

(ト) なふたらん Naftalan モ亦 Tumenol ノ如ク顯著ナル鎭痒作用ヲ有スル Ichthyol 代用藥品ナリ. 其用途ハ概シテ Tumenol ニ等シクシテ, 加フルニ本劑ハ消毒作用ヲモ有スルモノナレバ, 用途一層汎ク木たーる ニモ代用スル事ヲ得ベシ.

丙 芥子油屬 Gruppe des Senföls.

芥子中ニハ みろん酸かりうむ (Myronsäure Kalium $C_{10}H_{16}KNS_2O_9$) ト みろしん (Myrosin.) ト名クル醱酵素アリ. 今芥子ニ水ヲ加フル時ハ Myrosin ノ作用ニヨリテ みろん酸かりうむ ヲ分解シ, 以テ芥子油, 葡萄糖及ビ酸性硫酸かりうむ ヲ生ズ.

$$C_{10}H_{16}KNS_2O_9 + H_2O = C_3H_5NCS + C_6H_{12}O_6 + KHSO_4$$
みろん酸かりうむ　芥子油　葡萄糖　酸性硫酸かりうむ

芥子油ハ一面ニ於テハ脂肪油ニ可溶性ニシテ, 且ツ殊ニ揮發性ナルヲ以テ, 容易ニ皮膚若クハ粘膜ヲ透シテ組織中ニ竄入シ, 異物トシテノ刺戟作用(理學的)ヲ致スノミナラズ, 他面ニ於テハ尙ホ觸接セル知覺神經ノ末梢ニ對シ一種特異ノ刺戟作用(化學的)ヲ呈シ, 且ツ血管内皮細胞ヲ傷害ス. 斯ノ如ク芥子油ヲ用ユレバ Terebin 油ニ似タル異物的刺戟作用ト, Cantharidin ニ似タル特殊ノ刺戟作用トガ共同シテ致ス所ノ刺戟ニ據リ, 觸接シタル局

所ヲ發炎セシメテ水泡ヲ生ジ, 更ニ進メバ化膿ヲ來スニ至ラシム, 此作用ハ皮膚ノ深部ニマデ到達スルヲ以テ, 其炎症ハ容易ニ治癒セズ. 從テ水泡, 化膿, 等ヲ來シタル場合ニハ著シキ瘢痕ヲ留ム可キナリ. 以上ノ理由ニ據リ引赤劑トシテ短時間皮膚面ニ作用セシムルニ適スレドモ, 發泡劑トナスニハニ Cantharis ニ及バザル事遠シ.

性狀及ビ應用

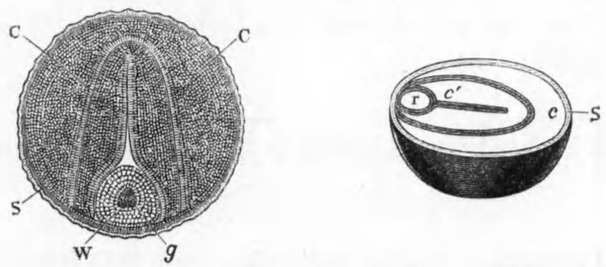
1) 芥子 Semen Sinapis.

本邦ノ各地ニ栽培スル十字科植物芥子菜 (からしな Sinapis cernua *Thumb*) ノ種子ナリ.

殆ンド球圓形ヲナシ, 太サ 1.5 mm ニ至リ帶褐黃色ヲ呈シ Lupe ヲ以テ檢スレバ子皮上ニ極メテ細小ノ凹窩ヲ現ハス. 芥子ヲ搗碎シ水ヲ混ジ, 大約 1 日間放置スルノ後, 更ニ水ヲ加ヘテ蒸餾スレバ, 大約 1 %ノ芥子油ヲ得ルモノトス.

芥子ヲ細末トナシタルモノヲ稀ニハ健胃劑及ビ利尿劑トシテ內用セシムル事アレドモ, 多ク用キラルルハ胸腔, 腹腔, 等ノ內部ニ著キ疼痛若クハ炎症アル時ニ刺戟誘導藥トシテ外用スルニアリ. 其用法ハ芥子末ヲ微溫湯若クハ水ニテ捏拌シ, 以テ糊泥ノ稠度トナシタルモノ, 所謂芥子泥ヲ直チニ患部ニ相當スル皮膚面

第 31 圖
芥子ヲ擴大セル圖



s 子殼　c 及ビ c' 子葉　w 及ビ r 小根　g 小根中ノ管束

上ニ 1 cmノ厚サニ塗抹スルカ，又ハ芥子泥ヲ一旦麻布上ニ 2 cmノ厚サニ塗布シタル後ニ貼用スルニアリ．何レノ方法ニ據ルモ 1–2 時間ニシテ適度ノ刺戟ヲ呈スレバ取去リ洗滌スルモノトス．

人ニ於ケル芥子泥ノ用法ハ半紙又ハ綿紗ノ上ニ厚ク塗抹シテ 10–20 分時間貼用ス．

人ニ於テハ芥子浴ヲ應用シテ身體ノ廣キ部分ヲ刺戟シ，以テ中心神經系ヲ興奮セシムル事多シ．全身浴ナラバ水 1–1.5 石ノ中ニ芥子末 100–200 g ヲ加ヘ，脚浴(腰湯)ナラバ水 5 斗ニ芥子末 50–100 g ヲ加ヘ 5–10 分時間入浴セシム．

內　用　量

大動物	10.0–50.0
中動物	2.0–10.0
小動物	0.1– 2.0

處方例

芥子末　50.0
あにーす實末　25.0
食鹽　250.0
爲散藥，每飼中ニ 2 食匙宛加フ(馬ノ慢性胃 Catarrh)．

2) 揮發芥子油又芥子油 Oleum Sinapis aethereum.

澄明無色或ハ類黃色稀薄ノ液ニシテ，極メテ强烈ナル刺戟性ノ香氣ヲ有シ，酒精及ビ二硫化炭素ニハ隨意ノ比例ニ於テ混和ス．

芥子ノ如ク刺戟誘導藥トシテ應用スレドモ，甚ダ高價ナルヲ以テ小動物ニノミ用キ，大動物ニハ咽頭，喉頭ノ如キ小ナル局部ノ皮膚面ニ用ユルノミナリ．而シテ是等ノ場合ニハ次ノ比例ニ於テ稀釋シテ塗布ス．

牛	10–20%
馬	5– 8%
犬	2– 5%

處方例

芥子油　10.cc.
酒精　150.cc.
混和，每日 1 回塗布ス(馬ノ慢性喉頭 Catarrh)．

此他芥子精(Spiritus Sinapis)，芥子紙(Charta sinapisata)等ノ製劑アレドモ必要ノモノニアラス．胡椒(Piper nigrum)及ビ蕃椒(たうがらし Fructus Capsici)モ亦芥子ノ代リニ內用セラルヽ事アリ．

第 10.　植物性下劑 Vegetabilische Abführmittel.

下劑 (Abführmittel. od. Cathartica) ニハ鹽類下劑 (Salinische Abführmittel) ト植物性下劑トノ 2 種類アリテ，爰ニハ其後者卽チ

植物生藥ニ基クトコロノ下劑，所謂，植物性下劑ヲ論ズ．之レヲ內用セシムル時ハ腸ヲ刺戟シテ蠕動ヲ興奮シ，其內容物ヲ速ニ排除セシム．而シテ其作用ノ程度ニ據リテ，3 種ノ名稱ヲ用ユル事アリ．

1) 軟下劑 (Aperitiva) トハ糞便ノ稠度ヲ變化セズシテ，排泄ノ度數ヲ增加スルモノ．

2) 緩下劑 (Laxantia) トハ糞便ノ稠度ヲ粥狀 (Breiige) トナシ，度々排泄セシムルモノ．

3) 峻下劑 (Drastica) トハ糞便ノ稠度ヲ液狀トナシ，排便セシムルト同時ニ多少ノ疝痛，腹鳴，裏急後重 (Tenesmus)，等ヲ伴ハシムルモノナリ．

然レドモ何レノ植物性下劑モ用量ノ多少ニヨリテ作用ヲ强弱シ，同一ノ藥品ニテ軟下劑トモナリ，緩下劑トモナリ，將タ又峻下劑トモナリ得レバ，以上 3 種ノ區別ハ餘リ明瞭ニ立テ難シ．

腸特ニ大腸ノ蠕動ハ平常ノ場合ナラバ頗ル緩慢ナル可キニ，植物性下劑ヲ用ユル時ハ此蠕動迅速トナリ，從テ其內容物ガ體外ニ排除セラルヽ事モ迅速トナリ，ソレガ爲メニ內容物中ノ水分ガ吸收セラルヽ暇無クシテ，糞便ハ多少柔軟ナル稠度ニテ外ニ出ヅ．而シテ此蠕動興奮ハ植物性下劑中ノ成分ニ依テ腸粘膜ガ刺戟セラルヽニ由ル．故ニ植物性下劑ナラザル他ノ刺戟性藥品ヲバ膠樣物ニ配合シテ吸收サレ難キ劑形トナシ，內用セシムレバ同ジク下痢ヲ生ズ可キナリ．

今次ニ植物性下劑ヲ應用ス可キ場合ト禁忌ス可キ場合トニ於ケル注意ヲ略說スベシ．

1) 植物性下劑ハ腸ノ蠕動ガ緩慢ナル爲メニ生ズルトコロノ便祕ニ用ユレドモ，同一ノ藥品ヲ久シク用ユレバ習慣シテ漸ク效力ヲ減ズルニヨリ，種々ノ藥品ヲ交換シテ用ユ可シ；2) 腸ニテ異

常醱酵ヲ起ス時ニハ其内容物ヲ速ニ排除スル目的ニテ用キ; 3) 腦若クハ脊髓ニ炎症アルトキ腸ヲ刺戟シテ腸ニ充血セシメ，以テ誘導療法ヲ施ス事アリ; 4) 植物性下劑ヲ與ヘ以テ食物ト共ニ入リタル水分ヲ吸收セラルヽニ暇無ク排泄セシムル時ハ，間接ニ身體ノ組織ノ水分ヲモ減少セシムルニヨリ，水腫ノ場合ニモ應用スル事ヲ得; 5) 植物性下劑中ニテ刺戟作用强キモノハ，腸ノ外ニ尙ホ骨盤腔ニモ强ク充血セシムルニヨリ，人ニ於テハ催經劑 (Emenagogum) トナス; 6) 人ニ於テ植物性下劑ヲ用ユルハ習慣性ノ便祕ト，有害物ヲ食シタル後ニソレヲ排除セシメンガ爲ニスルコト最多シ，動物ニ於テハ過食ノ爲ニ疝痛ヲ生ジタル時ト，或原因ニテ一時性ノ便祕ヲ來シタル時トニ多ク用キラル.

1) 植物性下劑ノ效ヲ奏スルハ腸粘膜ノ刺戟作用ニ基クヲ以テ，腸竝ニ腹膜ニ炎症アル時ハ多クハ用キズ; 2) 妊娠セルモノハ骨盤腔ノ充血ノ爲メニ流產スル事アリテ頗ル注意ヲ要シ; 3) 腸ニ充血セシムル爲メニ腦ノ貧血ヲ催起スル事モアレバ，生來貧血性ノモノニハ用キ難ク; 4) 水分ノ吸收ヲ妨グルノミナラズ，榮養品ノ吸收ヲモ妨グルニヨリ衰弱セル動物ニハ大ニ斟酌ヲ要シ; 5) 熱性病アルモノニ藥品ノ種類ノ選定ガ不良ナル時ハ腸ノ刺戟ノ爲メニ却テ體溫昇騰ヲ見ル.

往時ハ植物性下劑ヲ用キタル爲メニ軟便ヲ排泄スルハ，其刺戟ノ爲メニ腸液ノ分泌增加ト血液中ノ液分ノ滲漏增加トニ歸シタレドモ，糞便ノ化學的檢査ニ據レバ是等ノ成分ハ極メテ微量ニ混入セルヲ認ムルノミニテ，迚モ糞便軟化ニ關係無キ事ヲ證明シタレバ，此軟化作用ハ全ク食物ト共ニ入リ來リタル水分ガ吸收セラレザルニ基クモノト看做サヾルヲ得ズ.

蓖麻子油及ビ巴豆油ノ成分ハ腸ニ到著シタル後ニ，腸液特ニ膵液ノ爲メニ分解セラレテ始メテ刺戟作用ヲ生ジ，やらっぱ脂ノ成分モ亦腸ニ到リ膽汁ニ溶解シ始メテ刺戟作用ヲ生ズル等ノ如ク，凡テ植物性下劑ノ多クハ食道及ビ胃中ニ於テ刺戟作用無キモノトス.

人ノ月經時ニ於テ峻下劑ヲ用ユルトキハ月經過多ヲ來シ，妊婦ニ之ヲ用ユレバ流產スルコトアリ.

植物性下劑ハ巴豆油及ビ蓖麻子油屬，やらぴん及ビ えらてりん屬，くりそふぁん酸及ビ かたるちん酸屬ノ3種ニ區別ス.

甲 巴豆油及ビ蓖麻子油屬 Gruppe des Crotonöls und Ricinusöls.

巴豆油ハ くろとのーる酸 (Crotonolsäure) ノ Glycerin 化合體ニシテ，蓖麻子油ハ りちのーる酸 (Ricinolsäure) ノ Glycerin 化合體ナリ. 此2種ノモノハ少シモ刺戟性無キモ，腸ニ至リ膵液ニ遇フトキハ分解シテ Crotonol 酸トナリ，Ricinol 酸トナリ以テ刺戟性ヲ生ズ. 甲ノ刺戟性ハ極メテ强ク乙ノ刺戟性ハ甚ダ弱シ. 且ツ巴豆油中ニハ幾分カ旣ニ遊離シタル Crotonol 酸ヲ含ムニヨリテ，之レヲ外用スレバ恰モ Cantharibin ニ似タル局所ノ刺戟作用アリ. 其他巴豆及ビ蓖麻子ハ巴豆油及ビ蓖麻子油ノ外ニ，尙ホ有毒性蛋白質ヲ含有スルニヨリ油ノ代リニ藥用ニ供スル事能ハズ. 故ニ過テ代用セザルニ注意ス可キナリ.

巴豆ノ有毒性蛋白質ハ くろちん (Crotin) ト云ヒ，蓖麻子ノ有毒性蛋白質ハりちん(Ricin)ト稱ス.

蓖麻子(たうごま ノ種子)中ニ存在スル有毒蛋白質タル Ricin ト，たうあづき (Abrus praecatorius) ノ種子中ニ含有セラルヽ有毒蛋白質ナル あぶりん(Abrin)トハ，動物體ニ皮下注入若クハ靜脈內注入スレバ，恰モ細菌毒素ノ如ク動物ヲ免疫セシメ，其動物ノ血清中ニハ抗毒素卽チ あんちりちん及ビ あんちあぶりん (Antiricin u. Antiabrin) ヲ生ズ. 此事實ハ極メテ著名ニシテ，植物性ノ蛋白質ニテモ動物體內ニ抗毒素ヲ發生セシメ得ルコトヲ立證シタルモノナリ.

性狀及ビ應用

1) 巴豆油 Oleum Crotonis.

大戟科植物 Croton Tiglium *Linn* ノ種子ヲ壓榨シテ製シタル黃色或ハ帶褐黃色ノ脂肪油ナリ.

特殊ナル不快ノ臭氣ヲ有シ，味ハ初メ緩和ナレドモ後辛辣ニシテ灼クガ如ク酸性ノ反應ヲ徴シ，皮膚ニ塗擦スレバ引赤ス，酒精ニハ溶解シ難ク，Aether ニハ容易ニ溶解ス．

外用ニハ Cantharis ノ代リニ發泡藥トナス事アリ．此效力ハ游離セル Crotonol 酸ヲ含有スルニ基クモノニシテ陳久ノ藥品ハ此游離酸ヲ含有スル事多クシテ作用モ亦強シト雖ドモ，大約30–50倍ノ軟膏トナスヲ例トス．

第 32 圖
巴豆ノ基本植物

種　子　　種子ノ縱斷面　　種子ノ橫斷面

內用シタル巴豆油ガ膵液ノ爲ニ分解セラレテ生ジタル Crotonol 酸ノ刺戟ニ依テ生ズル下痢ハ極メテ峻烈ナルヲ以テ，他藥ノ效無キ時ニ限リテ用ユ可シ．人ハ之レニ對シテ最モ鋭敏ニシテ30分–2時間ニシテ奏效スレドモ，馬ト牛トハ大約18–24時間ノ後ニ效力ヲ顯ハシ，時トシテハ下痢ガ數日間繼續スル事アリ．犬ハ比較的ニ感受性鈍ク，且ツ其內用後屢〻之レヲ吐出シ中毒スル事稀ナリ．

巴豆油ノ刺戟性ハ極メテ大ナルニ由リ，內用ノ際ニハ必ズ大量ノ　おれーふ油，或ハ蓖麻子油，等ヲ以テ稀釋シ，若クハ多量ノ乳糖ニ混ジテ與フ可シ．

用　量

牛	15–30 滴	おらびあごむ	20.0
馬	10–20 滴	白糖	10.0
羊	8–12 滴	蒸餾水	200.cc.
豚	5–10 滴	爲乳劑，頓服(犬ノ頑固ナル便祕)．	
犬	1–5 滴	3) かんたりす末	10.0
猫	1/4–1 滴	巴豆油	1.0
人	1/10–1 滴	豚脂	30.0
處方例		爲强刺戟軟膏(牛馬ニ用ユ)．	
1) 巴豆油	15 滴	4) 巴豆油	4.cc.
蓖麻子油	500.cc.	てれびん油	15.cc.
混和頓服(馬ノ頑固ナル便祕)．		かり石鹸	15.0
2) 巴豆油	3 滴	爲强刺戟擦劑(牛馬ニ用ユ)．	
蓖麻子油	20.cc.		

2) 蓖麻子油又りちね油又かすとる油
Oleum Ricini. od. Oleum Castoris.

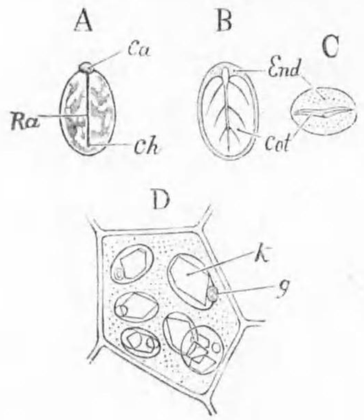
大戟科ノ灌木たうごま Ricinus communis *Linn* ノ子實ヲ壓榨シテ得タル澄明微黃色濃厚ノ脂肪油ナリ．

微ニ特殊ノ臭氣ヲ有シ味ハ初メ緩和ニシテ後稍〻苛辣ナリ，零度ニ於テハ濃稠トナリ或ハ渾濁シ，適カニ低度ニ至レバ乳脂樣ニ凝結ス．純酒精及ビ氷醋酸ニハ隨意ノ比例ニ於テ，酒精ニハ其1–3分ニ溶解ス．脂油ニシテ酒精ニ溶解スルモノハ獨リ蓖麻子油ノミナリ．

蓖麻子油ヲ內服シタル後ニ膵液ノ爲ニ分解セラレテ生ズル所ノ Ricinol 酸ノ刺戟ハ甚ダ弱クシテ，腸ノ蠕動ヲ少シク興奮スルト同時ニ蓖麻子油ノ理學的性質ニヨリ便ノ通路ヲ滑カニシ，以テ其排泄ヲ助ク．如此ク其作用緩和ナルヲ以テ多クノ場合ニ應用セラレ，腸ニ炎症アル時スラ禁忌スル必要ヲ見ズ．特ニ犬ノ下劑トシテハ頗ル妙ナレドモ，犬ハ屢〻之レヲ吐出スルガ故ニ，吐出シタル場合ニハ乳劑トナスカ，又ハ肉羹汁ニ配合シテ與フ可シ．人ニ於テハ水又ハ咖啡煎ニ浮ベテ內服セシム．但シ通例1回ノ

第　33　圖

たうごま



A 蓖麻子ノ自然大(腹面)
ca かるんくら
ch 雹點
Ra 種縫
B 種子ノ縱斷面(子殼ヲ去ル)
C 種子ノ橫斷面(子殼ヲ去ル)
End 胚乳
Cot 子葉
D 胚乳ノ細胞
k くりすたろいど
g ぐろぼいと

頓服ニ止ムルヲ良シトス，若シ反復重用スル時ハ消化ヲ害ス．

用　量

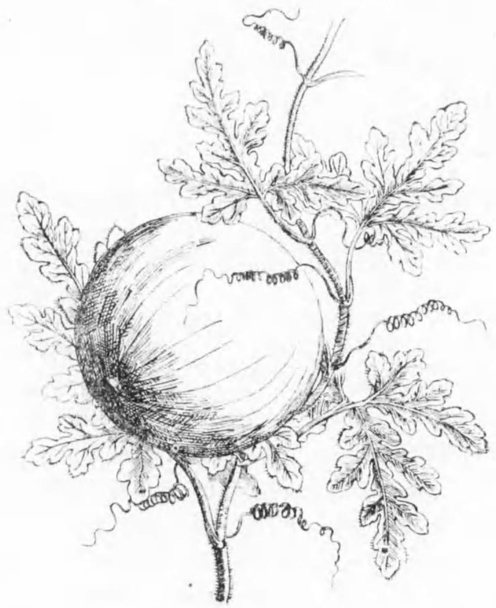
大動物	250-1000.cc.	白糖	10.0
中動物	40- 250.cc.	蒸餾水	300.cc.
小動物	10- 50.cc.	爲乳劑，臭フ(犬ノ下劑)．	
人	20- 30.cc.	2) 蓖麻子油	500.cc.
處方例		えーてる	50.cc.
1) 蓖麻子油	30.cc.	混和，頓服(馬ノ痙攣性疝痛)．	
あらびあごむ	20.0		

乙　こんづおるづりん及びえらてりん屬 Gruppe des Convolvulins und Elaterins.

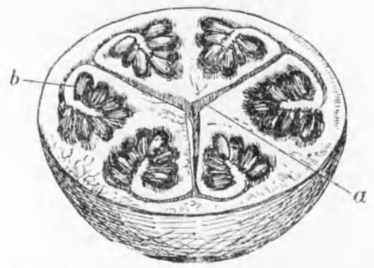
やらっぱ(Jalapa)根中ノ Convolvulin 及ビ英方 Elaterium 中ノ

第　34　圖

ころしんと實



ころしんと實ノ斷面



a 胎盤ノ分裂狀態　　b 種子ノ附著狀態

Elaterin ハ何レモ無水酸ニシテ水ニ溶解セズ．之レヲ内用スレバ膽汁ニ遇フテ始メテ溶解シ以テ刺戟性ヲ生ジ下痢ヲ起ス可キ作用アリ．此作用ハ何レノ藥品ヲ用キタル場合ニモ強クシテ下痢ト共ニ必ズ多少ノ腹痛ヲ伴フ．

ころしんと(Colocynth)實中ノ配糖質タル　ころしんちん Colocynthin 及ビ　ぽどふぃるむ (Podophyllum) 脂中ノ無水酸ナル　ぽどふぃろときしん Podophyllotoxin 及ビ　びくろぽどふぃりん Pikropodophyllin ハ其作用ガ本屬藥品ニ類似シ，何レモ膽汁ニ合シタル後ニ下痢ヲ現ハスト雖ドモ，Colocynthin ハ水ニ溶解スルヲ以テ用量過グレバ容易ニ胃ヲ害シ；Podophyllotoxin ハ皮下注入スルトモ胃腸ヨリ排泄セラレテ下痢ヲ起シ，腎臟ヨリ排泄セラレテ絲毬性腎炎ヲ生ズル作用アルノ點ハ大ニ注意セラル可キ件ナリトス．

性狀及ビ應用

1) やらっぱ根 Radix Jalapae.

旋花科植物 Ipomoea purga *Hayne* ノ球根ニシテ，圓形或ハ稍〻長形ヲナシ，拇指頭大ヨリ拳大ニ至リ，外面ハ暗灰褐色ニシテ皺襞ヲ現ハシ疣狀ノ隆起ヲ有シ，内部ハ灰色或ハ類褐色ノ角質樣或ハ粉末樣組織ヨリ成リ，橫斷スル時ハ同心性ノ輪層ヲ現ハス．臭氣ハ弱ク特殊ニシテ，味ハ始メ淡泊後ニ苛辣ナリ．其有效成分ハ　こんヴぉるヴりん(Convolvulin $C_{31}H_{50}O_{16}$) ト稱スル無水酸ニシテ含量大約 10 %以下ナリ．

牛，馬及ビ羊ハ本劑ノ内用ニ由リ痂痛ヲ發スルモ嘗テ下痢ヲ生ゼザレバ用ユル事ヲ得ズ．故ニ豚，犬，猫，家禽ノミニ限リテ應用スル事ヲ得レドモ是等ニモ寧ロ稀ニ用キラル．Jalapa 根ハ人ニ於テ多ク用キラルヽ下劑ナリ，内用後ニ少ク腹痛ヲ生ズレドモ，服用シ易キ藥品ニシテ，甘汞ト配合スルコト多シ．

用　量

豚	5.0-15.0	猫	0.2- 0.5
犬	0.5- 4.0	家禽及ビ人	0.5- 2.0

第　35　圖

やらっぱ

2) やらっぱ脂 Resina Jalapae,

Jalapa 根ヨリ製出シタル樹脂ニシテ，褐色ノ塊ヲナシ粉碎シ易ク，水及ビ二硫化炭素ニ溶解セザレドモ酒精ニハ容易ニ溶解ス可シ，本品ハ不快苛辣ノ味ヲ有シ，主トシテ Convolvulin ヨリ成ル．

用量ハ根ノ $^1/_{10}$ トス．

3) やらっぱ石鹼 Sapo jalapinus.

Jalapa 脂，藥用石鹼各4分ヲ取リ，之ニ稀酒精8分ヲ注ギテ溶解シ重湯煎上ニ於テ絕エズ攪拌シテ，其重量9分トナルニ至ルマデ蒸發シテ製シタル，黄褐色柔軟ノ塊ニシテ酒精ニ溶解ス．

人ニ於テ蘆薈やらっぱ丸トシテ盛ニ應用セラルレドモ，家畜ニハ嘗テ要アラズ．

英方えらてりうむ又白色えらてりうむ (Elaterium anglicum od. Elaterium album)ハ人畜何レニモ應用セラルル事稀ニシテ，ころしんと實(Fructus Colocynthidis)

竝ニ其製劑タル　ころしんと越幾斯 (Extractum Colocynthidis), ころしんと丁幾 (Tinctura Colocynthidis) 等ハ大動物ニ於ケル實驗ニテハ疝痛ヲ起スマデ用ユルモ排便作用無ク，小動物ニモ其作用餘リ宜シカラズト云フ.

ほどふぃるむ脂 (Resina Podophylli) ノ成分タル　ほどふぃろときしん [Podophyllotoxin $C_{20}H_{15}O_6(OCH_3)_3+2H_2O$] 竝ニ　ぴくろほどふぃりん (Pikropodohyllin $C_{23}H_{34}O_9$) ノ作用ハ今日未ダ明瞭ナラザルトコロアレドモ，甲ハ皮下ニ注射スルトキニモ下痢ヲ生ジ乙ハ然ラズ．而シテ甲ノ作用ハ獸醫ニ於テ大ニ歡迎スルトコロナレドモ局所刺戟ノ徵候餘リ強クシテ汎ク應用セラルヽ事能ハズ．而シテ　ほどふぃるむ (Podophyllum) 脂ヲ內用セシムレバ屢〻恐ルヽ可キ胃腸ノ刺戟徵候ヲ發生ス．以上ノ理由ニテ本劑モ亦，獸醫術上ニハ殆ド要無キモノト認メラル.

ころしんとひよす丸 (Colocynth-Hyos-pille) ナルモノアリ人ニ於テハ腹痛ナク下痢ヲ生ズル長所アリトシ1-3丸宛內用セラル.

丙　くりそふぁん酸及びかたるちん酸屬
Gruppe der Chrysophansäure und Cathartinsäure.

本屬ノ植物性下劑ハ其ノ有效成分トシテ　あんとらつふぁーん Anthracen $C_6H_4\langle^{CH}_{CH}\rangle C_6H_4$ ノ誘導體ヲ含有スルヲ特殊トス，而シテ其中ノ或物ハ配糖質ノ形態トナリテ存ス.

本屬藥品ノ成分中ニハ (甲) 胃腸ヨリ吸收サレ易キモノタトヘバ Chrysophan 酸ト (乙) 吸收サレ難キモノタトヘバ Cathartin 酸トノ2種類アリテ，何レモ腸ヲ刺戟シ蠕動ヲ興奮シ下痢ヲ生ゼシムレドモ，甲ノ作用ハ植物粘液ヲ混ジタル時ニ限リ，始メテ吸收ヲ免レ腸ノ後方マデ達シ得テ，下痢ノ作用ヲ現ハスモノトス．Chrysophan 酸及ビ Cathartin 酸ヲ共ニ含有セルハ　せんな (Senna) 葉及ビ大黃ニシテ，其他ニ籐黃ノ成分ハ甲ニ類似シ，ふらんぐら皮，かすから　さぐらだ (Cascara Sagrada) 流動越幾斯及ビ蘆薈ノ成分ハ乙ニ類似ス.

例之バ　せんな葉及び大黃中ノ　くりそふぁん酸及ビ　かたるちん酸，蘆薈中ニ含有セラルヽ種々ノ　あろいーね (Aloine)，ふらんぐら皮中ノ　ふらんぐりん (Frangulin)，かすから　さぐらだ中ノ主成分 (ふらんぐりんニ酷似ス) 等ナリ．但シ籐黃中ノ　がむぼぎあ酸 (Gambogiasäure) ハ Anthracen 誘導體ニハ非レドモ作用ガ類似セル點ヨリ爰ニ編入スルヲ良シトス.

以上ノ成分ハ何レモ腸ヲ刺戟シテ劇シキ蠕動ヲ起シ，以テ下痢ヲ催ス作用アリ．此中ニテ　かたるちん酸及ビ Frangulin ハ純粹ナルモノニテモ確カニ下痢ヲ起サシムルモ，之ニ反シテ Chrysophan 酸及ビ Gambogia 酸ハ純ナルモノニテハ作用無ク，唯之ヲ含有スル生藥ヲ用ユルカ又ハ其純ナルモノニ粘液質或ハ　ごむ質ヲ配合シ，吸收セラレ難キ劑形トシテ用ユル時ニ下劑ノ作用ヲ生ズルニ據リテ見レバ，是等ノ純粹ナルモノハ胃及ビ腸ノ上部ニテ速カニ吸收セラレ，ソレガ爲メ腸ノ下部ニ蠕動興奮作用ヲ致シ得ザルナリ．蘆薈中ノ　あろいーね (Aloine) ニハ (甲) 溶解性無晶形あろいん Aloin，(乙) 溶解性結晶形あろいん及ビ (丙) 不溶解性結晶形あいろん　ノ3種アリ，其等ノ作用ニ付キテハ明瞭ナラザルトコロアレドモ，何レモ膽汁ニ遇フテ始メテ作用ヲ生ズルモノナルガ，要スルニ不溶解性ノモノハ溶解性トナリ，結晶形ノモノハ無晶形トナリタル時ニ始テ作用ヲ生ズ，サレバ甲ノ作用ハ最強ク，ソレニ次グハ乙ニシテ，丙ノ作用ハ最弱シ.

かたるちん酸及ビ Frangulin ハ何レモ膠樣物質ニシテ，腸ヨリ吸收サレ難ク，之レニ反シテ　くりそふぁん酸及ビ　がむぼぎあ酸ハ吸收サレ易シ．故ニ前ノ2者ハ下劑ノ作用ヲ有シ後ノ2者ハ植物粘液ヲ加ヘテ始テ下劑ノ作用ヲ生ズ.

蘆薈ノ成分ハ膽汁ニ遇フテ作用ヲ發揮スル點ニ於テ Convolvulin 及ビ Elaterin 屬ノ藥品ニ似タリ.

終リニ尙ホ注意ヲ要スルモノアリ，凡テ Chrysophan 酸ヲ含有セル下劑ヲ內用シタル後ニハ尿ニ Alkali ヲ加フル時，赤色ヲ呈シ以テ尿中ニ此酸ノ存在ヲ證明ス．又本屬藥品ノ有效成分，特ニ Aloine ガ血液中ニ吸收セラルヽ時ハ尿路ヲ經テ排泄セラレ，其際ニ腎臟ノ迂曲細尿管ノ上皮細胞ヲ刺戟シテ腎炎ヲ起ス事アレドモ，通例ノ下劑量ニテハ吸收セラルヽコト甚ダ少ク，從テ這般ノ危害ヲ來スニ至ラズシテ，大部分ハ糞便ト共ニ排泄セラル.

性狀及ビ應用

1) せんな葉 Folia Sennae.

Senna 葉ニハ亞弗利加ないる (Nile) 河畔ニ產シ　あれきさんどりあ (Alexandria) 港ヲ經テ歐洲各地ニ輸出セラルヽトコロノ決明科ノ灌木 (Cassia acutifolia *Delil*) ニ基源スルモノト；印度ノ　ちんねヴぇりー (Tinnevelli) 地方ニ栽培セラルヽ決明科ノ灌木 (Cassia

angustifolia *Vahl.*) ニ基源スルモノトノ2種類アリ.

第 36 圖
あれきさんどりあせんな葉

A 花ト葉トヲ有スル枝
B 莢果(殆ド卵圓形ナリ)

甲ハ あれきさんどりあせんな(Alexandriasenna)葉ト名ケ尖卵圓形ヲナシ長サ 1-3 cm 廣サ 6-12 mm; 乙ハ ちんれヴぇりーせんな(Tinnevellisenna)葉ト稱シ, 甲ヨリモ遙カニ長ク長サ 6 cm 廣サ 2 cm ニ至ル.

總テ Senna 葉ハ葉體扁平ニシテ反曲セズ, 剛強ナレドモ薄ク, 帶黃綠色或ハ帶藍綠色ヲ呈シ, 葉柄短ク或ハ之レヲ有セズ, 其部一樣ナラズ, 邊緣平坦ニシテ頂點尖銳ナリ, 上面ハ殆ド毛茸ヲ帶ビズ. 下面ニハ微ニ細毛ヲ被ムリ枝脈弧狀ニ分出ス.

Senna 葉ノ成分ハ Cathartin 酸, Chrysophan 酸, 粘液質, 石灰鹽類, 苦土鹽類, 等ニシテ主トシテ Cathartin 酸及ビ Chrysophan 酸ノ爲メニ作用ヲ顯ハス可シト雖ドモ, 粘液質及ビ鹽類モ

第 37 圖
ちんれヴぇりーせんな葉

A 花ト葉トヲ有スル枝
B 莢果(少ク鎌狀ニ彎曲ス)

亦水分ノ吸收ヲ妨グルニヨリ下劑ノ效ヲ補助スル事著シ.

Senna 葉ハ人ニ於ケル峻下劑ニ屬シ甚ダ汎ク應用セラルヽニモ係ラズ, 動物特ニ大動物ニハ嘗テ良效アルナシ. 故ニ唯小動物ニ使用セラレ得レドモ, コレトテモ他藥ヲ用ユルニ如カザルナリ.

Senna 葉ハ下痢ヲ來シタル後ニ便祕セザルタメ, 人ノ常習便祕ニ多ク用キラレ, 又かたーる性黃疸ノ如ク膽汁ノ分泌ナキ時ニテモ, 下痢ヲ催シ得ルガ故ニ人ニ於テ賞用セラル. 人ニ於テ Senna 葉 2.0-4.0 ヲ浸劑トシテ用ユレバ, 3-4 時間ノ後ニ多少ノ疝痛及ビ腹鳴ヲ伴ヘル所ノ液便ノ排泄アル可シ.

用　量

豚	10.0–25.0
犬	5.0–15.0
猫	2.0– 5.0
家禽及ビ人	1.0– 2.0

處方例

せんな葉末	各 15.0
蜂蜜	

混和頓服(豚ノ下劑).

日本藥局方ニハ尚ホ　せんな舎利別 (Sirupus Sennae), 複方せんな浸 (Infusum Sennae compositum), 複方せんな舐劑 (Electuarium Sennae compositum) 等アレドモ家畜ニハ餘リ要ナケレバ省略セリ.

2) 大黄 Radix Rhei.

支那ノ中央及ビ東北部ニ産スル蓼科植物 Rheum officinale *Baill* ノ根莖ニシテ, 皮部ノ大部分ヲ剝除シ種々ノ形狀ヲナセル截片トシ發賣セラル.

共質堅クシテ重ク破碎面ハ顆粒狀ナリ, 外面ハ類黄色ヲ呈シ多クハ粉塵ヲ帶ビ, 內部ハ白色ニシテ帶褐赤色ノ髓線アリ, 此髓線ハ周邊ニ於テノミ半徑ノ方向ニ正通シ中心ニ於テハ規律ナク交錯ス, 故ニ此部ハ大理石樣ノ紋理ヲ顯ハス.

此他ニ尚ホ歐洲產大黄, 日本產大黄, 等アレドモ何レモ支那產ノモノニ比スレバ劣等ナルヲ免レズ. 是等ニ於テハ髓線が中心ヨリ半徑ノ方向ニ正通シ, 從テ支那產ノモノヽ如クニ中心ニ於テ大理石樣紋理ナキヲ以テ區別スルニ難カラズ.

大黄ノ成分ハ Cathartin 酸, Chrysophan 酸, 樹脂, 苦味質, 鞣酸, 澱粉及ビ蓚酸石灰, 等ナリ. Cathartin 酸及ビ Chrysophan 酸ノ作用ニヨリ下劑トナシ, 苦味質ノ作用ニヨリ健胃劑トナシ, 鞣酸ノ作用ニヨリ却テ又止瀉藥トナス等, 用量, 用法ノ異ナルニ從ヒ種々ノ效力ヲ現ハシ應用ノ範圍甚ダ廣キモノナリ.

大黄ノ大量ハ下劑トシテ作用スレドモ, 其效力ハ軟下劑若クハ緩下劑ニ屬ス可キモノナリ. 且ツ下痢ヲ致シタル後ニ便祕ヲ來ス弊アリ (鞣酸ノ作用). 之レヲ實驗ニ徵スルニ牛ハ用量ニ關セズ下痢スルコト無ク, 馬ハ 300–500 g ヲ用キテ稀ニ下痢シ, 豚ハ 100 g 尙ホ其以上, 犬ハ 5–15 g, 猫ハ 2–5 g ヲ以テ下痢ス. 故ニ豚, 犬, 猫, 等ニノミ下劑ト爲シ得可ク, 之レトテモ多クハ他

第 38 圖

大黄 (支那產)

A 花(穗花ノ下部ニアルモノ)
B 花ノ縱斷面
C 實蘂(三箇ノ柱頭ヲ戴ク)
D 果實(懸垂性ナリ)

ノ下劑ニ配合シテ用ユルヲ良シトス. 大黄ノ爲ニ生ズル下痢ハ緩和ナルヲ以テ, 人ニ於テハ妊婦及ビ腸炎患者ニ應用セラルヽト雖モ, 常習便祕ニハ禁忌セラル.

大黄ノ中等量(或ハ少量)ハ止瀉藥トシテ犢, 仔羊, 駒及ビ狗等ノ哺乳兒下痢ニ向テ應用スル事多シ. 此效力ハ大黄ニ含有セラルヽ鞣酸ノ作用ニシテ下劑ノ應用ヨリ迥カニ多ク認メラル.

大黄ノ少量ハ健胃劑トシテ凡テノ家畜ノ消化不良アル時ニ用ユ. 此應用ハ苦味質ヲ含有スルガ爲ニシテ最モ貴重ナルモノト

看做サレ，特ニ習慣ニヨリ犬ニハ此用途極メテ多シ.

下劑ノ用量(大量)

中動物	50.0–100.0
小動物	5.0– 15.0
人	1.0– 2.0

止泄劑ノ用量(中等量)

大動物	25.0– 50.0
中動物	5.0– 10.0
小動物	0.5– 2.0
人	0.1– 0.5

健胃劑ノ用量(少量)

大動物	10.0– 25.0
中動物	2.0– 5.0
小動物	0.1– 1.0
人	0.05– 0.1

處方例

1) 大黄末 50.0
人工かるゝす泉鹽 500.0
混和，毎飼料中ニ2食匙宛加フ(馬ノ不消化).

2) 大黄末 10.0
阿片末 2.0
炭酸まぐれしうむ 5.0
分2包，其1包ヲ1罐ノ かみるれ花浸ニ加ヘ與フ(犢下痢).

3) 大黄末 ｝
重炭酸なとりうむ ｝ 各5.0
爲散劑．1日3回1刀尖宛與フ(犬，猫，等ノ胃Catarrh).

4) 大黄末 30.0
蘆薈越幾斯 15.0
重炭酸なとりうむ 50.0
硫酸なとりうむ 200.0
澱粉 適宜
水ヲ以テ塊劑(Massa Boli)トナシ與フ(馬ノ疝痛).

3) 大黄丁幾 Tinctura Rhei.

大黄粗末 10分，桂皮粗末1分，小荳蔻粗末1分，酒精 50分，蒸餾水 50分ヲ取リ、5日間冷浸シ壓榨シ濾過シテ得タル澄明褐黄色ノ液ナリ．專ラ小動物ノ健胃劑トシテ用ユ.

用 量

犬	2.–4.cc.	單阿片丁幾	5.cc.
猫	0.5–2.cc.	單舍利別	30.cc.

處方例

大黄丁幾 25.cc.
混和，1日3回1茶匙宛(犬ノ胃Catarrh).

4) 大黄越幾斯 Extractum Rhei.

大黄粗末ヲ酒精及ビ常水ニテ冷浸シテ得タル浸液ヲ蒸發シテ稠厚トナシタル帶褐黄色ノ乾燥越幾斯ニシテ，水ニハ溷濁シテ溶解シ，貯藏スル時ハ空氣中ノ濕氣ヲ吸收シ易キ弊アレドモ，健胃劑，止泄劑，等ノ目的ニテ丸劑トナスニハ甚ダ便ナリ．其用量ハ大黄ノ 1/3–1/2 ニテ足ル.

5) 大黄舍利別 Sirupus Rhei.

剉截セル大黄 10分ヲ取リ，炭酸かりうむ 1分，硼酸なとりうむ 1分，蒸餾水 80分ヲ加ヘ 12時間冷浸シ，濾過シ濾液ヲ煮沸シ更ニ濾過シ，之ニ桂皮水 20分，白糖 120分ヲ溶解シ，全量ヲ 200分トナシタル澄明黄褐色ノ舍利別ニシテ，人ニ於テハ好ンデ小兒ノ下劑トナシ，獸醫ニ於テハ犬，猫ノ健胃劑トシテ單味ニ用キ得可キ至テ便利ナル製劑ナリ． 用量ハ大黄ノ 10倍トス.

6) 小兒散又苦土大黄散 Pulvis infantum. od. Pulvis Magnesiae cum Rheo.

炭酸まぐれしうむ10分，大黄末3分，茴香油糖7分ヨリ成レル類黄色ノ散劑ナリ(密栓シテ貯ヘザレバ變色ノ恐レアリ)． 本劑ノ成分中ノ炭酸まぐれしうむ ハ少量ナレバ酸ヲ中和シ，大量ナラバ其作用ニ加フルニ緩下劑ノ效アリ；大黄ハ既ニ論ジタルガ如ク小量ナレバ健胃，止瀉，大量ナレバ下劑ノ作用アリ；茴香ハ用量ノ多少ニ論ナク驅風作用ト，多少ノ下劑ノ作用アリ． 故ニ本劑ノ少量ハ人ノ小兒ノ消化不良ニ下痢ヲ兼ネタルモノニ健胃止瀉ノ目的ニテ用キ(炭酸まぐれしうむ及ビ大黄ノ少量ノ作用)，大量ハ消化不良，特ニ胃酸過多，風氣及ビ便祕アルモノニ制酸，驅風及ビ下痢ヲ致サシムル目的ニテ用ユ(炭酸まぐれしうむ及ビ大黄ノ大量ノ作用ト茴香ノ作用)． 要スルニ人ノ小兒ニハ甚貴重ス可キ製劑ナリ.

獸醫ニテハ嘗テ Fröhner 氏ガ犬ト猫トニ向テ健胃劑トシテ數刀尖ヲ處方シタル外ハ應用セラレタルヲ聞カズ.

其他尙ホ日本藥局方ニハ複方大黄丸(Pilulae Rhei compositae) 複方大黄浸 (Infusum Rhei compositum)等アレドモ必要ナキ製劑ナレバ省略セリ.

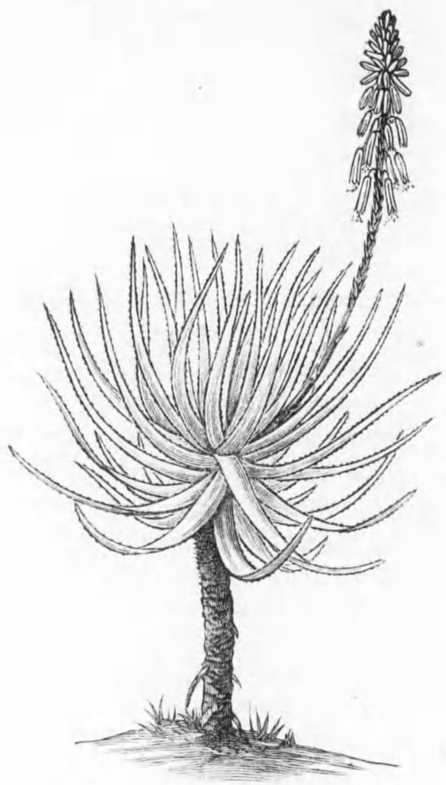
7) 蘆薈 Aloë.

蘆薈ニハ透明蘆薈 (Aloë lucida)、**肝色蘆薈** (Aloë hepatica) **及ビ なたる蘆薈**(Aloë Natalica) **ノ3種アレドモ，日本藥局方ニ採用セラレタルハ透明蘆薈ノミナリ.**

透明蘆薈ハ又喜望峯蘆薈ト稱シ，亞弗利加ノ南端ナル喜望峯地方ニ於テ百合科ノ植物 Aloë ferox *Miller*, 其他 Aloë spicate *Howarth*, Aloë vera *L.*, Aloë lingua *Thumberg* 等ノ汁液ヲ採取シ，煎シテ適度ノ稠度ニ至ラシメタル所ノ暗褐色ノ塊ニシテ，甚ダ破碎シ易ク，其破碎面ハ貝殼狀ヲ呈シ且ツ硝子樣ノ光澤ヲ放ツ，邊緣ノ薄キ部ハ類赤色或ハ淡褐色ニ透映シ，臭氣ハ特殊ニシテ味極メテ苦ク，之レヲ粉末トナス時ハ黄色トナル．其主效分ハ大約 60 %ニ達スル所ノ溶解性無晶形あろいん(Aloin)ナル苦味質ニシテ，其他ハ樹脂，蛋白質，水分，等ナリ.

第 39 圖

蘆薈ヲ採集スル Aloë ferox.



肝色蘆薈ハ東印度，亞弗利加ノ東岸，西印度諸島ニテ Aloë vera ノ一種ヨリ製造スルモノニシテ，各其產地ノ名ヲ冠シテ ぼんべい (Bombay) 蘆薈，きゅらそー (Curaçao) 蘆薈，ばるばどす (Barbados) 蘆薈等ノ稱アリ．何レモ暗肝褐色ー黑色ノ塊ニシテ粉碎スレバ金黃色ーちょこらーで褐色ノ粉末トナル．其主效分ハ溶解性結晶性あろいん(ばるばろいん Barbaloin トモ云フ)ナリ．

なたる蘆薈ハ亞弗利加ノ東南端ナル Natal 地方ヨリ產出スルモノニシテ，淡肝褐色ノ塊ヲナシ，不溶解性結晶性あろいん(なたろいん Nataloin トモ云フ)ヲ主成分トス．

蘆薈ノ少量ハ凡テノ家畜ニ向テ健胃劑トナスニ適シ，特ニ馬及ビ反芻獸ノ慢性消化不良ニ有效ナリ．

蘆薈ノ大量ハ下痢ヲ起ストコロノ作用アリ，此作用ハ動物ノ種類ノ異ナレルニ從テ一樣ナラズ． 馬ハ 10–50 g ヲ以テ下痢シ，其效力ハ 18–36 時間ノ後ニ顯ハレ，6–24 時間繼續シ，便ハ多少液狀ヲナス　牛ニ下痢ヲ起サシムルニハ大量ヲ要シ，或時ハ大量ニテモ奏效セズ，通例ノ場合ニハ 40–60 g ヲ以テ下痢スレドモ馬糞ガ液化スルガ如クニ著シク便形ヲ變化セズ．豚ト羊トハ 8–15 g ヲ以テ；犬ハ 2–5 g ヲ以テ下痢スレドモ，大動物，特ニ馬ニノミ重要ナル下劑ト認ム可キナリ．特ニ蘆薈ハ下痢ヲ來サシメタル後ニ便祕ヲ生ゼシムル憂無キニ由リテ慢性ノ傾向アル便祕ニ用ユル最良ノ藥品ニシテ，1 週間內ニ 1–2 回ノ投藥ヲ以テ足レルコト多シ．

蘆薈ハ馬ニ向テ重要ナル下劑タリ；其效力ノ發現ハ緩慢ナレドモ作用ハ久シク繼續シ，後ニ便祕ヲ殘スコトナシ，之ニ等シク人ノ常習便祕ニ賞用セラル．

蘆薈ノ刺戟性ヲ利用シテ或時ニハ創面，潰瘍及ビ瘻管ノ肉芽ノ發生ヲ催進セシムル事アリ．此應用ハ次ニ記載スル丁幾ノ形狀ニ於テスルヲ常トス．

人ニ於テハ蘆薈ノ下腹部ノ刺戟作用ニヨリ充血ヲ來スヲ利用シテ，催經劑トナスコトアリ．又妊娠セル動物ニ蘆薈ノ下劑量ヲ與ヘタルトキ此作用ノ爲ニ流產シタルコトアレバ注意ヲ要ス．

蘆薈ハ從來丸藥トシテ用キラレタリシガ，之レヲ　あらびあごむ漿ニ加ヘ振盪合劑トシテ服用セシムレバ，效力ノ發現ハ迅速ニシテ，且ツ甚强力ナリ，例ヘバ普通ニ用ユル半量ヲ以テスラ速カニ其作用ヲ生ズベシ．

健胃劑ノ用量		人	0.05– 0.1
大動物	2.0 –10.0	下劑ノ用量	
中動物	1.0 – 2.0	牛	40.0–60.0
小動物	0.1 – 0.5	馬	20.0–50.0

羊，山羊	15.0–30.0
豚	5.0–10.0
犬	0.2– 5.0
猫	0.2– 1.0
家禽	0.5– 2.0
人	0.1– 0.3

處方例

1) 蘆薈末　25.0
　粉末藥用石鹸　5.0
　水　適宜
　爲1丸，與フ(馬ノ下劑)．

2) 蘆薈末 ｝
　白藥蘆根末 ｝　各 10.0
　混和シテ 1包トナシ，1緡ノ亞麻仁煎ヲ以テ振盪合劑トナシ與フ(牡牛ノ慢性不消化)．

8) 蘆薈丁幾 Tinctura Aloës.

蘆薈粗末1分，酒精5分ヲ取リ冷浸シテ溶解シ，濾過シテ製シタルモノニシテ，甚ダシキ苦味ヲ有スル褐色ノ液ヲナス．健胃劑，特ニ肉芽催進劑トシテ創面，潰瘍及ビ瘻管，等ニ用ユ．近頃ニ至リ蘆薈丁幾ヲ蜂螫即チ蜂ニ刺サレタ時ニ直チニ塗布スレバ著效アリト云フ者アリ．

處方例

蘆薈丁幾 ｝
みるら丁幾 ｝　各 50.cc.
　混和，注入劑トナス(肉芽發生不良ナル瘻管ヲ治療スルニ用ユ)．

9) 蘆薈越幾斯 Extractum Aloës.

蘆薈1分ヲ沸湯5分ニ溶解シ更ニ常水5分ヲ加ヘ2日間放置シ，樹脂分ガ析出セル後ニ上液ヲ傾取シ，蒸發シテ得タル黃褐色ノ乾燥越幾斯ニシテ，水ニハ渾濁シテ溶解ス．其應用ハ全ク蘆薈ニ等シク用量ハ其半バニテ足レリ．

處方例

蘆薈越幾斯	30.0
芒硝	250.0
小麥澱粉	適宜

　單舍利別　適宜
　爲紙劑，1週間內ニ2回ニ分與ス(馬ノ便祕)．

其他日本藥局方ニハ蘆薈丸 (Pilulae Aloës)，蘆薈やらっぱ丸 (Piluae Aloës et Jalapae)，蘆薈鐵丸(Pilulae Aloës et Ferri) 等ノ製劑アレドモ家畜ニハ全ク要アラズ．

10) かすから　さぐらだ Cascara sagrada.

北米ノ西岸ニ產スル鼠李科植物 Rhamnus Purshiana *D. C.* ノ皮ニシテ，半管狀又ハ管狀ヲナシ，長サ 3–10 cm 厚サ 2 mm，外面ハ褐色ニシテ橫形ノ皰疣ヲ有シ多少灰白色ノ地衣ヲ被ムルモノアリ，內面ハ類黃色—類褐色ヲ呈ス．味苦ク，多クハ次ニ記載スル製劑ノ形狀ニテ藥用ニ供ス．但シ其有效成分ハ未ダ明カナラズ．

近頃かすから　さぐらだ　ノ有效成分ナリト稱シ，かすかりん (Cascarin) ノ名ヲ以テ發賣セラルヽ粉末ハ人ニ於テ1回ノ用量 0.5–1.0 ナリ．又之ヲ糖衣錠，糖衣丸若クハ膠衣丸トシテ販賣ス，其1錠若クハ1丸中ノ含量ハ 0.13 ニ相當ス．

11) かすから　さぐらだ流動越幾斯 Extractum Cascarae sagradae fluidum.

Cascara Sagrada 末 100 分ヲ取リ，酒精及ビ水ノ等分ヨリ成レル混液ヲ以テ 100 分ノ流動越幾斯トナシタルモノニシテ，暗褐赤色澄明ノ液ヲナス．

人ニ於テ緩下劑トナスニハ 3–15 滴ヲ 1日數回用キ，頑固ノ便祕ニハ 1.–2. cc. ヲ1日數回用ユ，不良ノ副作用無ク數ケ月間連用スルモ常ニ同一效力ヲ奏スルノ點ニ於テ卓越ナリト認メラレ，常習便祕，其他ノ場合ニ向テ汎ク應用セラル．

Fröhner 氏ハ 2.–10. cc. ヲ以テ犬ニ良好ノ緩下劑ト認メ，Ellenberger 氏ハ其 1.–4. cc. ヲ以テ犬ニハ奏效餘リ緩ナリト主張セラル．

12) ふらんぐら皮 Cortex Frangulae.

歐洲ノ各地ニ產スル鼠李科(Rhamnaceae)ノ灌木(Rhamnus Frangula)ノ皮ニシテ，厚サ 1.5 mm ヲ超エズ，外面帶灰褐色ニシテ多數ノ類白色ノ皰疣ヲ有シ，刀ヲ以テ外皮ヲ搔剝スレバ赤色ヲ現ハス，內面ハ帶赤黃色—類褐色ナリ．

ふらんぐら皮ノ新鮮ナルモノハ嘔吐刺戟ヲ有スルニ因リ，少クトモ1ケ年以上ヲ經過シタルモノヲ藥用ニ供ス．ソノ有效成分ハ　ふらんぐりん (Franglin) ト稱スル配糖質ニシテ，其他鞣酸ヲモ含有セリ．嘔吐刺戟ヲ來スモノハ恐ラクハ1種ノ醱酵素ナルベシト云フ．

作用ハ頗ル緩和ニシテ且ツ價ガ廉ナル爲ニ大黃ノ代用品トシテ用キラル．但シ獸醫ニ於テハ未ダ汎ク處方セラレタル事ナキモ，人ニ於テハ其 15.–20. g ヲ煎劑 260. cc. トナシ，2日分トナスガ故ニ此量ヲ犬ニ向テ試用セラル可シ．

13) ふらんぐら流動越幾斯 Extractutum Frangulae fluidum.

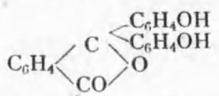
14) 籐黃 ぐっちーごむ Gutti od. Gummi Guttae.

しゃむ(Siam)國及ビ其附近ニ產スル　くるしあ科(Clusiaceae)ノ植物 (Garcinia

Hamburg. *Hook*) ヨリ採集シタル　ごむ樹脂ニシテ，太サ約7 cm ニ至ル圓柱形又ハ彎曲融合スル塊ヲナシ，帶綠黃色ヲ呈シ容易ニ破壞シテ暗枸櫞黃色扁平貝殼狀不透明ノ碎片トナル．其有效成分ハ大約75 %ノ　がむぼさあ酸(Gambogiasäure $C_{20}H_{24}O_4$)ナリ．容易ニ胃腸炎ヲ發生セシムルガ故ニ人ニ於テハ稀ニ丸劑若クハ乳劑トシテ處方スルニ過ギズト雖ドモ，ふれーれる氏ハ動物ニ對スル用量ヲ左ノ如ク揭ゲタリ．

牛	30.0–45.0	豚	2.0 – 4.0
馬	15.0–30.0	犬	0.2 – 1.0
羊，山羊	5.0–10.0	猫，家禽	0.02– 0.1

15) ぷるげん又ふるのーるふたれいん Purgen od. Phenolphthalein $C_{20}H_{14}O_4$



水ニ不溶解性ノ帶黃白色無味ノ粉末ニシテ，Alkali 性液中ニテ紫紅色ヲ呈スルヲ以テ人ニ於テ尿若シ Alkali 性ナラバ紫紅色トナリ恐怖セシムル事アリ．之ヲ內用スレバ腸ニ至リ Natrium 鹽トナリ緩下作用ヲ呈シ軟便ヲ排泄セシムルヲ以テ，人ノ常習便祕ニ對スル良好ノ下劑タリ．其作用ハ內用後數時間內ニ現ハレ時トシテ腹痛，裏急後重，等ヲ來ス事アリ，又痔疾患者ニハ出血ヲ來ス事アリ．人ニハ 0.1 ヲ含有セル丸子ヲ 1–3 粒服用スレバ效ヲ奏スベシ．

16) ぷるがちん又ぷるがとーる Purgatin od. Purgatol.

化學上ヨリ云ヘバ　あせちーる3酸化あんとらきのーん(Trioxyanthrachinonum diacetylicum) ナリ．水ニ不溶解性ノ帶黃褐色結晶性ノ粉末ニシテ，內用シテ腸ニ至レバ分解シテ緩下作用ヲス．人若シ 0.5–1.5 ヲ內用スレバ約10時間ヲ經テ排便ス．尿ハ排泄後ニ紫紅色ヲ呈シ人ヲ驚カス事アルニ注意スベシ．

附　まんな及びたまりんど Manna und Tamarind.

Manna (津液ノ塊) 及ビ Tamarind (果肉ヲ搗碎セルモノ) ハ植物ヨリ採集シタル下劑ナレドモ，其作用ハ旣ニ論ジタル植物性下劑ノ如ク腸粘膜ヲ刺戟スル爲ニ起ルモノニ非ズシテ，後ニ論ズル鹽類下劑ノ如ク水ニ溶解シ易クシテ，而カモ動物膜(腸)ヲ竄透シ難キヲ以テ，自己ヲ溶解セル水分ヲ保持シテ吸收セラルヽ事ナク

シテ大腸ヲ通過シ，以テ下劑ノ目的ヲ達スルモノナリ．

Manna ノ主成分タル　まんにっと (Mannit) ハ恰モ鹽類下劑ノ如キ效力ヲ現ハス外ニ，Manna 中ニハ粘液質及ビ　ごむ質アリテ，是等モ亦幾分カ下劑ノ效ヲ補助ス可シ．

Tamarind 中ノ主成分ハ枸櫞酸，酒石酸，林檎酸，等ノ如キ有機酸ト重酒石酸 Kalium 及ビ粘液質ニシテ，重酒石酸 Kalium ハ固ヨリ鹽類下劑ノ效ヲ現ハス可ク，粘液質ハ有機酸ガ吸收サルル事ヲ妨ゲ腸ノ下方ニマデ達セシメ，以テ有機酸ノ刺戟作用ヲバ爰ニ致サシメ，蠕動ヲ興奮シ下劑ノ效ヲ助ク可キナリ．

第　40　圖

まんな

17) まんな Manna.

木犀科(Oleaceae)ノ植物 (Fraxinus Ornus *L.*) ノ幹ノ截口ヨリ滲出シタル津液ガ自然ニ乾涸シタルモノヲ採集セルモノニシテ，圓形，扁平形又ハ樋狀ノ結晶性塊片ヲナシ，淡類黄色ヲ有シ内部ハ白色ヲ呈ス．味甘シ．

良好ナルモノハ 80-90 %ノ　まんにっと〔Mannit $C_6H_8(OH)_6$〕ヲ含有ス，其他大約 11 %ノ糖分，少量ノ粘液質，ごむ質及ビ苦味質アリ．

緩和ノ下痢ヲ來ス作用アルヲ以テ，人ニ於テハ好デ老人，妊婦 (30.0-50.0) 及ビ小兒(3.0-5.0 g) ノ下劑トナシ，水藥ノ形狀ニ於テ處方ス．

用　量

羊	100.0-150.0	猫	5.0-20.0
豚	50.0-100.0	家禽	5.0-10.0
犬	10.0- 50.0		

18) まんな舎利別 Sirupus Mannae.

10 %ノ Manna ヲ含有スル舎利別ニシテ，小兒ノ下劑トシテ毎1時間 1-2 茶匙ヲ與フレドモ，本劑ハ變敗シ易クシテ獸醫ニハ要ナシ．

19) たまりんど Pulpa Tamarindorum.

Arabia, 印度，等ニ産スル決明科 (Caesalpiniaceae) ノ植物 (Tamarindus indica *Linn*) ノ果實ヲ搗碎シタル果泥ニシテ，黑褐色稍〻粘靭性柔軟ノ塊ヲナシ，强キ酸味ヲ有シ，少量ノ種子，羊皮紙樣ノ果房壁，脈管束，果殻ノ碎片，等ヲ夾雜ス．

有效成分ハ既ニ說明シタルガ如ク種々ノ有機酸，重酒石酸 Kalium 及ビ粘液，

第　41　圖
たまりんど(果ノ横斷面)

m 中層，　n 內皮，　p 果殻，　S 種子，

等ニシテ，人ニ於テ清涼下劑トシテ 15.0-30.0 ヲ用ユ．作用緩和ナルヲ以テ他ノ下劑ノ佐藥トスル事モアリ．

20) 精製たまりんど Pulpa Tamarindorum depurata.

Tamarind ヲ精製シ白糖ヲ加ヘタルモノニシテ，人ニ於テ 5.0-15.0 ヲ小兒ノ下劑トナス．

索　　引

(い)

印度大麻草 81
印度大麻越幾斯 81
印度大麻丁幾 81
いすらんど苔 88
引赤紙 139
いひちおーる 140
いひたるびん 141
いひとふぉるむ 141
いひたるがん 142

(ろ)

蘆薈 161
蘆薈丁幾 164
蘆薈越幾斯 164
蘆薈丸 164
蘆薈やらっぱ丸 164
蘆薈鐵丸 164

(は)

薄荷腦 41
薄荷油 42
反腦 51
ばんぎたーる 66
麥角 76
麥角越幾斯 79
麥角流動越幾斯 79
白糖 89
蜂蜜 91
薄荷葉 94
芳香性健胃劑 98
芳香丁幾 104
芳香精 104
ばすた 123
罨布劑 123
ばらふぃん軟膏 123
ばちり軟膏 134
抱水てるびん 135
蕃椒丁幾 139
發泡ころぢうむ 139
蕃椒 144
巴豆油屬 147
巴豆油 147
白色えらてりうむ 153

(に)

乳糖 91
肉豆蔻 104
肉豆蔻子衣油 104
苦艾 114
苦艾越幾斯 114
苦艾丁幾 114

(ほ)

菩提樹花 94
ぼろべるちん 121
ぼどふぃるむ脂 154

(へ)

べんつぉーる 42
べたなふとーる 43
べるーばるさむ 45
片腦 51
へきさめちーれんてとらみん 120
へるみとーる 121
へぶら軟膏 124
扁桃油 128

(と)

とりばふらびん 29
とろーばるさむ 46
とらがんた 88
杜松實 116
杜松實油 117
杜松實羔 117
杜松實精 117
豚脂 124
篤黄 165

(ち)

重硫酸きにーね 7
ぢめちーるあみどあんちぴりん 18
ぢぶろざーる 29
ちおこーる 37
ちもーる 41
ぢぎたりん屬 56
ぢぎたりす葉 59
ぢぎたりす丁幾 65
ぢがーれん 66
ぢぎたみん 66
ぢぎぶらつーむ 66
ぢぎふぁりん 66
ぢぎたりん 66
ぢぎときしん 66
ちらみん 77
茶劑 93
丁香 103
丁子 103
丁香油 103
丁子油 103
ちすとぷりん 121
ちおーる 142
ちげのーる 142

(り)

硫酸きにーね 7
りぞーる 38
流動蘇合香 46
龍膽 105
龍膽越幾斯 108
龍膽丁幾 108
りちね油 149

(る)

るたみん 80

(を、お)

おいきにん 8
をぶとひん 11
遠志根 73
遠志舍利別 74
汚臭神經劑 95
おれーふ油 126

(わ)

黄蓮 109
黄蓮越幾斯 111
わせりん 125
わそげーん 126
わそーる 126
王軟膏 135

(か)

かるぼーる 34
かむふる丁幾 53
海狸香 54
海葱 69
海葱丁幾 69
海葱醋 69
海葱醋蜜 69

かんなびのん屬 80
からーげん 88
甘草 91
甘草羔 92
かみるれ花 93
苛味性健胃劑 104
莢蓯 104
高良薑根 104
かすかりら皮 112
かすかりら越幾斯 112
かすかりら丁幾 113
硬膏 122
家猪脂 124
含水らのりん 125
含水てるびん 135
かんたりぢん屬 136
かんたりす 137
葛上亭長 137
かんたりす丁幾 139
芥子油屬 142
芥子 143
芥子油 144
芥子精 144
芥子紙 144
かすとる油 149
かたるちん酸屬 154
かすから　さぐらだ 164
かすから　さぐらだ流動越幾斯 165

(た)

たんにん酸きにーね 9
炭酸くれおそーと 36
炭酸ぐあやこーる 37
大風子油 38
たんにん酸すとろふぁんちん 69
單舍利別 90
橙皮 98
橙皮油 99
橙花油 99
橙皮丁幾 99
橙皮舍利別 99
たんにん酸をれきしん 114
單軟膏 123
大黄 158
大黄丁幾 160
大黄越幾斯 160
大黄舍利別 161
たまりんど 166.168

(れ)

れみじん 11
れぞるちん 44
檸檬(レモン)油 99

(そ)

粗製くれぞーる 38

(つ)

づおたーる 37
つめのーる 48.142
つめのるーるあむもにうむ 48
つぁんたりうむ草 114

(ね)

粘漿劑 84

(な)

なふたりん 42
なふとーる 43
軟膏 122
なふたらん 142
軟下劑 145

(ら)

らくちーるふぇれちぢん 21
らくとふぇにん 21
らのりん 125

(む)

無水らのりん 124

(う)

茴香(ウイキヨウ) 101
茴香油 101
茴香水 101
茴香精 102
うわうるし葉 119
うろとろびん 120

(の)

のばるざん 21

(く)

枸櫞酸鐵きにーれ 8
くれおそーと 35
くれおそーと丸 36
ぐあやこーる 36
くれおそたーる 36
くれおりん 38
ぐりてーる 48
枸櫞皮 99
枸櫞油 99
枸櫞精 100
苦味性健胃劑 105
苦味丁幾 108
くわっしあ木 111
くわっしあ丁幾 112
くべば子 117
ぐりせりん軟膏 124
ぐりせりん 126
くりざるびん 139
緩下劑 145
くりそふぁん酸屬 154
苦土大黄散 161
ぐっちーごむ 165

(や)

山ごぼう 55
やらっぱ根 152
やらっぱ脂 153
やらっぱ石鹸 153

(ま)

豆斑猫 137
まんな 166.168
まんな舍利別 168

(け)

健胃劑 97
桂皮 100
桂枝 100
桂皮油 100
桂枝油 100
桂皮水 100
桂皮精 100
げんちあな根 105
げんちあな越幾斯 108
げんちあな丁幾 108
下劑 144

(ふ)

ふぇなせちん 20
ふぁごーる 38
ぶのいみん 38
ぶろーむ樟腦 54
葡萄糖 90
複方あんげりか精 104
複方せんな浸 158

複方せんな舐劑 158
複方大黄丸 161
複方大黄浸 161
ふらんぐら皮 165
ふらんぐら流動越幾斯 165
ぶるげん 166
ふぇのーるふたれいん 166
ぶるがちん 166
ぶるがとーる 166

(こ)

こむぶらーる 19
ころぬちん 77
ごむ散 86
ころむぼ根 109
ころむぼ越幾斯 119
こんぢゅらんご皮 113
こんぢゅらんご流動越幾斯 113
こんぢゅらんご酒 114
こばいばばるさむ 117
こばいばばるさむ膠嚢 118
ごのろーる 119
ごのさん 119
膏藥劑 122
糊劑 122
ころふぉにうむ 134
胡椒 144
こんぶるぢりん屬 151
ころしんと實 153
ころしんと越幾斯 154
ころしんと丁幾 154
ころしんとひよす丸 154

(え、ゑ)

鹽酸きにーれ 6
ゑちーる炭酸きにーれ 8
えるごときしん屬 74
えるごときしん 77
えるごちん酸 77
ゑるごたみん 77
液膏劑 122
えらてりん屬 151
英方えらてりうむ 153

(て)

澱粉 85
泥膏 123
てれびん油屬 131
てれびんちーな 133
てれびん油 133
てれびん軟膏 135

(あ)

ありすとひん 9
あんちぴりん屬 12
あんちぴりん 17
あせとあにりーど 19
あんちふぇぶりん 19
安息香酸 24
安息香酸なとりうむ 25
安息香 25
安息香丁幾 25
安息香酸脂 25
安息香酸なとりうむかふぇいん 25
安息香酸あむもにうむ 25
あせちーるさりちーる酸 28
あすぴりん 28
あがりちん酸屬 81
あがりちん酸 83
あらびあごむ 86
あらびあごむ漿 86
あるてあ根 87
あるてあ舍利別 88
阿魏 95

阿魏丁幾 96
あにーす實 102
あにーす油 102
あんげりか根 104
あぶしんと草 114
あぶしんと越幾斯 114
あぶしんと丁幾 114
亞麻仁 127
亞麻仁粉 127
亞麻仁油 127

(さ)

ざりちーる酸あんちぴりん 18
さりぴりん 18
さりちーる酸屬 21
さりちーる酸 25
さりちーる酸なとりうむ 27
さりちーる酸ふぇにーる 27
さろーる 27
ざぼときしん屬 70
されっぷ根 86
さっかりん 89
さるふぃあ葉 94
さんたり油 118
さんたろーる 119
さんちーる 119
さりふぁるみん 121
擦劑 122
さびな油 135

(き)

きにーん屬 1
きのぴりん 8
きな皮 9
きにーん 9
きにぢーん 9
きな酸 9
きな鞣酸 9
きな赤色素 9
きな越幾斯 11
きな丁幾 11
きな流動越幾斯 11
きな酒 11
きらや皮 72
局所ノ榮養變調ヲ換起ス可キ有機化合體 84
矯味藥 88
矯嗅劑 88
嗅劑 95
繖草根 96
繖草丁幾 97
基礎軟膏 135
强發泡膏 139
揮發芥子油 144

(め)

めんとーる 41

(み)

みるら 103
みるら丁幾 103

(し)

しんこにーん 9
しんこにぢーん 9
しろりん 37
樟腦屬 49
樟腦精 53
樟腦油 53
臭素かむふる 54
麝香 54
商陸 55
眞正ぢぎたりん 66
樟腦酸 83

蜀葵根 87
小茴香 101
菖蒲根 104
菖蒲丁幾 104
小豆蔻 104
生薑 104
生薑丁幾 104
生薑舍利別 104
新うろとろぴん 121
弱發泡膏 139
植物性下劑 144
峻下劑 145
小兒散 161

(ひ)

ぴらみどん 18
ぴろがろーる 44
ぴちろーる 48
ぴくろときしん屬 55
ひどろえるごちん 76
ひすたみん 77
びむびれら根 104
びむびれら丁幾 104
泌尿器ノ消毒藥及刺戟藥 114
蓽澄茄 117
蓽澄茄越幾斯 118
白檀油 118
ひつぽーる 122
皮膚刺戟劑 129
蓖麻子油屬 147
蓖麻子油 149

(も)

木たーる 46
沒藥 103
沒藥丁幾 103

(せ)

石炭酸屬 29
石炭酸 34
焦性沒食子酸 44
精製樟腦 51
せれが根 73
せれが舍利別 74
せかこるにん 79
精製蜂蜜 91
接骨木花 94
精製てれびん油 134
精製あご末 139
せんな葉 155
せんな舍利別 158
精製たまりんど 169

(す)

水溶性樟腦製劑 54
すとろふぁんつす子 67
すとろふぁんつす丁幾 68
すとろふぁんちん 69
睡菜葉 114
水化てるぴん 135
するふぉいひちおーる酸あむもにうむ 140

明治35年10月20日第1版印刷
明治35年10月23日第1版發行
明治38年1月8日第2版發行
明治40年3月6日第3版發行
明治42年8月4日第4版發行
明治44年5月19日第5版發行
大正2年9月24日第6版發行
大正5年3月28日第7版發行
大正7年8月10日第8版發行
大正9年12月5日第9版發行
大正12年5月8日第10版發行
大正14年4月18日第11版發行
昭和2年5月5日第12版發行
昭和4年7月13日第13版發行
昭和7年3月5日第14版印刷
昭和7年3月10日第14版發行

不許複製

獸醫藥理學中卷

正價金2圓

著者　武藤喜一郎
發行者　今井甚太郎
東京市本鄉區本富士町2番地
印刷者　柴山則常
東京市本鄉區駒込林町172番地
印刷所　合資會社杏林舍
東京市本鄉區駒込林町172番地

發行所　克誠堂書店
東京市本鄉區本富士町2番地
(電話小石川7767・振替東京27981番)